

令和8年8月26日

道路局 国道・技術課

橋梁等の2025年度(令和7年度)点検結果をとりまとめ ～道路メンテナンス年報(3巡目2年目)の公表～

2013年度の道路法改正等を受け、2014年度より道路管理者は全ての橋梁、トンネル、道路附属物等について、5年に1度の点検が義務付けられています。2018年度に1巡目点検、2023年度に2巡目点検が完了し、2024年度から3巡目点検が実施されています。

今般、2025年度までの点検や診断結果、措置状況等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

○主なポイント

1. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検は平準化が図られつつある(p1)

- 3巡目2年目(2025年度)の点検実施状況は、橋梁:39%、トンネル:34%、道路附属物等:38%と、2巡目2年目を上回っており、着実に平準化が図られつつあります。

2. 措置が必要な橋梁数は着実に減少し、予防保全への移行に向け進捗(p3)

- 2025年度末時点で、建設後50年以上経過した橋梁数は、2018年度末時点と比較して増加(約13万橋⇒約24万橋)している一方、判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁数は着実に減少(約6.9万橋⇒約5.1万橋)しており、予防保全への移行に向け修繕等措置は着実に進捗しています。

※判定区分Ⅲ:早期に措置を講ずべき状態 判定区分Ⅳ:緊急に措置を講ずべき状態

3. 地方公共団体の修繕等措置の着手状況に遅れ(p5)

- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずるべきとしていますが、2020年度点検で判定区分Ⅲ・Ⅳと診断された橋梁のうち、地方公共団体の修繕等の措置の着手率は79%にとどまっております。

4. 地方公共団体における集約・撤去・機能縮小等の取組状況(p7)

- 地方公共団体における施設の集約・撤去・機能縮小等の検討状況は、2019年度末より毎年着実に増加しており、2025年度末時点では97%となっています。
- 道路メンテナンス事業補助制度において集約撤去等に取り組む地方公共団体を支援しており、2025年度は124団体を支援しております。
- なお、道路施設の集約・撤去ガイドラインについては、地方公共団体の取組の一助になるよう、以下のWebページにて公表しています。

<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>

5. 路面下空洞調査の実施状況(p8)

- 国土交通省が2025年度に実施した路面下空洞調査の調査延長は2,788kmであり、全体延長の約12%となっております。
- 発見された空洞のうち路面陥没の可能性が高いと判定された空洞は194箇所、すべての箇所で修繕等に着手しております。

6. 道路陥没の発生件数とその要因【新規】(p9,10)

- 2025年度に発生した道路陥没件数は直轄国道で101件、都道府県管理道路で1,282件、市町村管理道路で9,844件となっております。
- 陥没の要因は様々ありますが、その中でも道路排水施設の割合が高くなっております。
- 都市部に着目すると、全道路と比較して、占用物件に起因する陥没の割合が高くなっております。

道路メンテナンス年報は、以下のWebページにてご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html

<問い合わせ先(1～4については①、5,6については②)>

道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室

①:課長補佐 三好、田島(内線 37892、37863) ②:課長補佐 荒井、中本(内線 37852、37858)

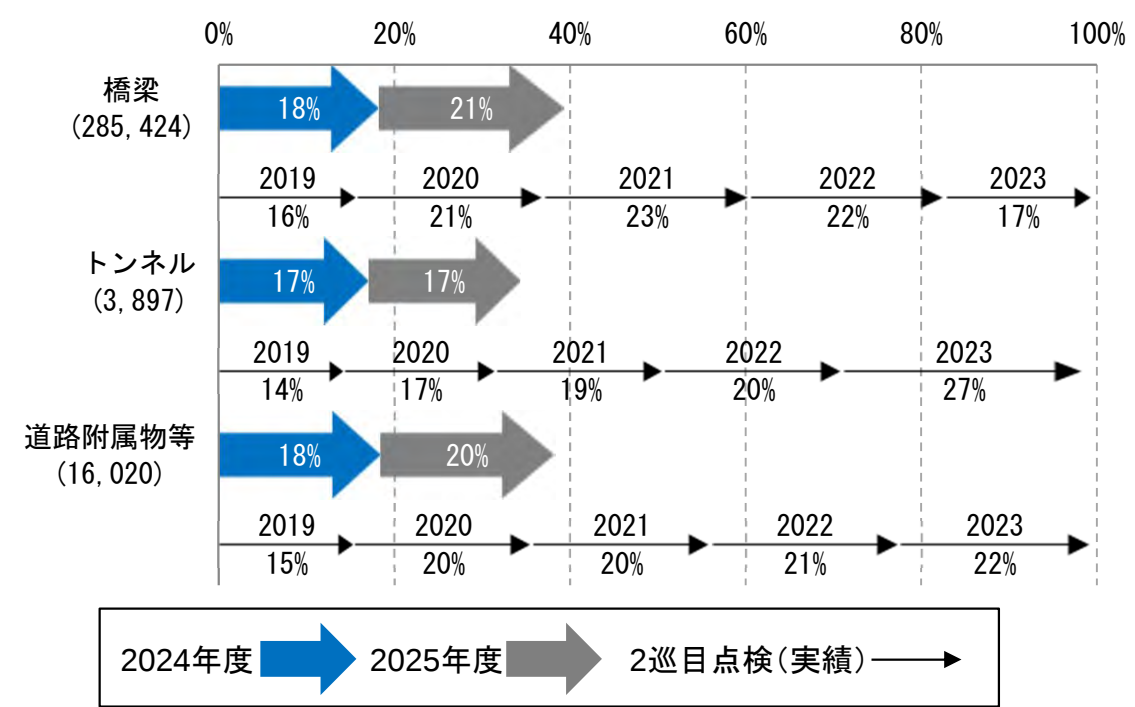
電話:(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8494



- 全道路管理者の3巡目(2025年度)の点検実施状況は、橋梁:39%、トンネル:34%、道路附属物等※:38%となっており、2巡目2年目を上回り着実に進捗している。

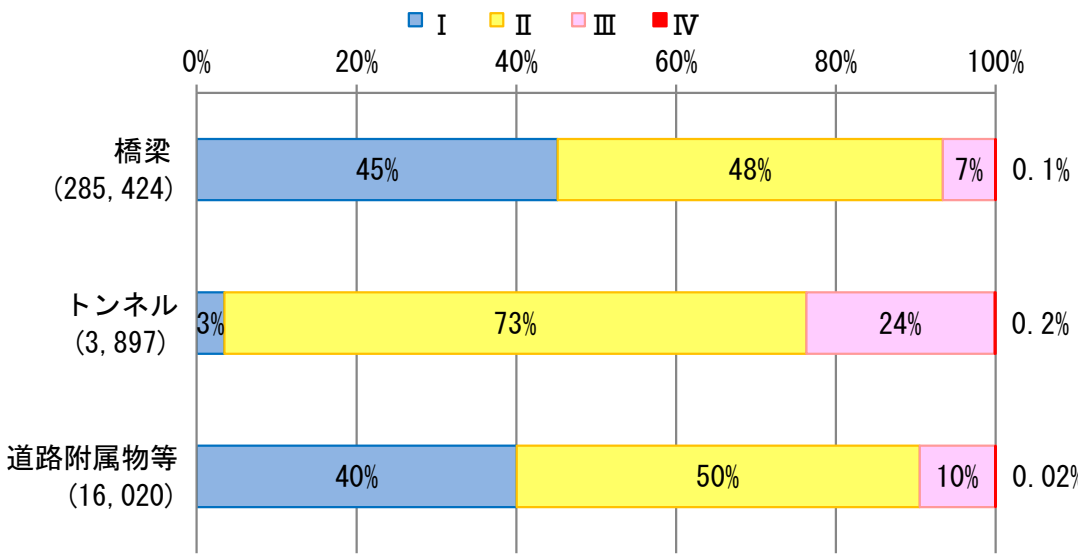
○ 全道路管理者の3巡目(2025年度)の点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態(判定区分Ⅲ・Ⅳ)の割合は、橋梁:7%、トンネル:24%、道路附属物等:10%
- ※道路附属物等:シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

3巡目(2025年度)の点検実施状況



※()内は、2024,2025年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

3巡目(2025年度)の点検結果



※()内は、2024,2025年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

判定区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

橋梁の損傷事例

判定区分Ⅲ

早期措置段階「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」



国管理 床版鉄筋露出
※床版：橋の裏側



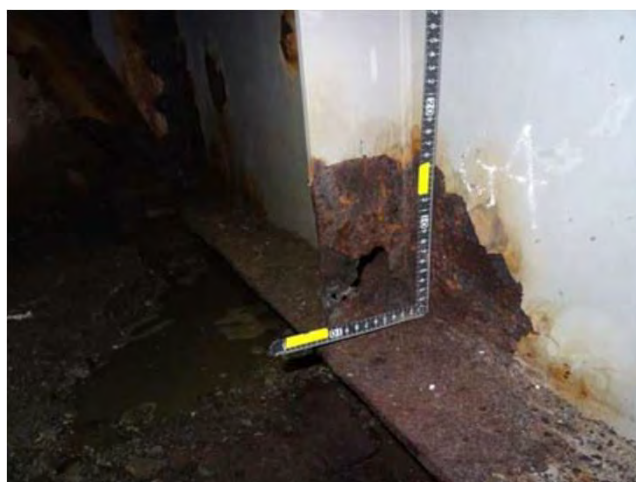
地方自治体管理 主桁腐食



地方自治体管理 支承腐食

判定区分Ⅳ

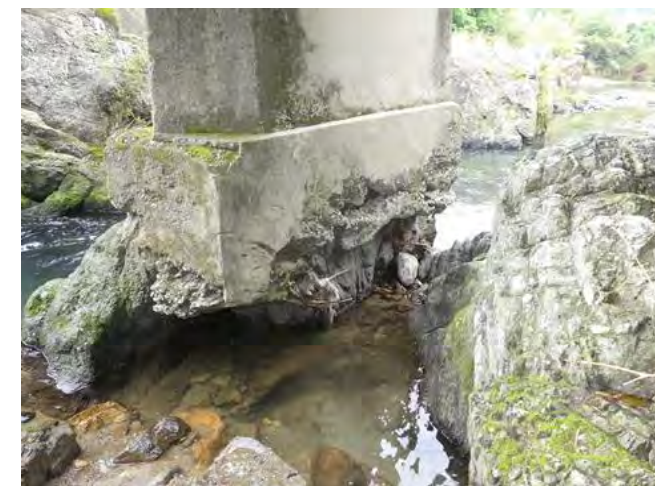
緊急措置段階「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」



国管理 主桁腐食・欠損



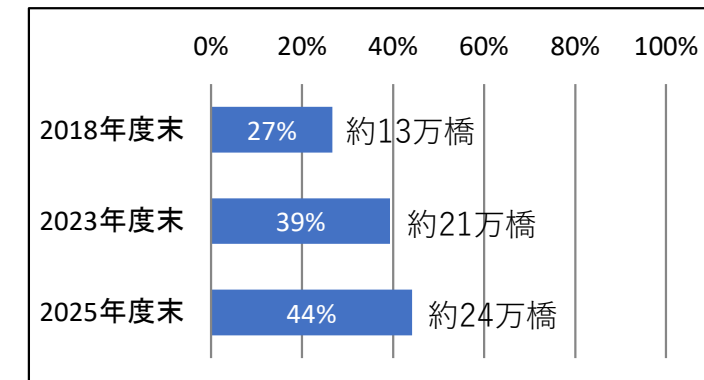
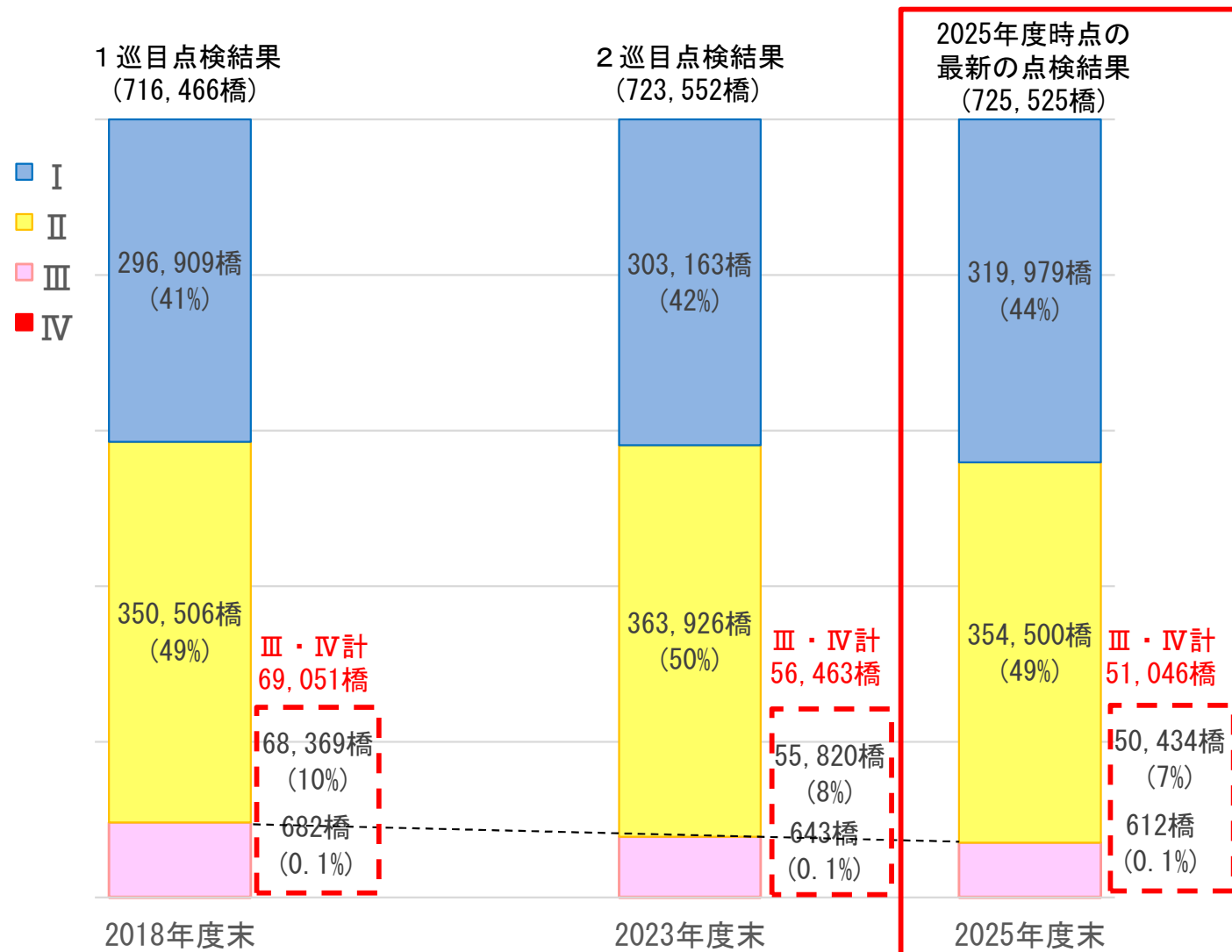
地方自治体管理 床版鉄筋露出



地方自治体管理 橋脚洗掘

2025年度末時点での橋梁の判定区分毎の施設数と割合

- 2025年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：44%、Ⅱ：49%、Ⅲ：7%、Ⅳ：0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は51,046橋であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。

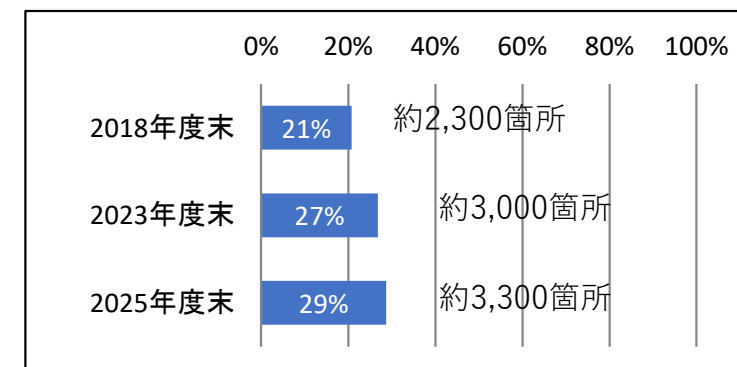
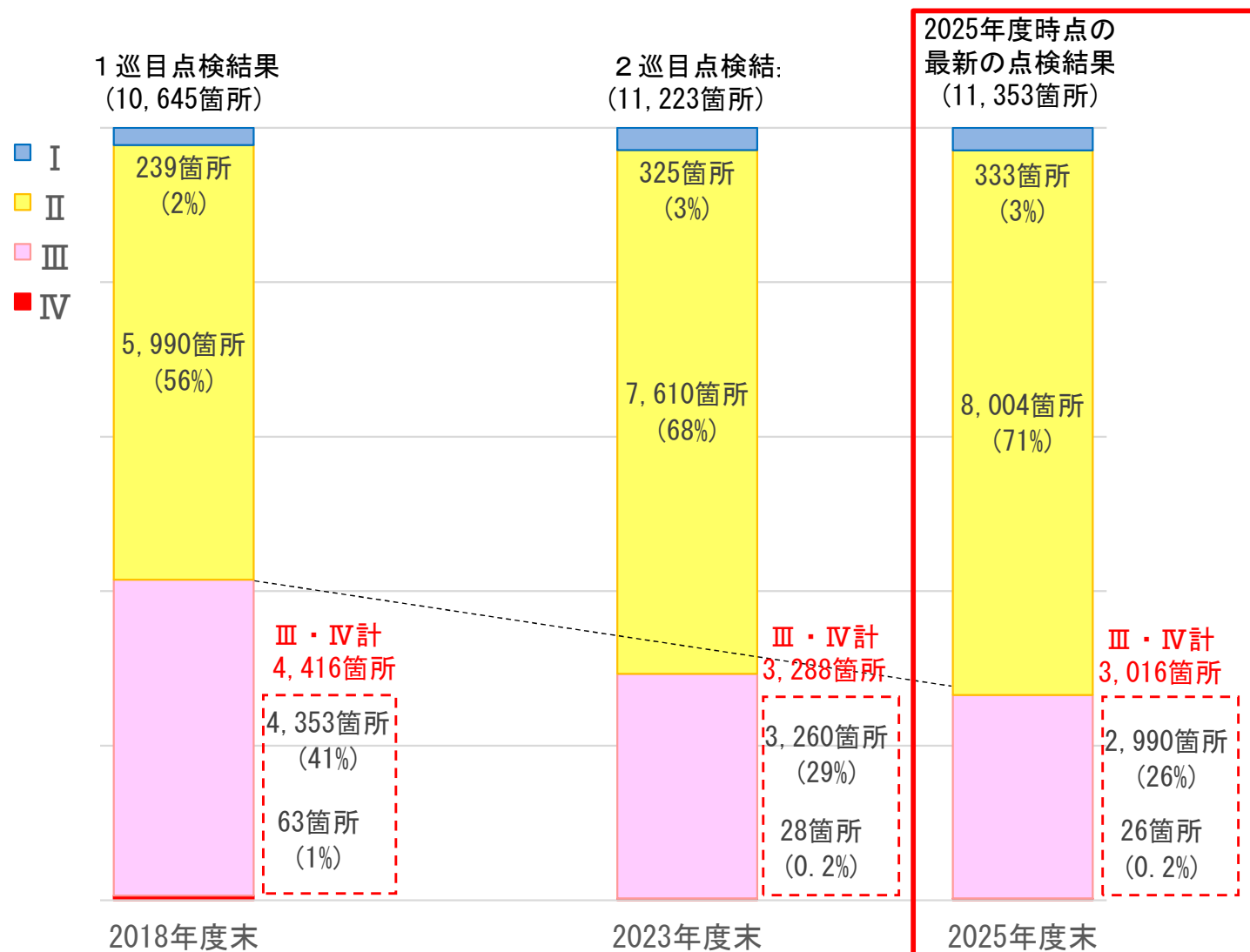


(参考) 建設後50年を経過した橋梁の割合

※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

2025年度末時点でのトンネルの判定区分毎の施設数と割合

- 2025年度末時点での点検結果では判定区分の割合は、Ⅰ：3%、Ⅱ：71%、Ⅲ：26%、Ⅳ：0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,016箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネルは増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは着実に減少している。



(参考) 建設後50年を経過したトンネルの割合

※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳの橋梁の修繕等措置の実施状況

- 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025年度末時点で国土交通省:91%、高速道路会社:79%、地方公共団体:69%、完了した割合は、国土交通省:52%、高速道路会社:52%、地方公共団体:45%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていない橋梁は約2割ある。

管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	未着手 施設数	2025年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)		(参考)2024年度末時点	
				点検年度	0% 20% 40% 60% 80% 100%	措置に着手済 の施設数	うち完了
国土交通省	3,684	3,370 (91%)	314 (9%)	2019	84%	2,891 (78%)	1,328 (36%)
				2020	71%		
				2021	46%		
				2022	34%		
				2023	24%		
高速道路会社	2,725	2,157 (79%)	568 (21%)	2019	74%	1,662 (61%)	937 (34%)
				2020	79%		
				2021	56%		
				2022	32%		
				2023	24%		
地方公共団体	48,494	33,541 (69%)	14,953 (31%)	2019	64%	28,537 (58%)	15,574 (32%)
				2020	59%		
				2021	44%		
				2022	32%		
				2023	22%		
都道府県 政令市等	16,907	13,653 (81%)	8,291 (49%)	2019	69%	11,988 (70%)	5,945 (35%)
				2020	66%		
				2021	48%		
				2022	36%		
				2023	22%		
市区町村	31,587	19,888 (63%)	11,699 (37%)	2019	61%	16,549 (52%)	9,629 (30%)
				2020	55%		
				2021	41%		
				2022	29%		
				2023	22%		
合計	54,903	39,068(71%)	25,156(46%)	15,835(29%)	46%	33,090(60%)	17,839(32%)

↑: 2025年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース

完了済 着手済

2019年度点検実施(6年経過):100%、2020年度点検実施(5年経過):100%、2021年度点検実施(4年経過):80%、2022年度点検実施(3年経過):60%、2023年度点検実施(2年経過):40%

2巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳのトンネルの修繕等措置の実施状況

- 2巡目(2019年度～2023年度)の点検で早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025年度末時点で国土交通省:89%、高速道路会社:77%、地方公共団体:79%、完了した割合は、国土交通省:61%、高速道路会社:64%、地方公共団体:57%
- 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとしているが、地方公共団体において5年以上経過していても措置に着手できていないトンネルは約1割ある。

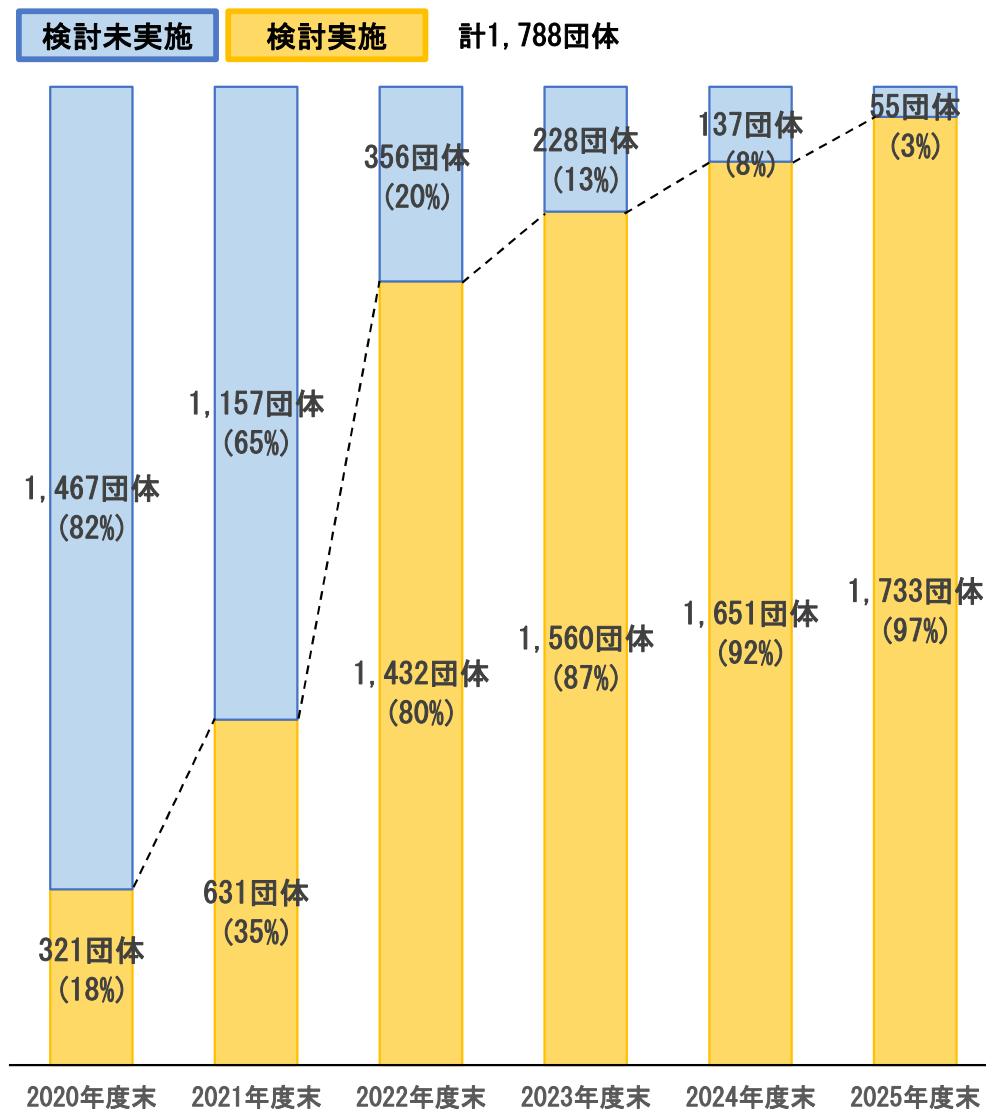
管理者	措置が必要な 施設数(A)	措置に着手済 の施設数(B)	未着手 施設数	2025年度末時点 措置着手率(B/A)、措置完了率(C/A)		(参考)2024年度末時点	
				点検年度	0% 20% 40% 60% 80% 100%	措置に着手済 の施設数	うち完了
国土交通省	421	376 (89%)	45 (11%)	2019	98%	325 (77%)	184 (44%)
				2020	94%		
				2021	50%		
				2022	33%		
				2023	22%		
高速道路会社	425	328 (77%)	97 (23%)	2019	96%	266 (63%)	198 (47%)
				2020	97%		
				2021	65%		
				2022	52%		
				2023	32%		
地方公共団体	2,366	1,860 (79%)	506 (21%)	2019	85%	1,677 (71%)	1,044 (44%)
				2020	83%		
				2021	62%		
				2022	45%		
				2023	26%		
都道府県 政令市等	1,805	1,538 (85%)	267 (15%)	2019	92%	1,417 (78%)	918 (51%)
				2020	86%		
				2021	65%		
				2022	50%		
				2023	28%		
市区町村	561	322 (57%)	239 (43%)	2019	55%	260 (46%)	126 (22%)
				2020	60%		
				2021	49%		
				2022	30%		
				2023	24%		
合計	3,212	2,564(80%)	1,874(58%)	648(20%)	58%	2,268(71%)	1,426(44%)

↑: 2025年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース
完了済 着手済
2019年度点検実施(6年経過):100%、2020年度点検実施(5年経過):100%、2021年度点検実施(4年経過):80%、2022年度点検実施(3年経過):60%、2023年度点検実施(2年経過):40%

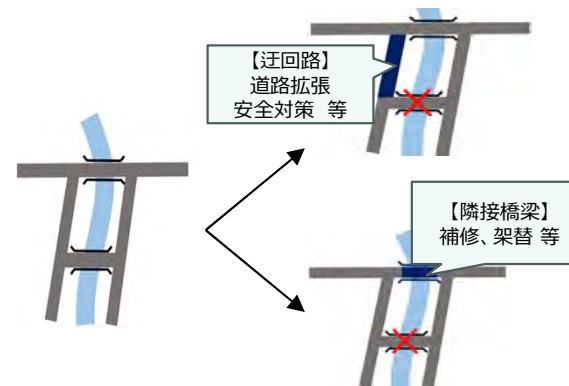
地方公共団体における集約・撤去・機能縮小等の取組

- 地方公共団体における施設の集約・撤去・機能縮小等の検討状況は、2025年度末時点で97%となっている。
- 道路メンテナンス事業補助制度では、集約・撤去等に取り組む地方公共団体を支援しており、2025年度は124団体を支援。
- また、地方公共団体の取組の一助になるよう、道路施設の集約・撤去ガイドラインを公開している。

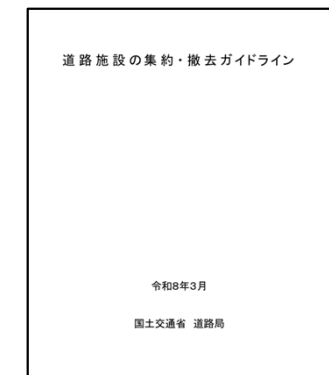
■地方公共団体における集約・撤去・機能縮小等の検討状況



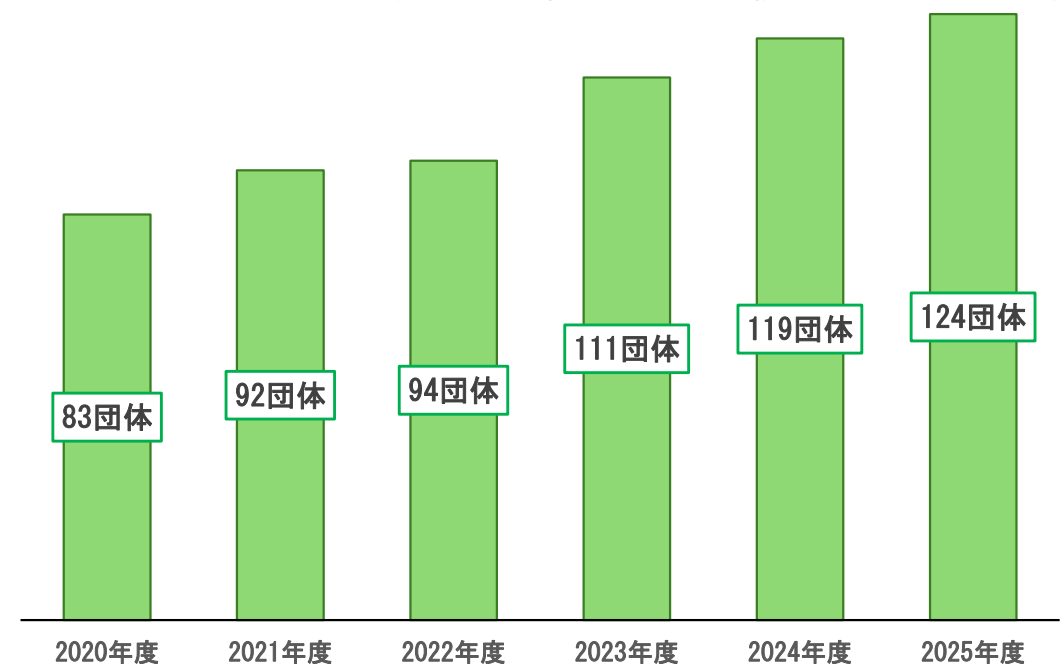
■道路メンテナンス事業補助制度の対象となる集約・撤去事業等の例



■道路施設の集約・撤去ガイドライン (R8.3公表)



■道路メンテナンス事業補助制度により集約・撤去等を支援した地方公共団体数



路面下空洞調査の実施状況(2025年度・国土交通省)

- 直轄国道における2025年度の路面下空洞調査の調査延長は2,788km(調査対象延長の約12%)
- 調査の結果、路面下空洞が8,419箇所確認され、そのうち路面陥没の可能性が高いと考えられる区分Aが194箇所(2%)
- 区分Aの194箇所については、全ての箇所で修繕等に着手済み

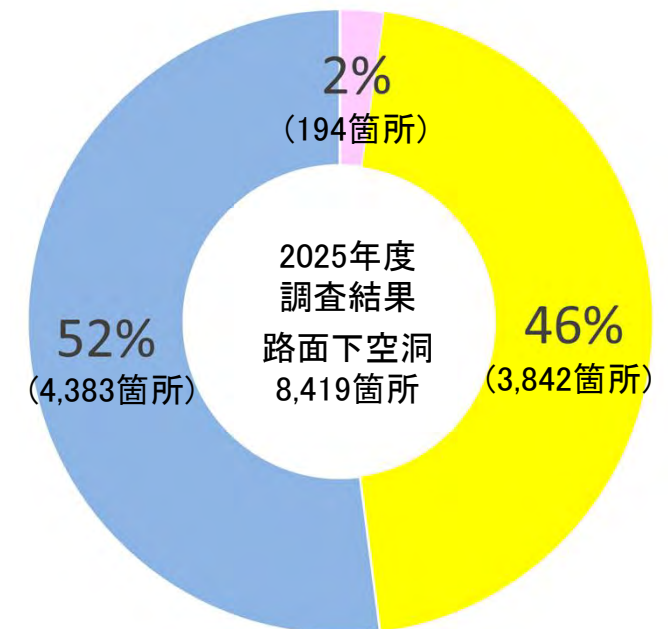
■路面下空洞調査の調査結果

道路 管理者	調査対象 延長 (道路延長)	調査延長 (道路延長)	空洞確認 箇所	路面陥没の可能性		
				A(高い)	B(中程度)	C(低い)
国土 交通省	20,810km	2,788km	8,419箇所	194箇所 (194)※	3,842箇所 (169)※	4,383箇所 (33)※

※ うち修繕等の優先度が高い箇所
(埋設物の設置状況や沿道状況などを踏まえて優先度を判断)

2026.3末時点

■路面陥没の可能性判定区分の割合



- A: 陥没の可能性が高い空洞
- B: 陥没の可能性が中程度の空洞
- C: 陥没の可能性が低い空洞

■修繕等の優先度が高い箇所の修繕実施状況

路面陥没の可能性	修繕等の優先度が高い箇所※	修繕等に 着手済み箇所	うち完了
A(高い)	194箇所	194箇所(100%)	194箇所(100%)
B(中程度)	169箇所	131箇所(78%)	131箇所(78%)
C(低い)	33箇所	31箇所(94%)	31箇所(94%)

※ うち修繕等の優先度が高い箇所
(埋設物の設置状況や沿道状況などを踏まえて優先度を判断)

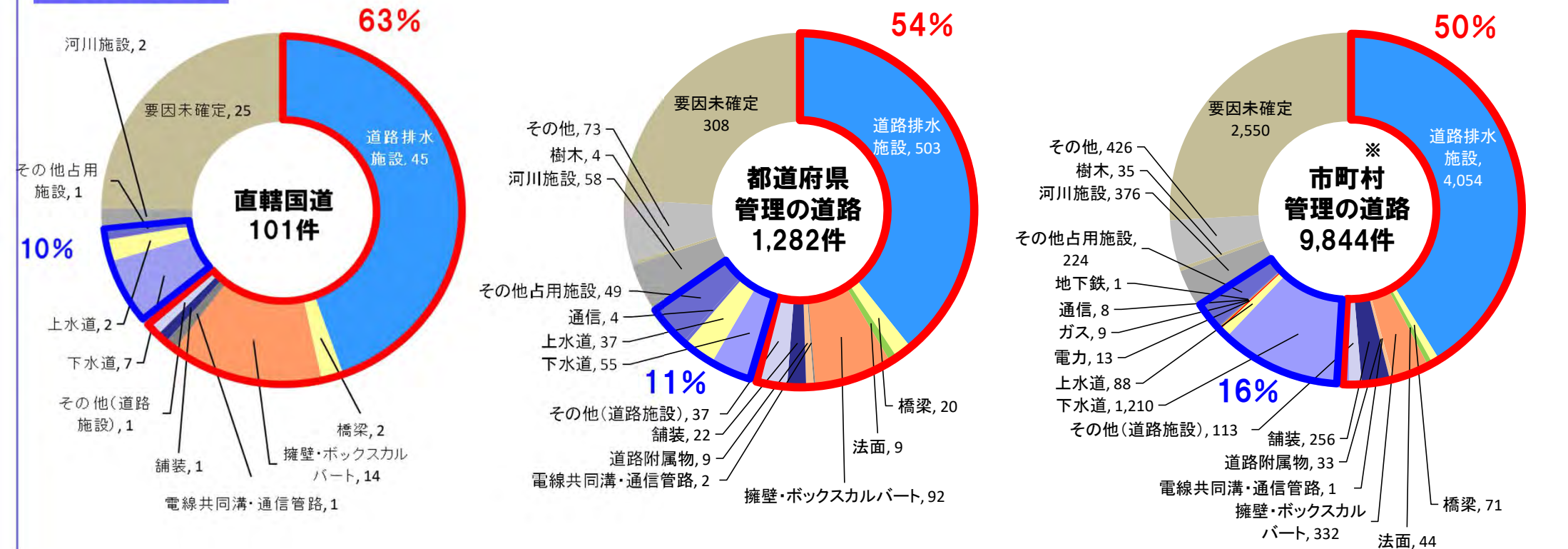
2026.8.26時点

道路陥没の発生件数とその要因(全道路)

- 2025年度に発生した道路陥没件数は直轄国道で101件、都道府県管理道路で1,282件、市町村管理道路で9,844件です。
- 陥没の要因は様々ありますが、水が流れる施設(道路排水施設、下水道、水道)の件数が多く、その中でも道路排水施設の割合が高くなっています。

道路陥没発生件数の内訳

2025年度



※ 政令市、特別区含む

* ポットホールは含まない

 道路施設が要因の陥没

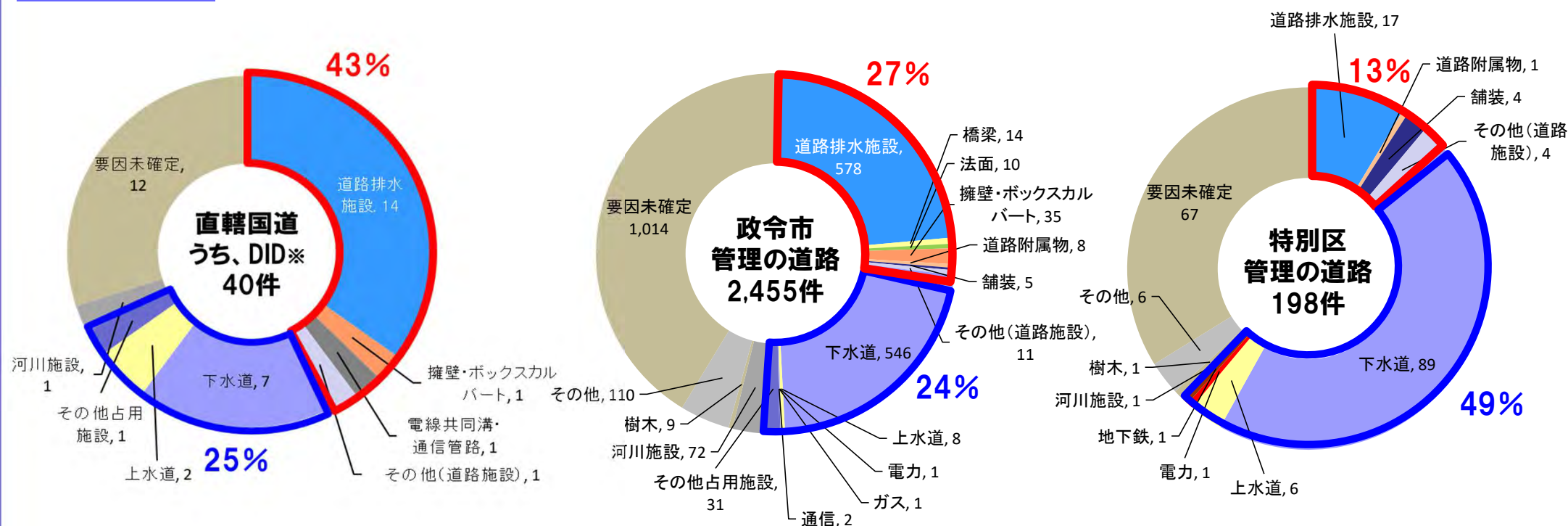
 道路占有物件が要因の陥没

道路陥没の発生件数とその要因(都市部)

- 2025年度に発生した道路陥没件数のうち、都市部で発生したものについては、全道路と比較すると、占用物件を要因とする割合が大きく、特に下水道が多くなっています。

道路陥没発生件数の内訳

2025年度



※ DID:人口集中地区

* ポットホールは含まない

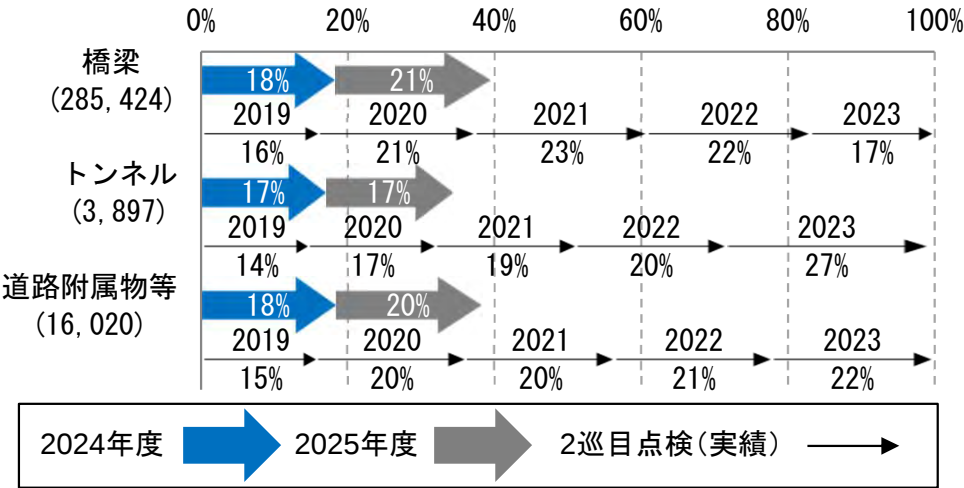
 道路施設が要因の陥没

 道路占用物件が要因の陥没

道路メンテナンス年報(2025年度)の概要

- 橋梁・トンネル・道路附属物等について、3巡目の点検は2巡目と比べて着実に進捗。
橋梁について、地方公共団体の修繕が必要な橋梁の措置着手・完了率が低水準。
- 建設後50年を経過した橋梁数は増加している一方、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少。

■ 橋梁・トンネル・道路附属物等の3巡目点検実施状況



3巡目の点検は2巡目に比べ着実に進捗

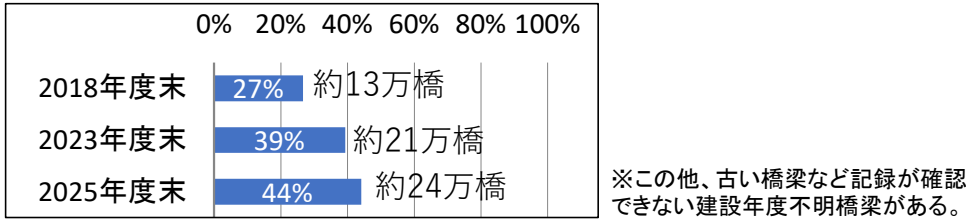
■ 2巡目点検で修繕が必要とされた橋梁の修繕等措置状況

管理者	措置が必要な 施設数 ※1	措置に着手済み の施設数 ※2	
			うち完了
国土 交通省	3,684	3,370 (91%)	1,915 (52%)
高速 道路会社	2,725	2,157 (79%)	1,408 (52%)
地方 公共団体	48,494	33,541 (69%)	21,833 (45%)

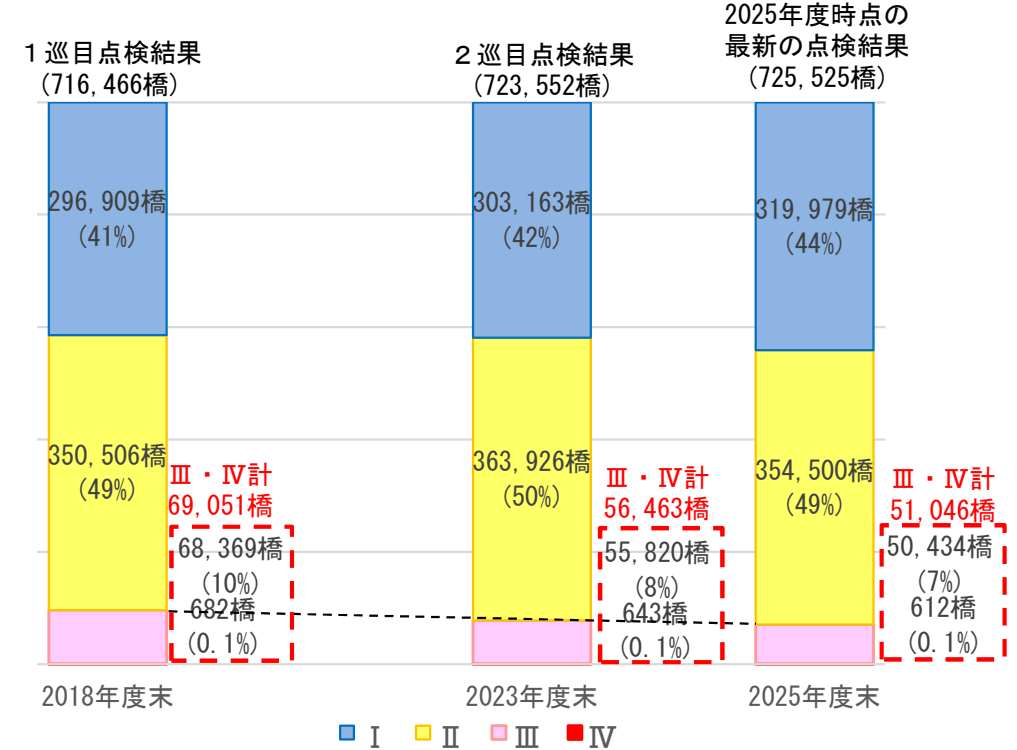
地方公共団体の修繕が必要な橋梁の 措置着手・完了率が低水準

※1: 判定区分Ⅰ～Ⅳのうち、判定区分Ⅲ(早期措置段階)及び判定区分Ⅳ(緊急措置段階)の橋梁数
※2: 判定区分Ⅲ・Ⅳである橋梁は次回点検まで(5年以内)に措置を講ずべきとされている

■ 建設後50年を経過した橋梁の割合



■ 橋梁の判定区分毎の施設数と割合



2025年度末時点では、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は51,046橋であり、年々着実に減少している

○国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラや老朽化対策の現状をご理解いただくため、点検の実施状況や結果等を調査し、「道路メンテナンス年報」としてとりまとめて公表。

■ 道路メンテナンス年報公表に関する経緯

○ 笹子トンネル天井板落下事故[2012.12]

○ 道路法の改正[2013.6]：点検基準の法定化(橋梁・トンネル・道路附属物等)

○ 定期点検に関する省令・告示 施行[2014.7]：5年に1回、近接目視による点検開始

○ 道路メンテナンス年報公表[2015.11～(毎年)]

【主な掲載内容】・橋梁、トンネル、道路附属物等の点検結果及び修繕等措置の実施状況

・舗装・小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況 等

道路メンテナンス年報

国土交通省 道路局

2026 年 8 月

目次

1. 道路メンテナンス年報について.....	1
(1) 概要	1
(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について	1
2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果.....	2
(1) 3巡目（2024～2025年度）の点検結果.....	2
(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況	14
(3) 過年度の点検（2014～2025年度）の実施施設の判定区分毎の施設数と割合	17
(4) 過年度の点検（2014～2025年度）の点検結果	20
3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況.....	32
(1) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	32
(2) 3巡目点検（2024～2025年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	35
(3) 過年度の点検（2014～2025年度）の実施施設における修繕等措置の実施状況	38
(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況	41
(5) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）	41
(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況	42
4. 地方公共団体の修繕等措置状況.....	43
(1) 2巡目点検（2019～2023年度）の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況	43
(2) 2025年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数	44
5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況.....	45
(1) 概要	45
(2) 2巡目（2022～2025年度）の点検結果（国土交通省、都道府県・政令市）	47
(3) 過年度の点検（2017～2025年度）の点検結果	49
(4) 過年度の点検（2017～2025年度）の実施箇所における修繕等措置の実施状況	50
6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況	51
(1) 小規模附属物.....	51
(2) 土工構造物	55
7. 橋梁・トンネルの現状.....	59
(1) 橋梁の現状	59
(2) トンネルの現状	71
8. 路面下空洞・地下占用物の調査結果等及び修繕等措置の実施状況	83
(1) 路面下空洞	83
(2) 地下占用物	85
(3) 道路陥没の発生件数とその要因（2025年度）	87
9. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み	89

(1) 道路メンテナンス会議の開催	89
(2) 地域一括発注の状況	89
(3) 直轄診断・修繕代行	90
(4) 研修の実施状況	91
(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数	92
(6) 個別施設計画の策定状況（2025年度末時点）	93
(7) 道路メンテナンス事業補助の活用状況	94
(8) 点検実施者の保有資格等	95
(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況	96
(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況	102
(11) 新技術活用事例及び道路施設の集約・撤去ガイドライン	103

※巻末資料 104

(1) 道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳	104
(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳	111
(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト（2014～2025年度）	116
(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数	145

1. 道路メンテナンス年報について

(1) 概要

- 国土交通省では、国民・道路利用者の皆様に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等^{※1}については、2014～2018 年度における1巡目点検、2019～2023 年度における2巡目点検が完了し、2024 年度より3巡目点検に着手しています。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する橋梁・トンネル・道路附属物等の
 - ・ 3巡目（2024～2025 年度）及び過年度（2014～2025 年度）の点検結果^{※2}
 - ・ 2巡目点検（2019～2023 年度）、3巡目点検（2024～2025 年度）、過年度の点検（2014～2025 年度）における修繕等措置状況
 - 国土交通省が管理する道路及び47 都道府県と20 政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路における舗装の点検結果
 - 国土交通省及び地方公共団体が管理する小規模附属物の2017～2025 年度の点検結果、土工構造物の2巡目（2023～2025 年度）の点検結果
 - 国土交通省が実施する路面下空洞調査結果（2025 年度）及び修繕等措置状況
 - 地下占用物事業者が実施する点検・調査（2025 年度）及び修繕状況
- 結果の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html
- また、道路インフラの老朽化対策状況の更なる見える化を図るため、
 - ・ 橋梁・トンネル・道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で閲覧できる「全国道路施設点検データベース（損傷マップ）」を以下に公開しています。
URL：<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
 - ・ より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」において有料で公開しております。
URL：<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。

→ 地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から我が国の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。

今後どのように措置していくのか。

→ 各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくことになります。

※1 道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

※2 複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計

(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013 年の道路法改正等を受け、2014 年7 月より5 年に1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4 段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

(1) 3巡目(2024～2025 年度)の点検結果

1) 全道路管理者

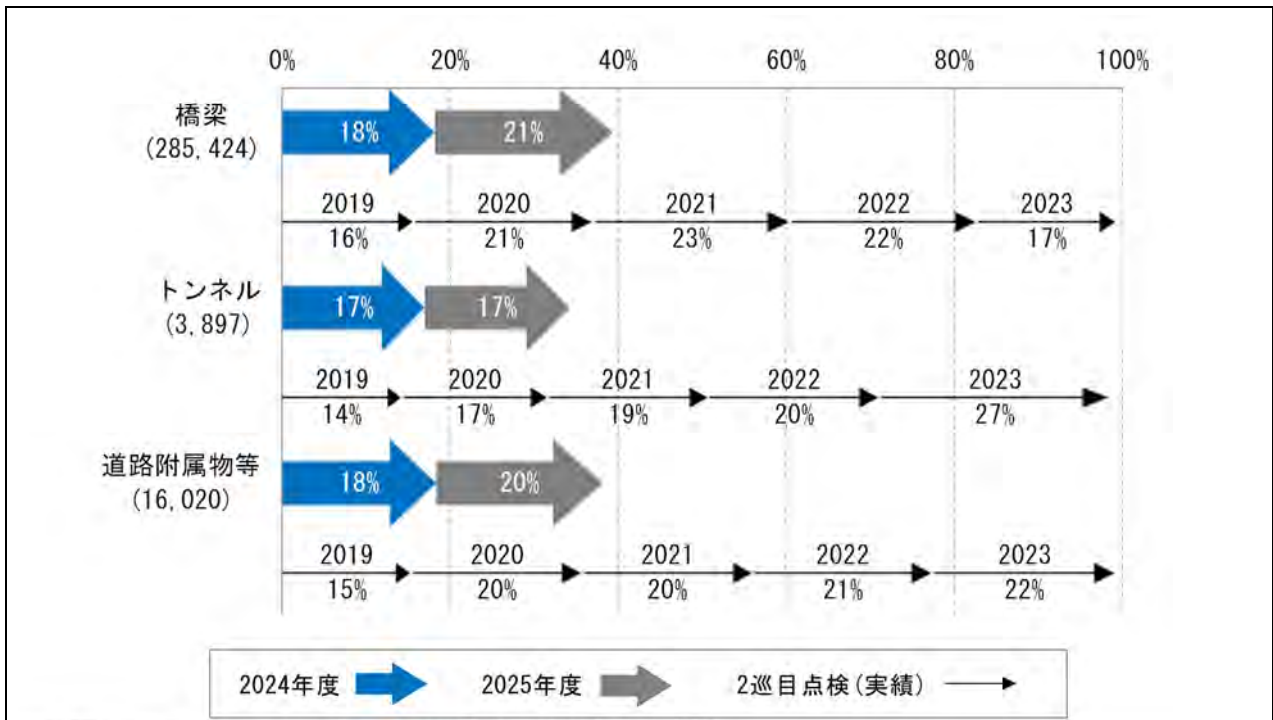
- 3 巡目(2024～2025 年度)の点検実施率は、橋梁 39%、トンネル 34%、道路附属物等 38%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 45%、Ⅱ 48%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 73%、Ⅲ 24%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 40%、Ⅱ 50%、Ⅲ 10%、Ⅳ 0.02%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある(次頁以降も同様)。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目(2024～2025 年度)の点検実施率(全道路管理者合計)



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

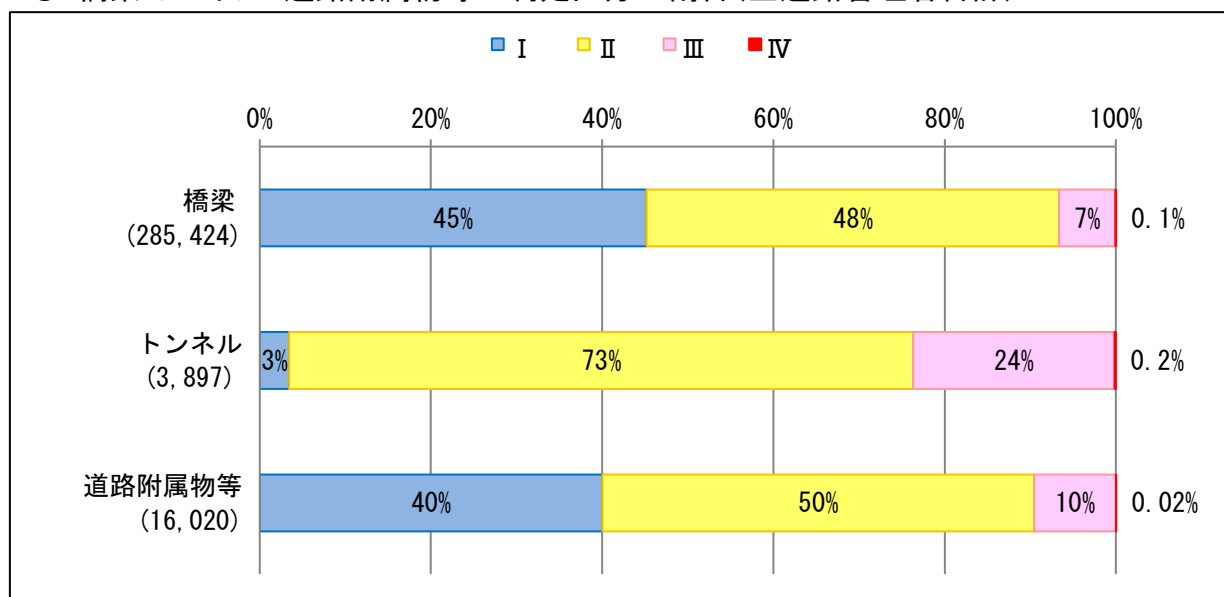
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	730,788	726,245	285,424	39% (37%)
トンネル	11,662	11,375	3,897	34% (32%)
道路附属物等	42,428	41,942	16,020	38% (36%)

2026.3 末時点

※1: 2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019～2020 年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（全道路管理者合計）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	285,424	128,962	137,586	18,698	178
		45%	48%	7%	0.1%
トンネル	3,897	135	2,839	917	6
		3%	73%	24%	0.2%
道路附属物等	16,020	6,414	8,079	1,524	3
		40%	50%	10%	0.02%

2026.3 末時点

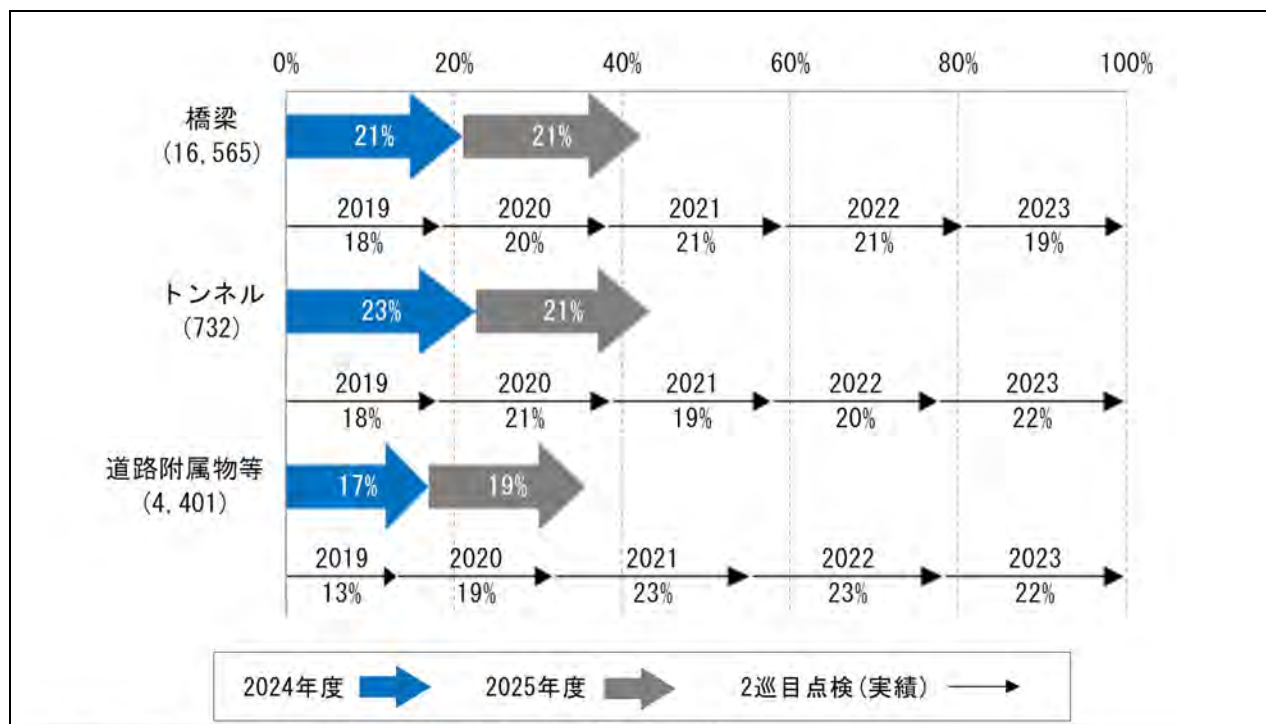
2)国土交通省

- 3巡目(2024～2025年度)の点検実施率は、橋梁 42%、トンネル 43%、道路附属物等 36%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 58%、Ⅱ 34%、Ⅲ 8%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 69%、Ⅲ 28%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 60%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目(2024～2025年度)の点検実施率(国土交通省)



※()内は、2024～2025年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

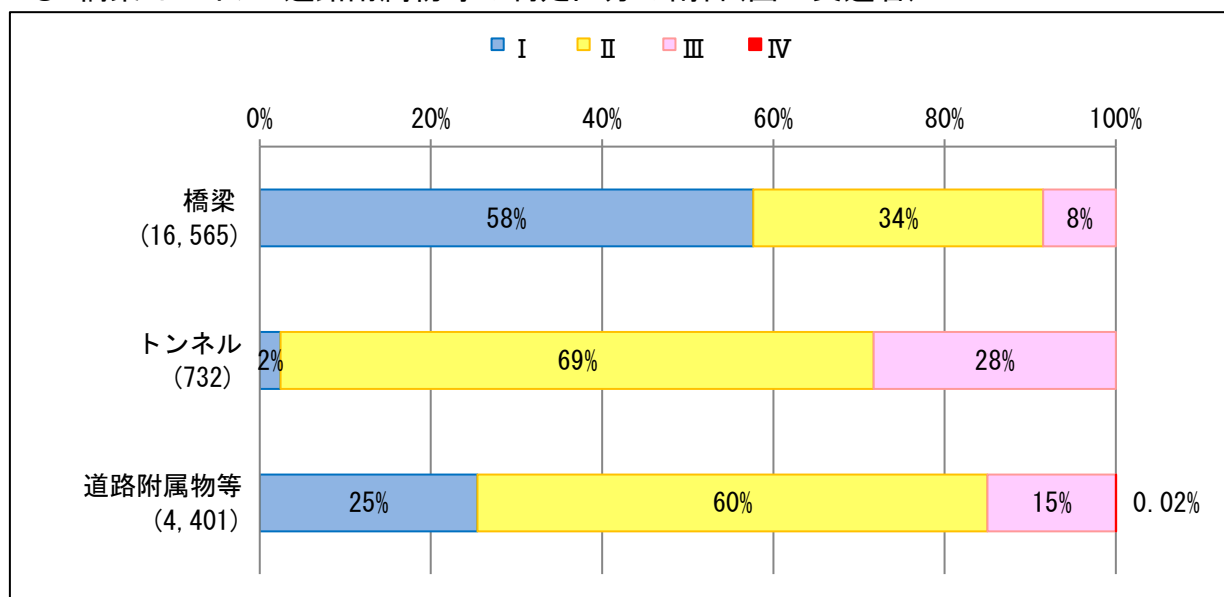
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	39,867	39,188	16,565	42% (38%)
トンネル	1,810	1,691	732	43% (39%)
道路附属物等	12,484	12,322	4,401	36% (32%)

2026.3 末時点

※1:2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019～2020年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	16,565	9,548	5,611	1,406	0
		58%	34%	8%	0%
トンネル	732	18	507	207	0
		2%	69%	28%	0%
道路附属物等	4,401	1,120	2,621	659	1
		25%	60%	15%	0.02%

2026.3 末時点

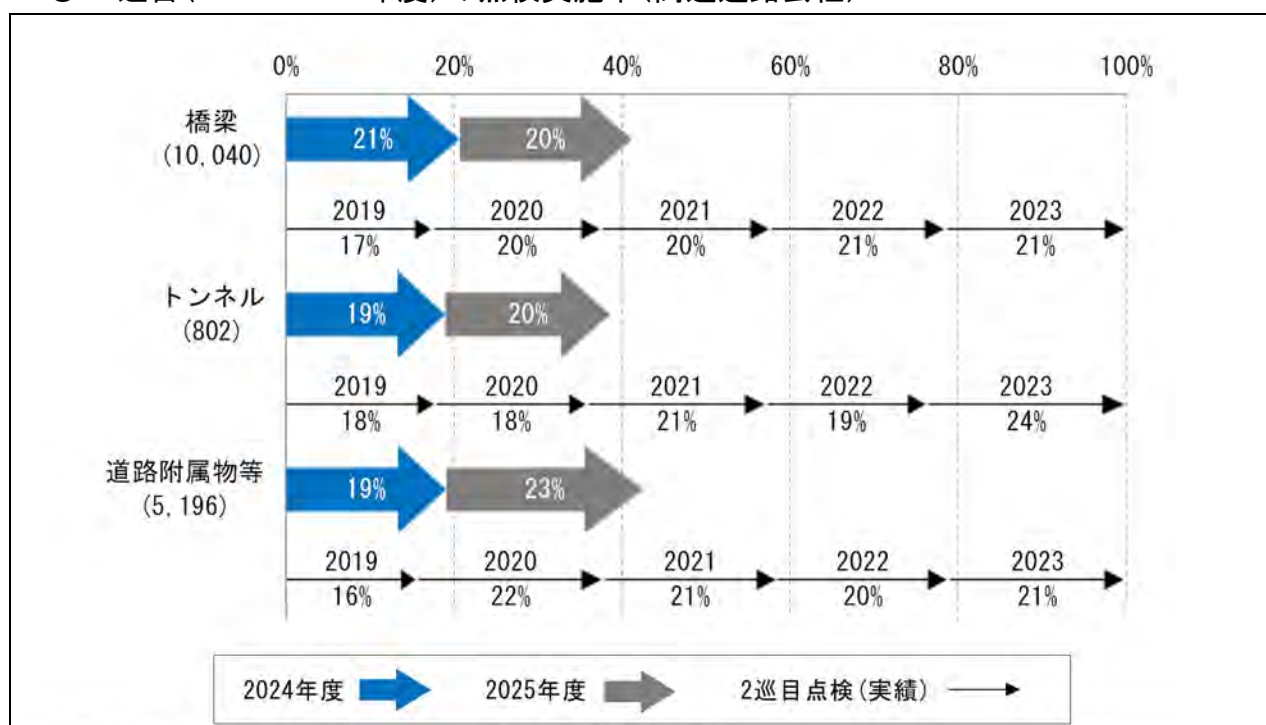
3) 高速道路会社

- 3 巡目（2024～2025 年度）の点検実施率は、橋梁 41%、トンネル 39%、道路附属物等 42%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 25%、Ⅱ 64%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 8%、Ⅱ 76%、Ⅲ 17%、道路附属物等：Ⅰ 66%、Ⅱ 32%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3 巡目（2024～2025 年度）の点検実施率（高速道路会社）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

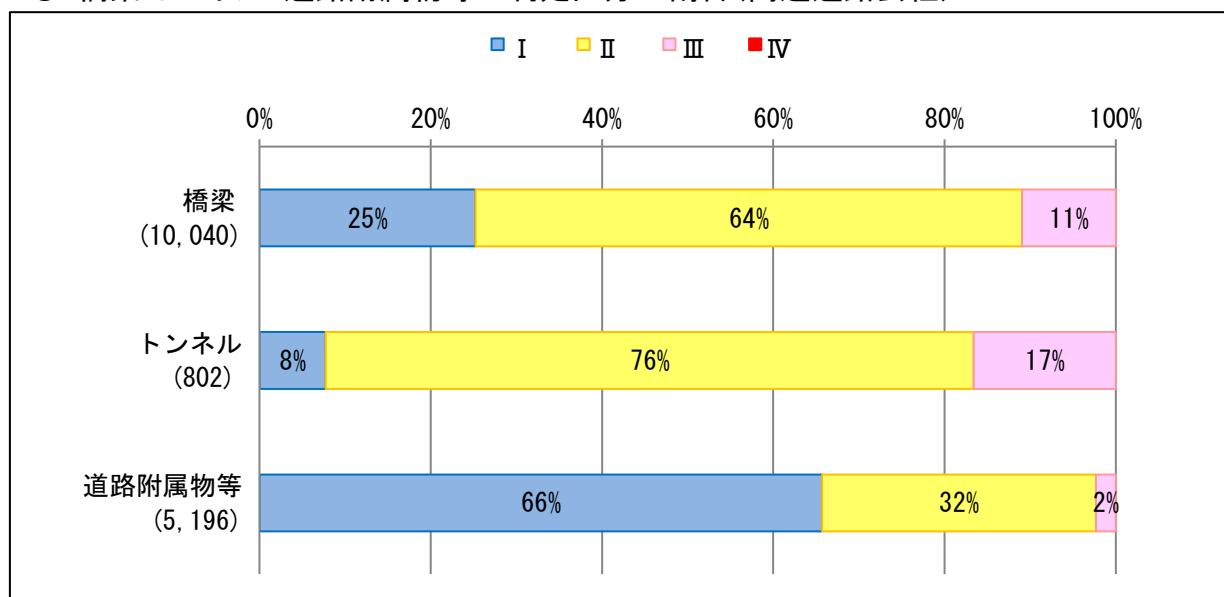
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	24,663	24,420	10,040	41% (38%)
トンネル	2,113	2,078	802	39% (36%)
道路附属物等	12,431	12,241	5,196	42% (38%)

2026.3 末時点

※1: 2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2 巡目 (2019～2020 年度) における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	10,040	2,535	6,406	1,099	0
		25%	64%	11%	0%
トンネル	802	62	607	133	0
		8%	76%	17%	0%
道路附属物等	5,196	3,415	1,660	121	0
		66%	32%	2%	0%

2026.3 末時点

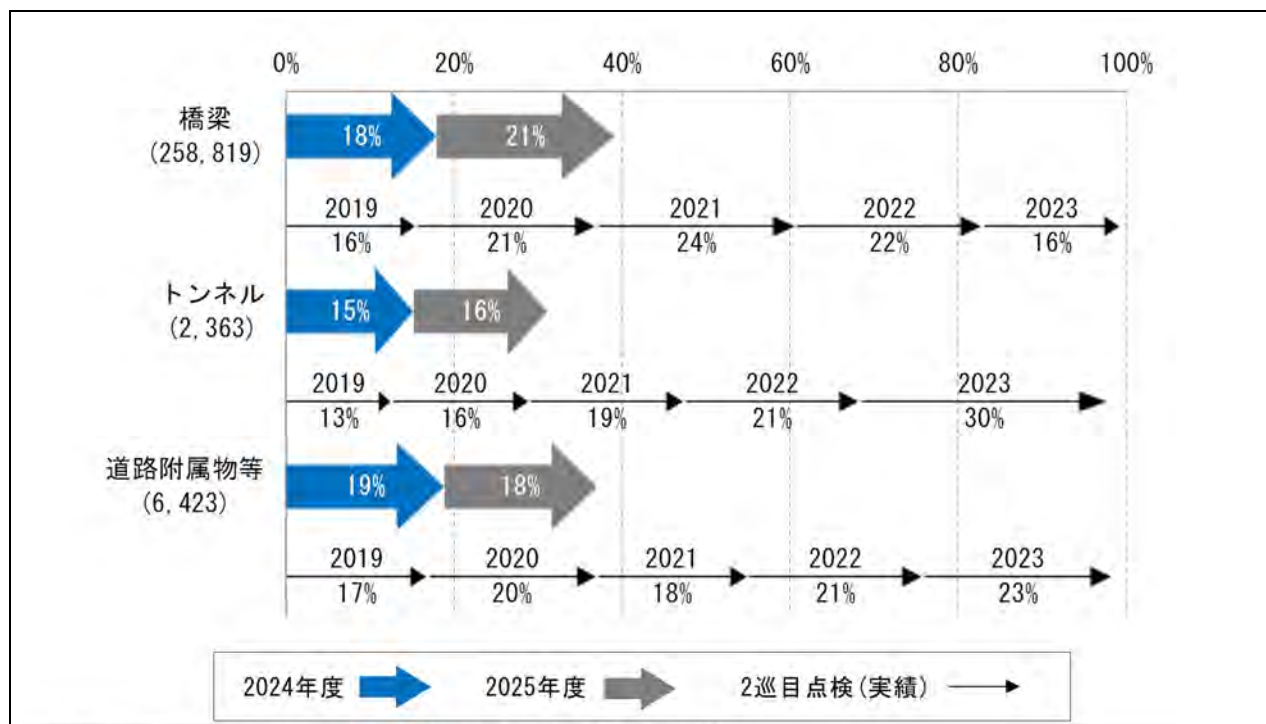
4) 地方公共団体

- 3 巡目（2024～2025 年度）の点検実施率は、橋梁 39%、トンネル 31%、道路附属物等 37%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 45%、Ⅱ 49%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 73%、Ⅲ 24%、Ⅳ 0.3%、道路附属物等：Ⅰ 29%、Ⅱ 59%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.03%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3 巡目（2024～2025 年度）の点検実施率（地方公共団体）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

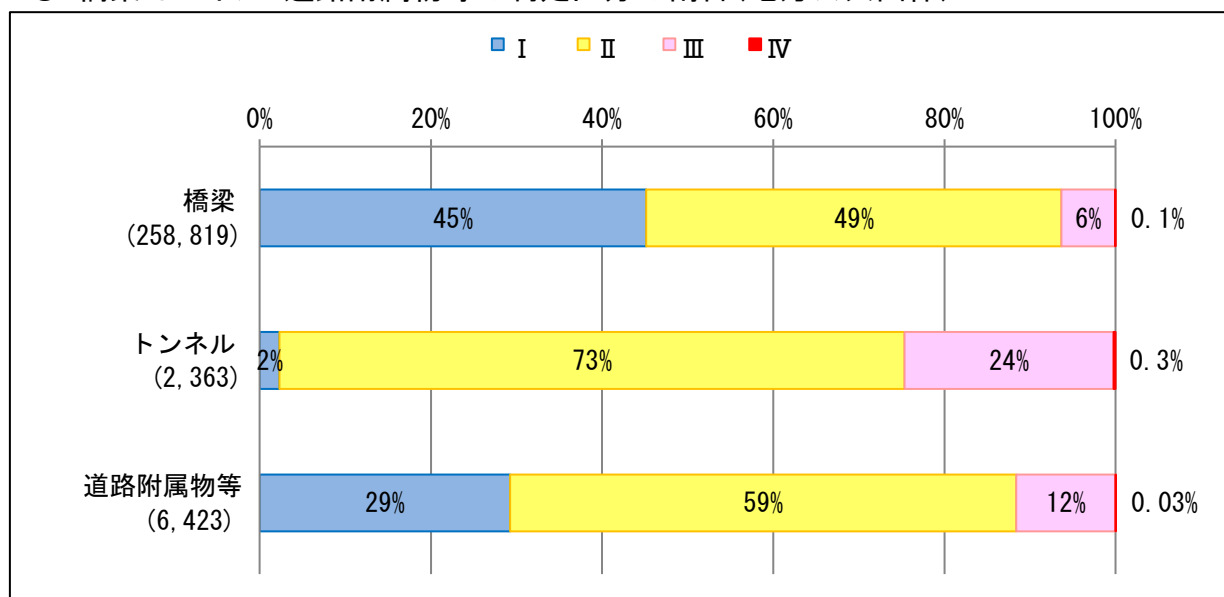
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	666,258	662,637	258,819	39% (37%)
トンネル	7,739	7,606	2,363	31% (29%)
道路附属物等	17,513	17,379	6,423	37% (37%)

2026.3 末時点

※1: 2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2 巡目 (2019～2020 年度) における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	258,819	116,879	125,569	16,193	178
		45%	49%	6%	0.1%
トンネル	2,363	55	1,725	577	6
		2%	73%	24%	0.3%
道路附属物等	6,423	1,879	3,798	744	2
		29%	59%	12%	0.03%

2026.3 末時点

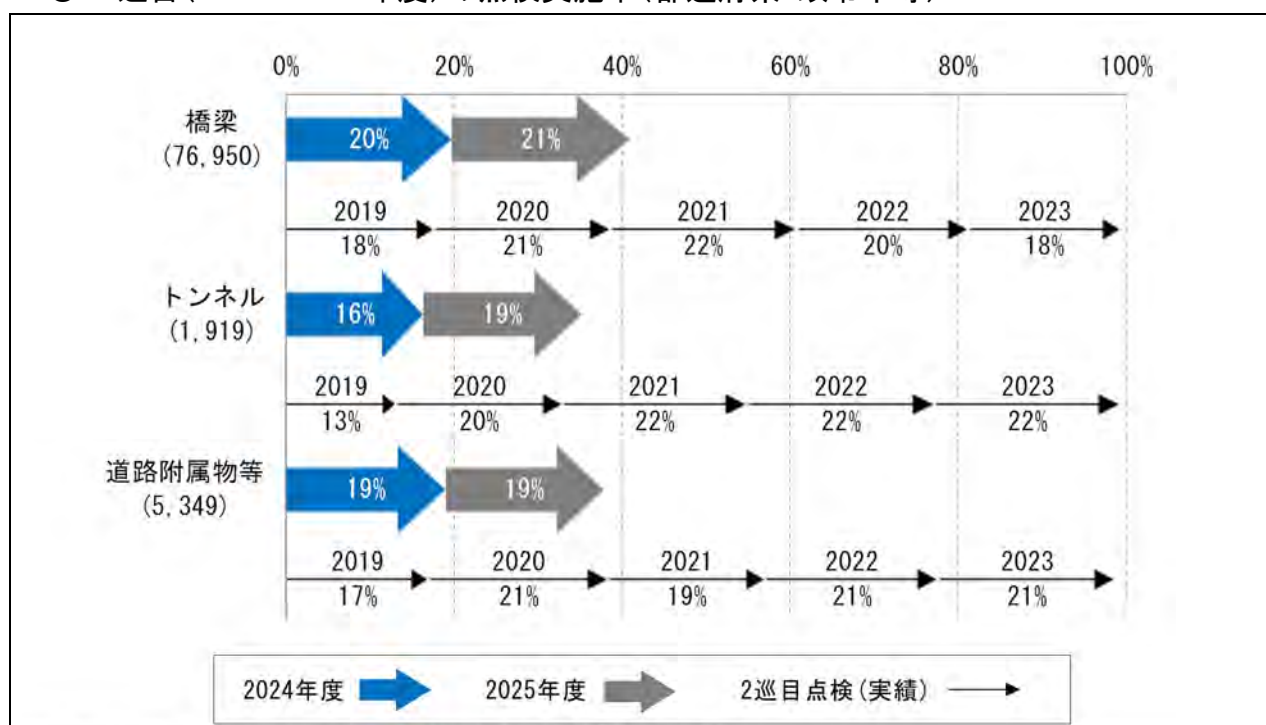
5) 都道府県・政令市等

- 3巡目（2024～2025年度）の点検実施率は、橋梁 41%、トンネル 35%、道路附属物等 38%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 39%、Ⅱ 54%、Ⅲ 8%、Ⅳ 0.01%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 73%、Ⅲ 25%、道路附属物等：Ⅰ 29%、Ⅱ 59%、Ⅲ 12%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目（2024～2025年度）の点検実施率（都道府県・政令市等）



※()内は、2024～2025年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

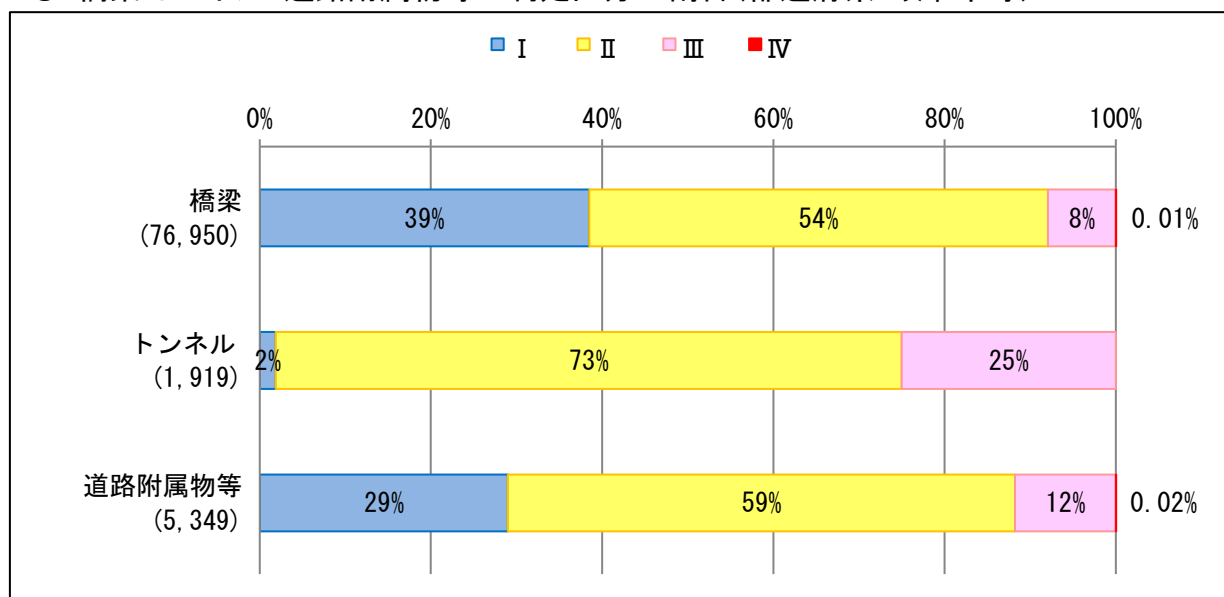
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	189,382	188,015	76,950	41% (39%)
トンネル	5,590	5,465	1,919	35% (33%)
道路附属物等	14,262	14,169	5,349	38% (38%)

2026.3 末時点

※1: 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2: 点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019～2020年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	76,950	29,626	41,211	6,107	6
		39%	54%	8%	0.01%
トンネル	1,919	36	1,403	480	0
		2%	73%	25%	0%
道路附属物等	5,349	1,552	3,167	629	1
		29%	59%	12%	0.02%

2026.3 末時点

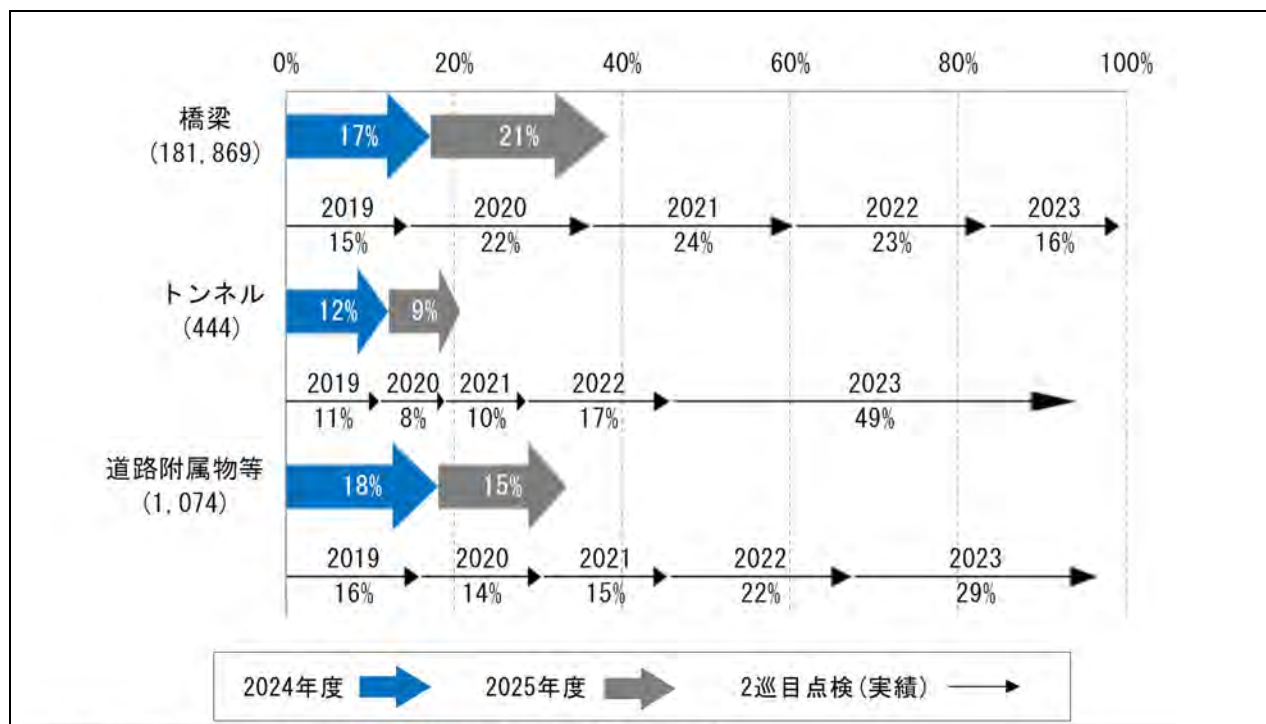
6)市区町村

- 3巡目（2024～2025年度）の点検実施率は、橋梁 38%、トンネル 21%、道路附属物等 33%です。
- 判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 48%、Ⅱ 46%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 4%、Ⅱ 73%、Ⅲ 22%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 30%、Ⅱ 59%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 3巡目（2024～2025年度）の点検実施率（市区町村）



※()内は、2024～2025年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

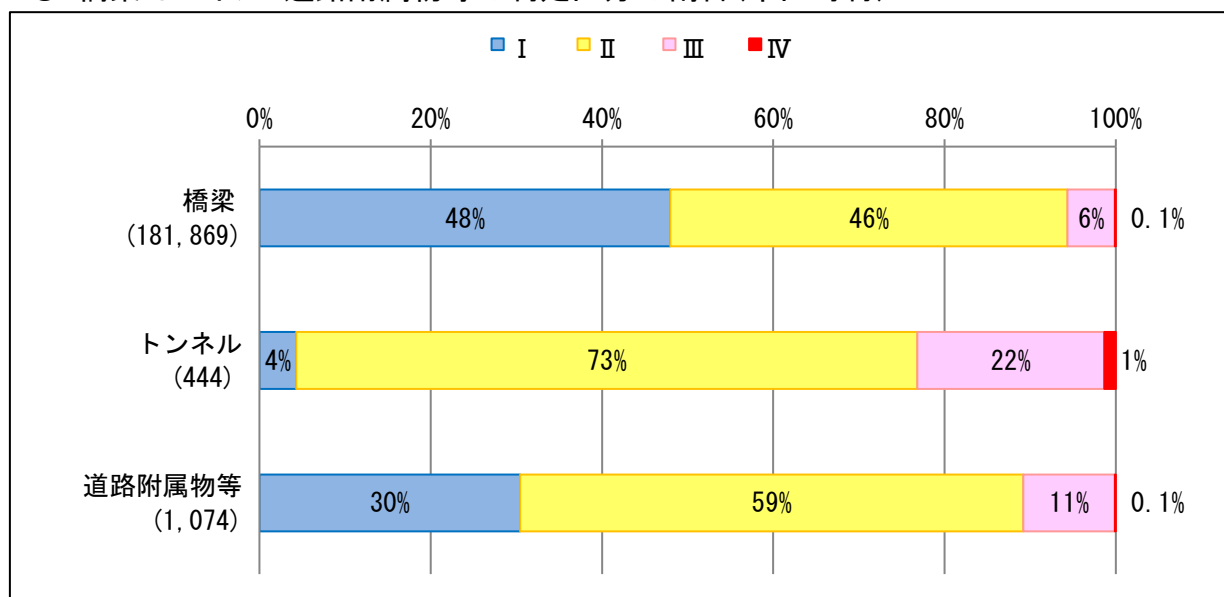
	管理施設数	うち点検対象施設数※1	点検実施数	点検実施率※2
橋梁	476,876	474,622	181,869	38% (36%)
トンネル	2,149	2,141	444	21% (19%)
道路附属物等	3,251	3,210	1,074	33% (31%)

2026.3末時点

※1:2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

※2:点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。()内は、2巡目(2019～2020年度)における点検実施率であり、四捨五入の関係で上記グラフの年度毎の合計値とは一致しない場合がある。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（市区町村）



※()内は、2024～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

	点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	181,869	87,253	84,358	10,086	172
		48%	46%	6%	0.1%
トンネル	444	19	322	97	6
		4%	73%	22%	1%
道路附属物等	1,074	327	631	115	1
		30%	59%	11%	0.1%

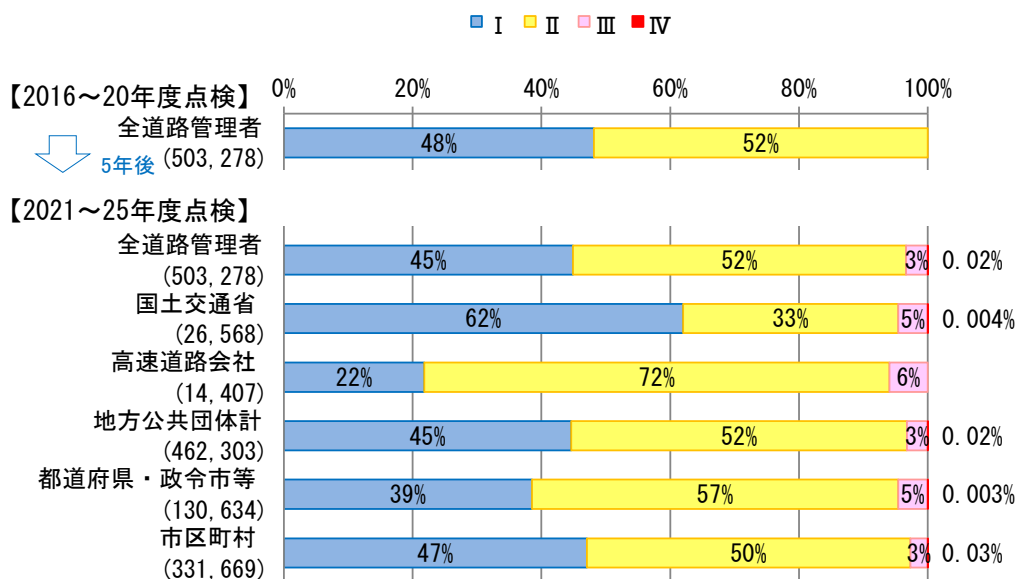
2026.3 末時点

(2) 判定区分Ⅰ・Ⅱの施設の5年後の判定区分Ⅲ・Ⅳへの遷移状況

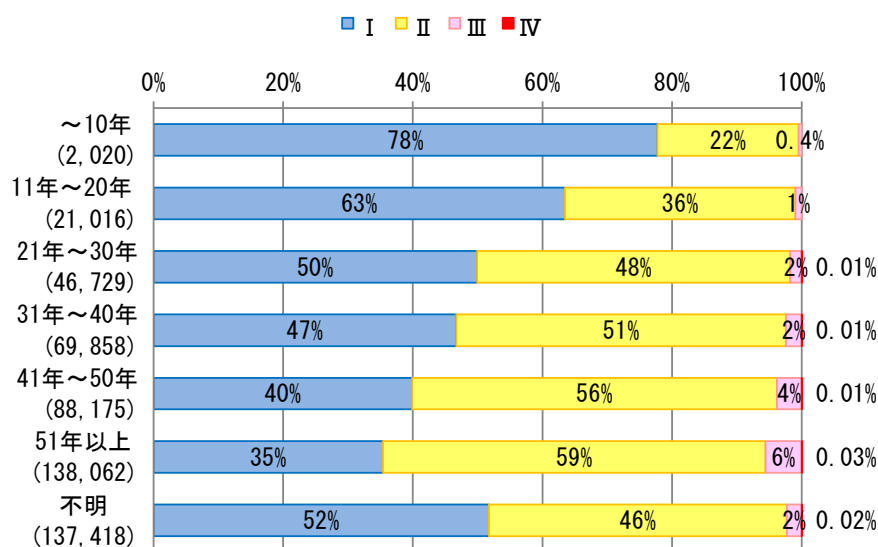
1) 橋梁

- 2016～2020年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）と判定された橋梁のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2021～2025年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した橋梁の割合は全道路管理者合計で3%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



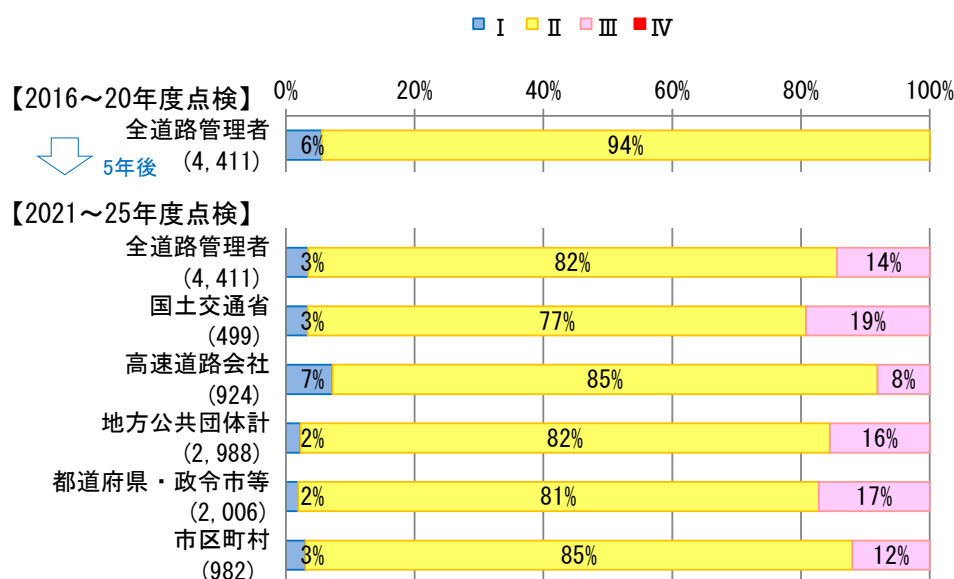
※()内は、直近5年間(2021～2025年度)に点検を実施した橋梁のうち、前回点検を5年前(2016～2020年度)に実施しており、判定区分がⅠまたはⅡで修繕等の措置を講じていない施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

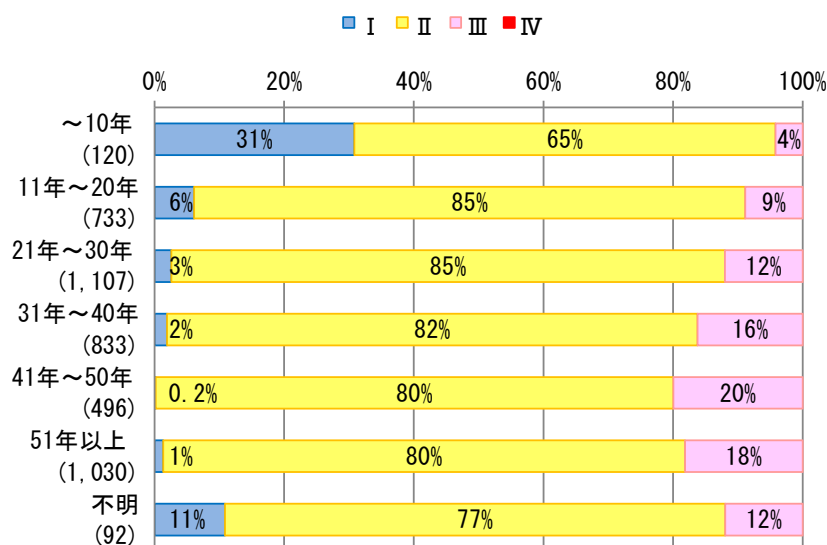
2)トンネル

- 2016～2020年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定されたトンネルのうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2021～2025年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移したトンネルの割合は全道路管理者合計で14%です。
- 建設後経過年数が31年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



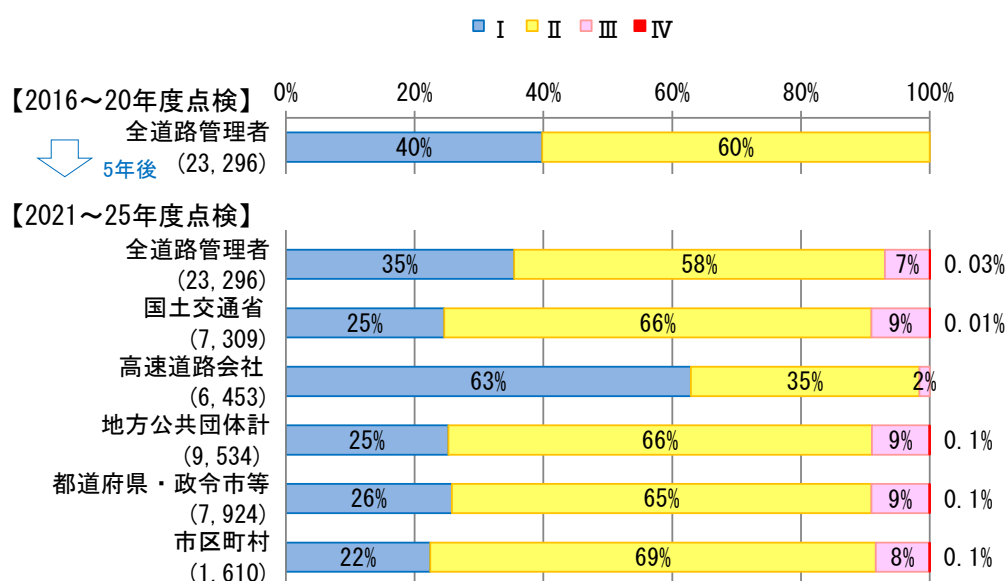
※()内は、直近5年間(2021～2025年度)に点検を実施した橋梁のうち、前回点検を5年前(2016～2020年度)に実施しており、判定区分がⅠまたはⅡで修繕等の措置を講じていない施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

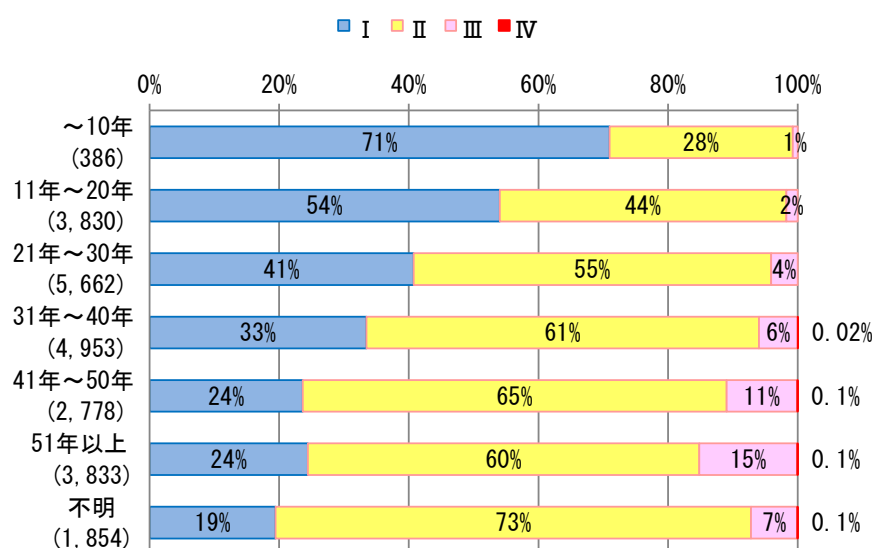
3)道路附属物等

- 2016～2020年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（区分Ⅰ・Ⅱ）に判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2021～2025年度の点検において、早期又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した道路附属物等の割合は全道路管理者合計で7%です。
- 建設後経過年数に比例して、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

○ 管理者別の判定区分の遷移状況



○ 建設後経過年数別の遷移状況(全道路管理者合計)



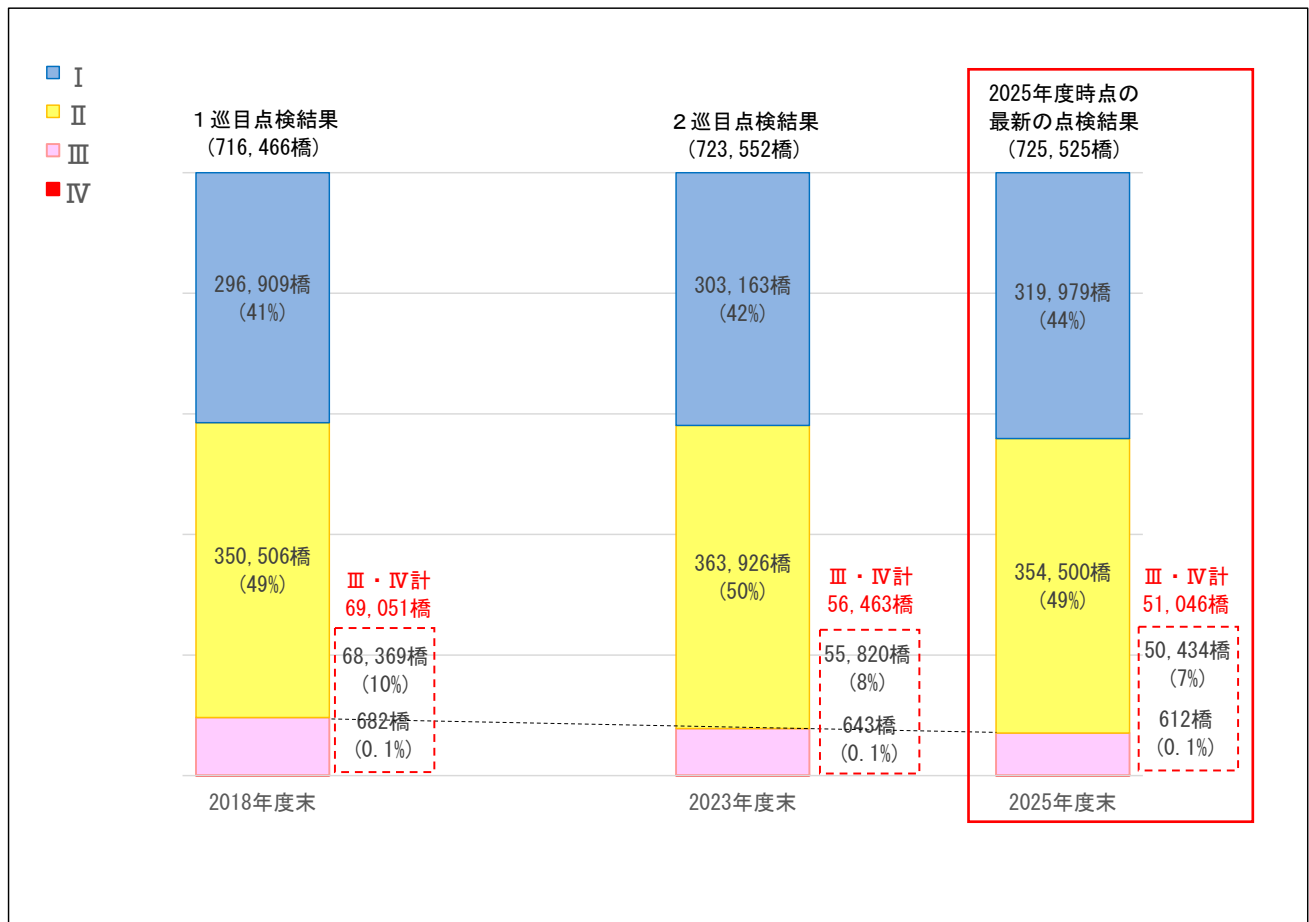
※()内は、直近5年間(2021～2025年度)に点検を実施した橋梁のうち、前回点検を5年前(2016～2020年度)に実施しており、判定区分がⅠまたはⅡで修繕等の措置を講じていない施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

(3) 過年度の点検(2014～2025 年度)の実施施設の判定区分毎の施設数と割合

1) 橋梁

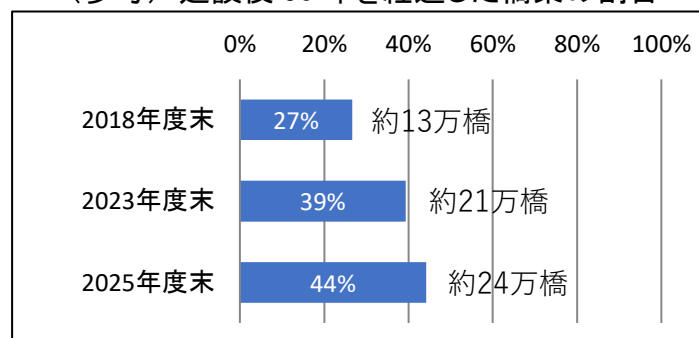
- 過年度の点検(2014～2025 年度)における判定区分の割合は、Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁は51,046 橋であった。
- 1 巡目点検終了時点と比較すると建設後 50 年以上経過した橋梁数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

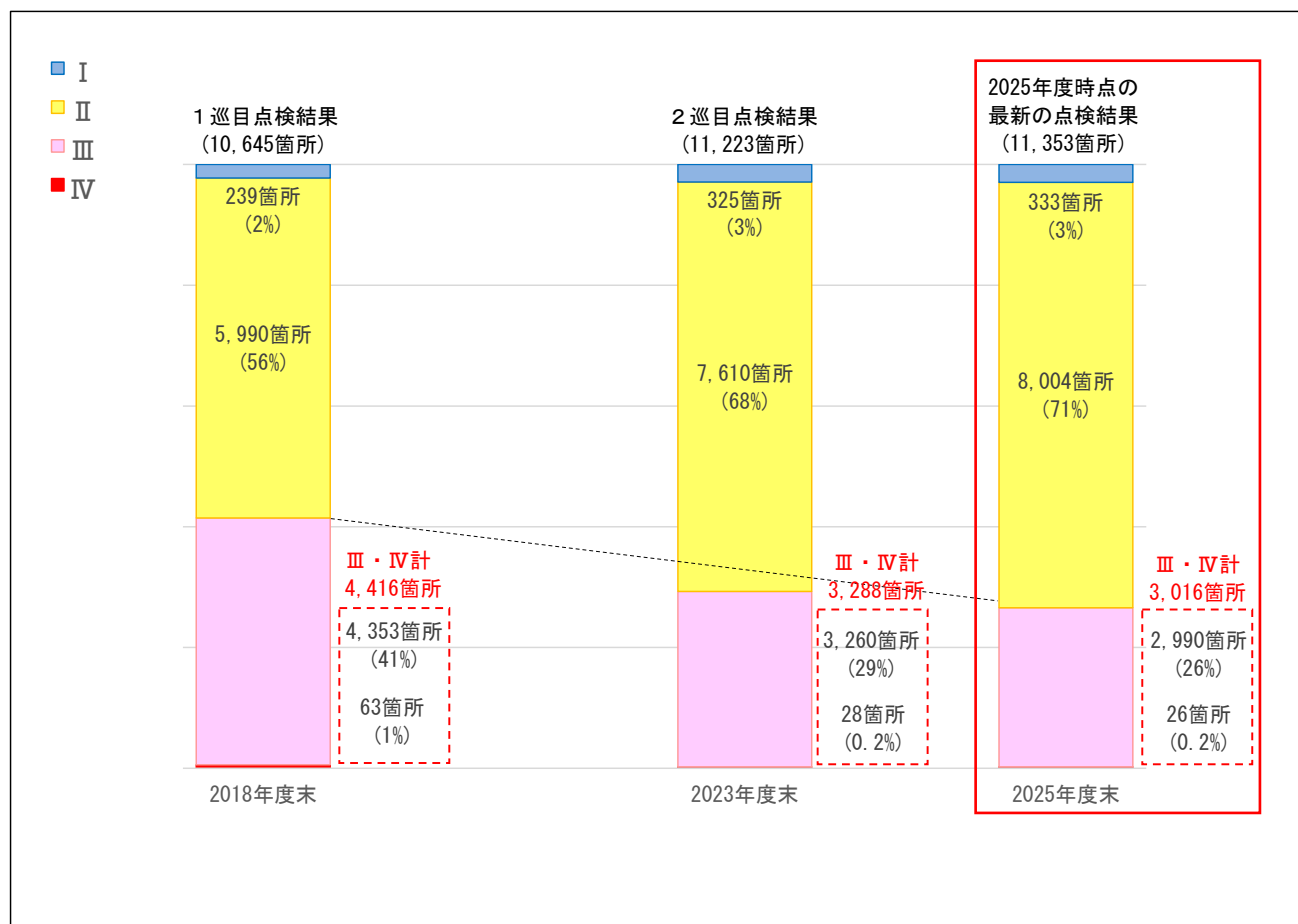
(参考) 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁がある。

2)トンネル

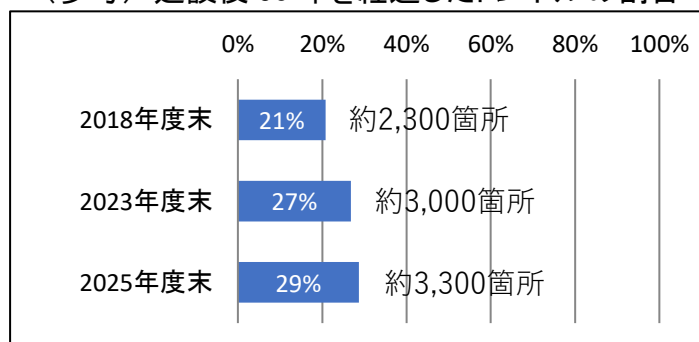
- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 71%、Ⅲ 26%、Ⅳ 0.2%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネルは3,016箇所であった。
- 1巡目点検終了時点と比較すると建設後50年以上経過したトンネル数は増加している一方で、年々判定区分Ⅲ・Ⅳのトンネル数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

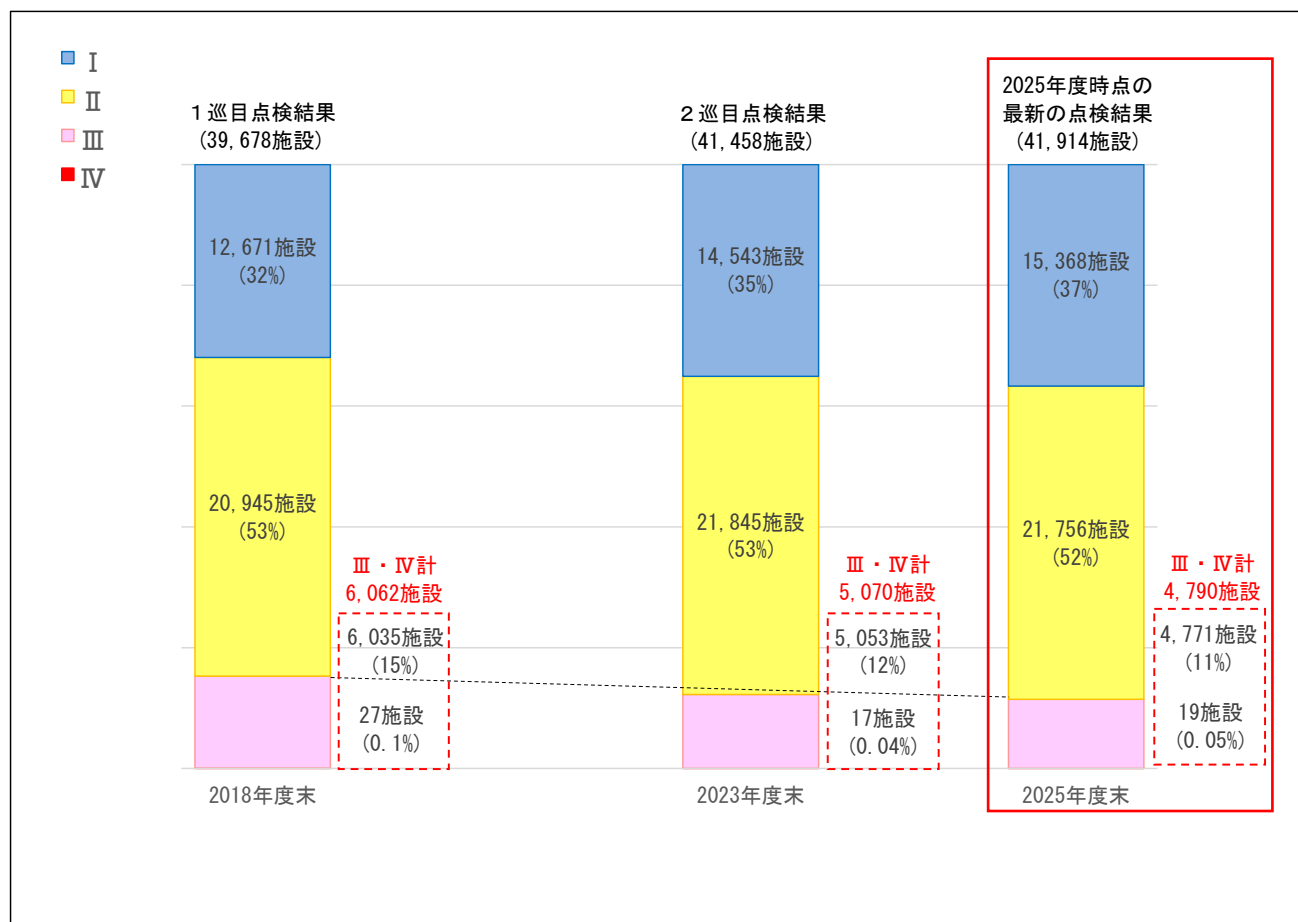
(参考) 建設後50年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルがある。

3)道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、Ⅰ 37%、Ⅱ 52%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.05%であり、修繕等が必要な判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等は 4,790 施設であった。
- 1 巡目点検結果から推移をみると、年々判定区分Ⅲ・Ⅳの道路附属物等数は着実に減少している。



※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2014～2025 年度)の点検結果

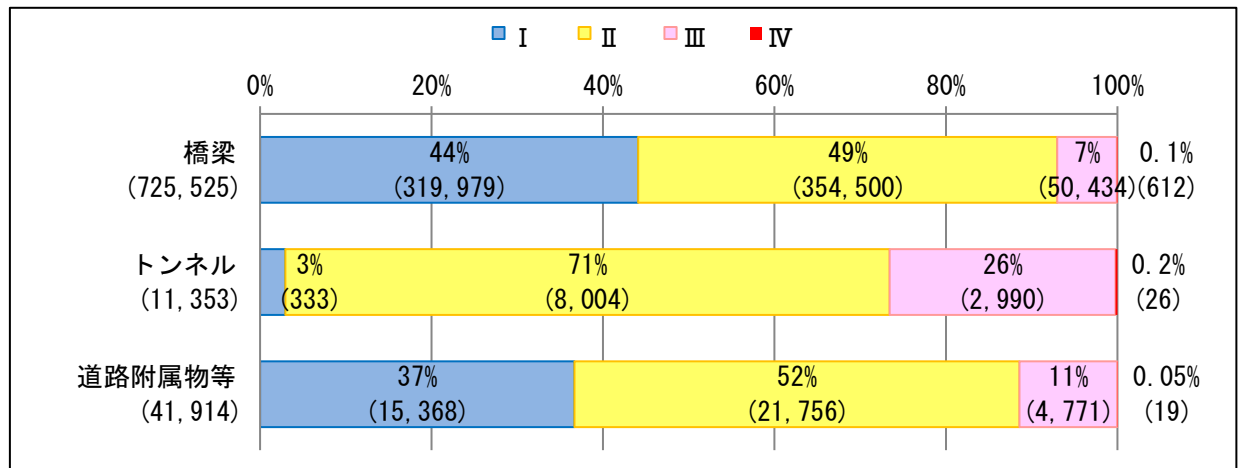
1) 全道路管理者

- 過年度の点検(2014～2025 年度)における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 71%、Ⅲ 26%、Ⅳ 0.2%、道路附属物等：Ⅰ 37%、Ⅱ 52%、Ⅲ 11%、Ⅳ 0.05%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)



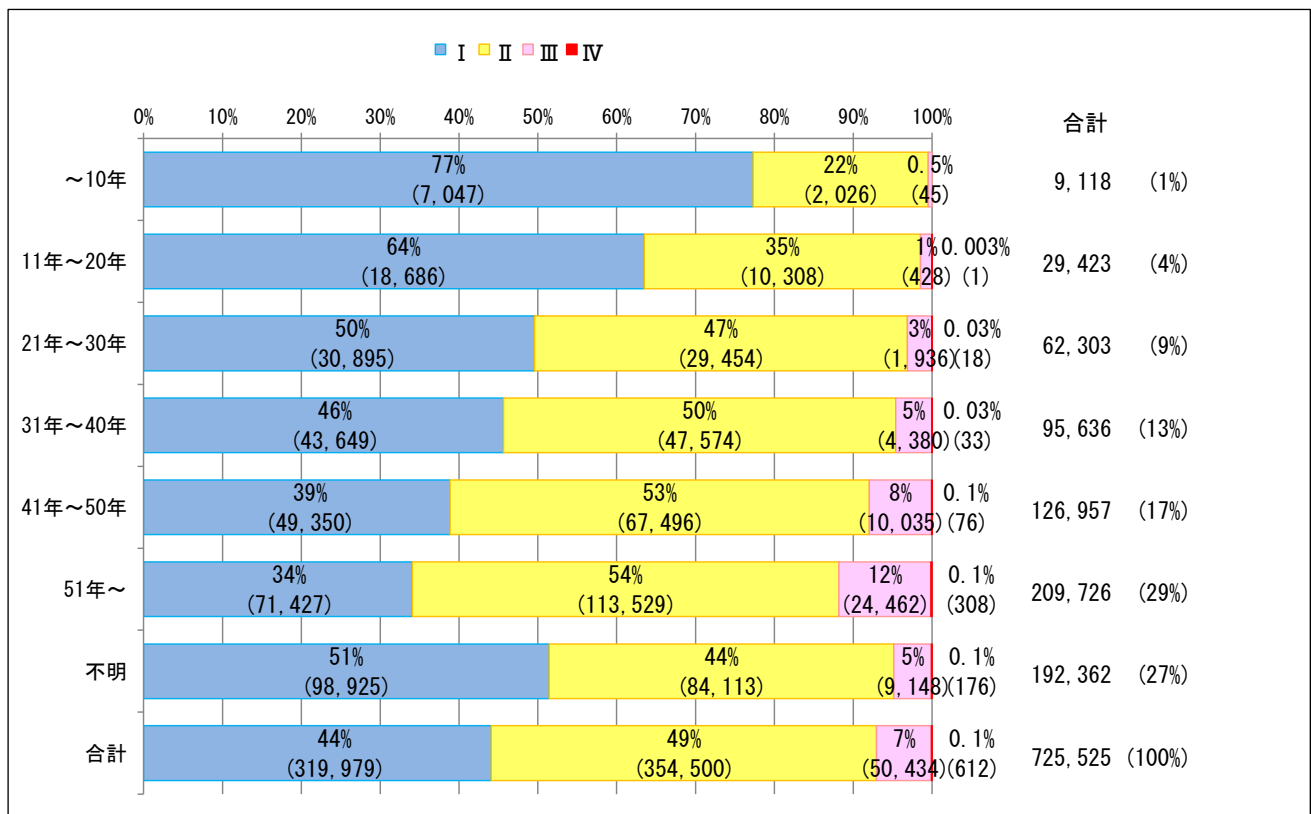
2026.3 末時点

※()内は、2026 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

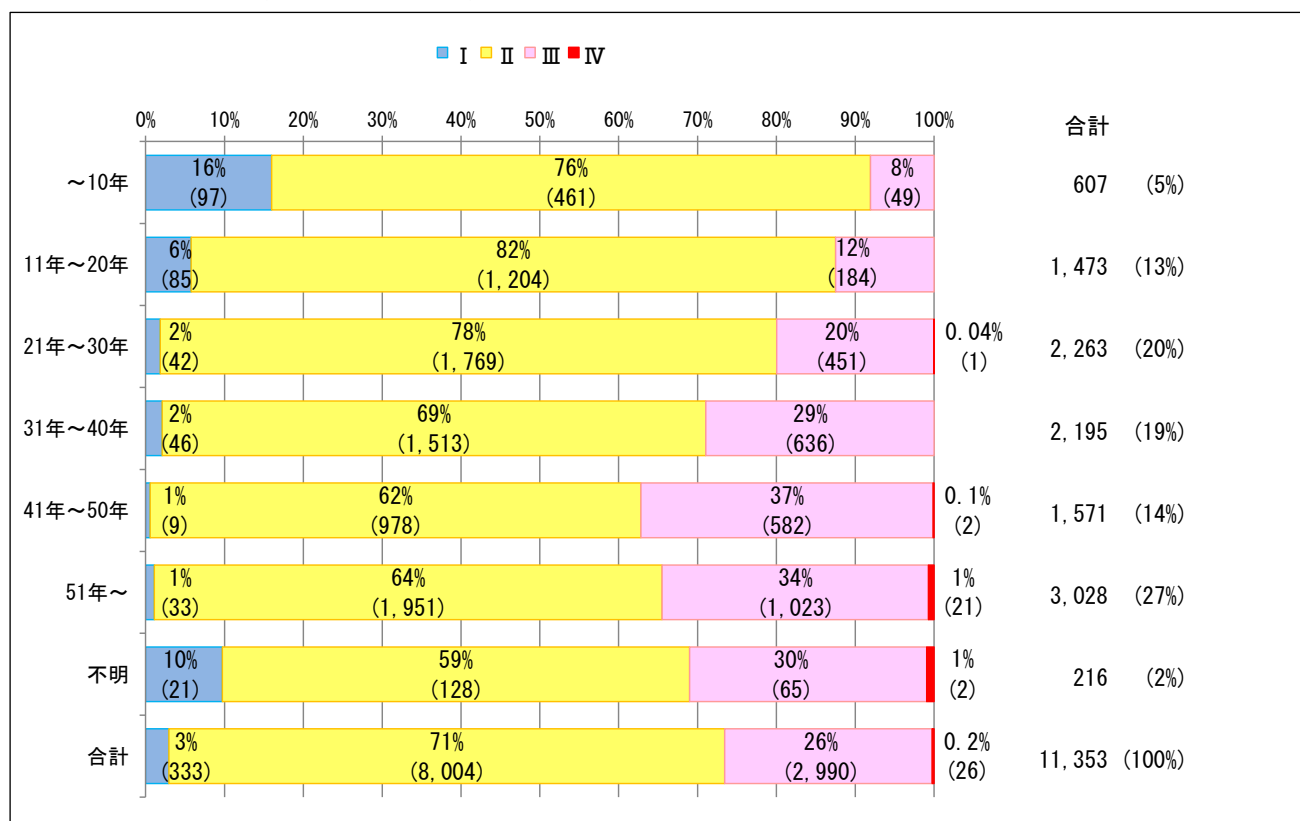
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

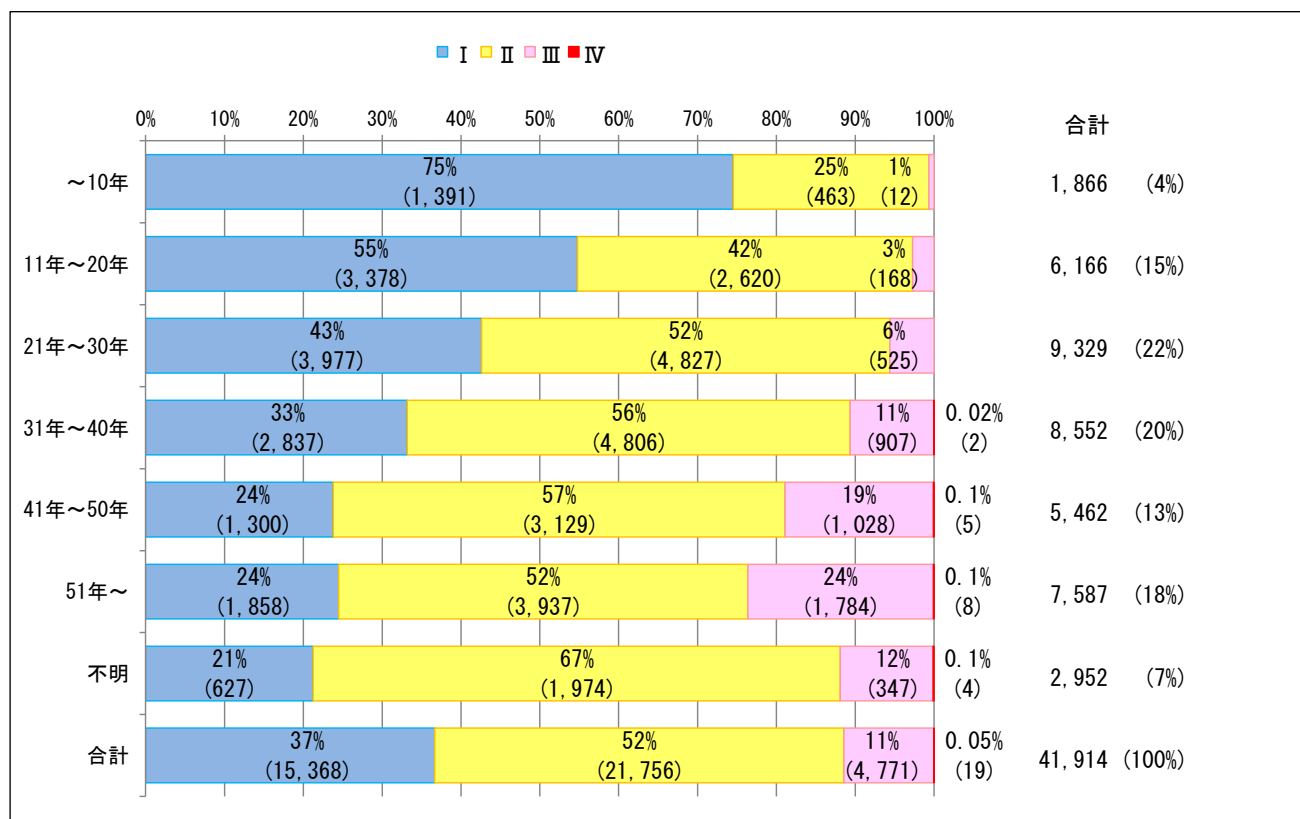
○ 判定区分と建設後経過年数(橋梁)



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



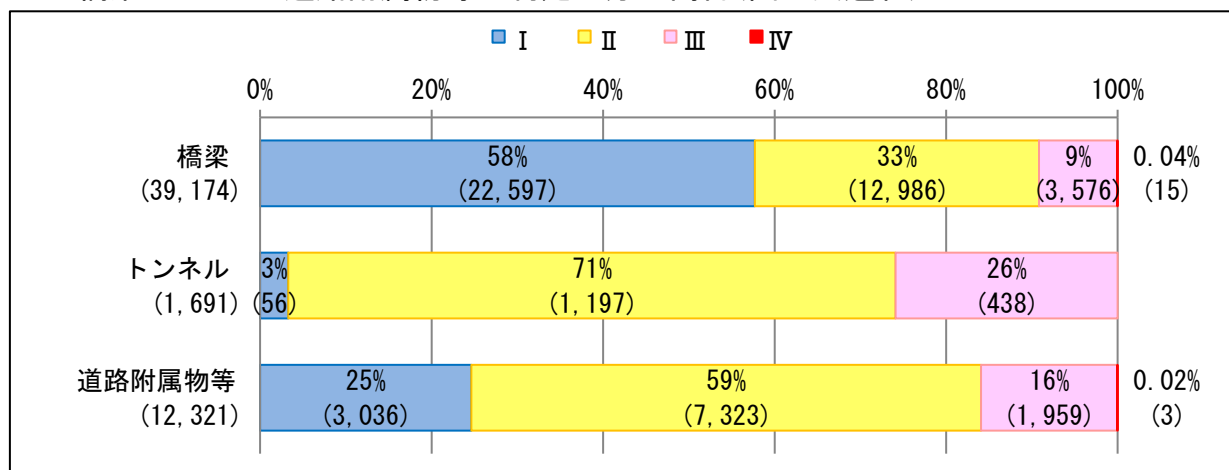
2) 国土交通省

- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 58%、Ⅱ 33%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.04%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 71%、Ⅲ 26%、道路附属物等：Ⅰ 25%、Ⅱ 59%、Ⅲ 16%、Ⅳ 0.02%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（国土交通省）



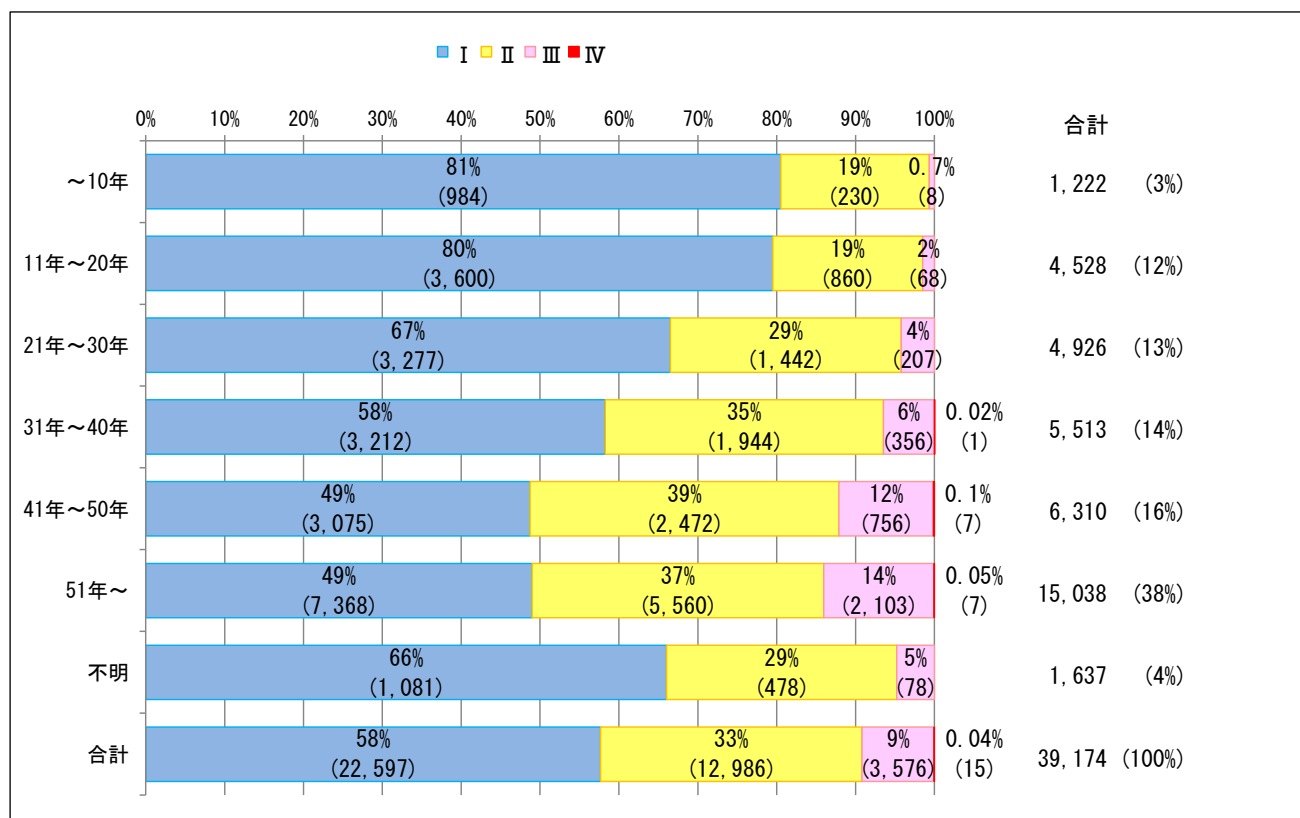
2026.3 末時点

※()内は、2026 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

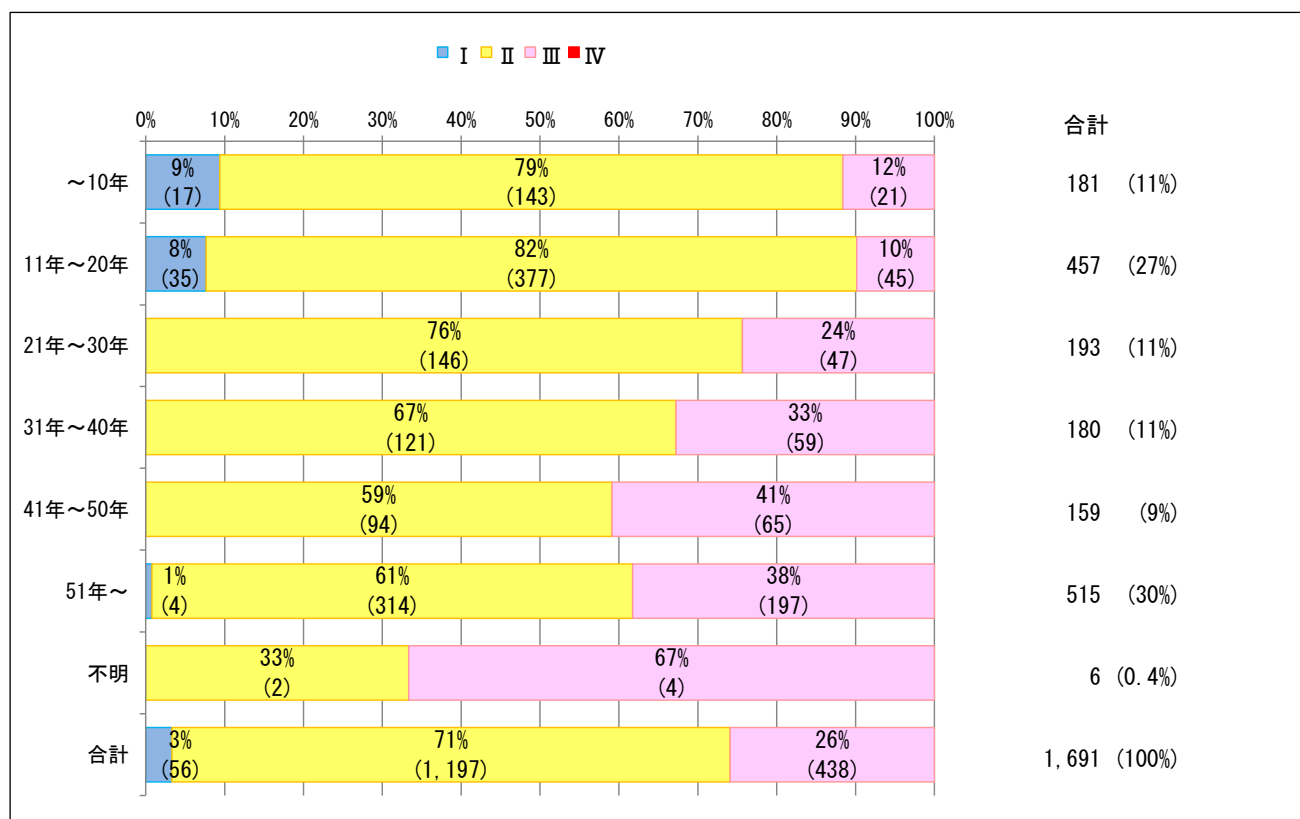
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

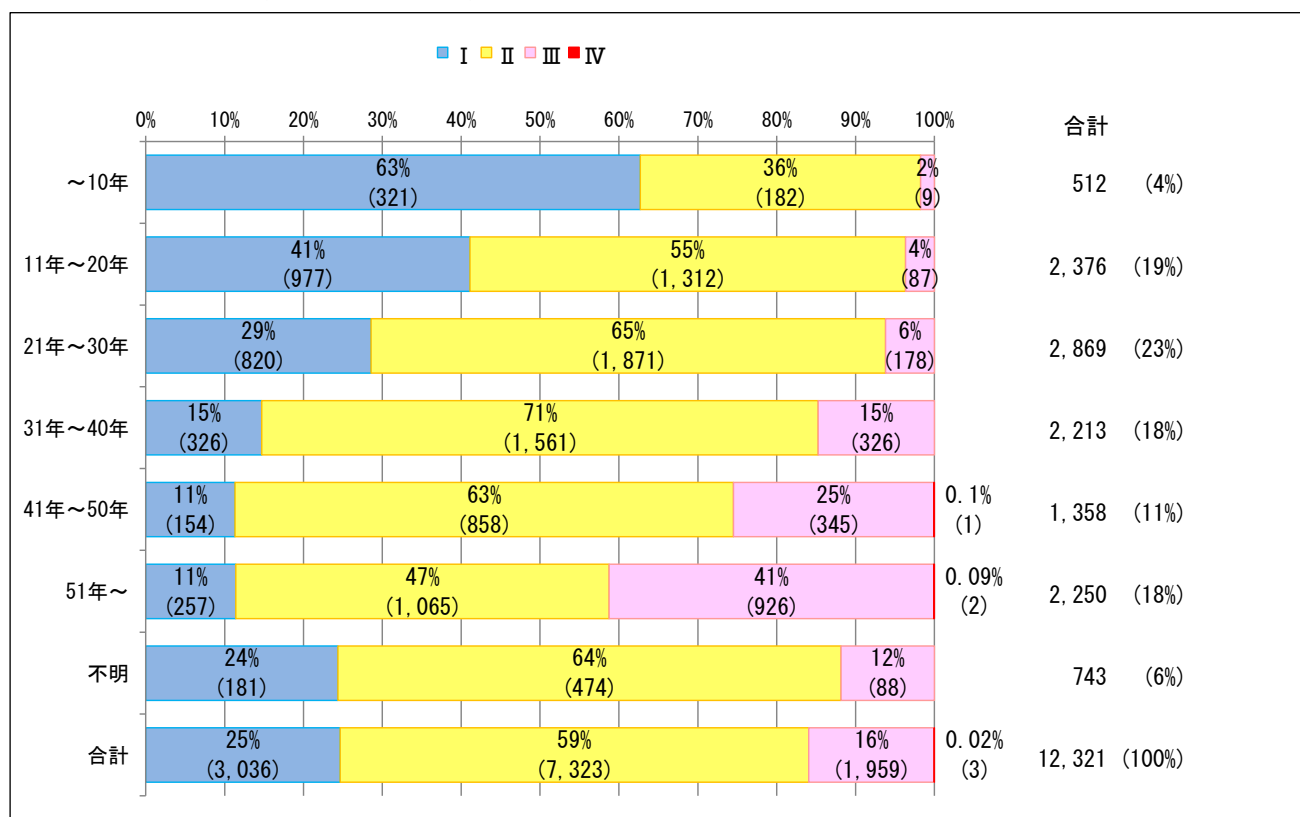
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



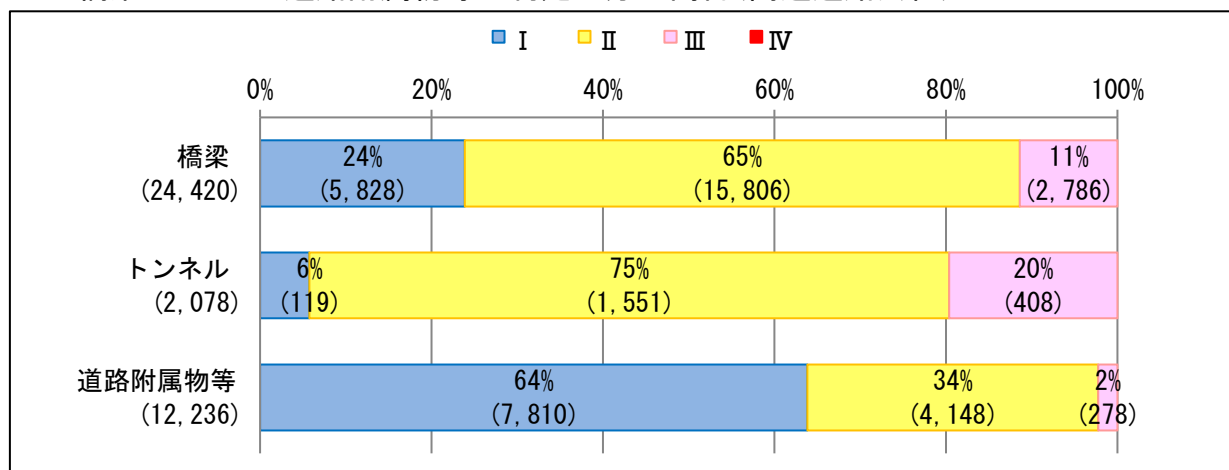
3) 高速道路会社

- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 24%、Ⅱ 65%、Ⅲ 11%、トンネル：Ⅰ 6%、Ⅱ 75%、Ⅲ 20%、道路附属物等：Ⅰ 64%、Ⅱ 34%、Ⅲ 2%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（高速道路会社）



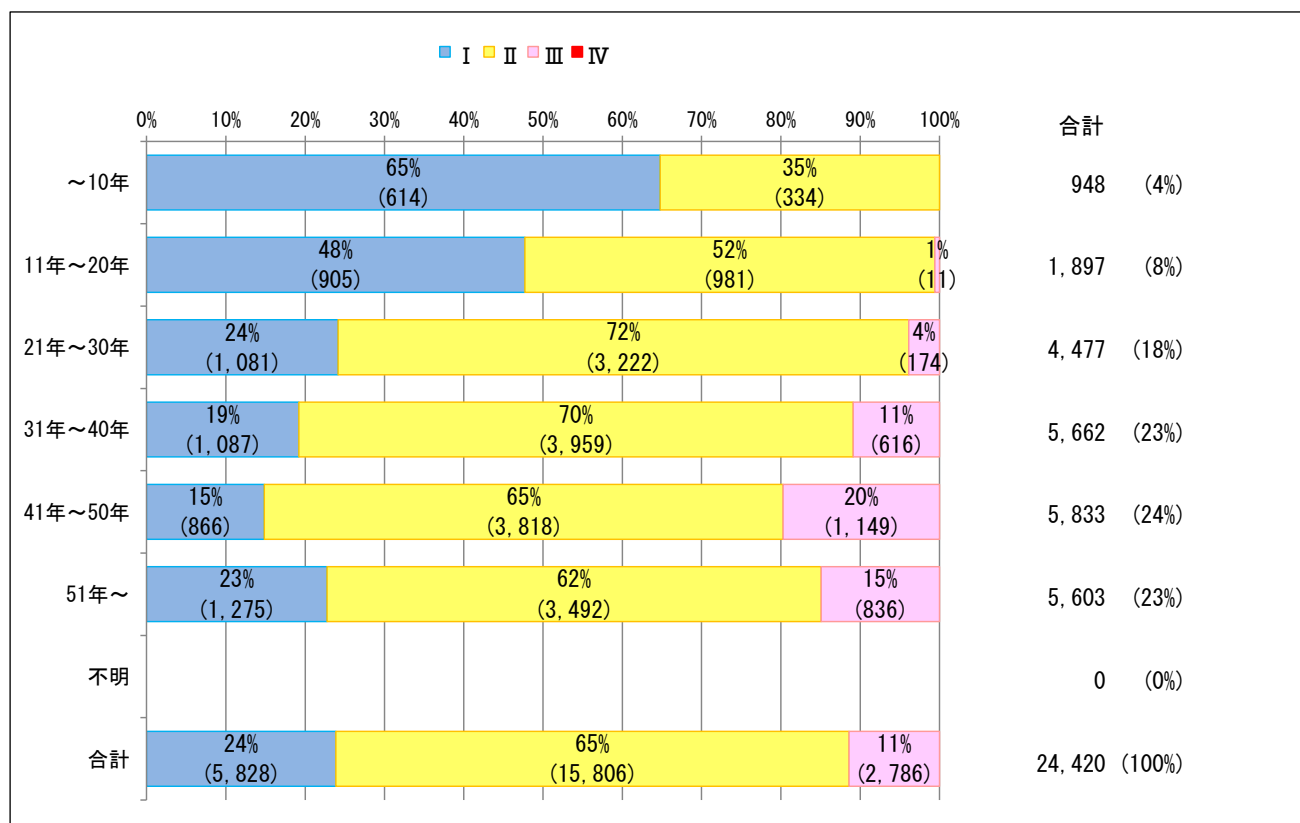
2026.3 末時点

※()内は、2026 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

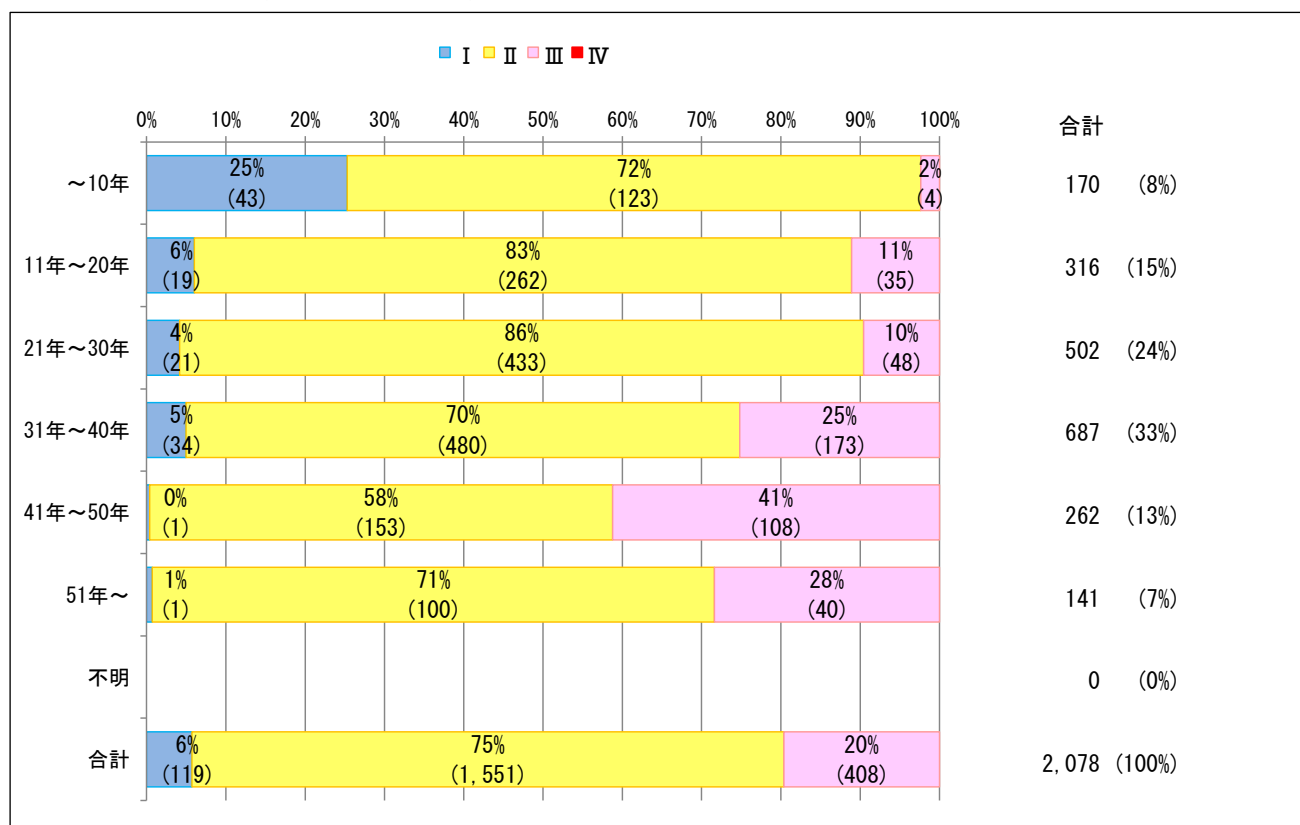
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

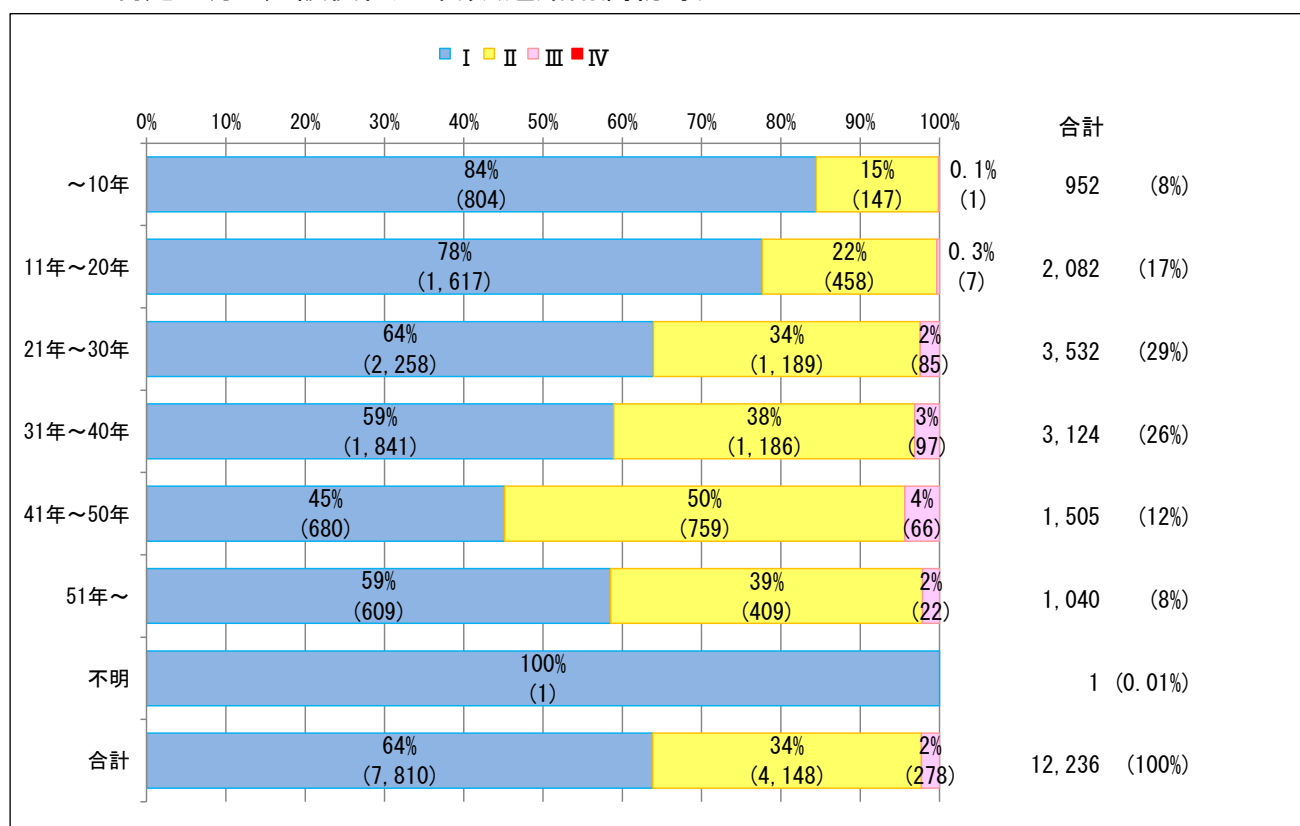
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



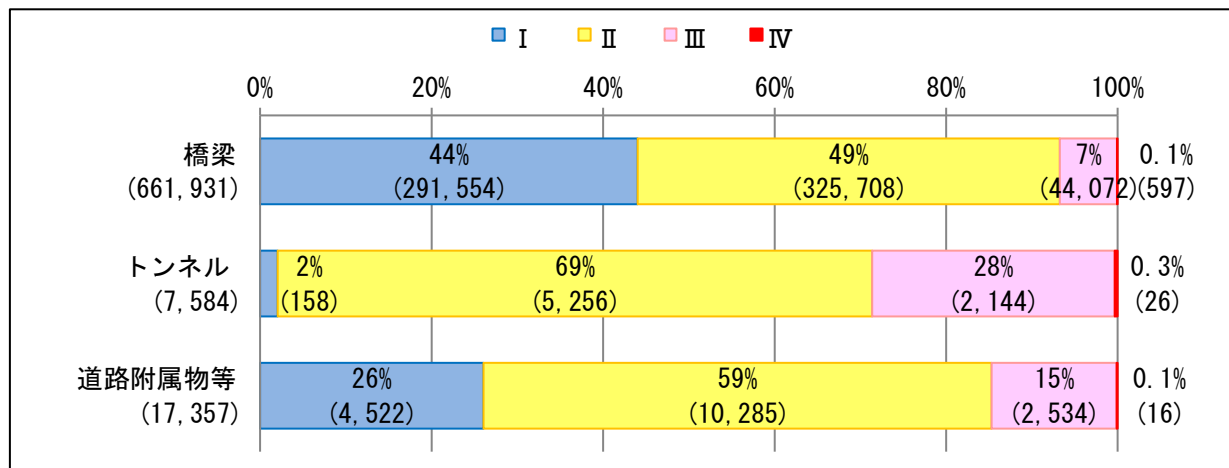
4) 地方公共団体

- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 69%、Ⅲ 28%、Ⅳ 0.3%、道路附属物等：Ⅰ 26%、Ⅱ 59%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（地方公共団体）



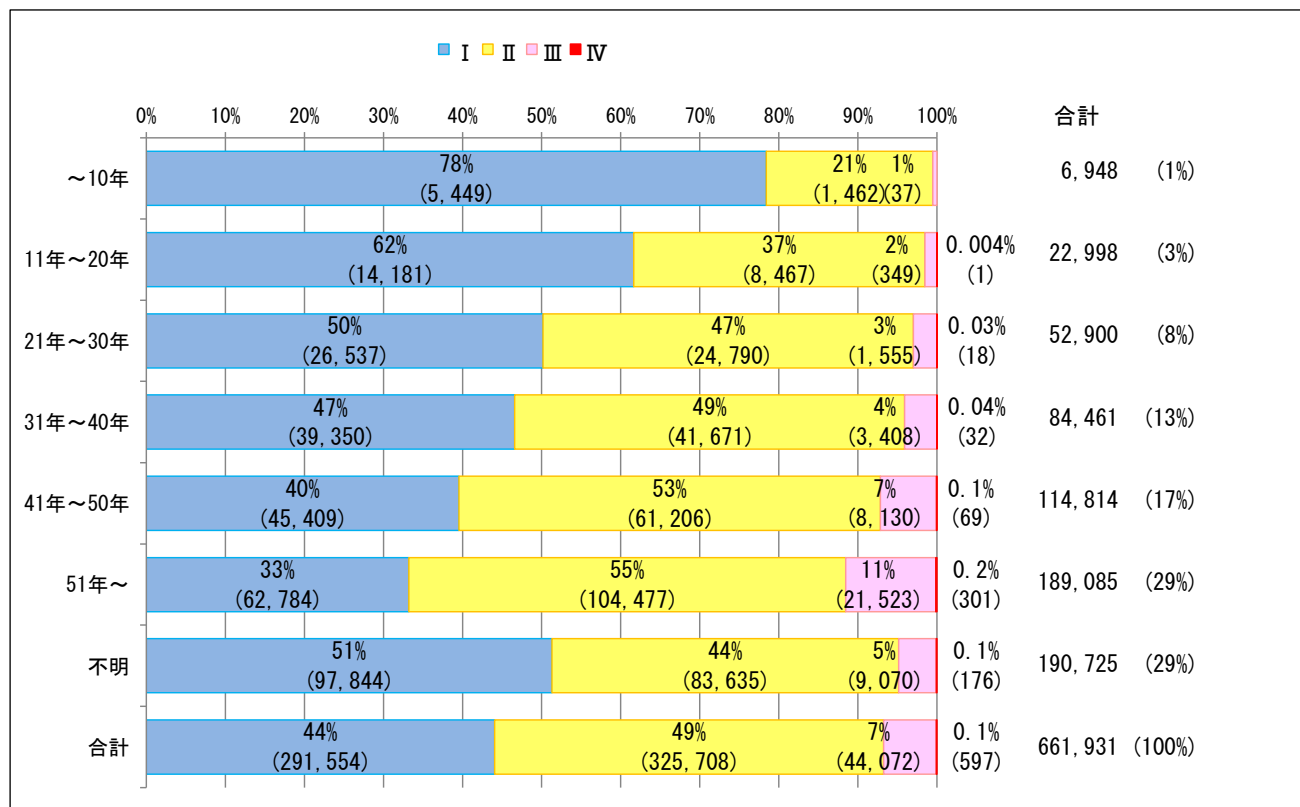
2026. 3 末時点

※()内は、2026 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

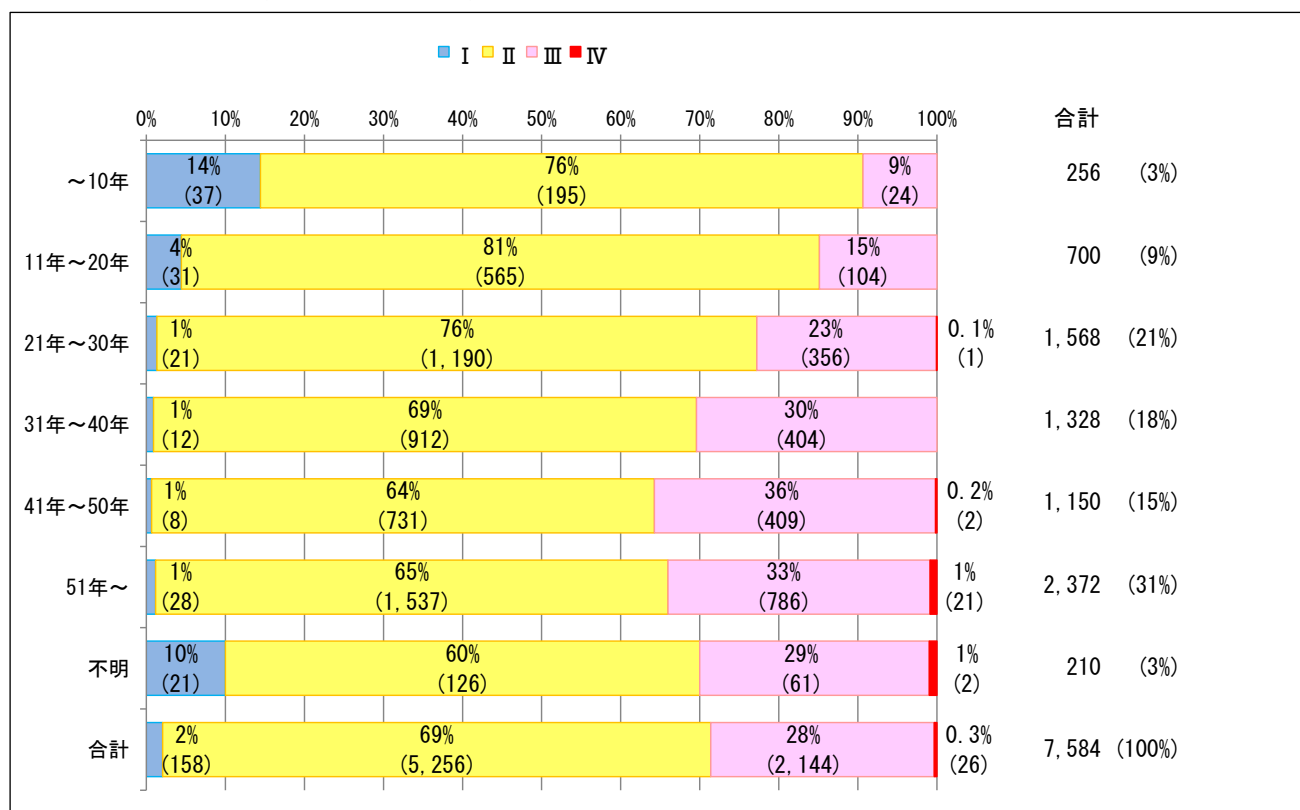
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

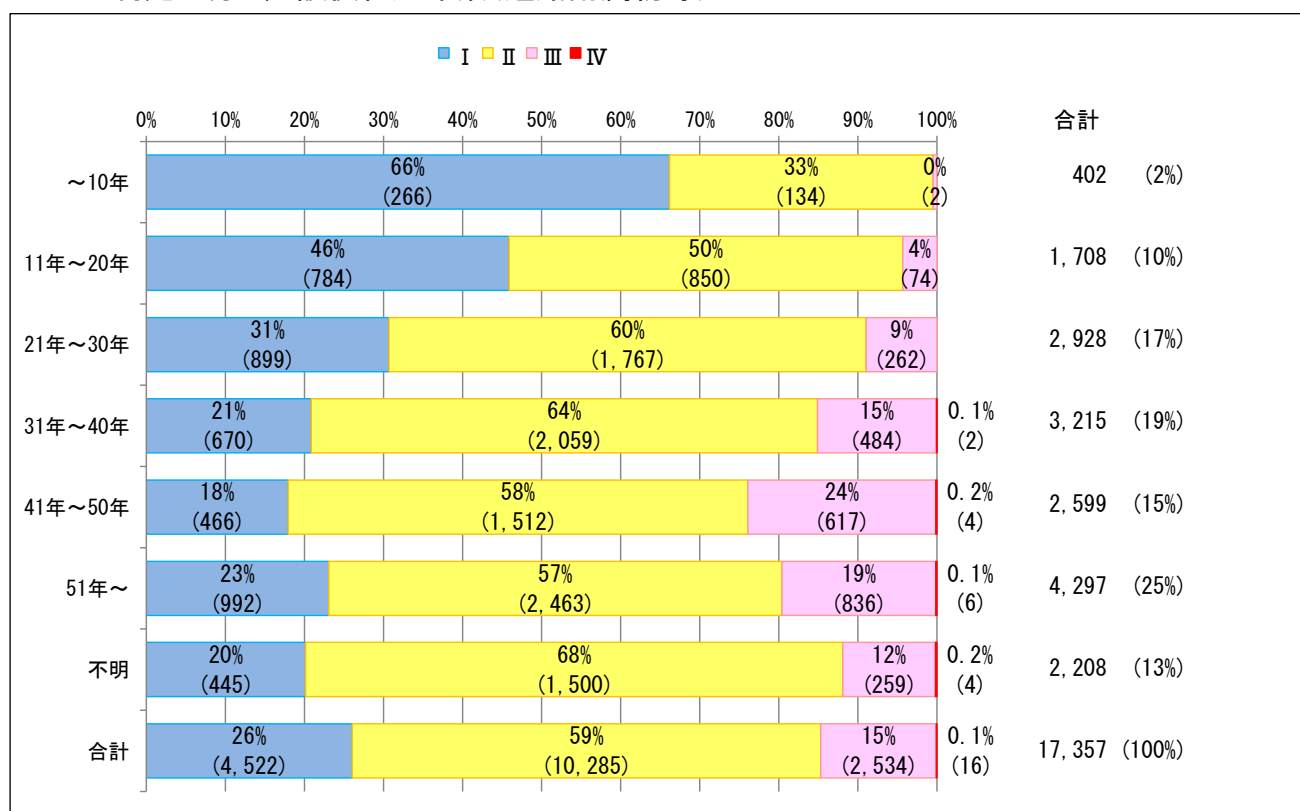
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



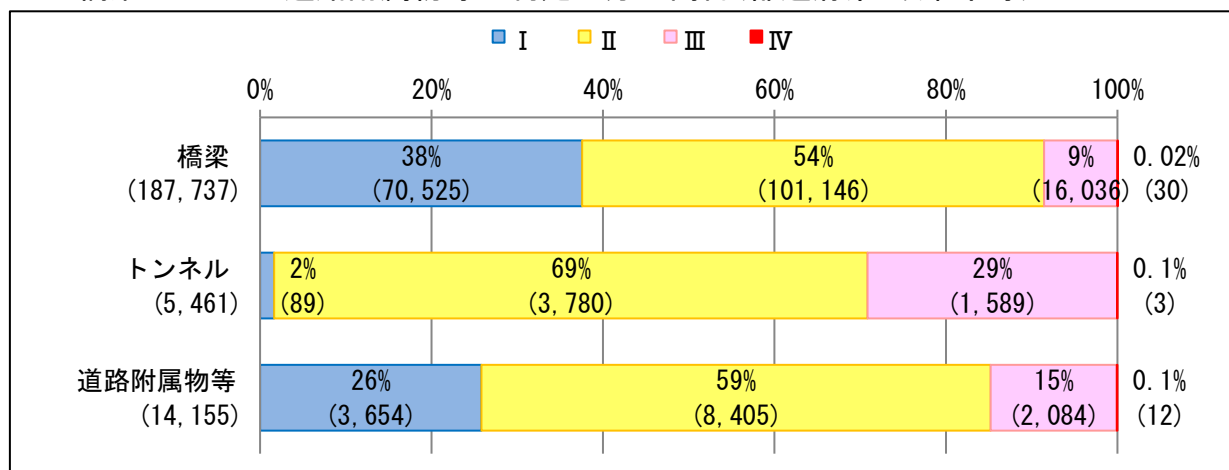
5) 都道府県・政令市等

- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 38%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%、トンネル：Ⅰ 2%、Ⅱ 69%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.1%、道路附属物等：Ⅰ 26%、Ⅱ 59%、Ⅲ 15%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（都道府県・政令市等）



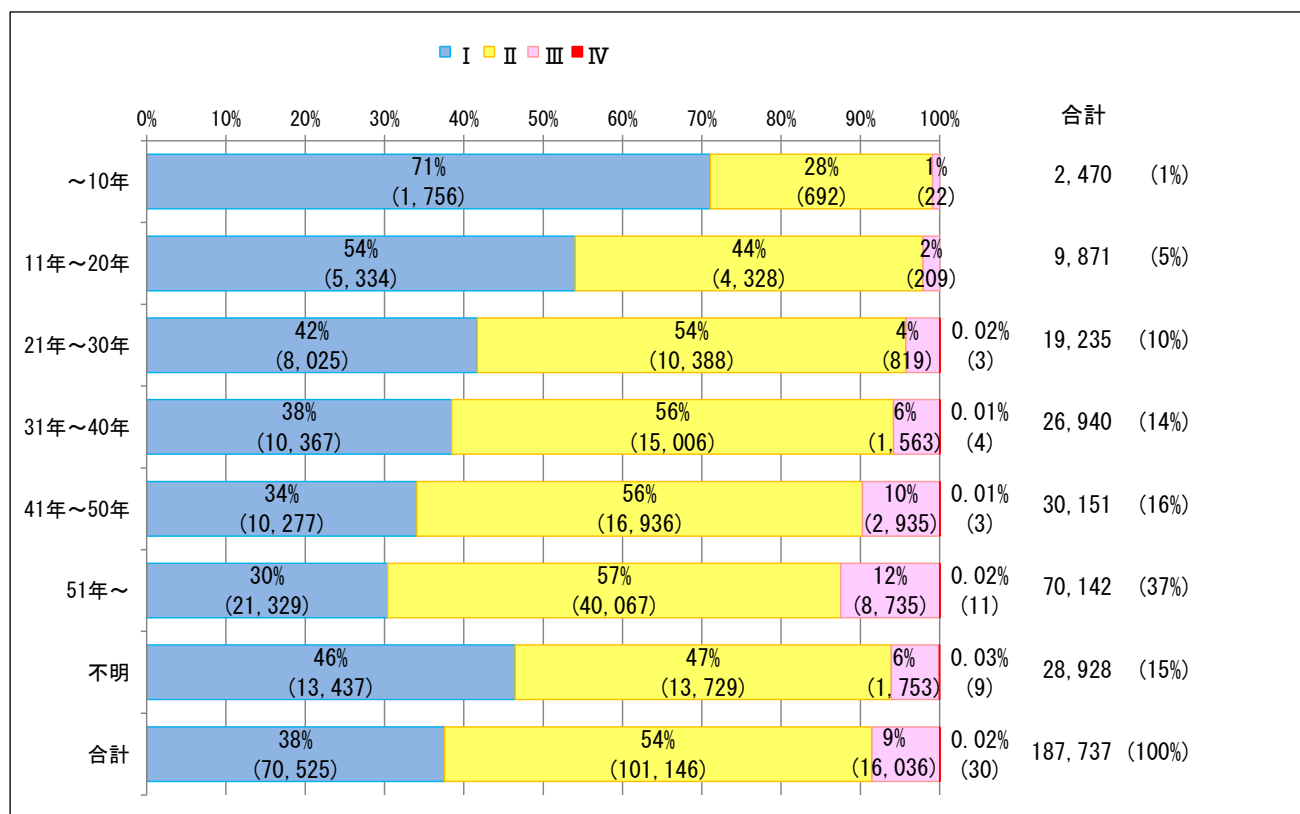
2026.3 末時点

※()内は、2026 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

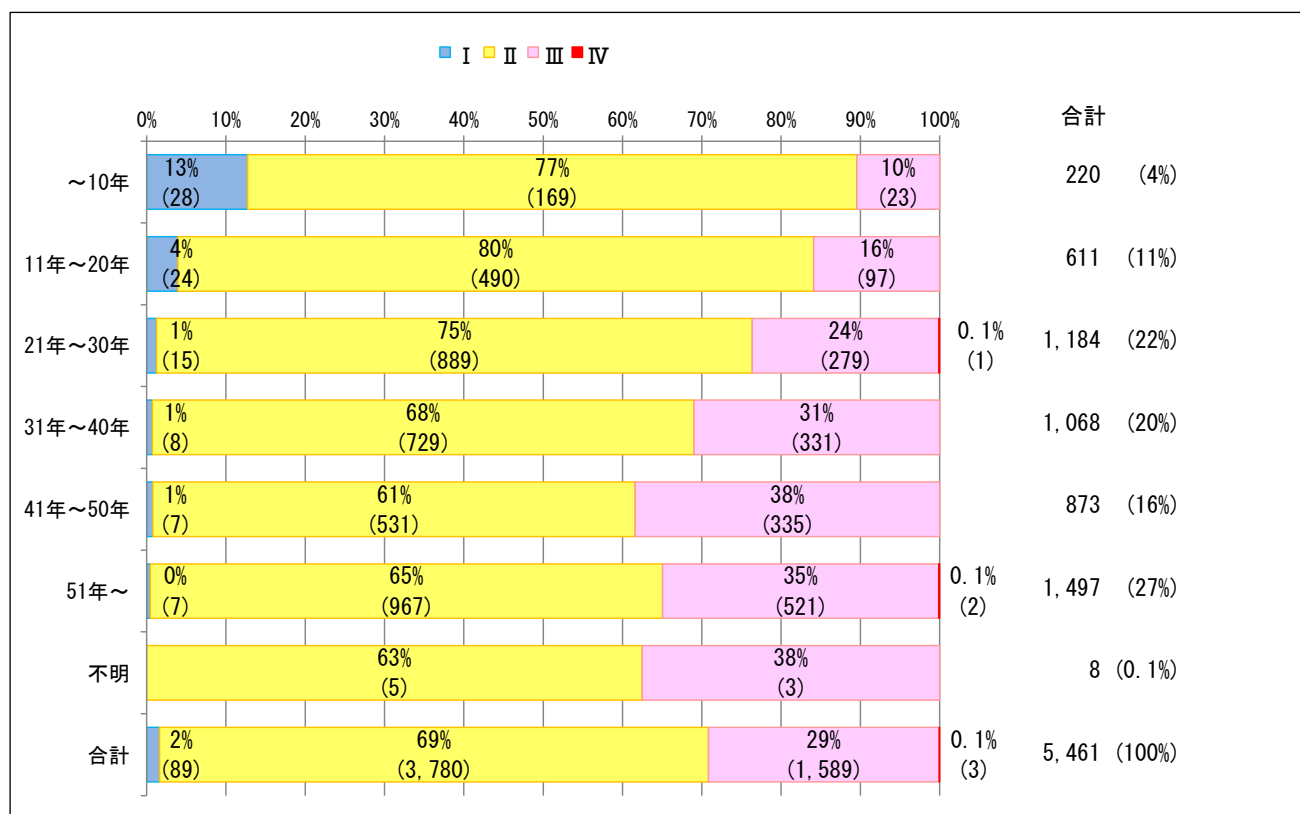
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

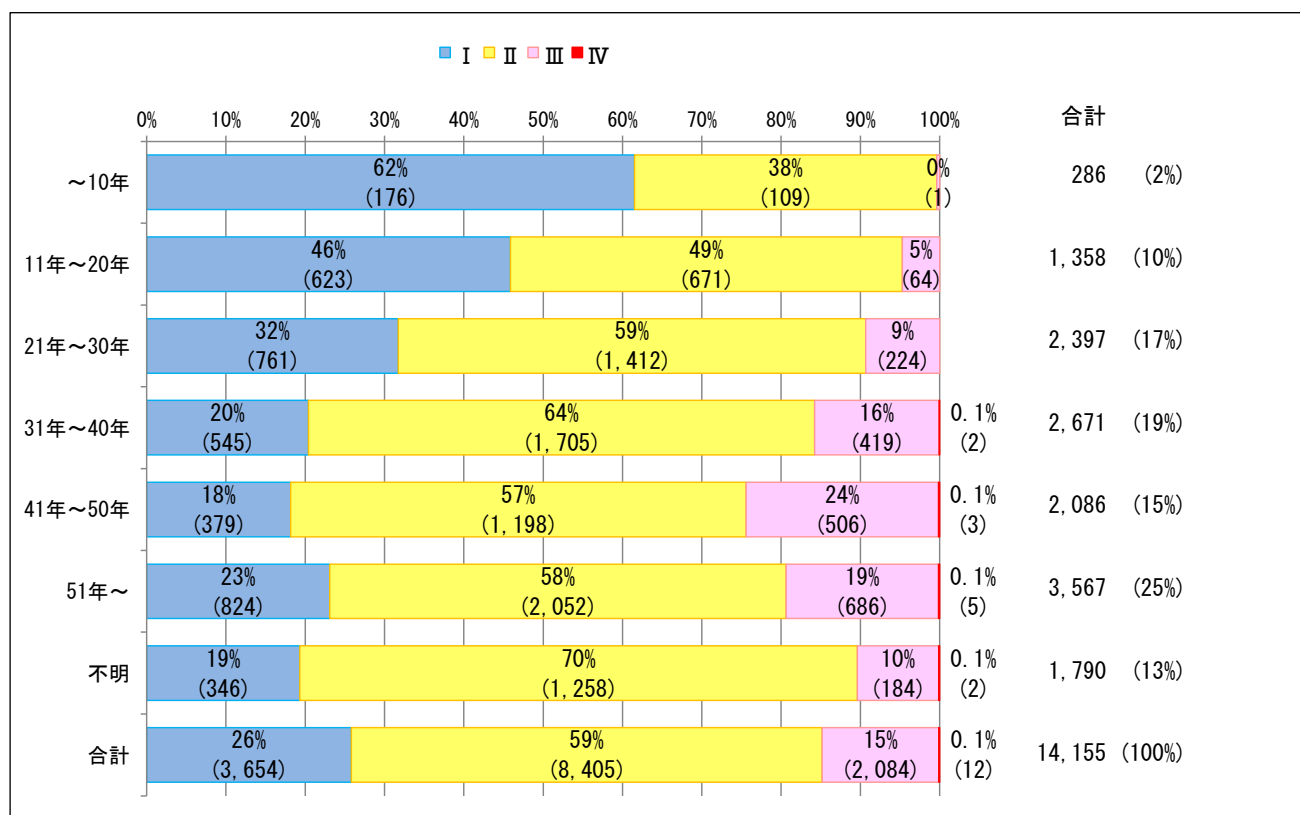
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



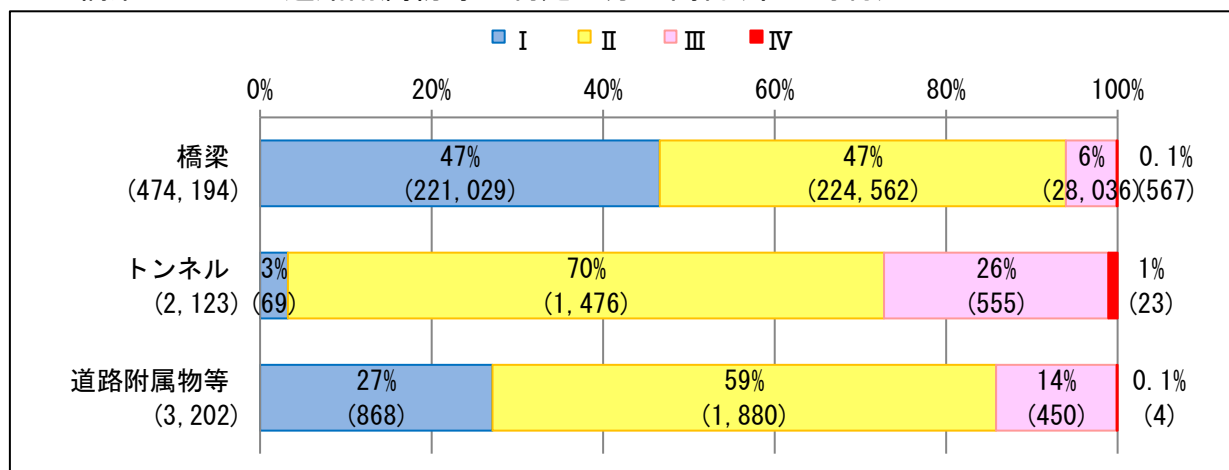
6) 市区町村

- 過年度の点検（2014～2025 年度）における判定区分の割合は、橋梁：Ⅰ 47%、Ⅱ 47%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%、トンネル：Ⅰ 3%、Ⅱ 70%、Ⅲ 26%、Ⅳ 1%、道路附属物等：Ⅰ 27%、Ⅱ 59%、Ⅲ 14%、Ⅳ 0.1%です。

※道路附属物等の内訳は巻末資料(1)を参照。

※緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果は巻末資料(2)を参照。

○ 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分の割合（市区町村）



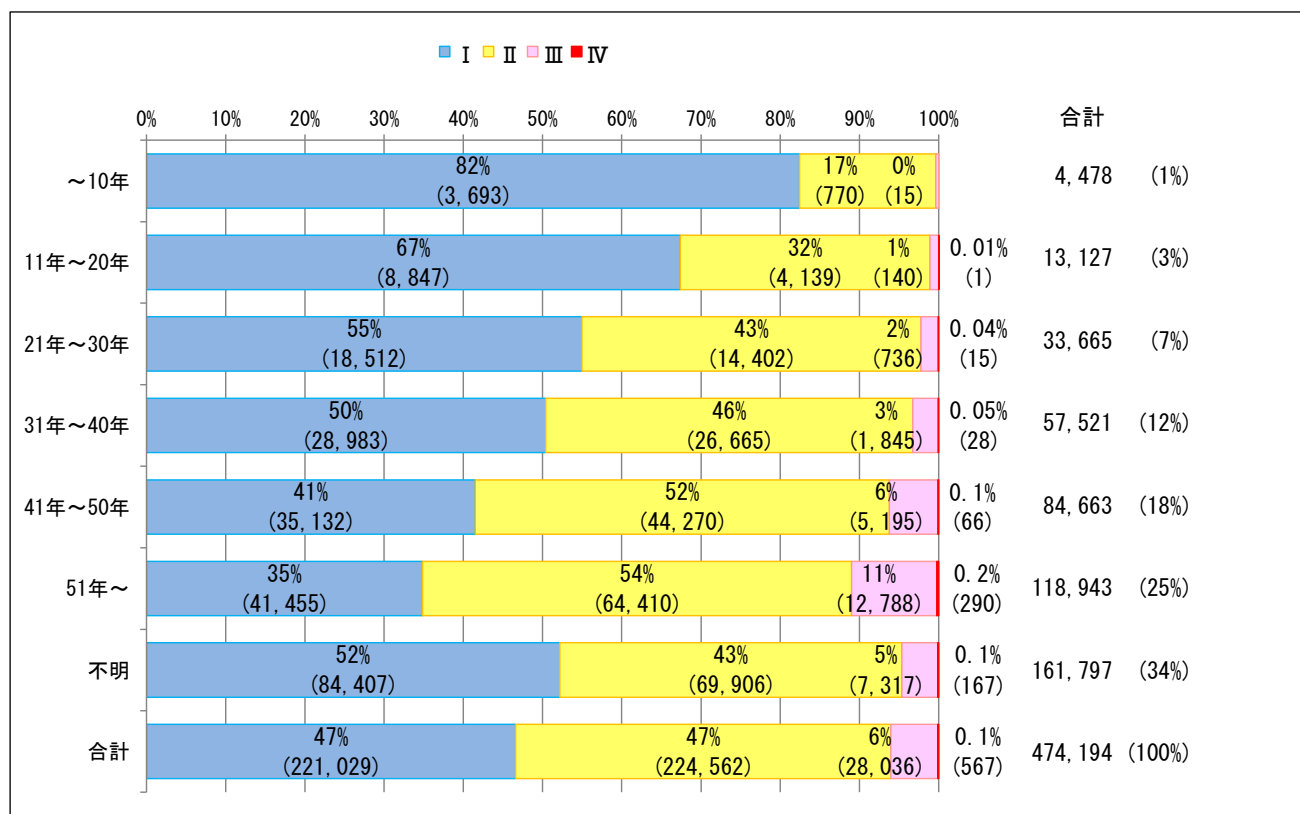
2026.3 末時点

※()内は、2026 年 3 月末時点の施設数のうち、2014～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

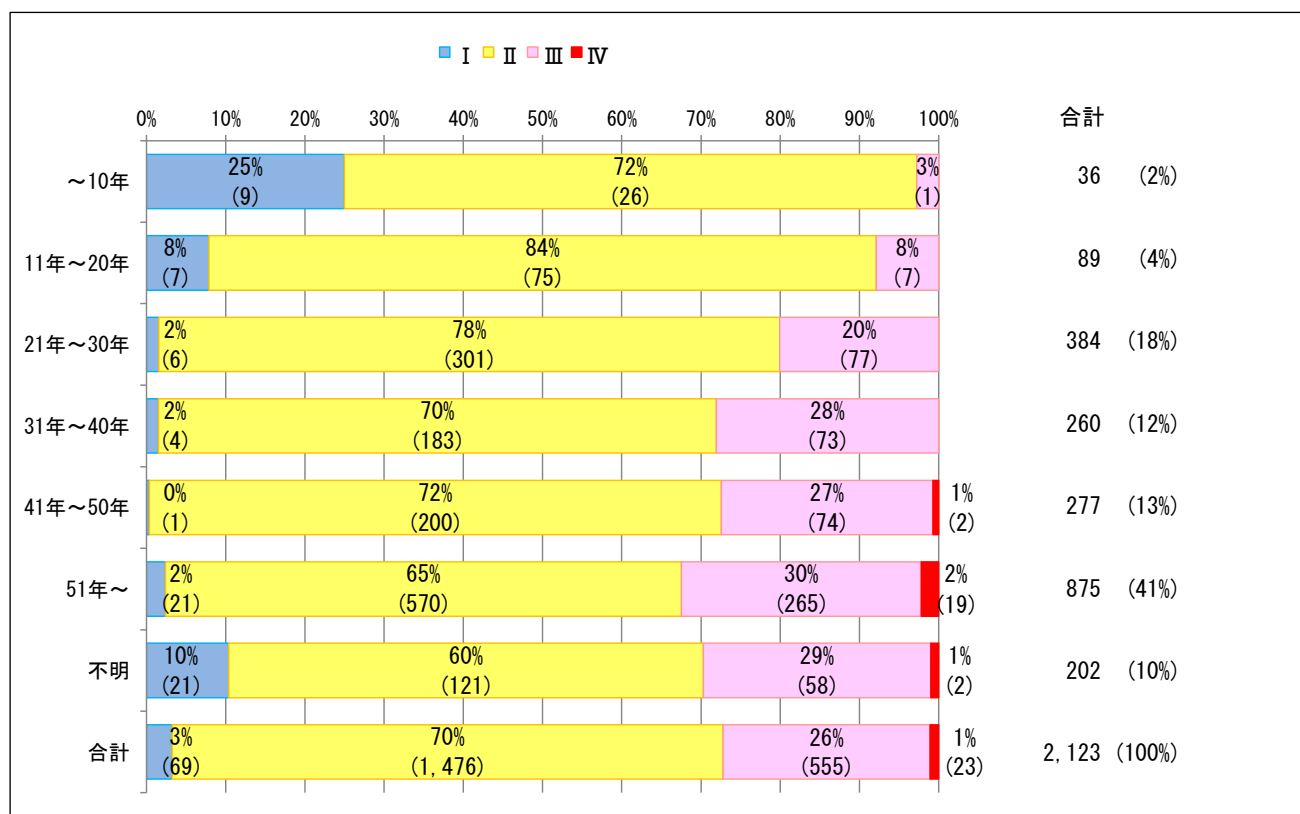
※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

※四捨五入の関係で合計値が 100%にならない場合がある。

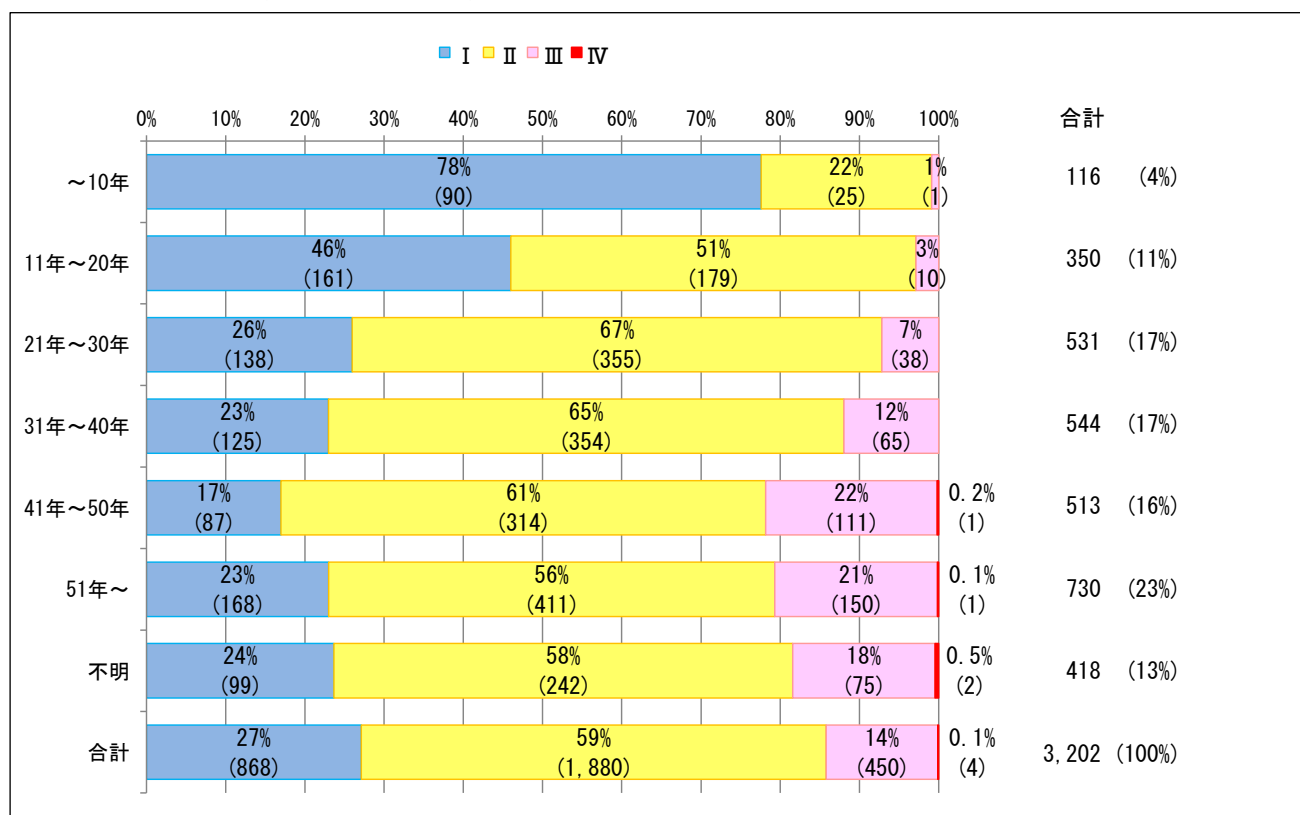
○ 判定区分と建設後経過年数（橋梁）



○ 判定区分と建設後経過年数(トンネル)



○ 判定区分と建設後経過年数(道路附属物等)



3. 判定区分Ⅲ、Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

(1) 2巡目点検(2019～2023 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 2巡目点検(2019～2023 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 91%、高速道路会社 79%、地方公共団体 69%です。
- 完了した割合は、国土交通省 52%、高速道路会社 52%、地方公共団体 45%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が 必要な 施設数 A※1	措置に 着手済の 施設数 B (B／A)	うち 完了済の 施設数 C※2 (C／A)	点検 実施 年度	：措置着手率(B／A) ：措置完了率(C／A) ：想定されるペース※3					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土 交通省	3, 684	3, 370 (91%)	1, 915 (52%)	2019	84% 100%					
				2020	71% 100%					
				2021	46% 95%					
				2022	34% 85%					
				2023	24% 75%					
高速道路 会社	2, 725	2, 157 (79%)	1, 408 (52%)	2019	74% 100%					
				2020	79% 99%					
				2021	56% 85%					
				2022	32% 66%					
				2023	24% 51%					
地方公共 団体計	48, 494	33, 541 (69%)	21, 833 (45%)	2019	64% 83%					
				2020	59% 79%					
				2021	44% 69%					
				2022	32% 59%					
				2023	22% 52%					
都道府県・ 政令市等	16, 907	13, 653 (81%)	8, 291 (49%)	2019	69% 92%					
				2020	66% 89%					
				2021	48% 81%					
				2022	36% 75%					
				2023	22% 65%					
市区町村	31, 587	19, 888 (63%)	13, 542 (43%)	2019	61% 78%					
				2020	55% 74%					
				2021	41% 63%					
				2022	29% 51%					
				2023	22% 44%					
合計	54, 903	39, 068 (71%)	25, 156 (46%)		46% 71%					

2026.3 末時点

※1: 2巡目(2019～2023 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外となった施設を除く施設数。

※2: 3巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、2巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3: 2025 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 2巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 89%、高速道路会社 77%、地方公共団体 79%です。
- 完了した割合は、国土交通省 61%、高速道路会社 64%、地方公共団体 57%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が 必要な 施設数 A※1	措置に 着手済の 施設数 B (B／A)	うち 完了済の 施設数 C※2 (C／A)	点検 実施 年度	：措置着手率(B／A) ：措置完了率(C／A) ：想定されるペース※3 0%20%40%60%80%100%					
国土 交通省	421	376 (89%)	258 (61%)	2019				98%		100%
				2020				94%		100%
				2021			50%			98%
				2022			33%			80%
				2023			22%			66%
高速道路 会社	425	328 (77%)	272 (64%)	2019				96%		100%
				2020				97%		100%
				2021			65%			76%
				2022			52%			75%
				2023			32%			50%
地方公共 団体計	2,366	1,860 (79%)	1,344 (57%)	2019				85%		93%
				2020				83%		93%
				2021			62%			84%
				2022			45%			76%
				2023			26%			57%
都道府県・ 政令市等	1,805	1,538 (85%)	1,149 (64%)	2019				92%		97%
				2020				86%		95%
				2021			65%			87%
				2022			50%			82%
				2023			28%			65%
市区町村	561	322 (57%)	195 (35%)	2019				55%		75%
				2020				60%		81%
				2021			49%			64%
				2022			30%			59%
				2023			24%			47%
合計	3,212	2,564 (80%)	1,874 (58%)					58%		80%

2026.3 末時点

※1:2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:3巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、2巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2025 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 2巡目点検（2019～2023 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 87%、高速道路会社 83%、地方公共団体 74%です。
- 完了した割合は、国土交通省 47%、高速道路会社 73%、地方公共団体 50%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C※2 (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率 (B/A) : 措置完了率 (C/A)  : 想定されるペース※3	
					0%	100%
国土交通省	1,915	1,658 (87%)	900 (47%)	2019	74%	100%
				2020	65%	100%
				2021	46%	90%
				2022	35%	76%
				2023	27%	73%
高速道路会社	271	226 (83%)	198 (73%)	2019	97%	100%
				2020	82%	96%
				2021	82%	92%
				2022	47%	63%
				2023	61%	68%
地方公共団体計	2,725	2,022 (74%)	1,370 (50%)	2019	88%	97%
				2020	69%	90%
				2021	46%	79%
				2022	40%	69%
				2023	22%	49%
都道府県・政令市等	2,251	1,703 (76%)	1,159 (51%)	2019	90%	97%
				2020	70%	92%
				2021	48%	80%
				2022	40%	70%
				2023	21%	49%
市区町村	474	319 (67%)	211 (45%)	2019	74%	95%
				2020	63%	78%
				2021	38%	73%
				2022	39%	62%
				2023	27%	47%
合計	4,911	3,906 (80%)	2,468 (50%)		50%	80%

2026.3 末時点

※1:2巡目（2019～2023 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:3巡目点検で再度区分Ⅲ、Ⅳと判定された施設でも、2巡目点検に対する措置が完了した施設は含む。

※3:2025 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(2) 3巡目点検(2024～2025 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 3巡目点検(2024～2025 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 27%、高速道路会社 27%、地方公共団体 25%です。
- 完了した割合は、国土交通省 5%、高速道路会社 3%、地方公共団体 6%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A) : 想定されるペース※2					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	1,406	385 (27%)	76 (5%)	2024	9%		44%			
				2025	1%	9%				
				2026						
				2027						
				2028						
高速道路会社	1,099	299 (27%)	32 (3%)	2024	6%		36%			
				2025	0%	19%				
				2026						
				2027						
				2028						
地方公共団体計	16,371	4,104 (25%)	1,007 (6%)	2024	10%		34%			
				2025	2%	17%				
				2026						
				2027						
				2028						
都道府県・政令市等	6,113	1,617 (26%)	330 (5%)	2024	9%		37%			
				2025	2%	16%				
				2026						
				2027						
				2028						
市区町村	10,258	2,487 (24%)	677 (7%)	2024	11%		31%			
				2025	2%	18%				
				2026						
				2027						
				2028						
合計	18,876	4,788 (25%)	1,115 (6%)		6%		25%			

2026.3 末時点

※1: 3巡目(2024～2025 年度)の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2025 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

②トンネル

- 3巡目点検（2024～2025 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルの修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 29%、高速道路会社 26%、地方公共団体 17%です。
- 完了した割合は、国土交通省 7%、高速道路会社 11%、地方公共団体 6%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A) : 想定されるペース※2					
					0%	20%	40%	60%	80%	100%
国土交通省	207	61 (29%)	15 (7%)	2024	9%		42%			
				2025	6%		20%			
				2026						
				2027						
				2028						
高速道路会社	133	34 (26%)	15 (11%)	2024	20%		37%			
				2025	0%		11%			
				2026						
				2027						
				2028						
地方公共団体計	583	101 (17%)	34 (6%)	2024	9%		25%			
				2025	3%		10%			
				2026						
				2027						
				2028						
都道府県・政令市等	480	86 (18%)	29 (6%)	2024	9%		27%			
				2025	4%		10%			
				2026						
				2027						
				2028						
市区町村	103	15 (15%)	5 (5%)	2024	8%		17%			
				2025	0%		10%			
				2026						
				2027						
				2028						
合計	923	196 (21%)	64 (7%)		7%		21%			

2026.3 末時点

※1:3巡目（2024～2025 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2:2025 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

③道路附属物等

- 3巡目点検（2024～2025 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等の修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 29%、高速道路会社 31%、地方公共団体 19%です。
- 完了した割合は、国土交通省 7%、高速道路会社 15%、地方公共団体 6%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

	措置が必要な施設数 A※1	措置に着手済の施設数 B (B/A)	うち完了済の施設数 C (C/A)	点検実施年度	: 措置着手率(B/A) : 措置完了率(C/A)  : 想定されるペース※2					
					0% 20% 40% 60% 80% 100%					
国土交通省	660	194 (29%)	43 (7%)	2024	11% 47%					
				2025	3% 14%					
				2026						
				2027						
				2028						
高速道路会社	121	38 (31%)	18 (15%)	2024	28% 37%					
				2025	2% 26%					
				2026						
				2027						
				2028						
地方公共団体計	746	145 (19%)	46 (6%)	2024	9% 27%					
				2025	4% 13%					
				2026						
				2027						
				2028						
都道府県・政令市等	630	120 (19%)	41 (7%)	2024	10% 27%					
				2025	4% 12%					
				2026						
				2027						
				2028						
市区町村	116	25 (22%)	5 (4%)	2024	7% 25%					
				2025	2% 18%					
				2026						
				2027						
				2028						
合計	1, 527	377 (25%)	107 (7%)		7% 25%					

2026. 3 末時点

※1: 3巡目（2024～2025 年度）の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

※2: 2025 年度末時点で次回点検までの修繕等措置の実施を考慮した場合に想定されるペース。

(3) 過年度の点検(2014～2025 年度)の実施施設における修繕等措置の実施状況

① 橋梁

- 過年度の点検(2014～2025 年度)で早期に措置を講ずるべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 63%、高速道路会社 51%、地方公共団体 48%です。
- 完了した割合は、国土交通省 23%、高速道路会社 24%、地方公共団体 24%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数		未着手 施設数 (A－B)
		B (B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	3, 591	2, 256 (63%)	824 (23%)	1, 335 (37%)
高速道路会社	2, 786	1, 428 (51%)	658 (24%)	1, 358 (49%)
地方公共団体	44, 669	21, 498 (48%)	10, 540 (24%)	23, 171 (52%)
都道府県・ 政令市等	16, 066	9, 046 (56%)	3, 977 (25%)	7, 020 (44%)
市区町村	28, 603	12, 452 (44%)	6, 563 (23%)	16, 151 (56%)
合計	51, 046	25, 182 (49%)	12, 022 (24%)	25, 864 (51%)

2026. 3 末時点

※1: 2025 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

②トンネル

- 過年度の点検（2014～2025 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定されたトンネルのうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 57%、高速道路会社 52%、地方公共団体 57%です。
- 完了した割合は、国土交通省 22%、高速道路会社 35%、地方公共団体 33%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B		未着手 施設数 (A－B)
		(B／A)	うち完了 C (C／A)	
国土交通省	438	248 (57%)	95 (22%)	190 (43%)
高速道路会社	408	212 (52%)	142 (35%)	196 (48%)
地方公共団体	2, 170	1, 227 (57%)	719 (33%)	943 (43%)
都道府県・ 政令市等	1, 592	963 (60%)	572 (36%)	629 (40%)
市区町村	578	264 (46%)	147 (25%)	314 (54%)
合計	3, 016	1, 687 (56%)	956 (32%)	1, 329 (44%)

2026. 3 末時点

※1: 2025 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

③道路附属物等

- 過年度の点検（2014～2025 年度）で早期に措置を講ずるべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずるべき状態（区分Ⅳ）と判定された道路附属物等のうち、修繕等の措置に着手した割合は、2025 年度末時点で、国土交通省 63%、高速道路会社 55%、地方公共団体 52%です。
- 完了した割合は、国土交通省 26%、高速道路会社 44%、地方公共団体 27%です。

※修繕等措置には、補修や補強などの施設の機能や耐久性等を維持又は回復するための「対策」のほか、「撤去」、定期的あるいは常時の「監視」、緊急に措置を講じることができない場合などの対応としての「通行規制・通行止」があるが、実施状況の集計からは「監視」及び「通行規制・通行止」は除く。

※複数回点検している施設は最新の点検結果を基に集計を行っている。

管理者	措置が必要な 施設数 A※1	措置に着手済の 施設数 B (B／A)	うち完了 C	未着手 施設数 (A－B)	
			(C／A)		
国土交通省	1,962	1,243 (63%)	516 (26%)	719 (37%)	
高速道路会社	278	154 (55%)	121 (44%)	124 (45%)	
地方公共団体	2,550	1,318 (52%)	690 (27%)	1,232 (48%)	
	都道府県・ 政令市等	2,096	1,089 (52%)	567 (27%)	1,007 (48%)
	市区町村	454	229 (50%)	123 (27%)	225 (50%)
合計	4,790	2,715 (57%)	1,327 (28%)	2,075 (43%)	

2026.3 末時点

※1:2025 年度末時点の点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設数のうち、点検対象外等となった施設を除く施設数。

(4) 各都道府県における道路管理者毎の老朽化対策状況

- 各都道府県における道路管理者毎（国土交通省、高速道路会社、都道府県、市区町村）の老朽化対策状況（橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分や措置状況等）を視覚化した情報を公開。

(5) 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）

- 老朽化対策のさらなる見える化を図るため、「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」にて橋梁、トンネル、道路附属物等の諸元や点検結果、措置状況等を地図上で公開中。

<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>

- データについては順次更新を行い 2025 年度末時点のデータも今後公開予定。
- より詳細な点検データ等については、「全国道路施設点検データベース」により有料公開を行っており、研究機関や民間企業等による技術開発の促進による維持管理の効率化・高度化を目指しています。

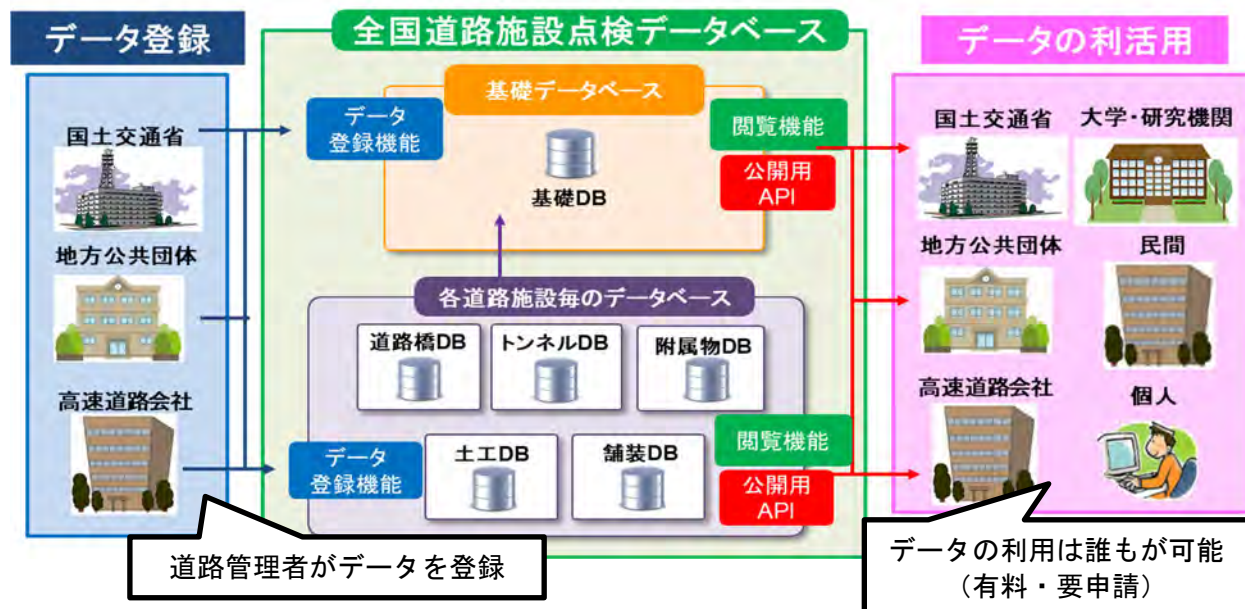
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>



○ 全国道路施設点検データベース～損傷マップ～（閲覧画面）



○ 全国道路施設点検データベース（イメージ）

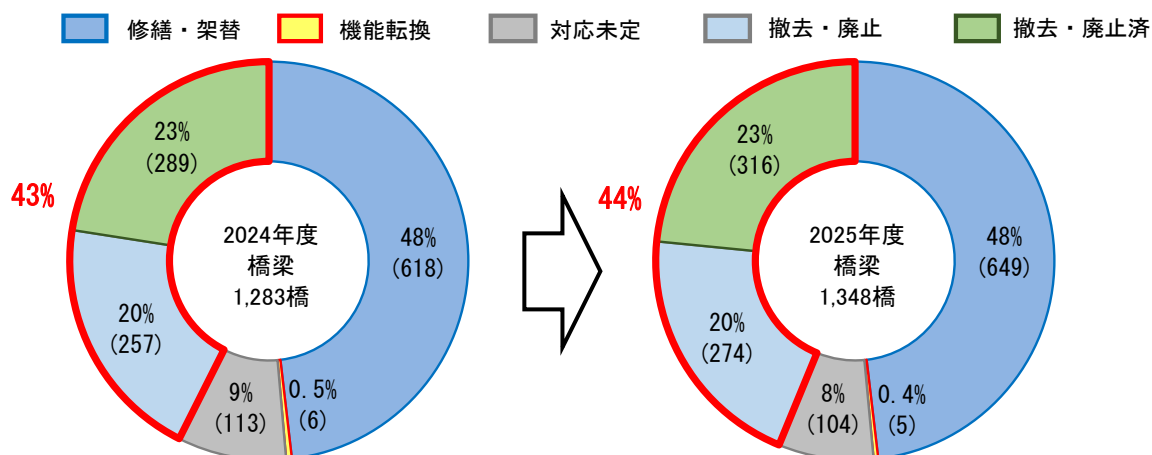


(6) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

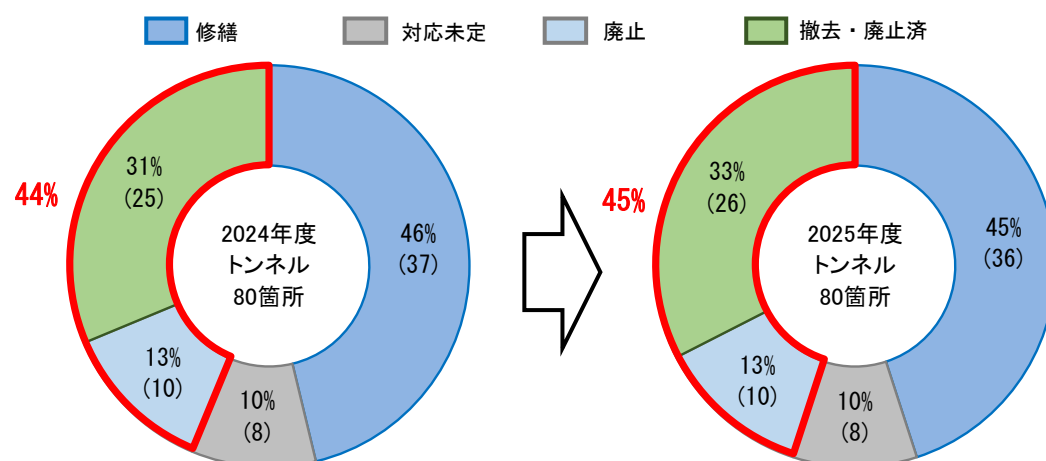
- 2025 年度末までに緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）と判定された施設の措置状況のうち、撤去・廃止の割合は、2025 年度末時点で、橋梁：44%、トンネル：45%、道路附属物等：31%です。

※道路管理者毎の内訳及びⅣ判定の施設リストは巻末資料(3)を参照。

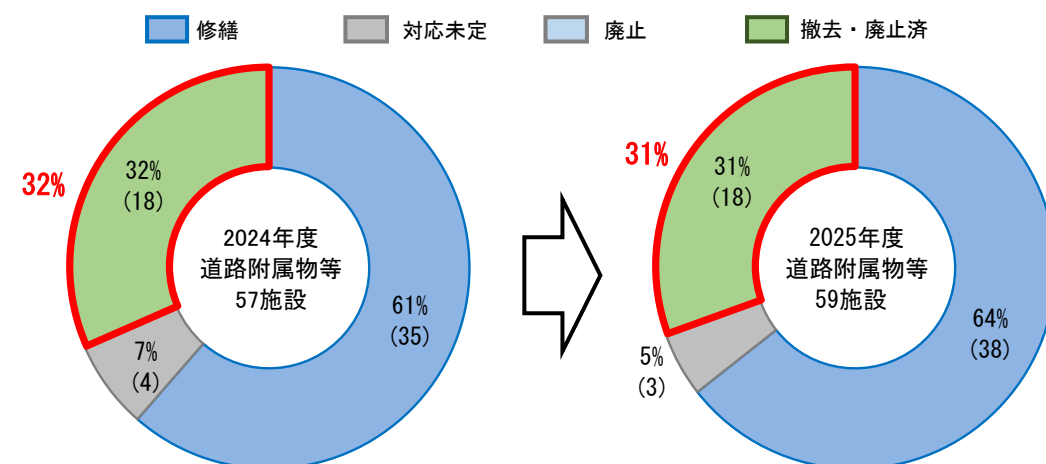
○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(完了済・予定のものを含む)



○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置状況(完了済・予定のものを含む)



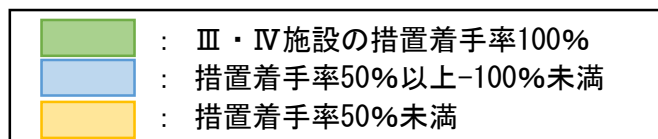
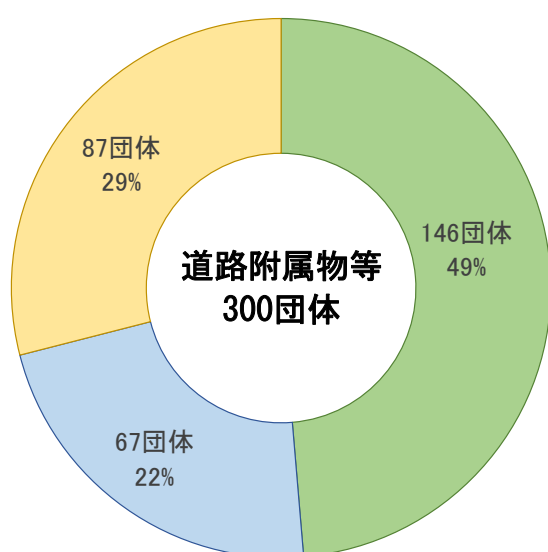
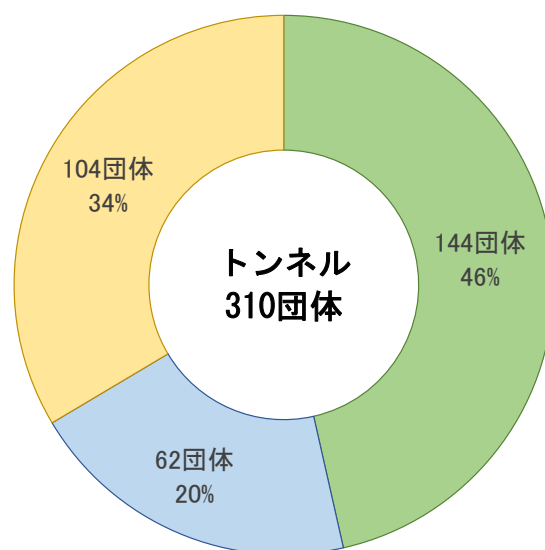
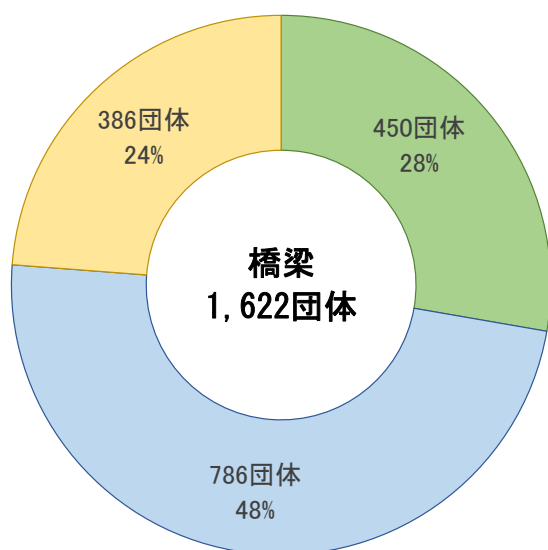
○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置状況(完了済・予定のものを含む)



4. 地方公共団体の修繕等措置状況

(1) 2巡目点検(2019～2023 年度)の実施施設における地方公共団体の修繕等措置の着手状況

- 2巡目点検(2019～2023 年度)において早期に措置を講ずべき状態(区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずべき状態(区分Ⅳ)と判定された橋梁に着手した割合は、地方公共団体によって差があり、2巡目点検で区分Ⅲ又はⅣと判定された施設を管理している1,622団体のうち、
- ・ 着手率100%の地方公共団体が450団体(28%)ある一方で、
 - ・ 着手率50%以上100%未満が786団体(48%)
 - ・ 着手率50%未満が386団体(24%)
- であり、地方公共団体によって差がでてきている。

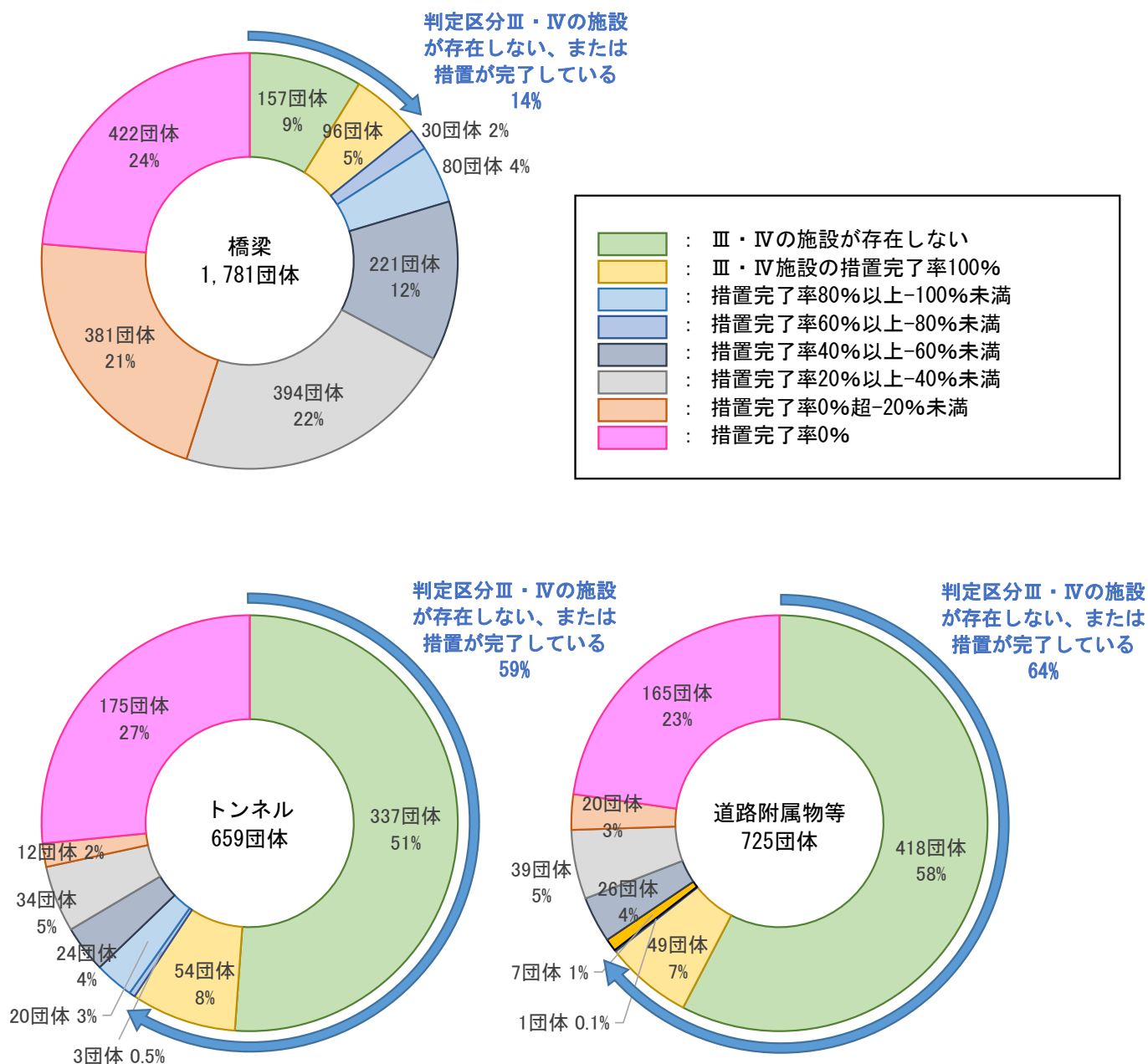


※点検対象外等となり、現在、2巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設を管理していない団体を除く。

(2)2025 年度末時点での修繕等措置が完了した地方公共団体数

- 橋梁の修繕等の措置が進み、早期に措置を講ずべき状態（区分Ⅲ）又は緊急に措置を講ずべき状態（区分Ⅳ）の施設が存在しない、または修繕等の措置が完了している団体は、2025 年度末時点で 14%に留まっており、措置完了率が 20%未満の団体が約 45%を占めています。

○ 地方公共団体の予防保全への移行状況



※団体数は、2025 年度末時点の点検対象施設（管理施設のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設）を管理する都道府県、政令市、市区町村の合計。

5. 舗装の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 概要

舗装については、各道路管理者により、道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制の視点から管内の道路を分類し、その分類に基づき点検などを行っています。今年度より、地方公共団体の管理する重要物流道路などの重交通を担う道路である分類A・Bに焦点をあてて集計しています。

<道路の分類のイメージ>

特性	分類	主な道路 (イメージ)	管理基準※ ¹ ()内は直轄の基準	点検頻度	健全性の診断※ ²	車線延長※ ³
・高速道路等 (高速走行など 求められるサー ビス水準が高い道路)	A	高速道路※ ⁴	ひび割れ率: 15～20% (20%以上) わだち掘れ量: 20～25mm (25mm 以上) IRI: 3.5mm/m (3.5mm/m以上)	道路管理者が5 年に1回以上適 切に実施	分類A・Bの 判定区分 I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	計: 約 41,700km ・高速管理: 約 33,800km ・直轄管理: 約 5,100km ・地方管理: 約 2,800km
・損傷の進行が 早い道路等 (例えば大型車交 通量が多い道路) 重要物流道路又は 大型車 1,000 台・方 向以上/日(目安)	B	直轄国道	ひび割れ率: 20～40% (40%以上) わだち掘れ量: 20～40mm (40mm 以上) IRI: 8mm/m (8mm/m以上)		III (修繕段階): 損傷レベルが大 III-1 表層等修繕 (路盤以下の層が健全) III-2 路盤打換等 (路盤以下の層も損傷)	計: 約 158,000km ・直轄管理 約 55,600km ・地方管理 約 102,400km
・損傷の進行が 緩やかな道路等 (例えば大型車交 通量が少ない道 路)	C	補助国道・県道			分類C・Dの 判定区分 I (健全): 損傷レベルが小 II (表層機能保持段階): 損傷レベルが中	計: 約 350,000km
・生活道路等 (損傷の進行が 極めて遅く占用 工事等の影響 がなければ長 寿命) 幅員 5.5m 未満 の道路	D	政令市一般市道 市町村道		更新時期や地 域特性等に応じ て道路管理者 が適切に点検 計画を作成	III (修繕段階): 損傷レベルが大	計: 約 750,000km
合計						計: 約 1,300,000km

※¹ 一部の地方管理道路については、独自の管理基準を設定している場合がある。

※² コンクリート舗装の健全性の診断は、分類A～D共通して、判定区分Ⅰ～Ⅲで判定

※³ 車線延長は一部センサデータ等による推計値を含む。

※⁴ 高速道路会社についてはサービス水準を高く設定しており、独自の厳しい基準で点検を実施していることから、国の舗装点検要領にあてはめることができないため集計していない。

国土交通省の管理する道路の舗装は、2017 年度より舗装点検要領(2017 年 3 月 国土交通省 道路局 国道・防災課)に基づき、5 年に 1 回の頻度で目視を基本とする点検を実施しています。

舗装の健全性の診断は、以下の通り区分します。

＜アスファルト舗装＞

区分		状態
I	健全	損傷レベル小: 管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態
II	表層機能保持段階	損傷レベル中: 管理基準に照らし、劣化の程度が中程度
III	修繕段階	損傷レベル大: 管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態
	III-1 表層等修繕	表層の供用年数が使用目標年数を超える場合(路盤以下の層が健全であると想定される場合)
	III-2 路盤打換等	表層の供用年数が使用目標年数未満である場合(路盤以下の層が損傷していると想定される場合)

＜コンクリート舗装＞

区分		状態
I	健全	損傷レベル小: 目地部に目地材が充填されている状態を保持し、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まることができないと想定される状態であり、ひび割れも認められない状態
II	補修段階	損傷レベル中: 目地部の目地材が飛散等しており、路盤以下への雨水の浸入や目地溝に土砂や異物が詰まる恐れがあると想定される状態、目地部で角欠けが生じている状態
III	修繕段階	損傷レベル大: コンクリート版において、版央付近又はその前後に横断ひび割れが全幅員にわたっていて、一枚の版として輪荷重を支える機能が失われている可能性が高いと考えられる状態、または、目地部に段差が生じたりコンクリート版の隅角部に角欠けへの進展が想定されるひび割れが生じているなど、コンクリート版と路盤の間に隙間が存在する可能性が高いと考えられる状態

国土交通省以外の道路管理者は、舗装点検要領(2016 年 10 月 国土交通省 道路局)(技術的助言の解説・運用標準)等を参考に、適切に管理を行っています。

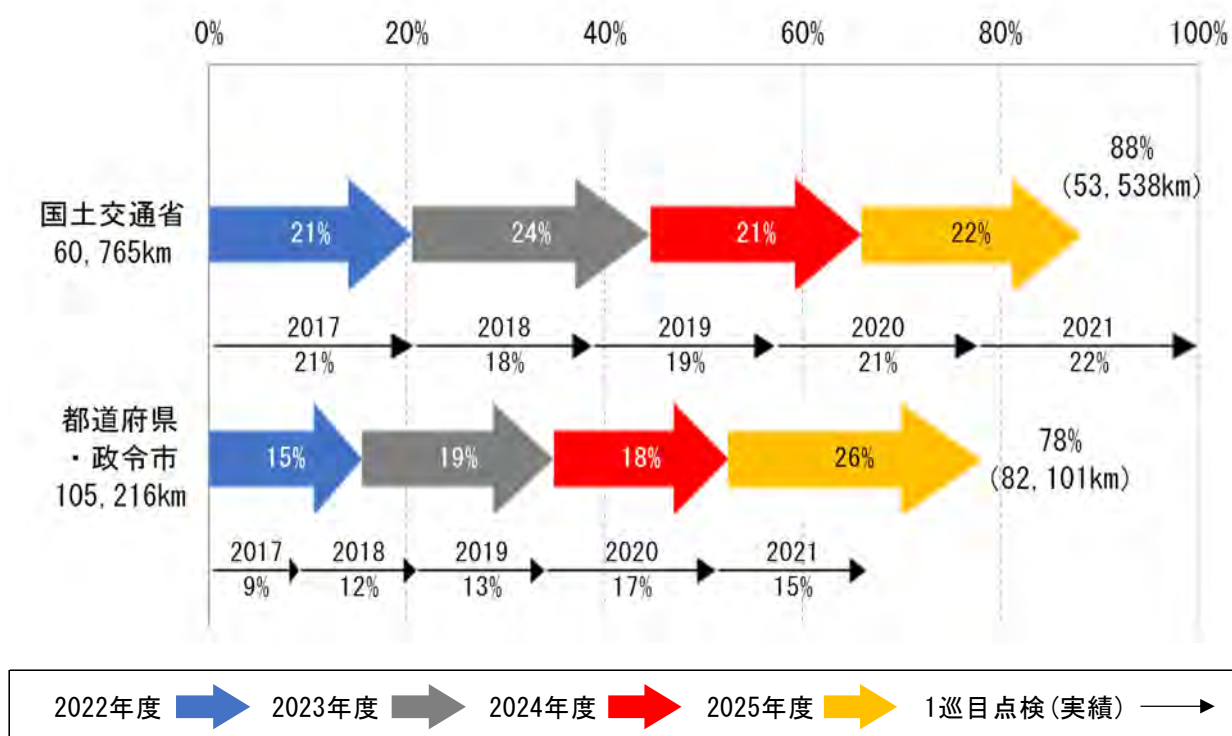
(2) 2巡目(2022～2025 年度)の点検結果(国土交通省、都道府県・政令市)

- 舗装点検については 2022 年度より 2 巡目点検が始まり、国土交通省が管理する道路では約 88%、都道府県・政令市が管理する道路^{※1}では約 78%で点検を実施済みです。
- 判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長^{※2}ベース）は、アスファルト舗装では国土交通省が 12%、都道府県・政令市が 14%、コンクリート舗装では国土交通省が 3%、都道府県・政令市が 4%となっています。

※1 都道府県・政令市が管理する重要物流道路などの重交通を担う道路が対象。

※2 延べ車線延長：点検対象となる車線延長の合計。2026 年 3 月末時点の延長のうち、供用後 5 年以内を除く。
また一部の自治体では管理延長等をもとに算出。

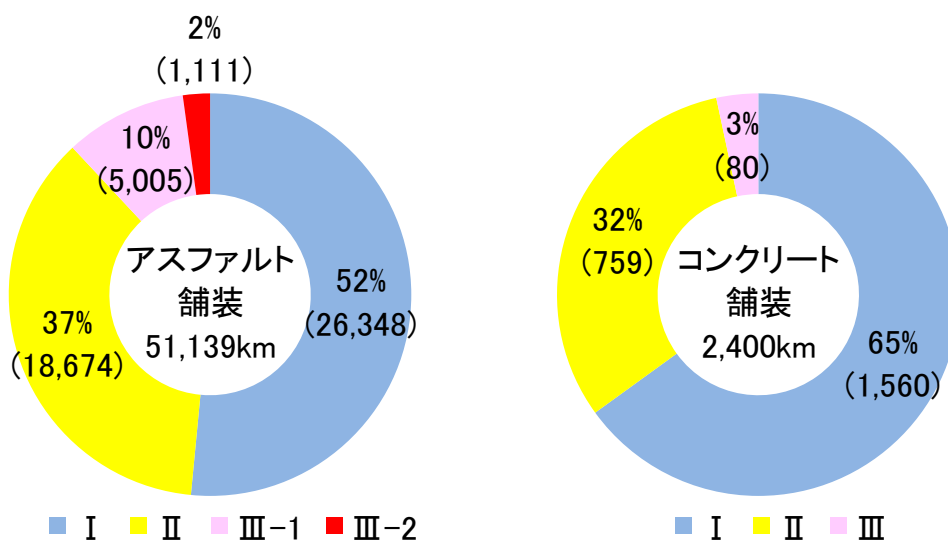
○ 点検実施率(延べ車線延長ベース)



2026. 3 末時点

※()内は、2022～2025 年度に点検を実施した車線延長の合計。

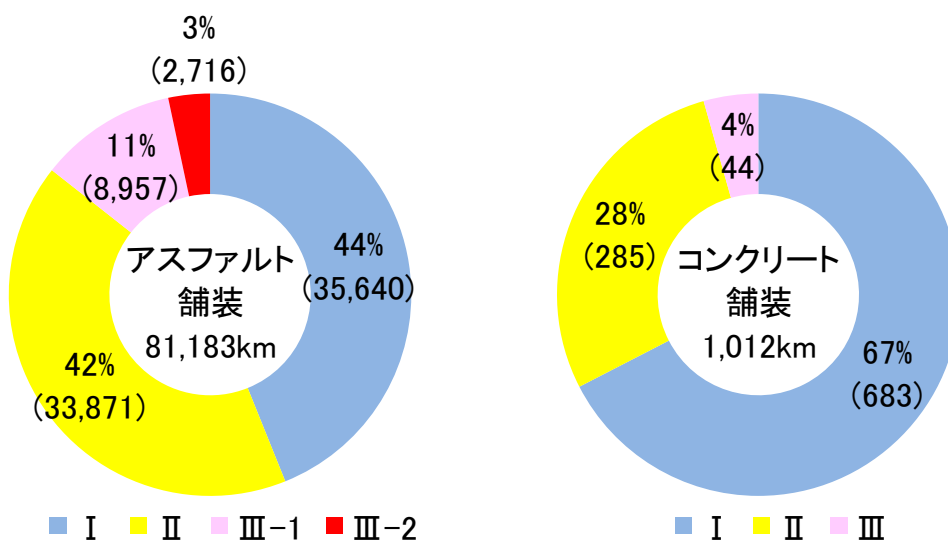
○ 国土交通省の2巡目(2022～2025 年度)点検の判定区分の割合



2026.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

○ 都道府県・政令市の2巡目(2022～2025 年度)点検の判定区分の割合



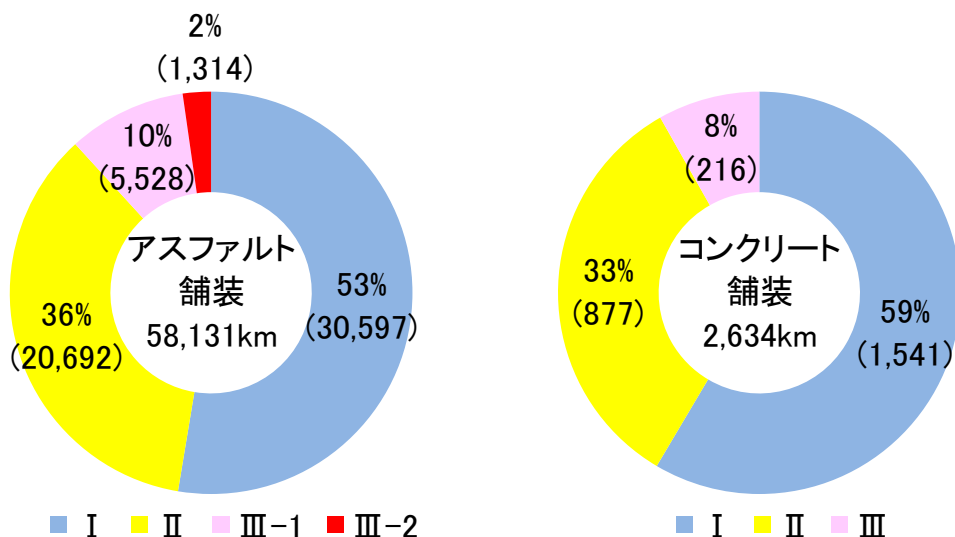
2026.3 末時点

※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。

(3) 過年度の点検(2017～2025 年度)の点検結果

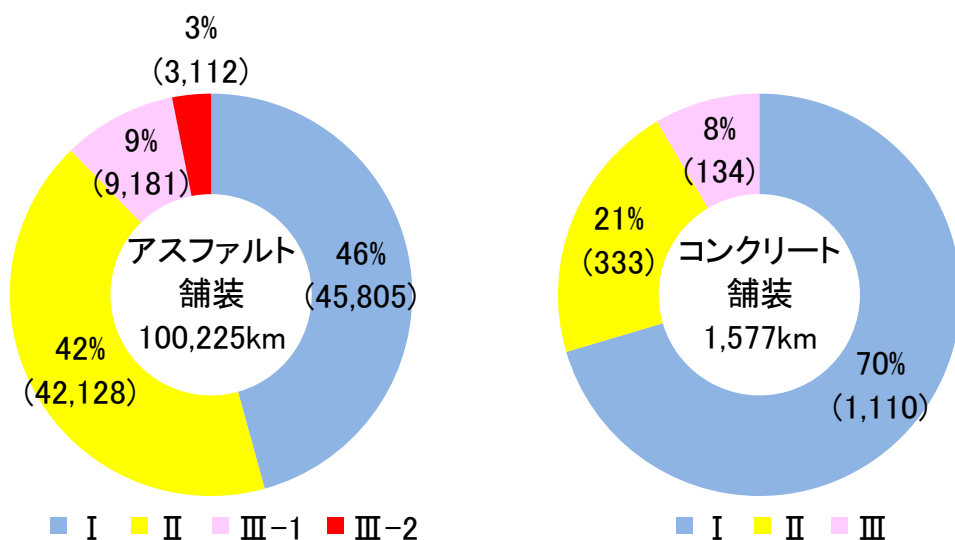
- 2025 年度末時点で判定区分Ⅲ（修繕段階）の割合（延べ車線延長ベース）は、アスファルト舗装では、国土交通省が 12%、都道府県・政令市が 12%、コンクリート舗装では国土交通省が 8%、都道府県・政令市が 8%となっています。

○ 国土交通省の判定区分の割合



※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

○ 都道府県・政令市の判定区分の割合



※四捨五入の関係で判定区分毎の延べ車線延長と合計値が一致しない場合がある。
 ※複数回点検している区間は最新の点検結果を基に集計を行っている。

(4) 過年度の点検(2017～2025 年度)の実施箇所における修繕等措置の実施状況

- 2025 年度末の時点で修繕段階(区分Ⅲ)にあると判定されたアスファルト舗装のうち、修繕等措置が完了した割合は国土交通省が 37%、都道府県・政令市が 9%、コンクリート舗装では国土交通省が 17%、都道府県・政令市が 2%です。

○ 国土交通省の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	6,842	2,510 (37%)
As 舗装(Ⅲ-1)	5,528	1,985 (36%)
As 舗装(Ⅲ-2)	1,314	524 (40%)
Co 舗装	216	38 (17%)
合計	7,057	2,548 (36%)

2026.3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

○ 都道府県・政令市の修繕等措置状況

	措置が必要な 延長(km) (A)	措置完了の 延長(km) (B) (B/A)
As 舗装	12,292	1,115 (9%)
As 舗装(Ⅲ-1)	9,181	741 (8%)
As 舗装(Ⅲ-2)	3,112	374 (12%)
Co 舗装	134	2 (2%)
合計	12,426	1,117 (9%)

2026.3 末時点

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

6. 小規模附属物・土工構造物の点検結果及び修繕等措置の実施状況

(1) 小規模附属物

1) 概要

小規模附属物については、門型標識を除く道路標識及び照明施設等の支柱や支柱取付部等について点検を行っています。

国土交通省では、附属物(標識、照明施設等)点検要領(2024 年 9 月 国土交通省 道路局 国道・防災課)に基づき、概ね 10 年に 1 回を目安として近接目視による詳細点検及び、5 年に 1 回を目安として外観目視を基本とする中間点検を実施しています。

小規模附属物の損傷度の診断は、以下の通り区分します。

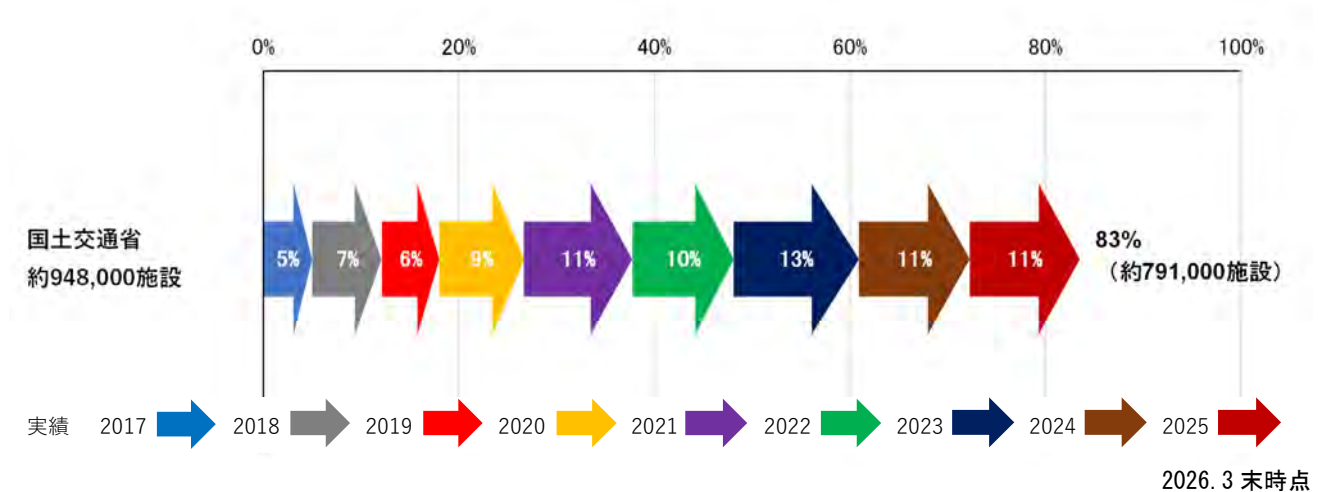
区分	状態
a	損傷が認められない
c	損傷が認められる
e	損傷が大きい

国土交通省以外の道路管理者は、小規模附属物点検要領(2017 年 3 月 国土交通省 道路局)(技術的助言の解説・運用標準)等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 点検結果(国土交通省)

- 国土交通省では、2017 年度より小規模附属物点検を行っており、2025 年度末時点の近接目視による詳細点検の実施率は約 83%となっています。
- 国土交通省の損傷度の判定区分の割合は、a 62%、c 32%、e 6%です。

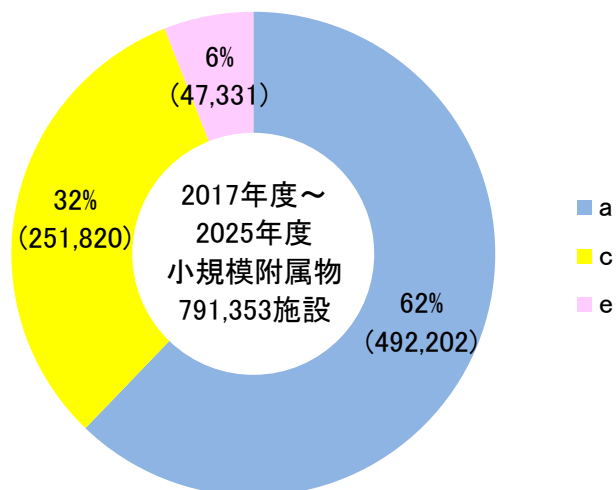
○ 国土交通省の点検実施率(詳細点検)



※()内は、2017～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

○ 国土交通省の判定区分の割合

小規模附属物点検結果 損傷度の判定区分



2026.3 末時点

3)修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する小規模附属物で、損傷度の判定区分 e の修繕着手率は 13%、完了率は 12%です。

判定区分c、e の修繕の実施状況(国土交通省)

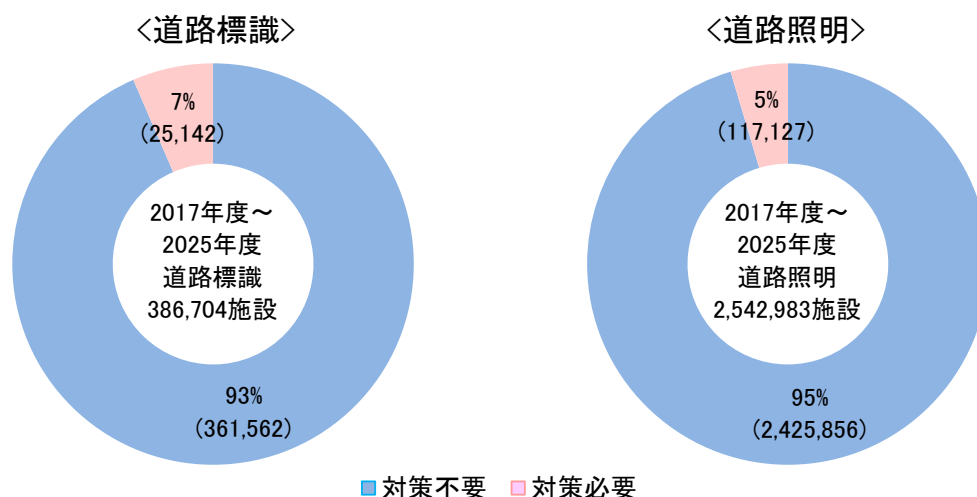
小規模 附属物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%					
c	251,820	2,234 (1%)	2,189 (1%)	2017	0.5%	0.5%				
				2018	1%	1%				
				2019	1%	1%				
				2020	2%	2%				
				2021	1%	1%				
				2022	1%	1%				
				2023	1%	1%				
				2024	1%	1%				
				2025	0.2%	0.2%				
e	47,331	6,170 (13%)	5,465 (12%)	2017	24%	32%				
				2018	29%	32%				
				2019	23%	28%				
				2020	20%	20%				
				2021	20%	24%				
				2022	13%	16%				
				2023	12%	12%				
				2024	6%	6%				
				2025	1%	1%				
合計	299,151	8,404 (3%)	7,654 (3%)							

2026.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2016 年度に小規模附属物点検要領を示しています。
- 2017～2025 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は、道路標識：386,704 施設、道路照明：2,542,983 施設となっています。
- 要対策の施設数は、道路標識で 25,142 施設、道路照明で 117,127 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、道路標識で 37%、道路照明で 55%です。

○ 地方公共団体の点検結果



2026.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の小規模附属物における修繕等措置の実施状況

種別	対策が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
道路標識	25,142	9,377 (37%)	7,697 (31%)
道路照明	117,127	64,076 (55%)	61,700 (53%)
合計	142,269	73,453 (52%)	69,397 (49%)

2026.3 末時点

※2017～2025 年度の 9 年間の点検により対策が必要と判定された施設。

(2) 土工構造物

1) 概要

土工構造物については、重要度が高い法面等について点検を行うこととしています。

国土交通省では、道路土工構造物点検要領(2023 年 3 月 国土交通省 道路局 国道・技術課)に基づき、長大切土又は高盛土の区域(特定道路土工構造物)について 5 年に 1 回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

特定道路土工構造物の健全性の診断は、以下の通り区分します。

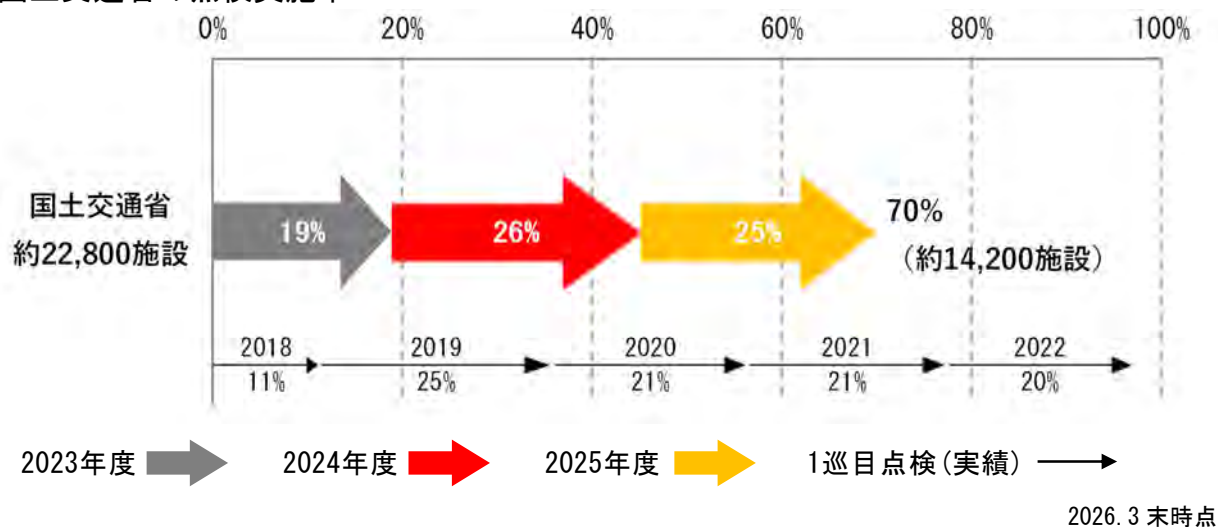
区分		状態
I	健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合(道路の機能に支障が生じていない状態)
II	経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合(道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態)
III	早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合(道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態)
IV	緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合(道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態)

国土交通省以外の道路管理者は、道路土工構造物点検要領(2017 年 8 月 国土交通省 道路局)(技術的助言の解説・運用標準)等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 2巡目(2023～2025 年度)の点検結果(国土交通省)

- 特定道路土工構造物点検については 2023 年度より2巡目点検が始まり、国土交通省では約 70%で点検を実施済みです。
- 国土交通省管理の土工構造物の健全性の判定区分の割合は、Ⅰ 41%、Ⅱ 52%、Ⅲ 7%です。

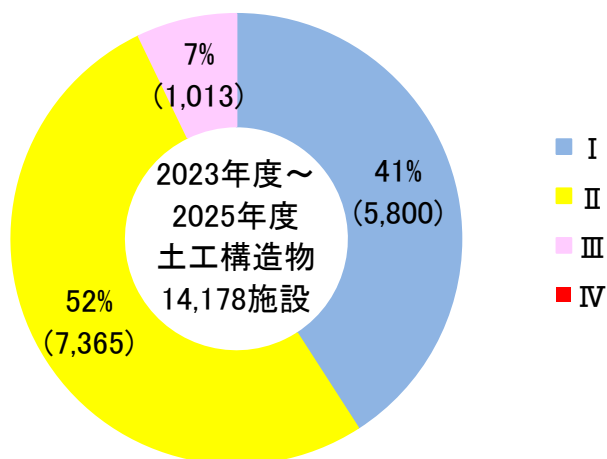
○ 国土交通省の点検実施率



※()内は、2023～2025 年度に点検を実施した施設数の合計。

※災害などにより点検を実施できないなど、一部点検できてない箇所がある。

○ 国土交通省の判定区分の割合



2026.3 末時点

3)修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が管理する特定道路土工構造物で、健全性の判定区分Ⅲの施設の修繕着手率は16%、判定区分Ⅳの施設の修繕着手率は0%です。

判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕の実施状況(国土交通省)

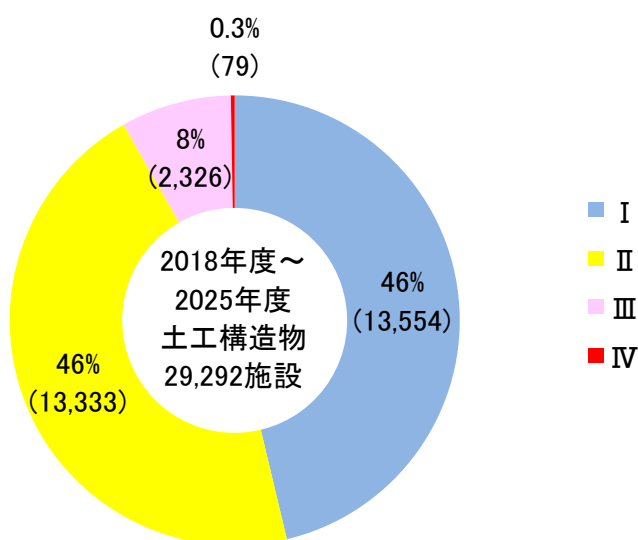
土工 構造物	修繕が 必要な 施設数 (A)	修繕に 着手済の 施設数 (B) (B/A)	修繕 完了の 施設数 (C) (C/A)	点検 実施 年度	: 着手率(B/A) : 完了率(C/A) 0% 20% 40% 60% 80% 100%							
Ⅲ	1,414	230 (16%)	47 (3%)	2018	0% 25%							
				2019	20% 22%							
				2020	3% 9%							
				2021	8% 31%							
				2022	5% 21%							
				2023	3% 25%							
				2024	1% 11%							
				2025	0.3% 3%							
Ⅳ	2	0 (0%)	0 (0%)	2018	対象施設なし							
				2019	対象施設なし							
				2020	0%							
				2021	0%							
				2022	対象施設なし							
				2023	対象施設なし							
				2024	対象施設なし							
				2025	対象施設なし							
合計	1,416	230 (16%)	47 (3%)									

2026.3 末時点

4) 地方公共団体の点検・修繕の実施状況

- 国土交通省では、地方公共団体に対する技術的助言として 2017 年度に道路土工構造物点検要領を示しています。
- 2018～2025 年度に地方公共団体が点検を実施した施設数は 29,292 施設となっています。
- 判定区分Ⅲ（早期措置段階）の施設数は 2,326 施設、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の施設数は 79 施設です。
- このうち、修繕等措置に着手した施設の割合は、判定区分Ⅲの施設で 19%、判定区分Ⅳの施設で 68%です。

○ 地方公共団体の判定区分の割合



2026.3 末時点

○ 地方公共団体管理道路の特定土工構造物における修繕等措置の実施状況

判定区分	修繕が 必要な施設数 (A)	修繕に着手済 の施設数 (B) (B/A)	修繕完了の 施設数 (C) (C/A)
Ⅲ	2,326	450 (19%)	260 (11%)
Ⅳ	79	54 (68%)	43 (54%)
合計	2,405	504 (21%)	303 (13%)

2026.3 末時点

※2018～2025 年度の 8 年間の点検により判定区分Ⅲ又はⅣと判定された施設。

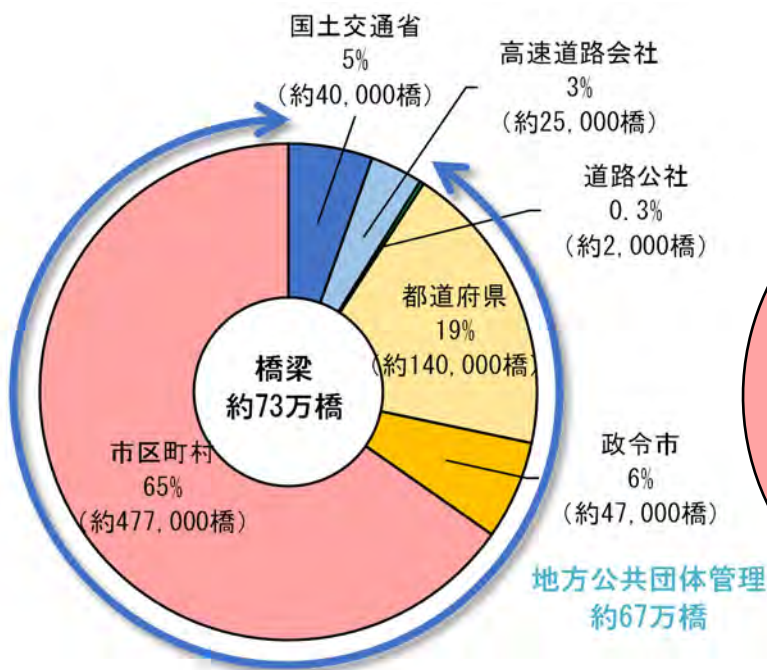
7. 橋梁・トンネルの現状

(1) 橋梁の現状

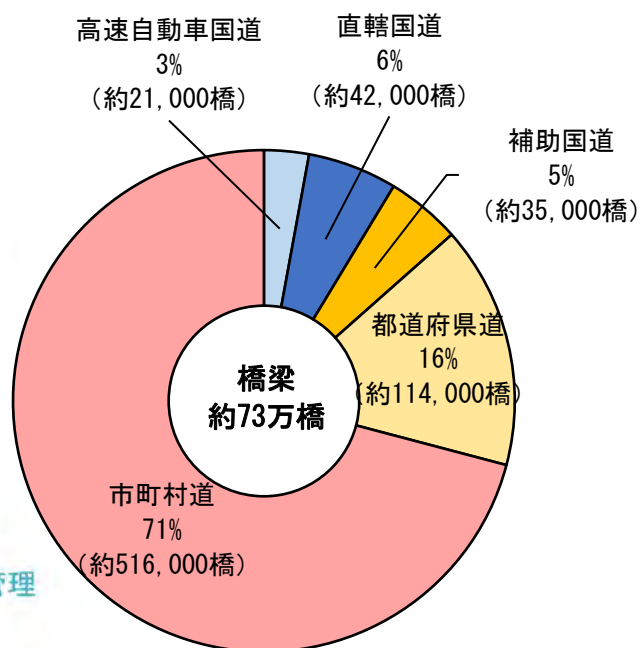
1) 管理者別の橋梁数、橋面積

- 我が国には橋梁が約 73 万橋あり、このうち、地方公共団体が管理する橋梁は約 67 万橋と、9 割以上を占めています。

○ 道路管理者別橋梁数

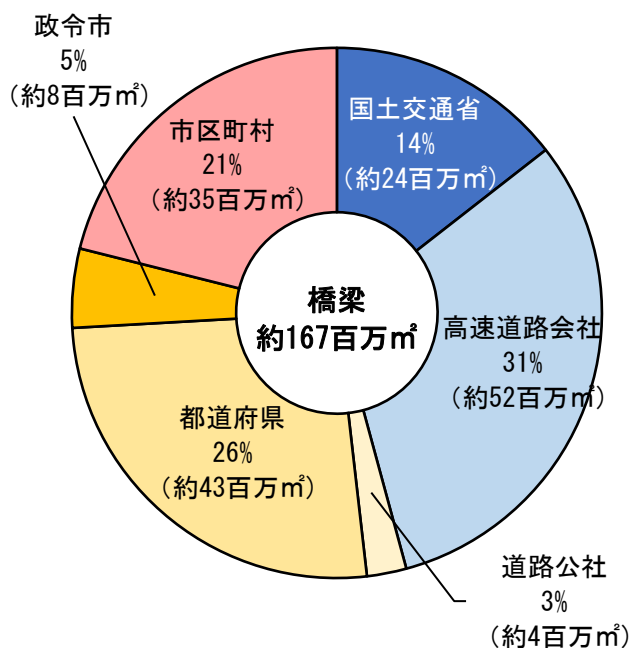


○ 道路種別橋梁数

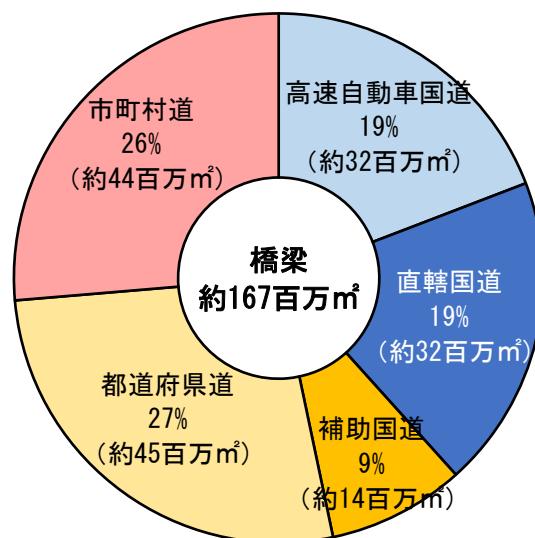


(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

○ 道路管理者別橋面積



○ 道路種別橋面積

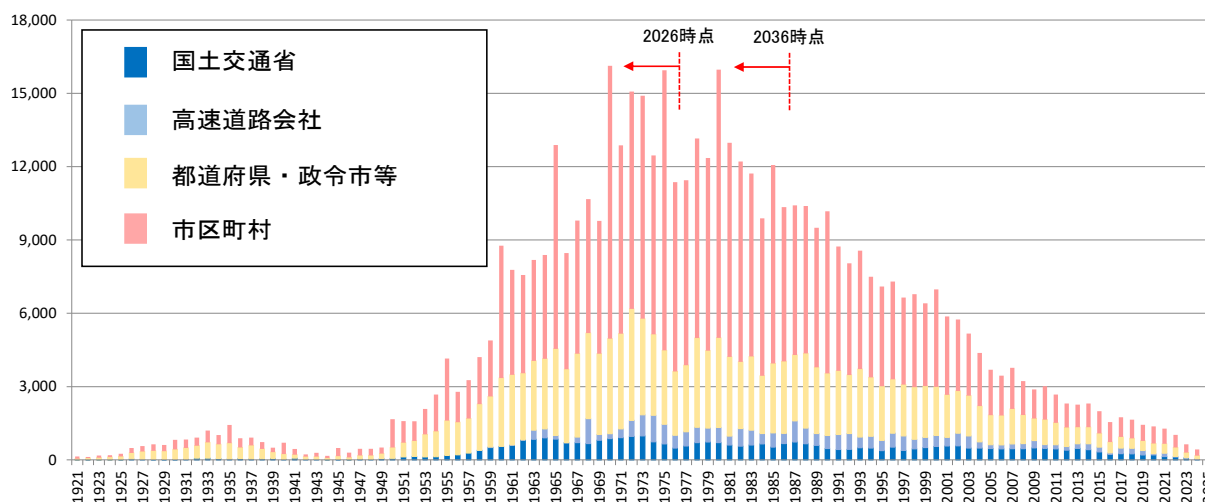


(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

2)建設年度別の橋梁数

- 建設後 50 年を経過した橋梁の割合は、現在は約 44%であるのに対し、10 年後には約 67%となります。建設後 50 年を経過し橋長 15m 未満の橋梁の割合は、10 年後に約 74%となります。橋長 15m 以上の橋梁の割合は、10 年後に 54%となります。
- この他に建設年度が不明の道路橋が全国で約 19.3 万橋あり、これらのお大半が市区町村管理の橋長 15m 未満の橋梁です。

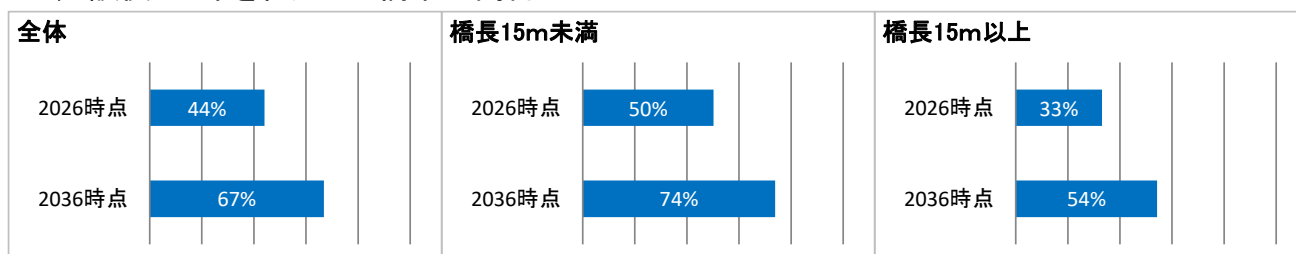
○ 建設年度別橋梁数



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 19.3 万橋ある。

（出典）道路局調べ（2026.3 末時点）

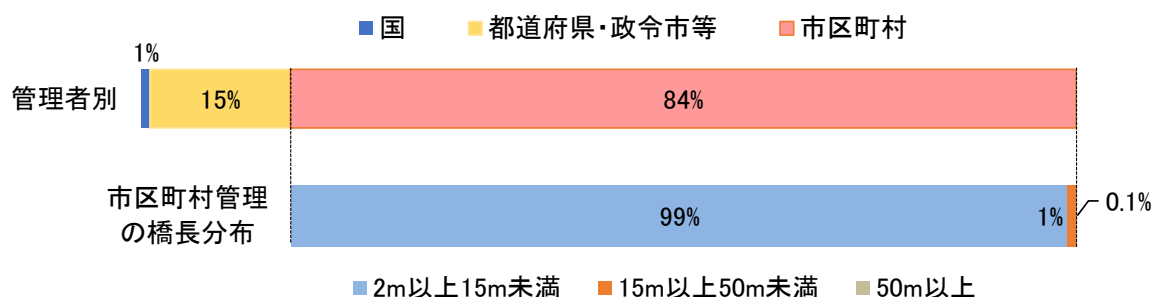
○ 建設後 50 年を経過した橋梁の割合



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約 19.3 万橋ある。

（出典）道路局調べ（2026.3 末時点）

○ 建設年度不明橋梁（約 19.3 万橋）の内訳

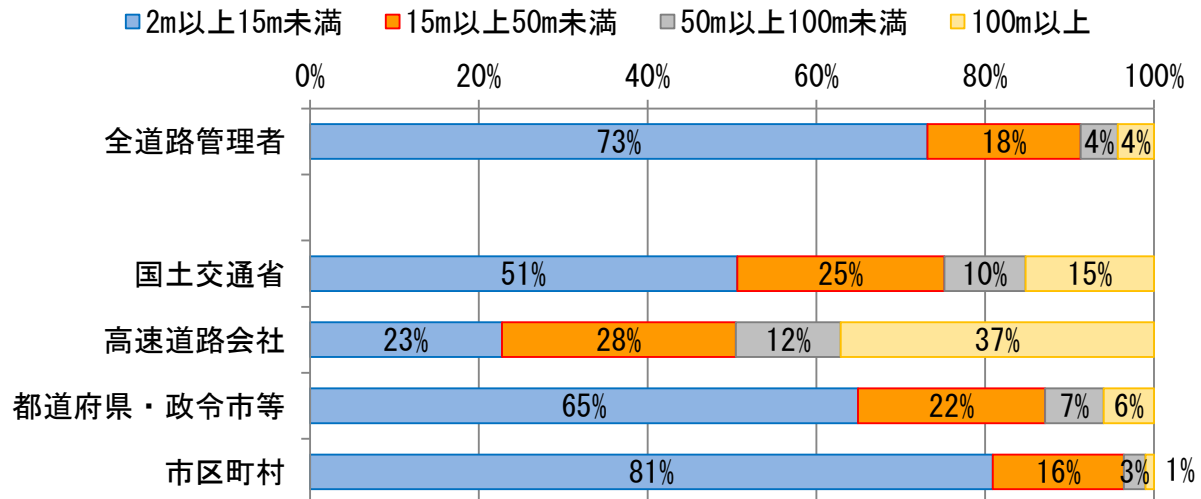


（出典）道路局調べ（2026.3 末時点）

3) 管理者別の橋長分布

- 橋長 50m 以上の橋梁は国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理する橋梁の 80%以上が橋長 15m 未満です。

○ 管理者別の橋長分布



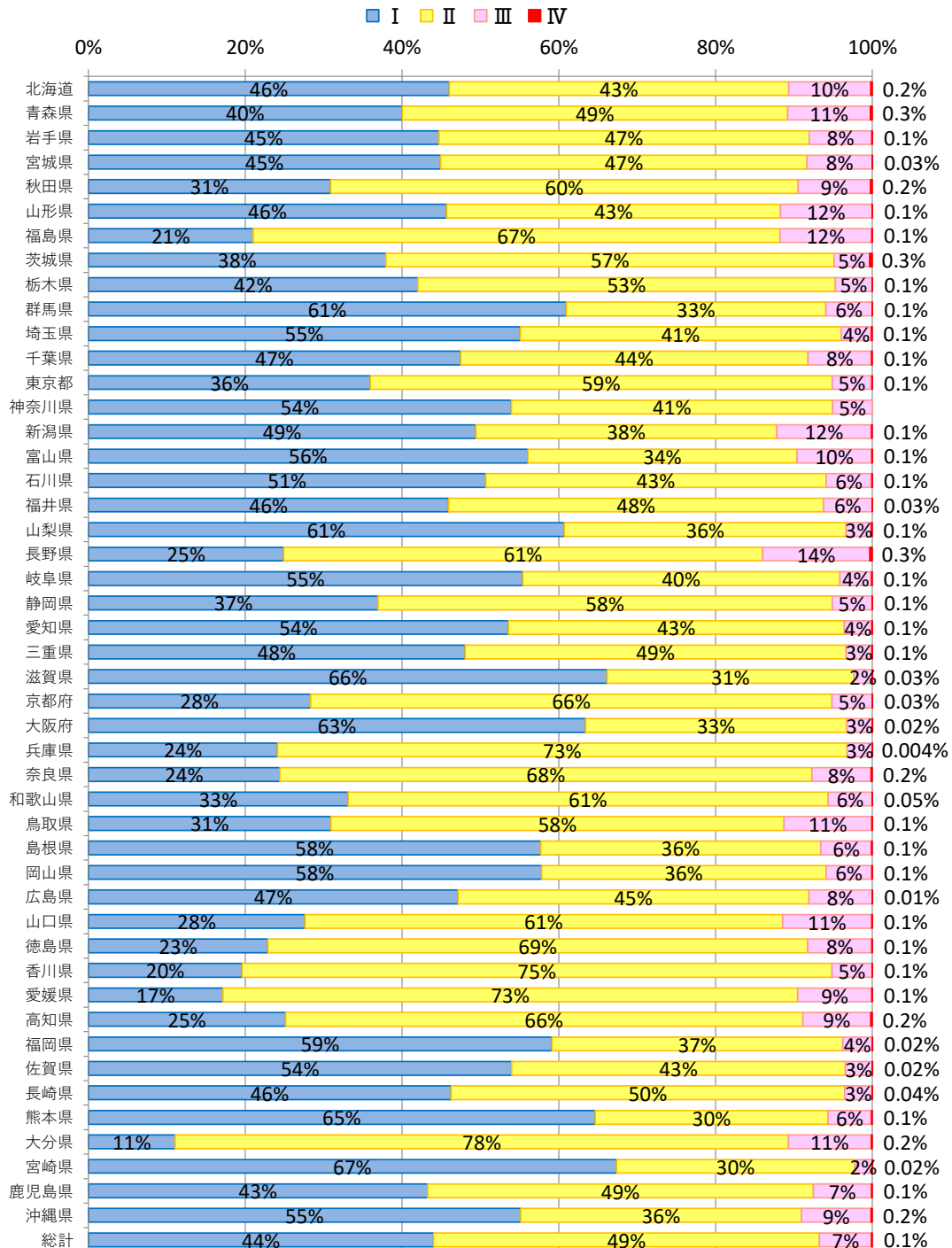
(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

※橋長に関して情報がなかった橋梁を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2025 年度)の点検結果の分布

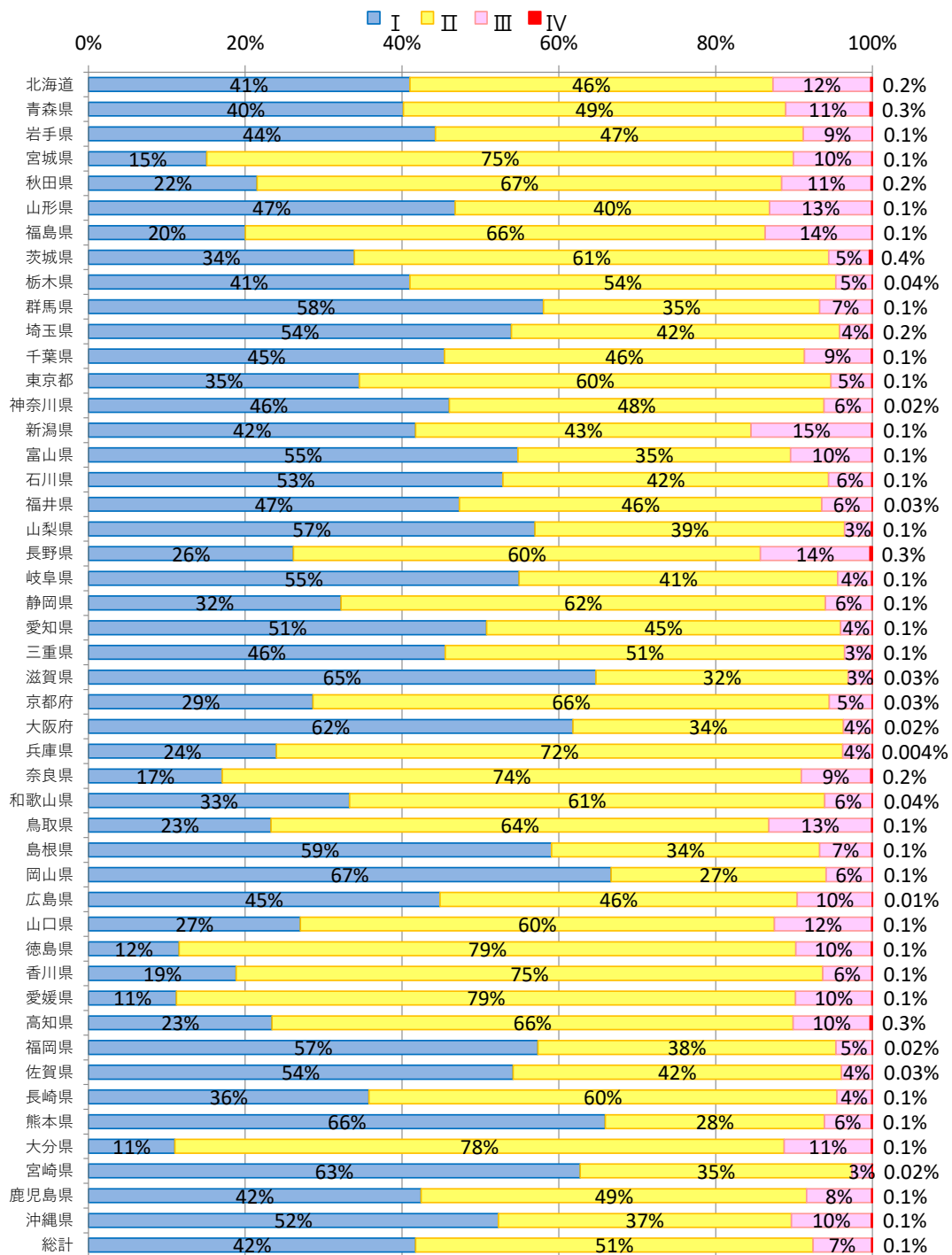
- 過年度の点検(2014～2025 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 44%、Ⅱ 49%、Ⅲ 7%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理橋梁)



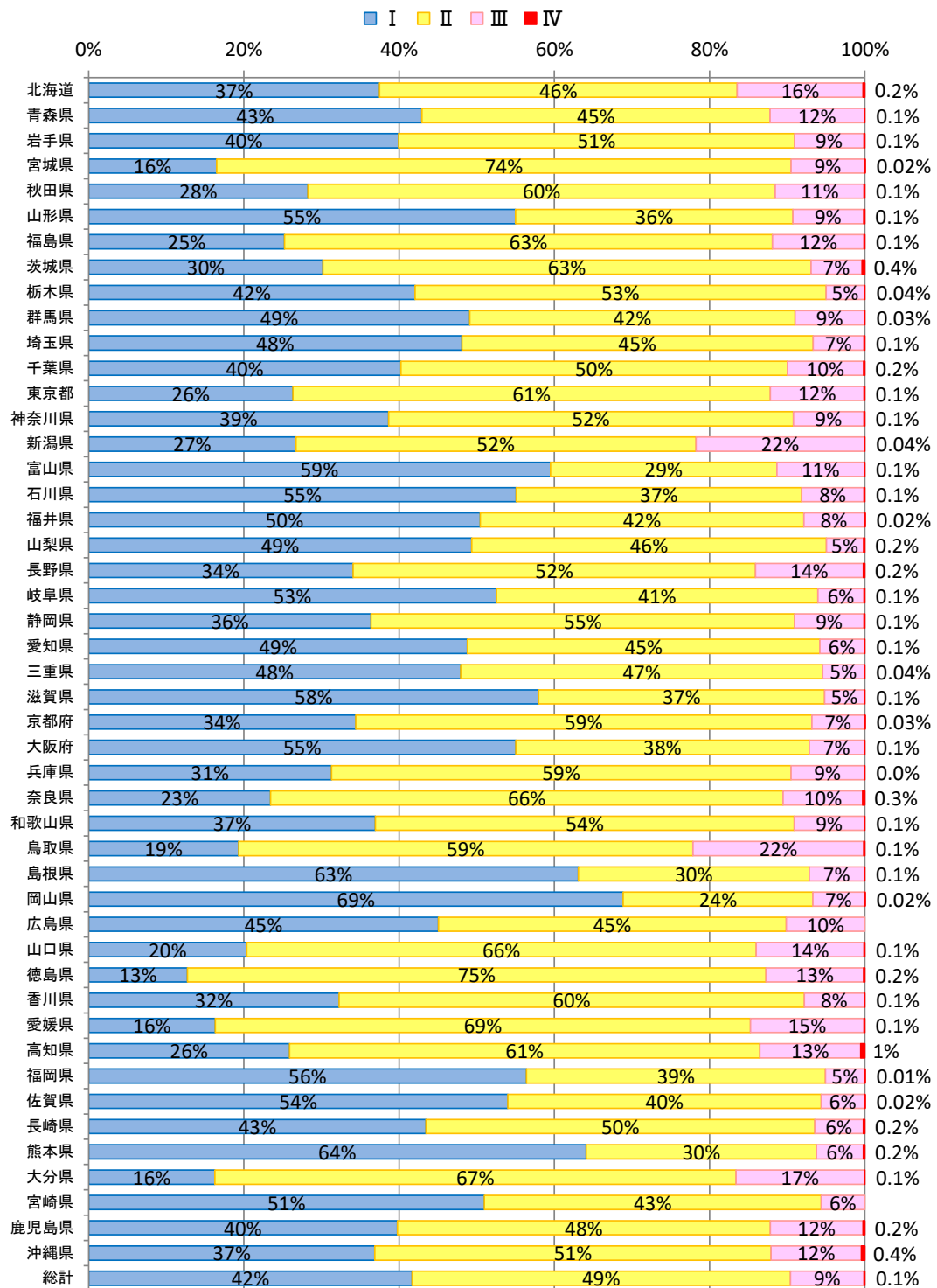
※2026 年 3 月末時点の 2014～2025 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理橋梁)

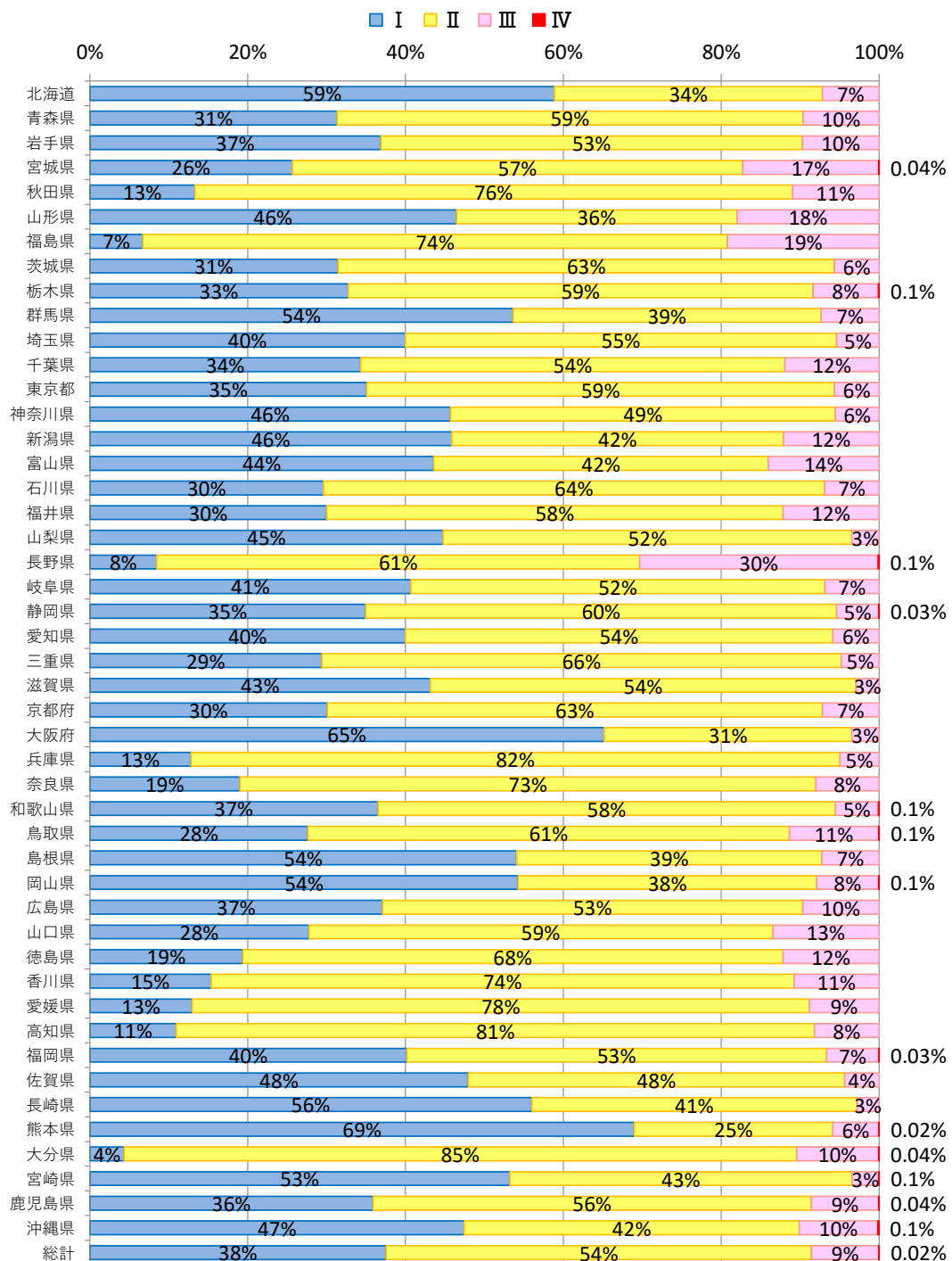


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分の分布

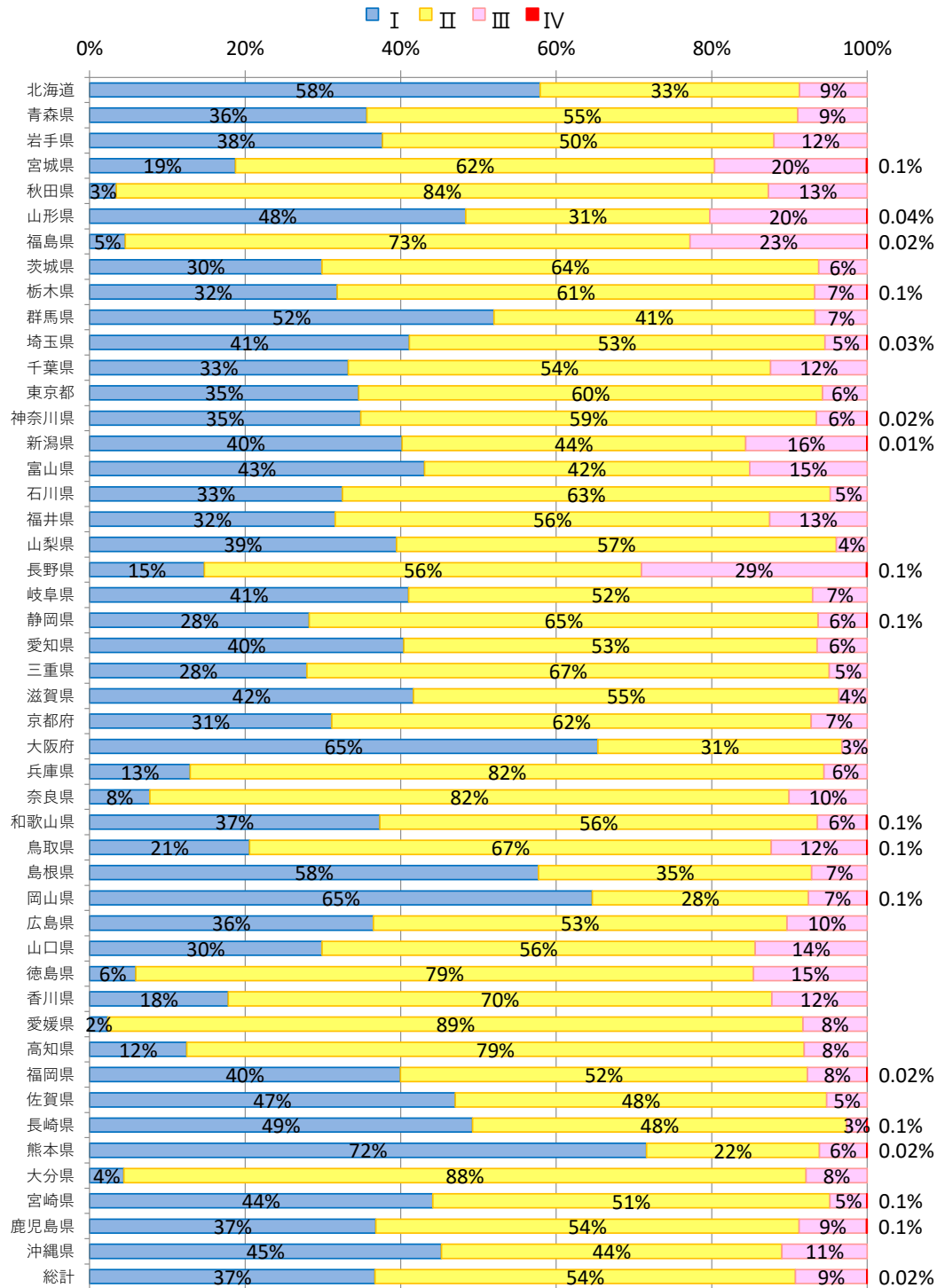
- 過年度の点検(2014～2025 年度)で都道府県・政令市等が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等全体の判定区分の割合は、Ⅰ 38%、Ⅱ 54%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.02%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理橋梁)



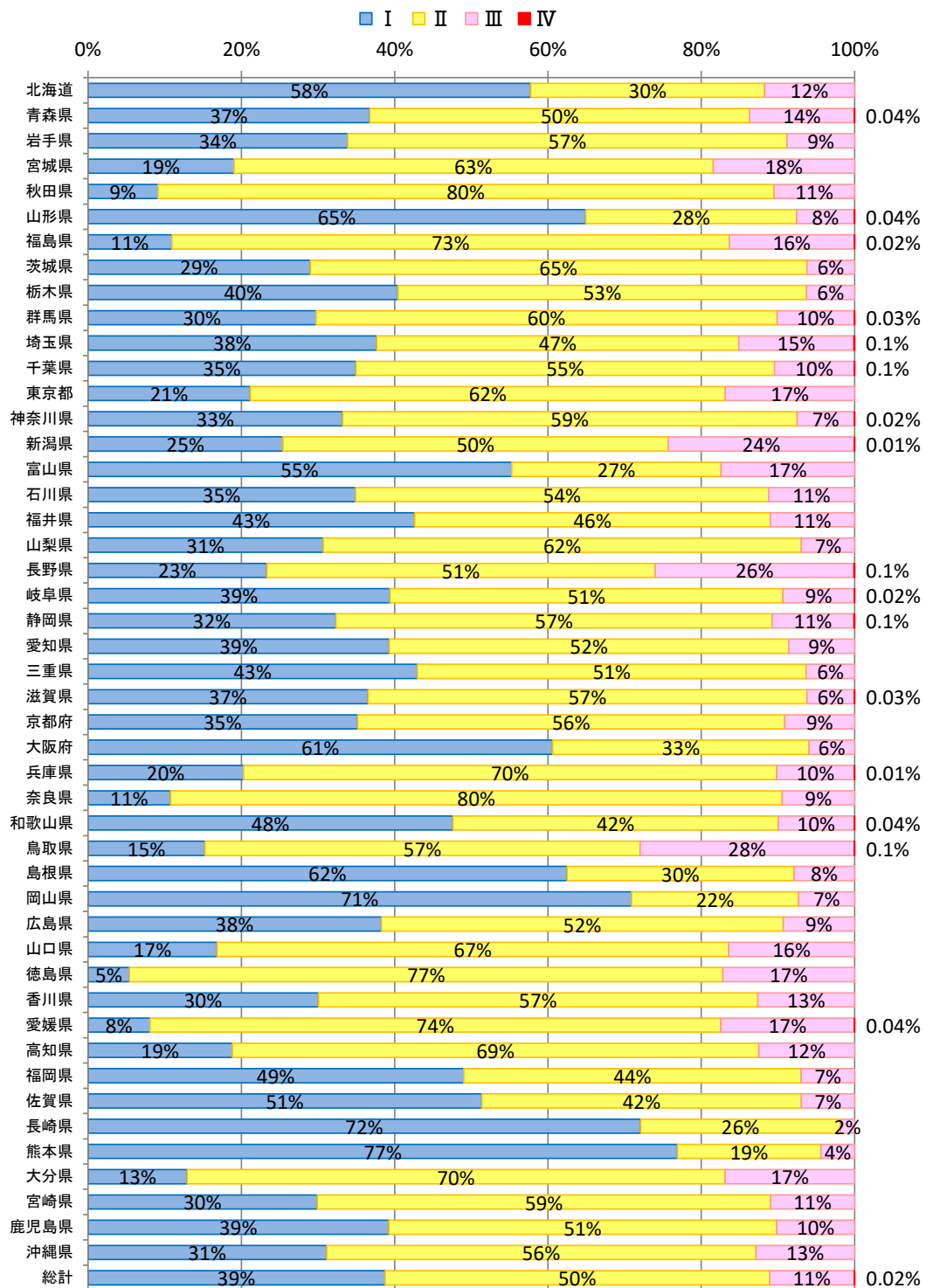
※2026 年 3 月末時点の 2014～2025 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理橋梁)

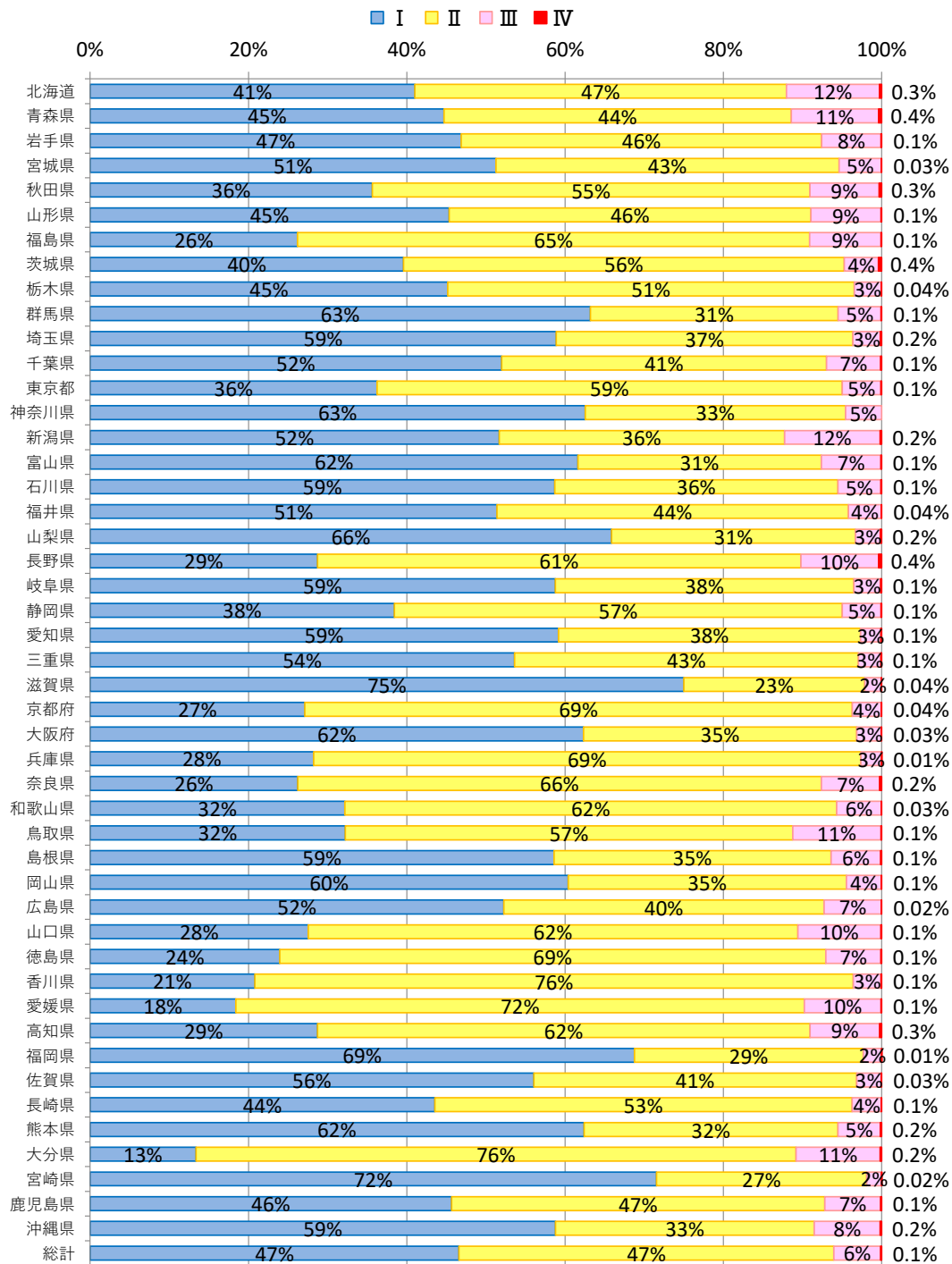


※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分の分布

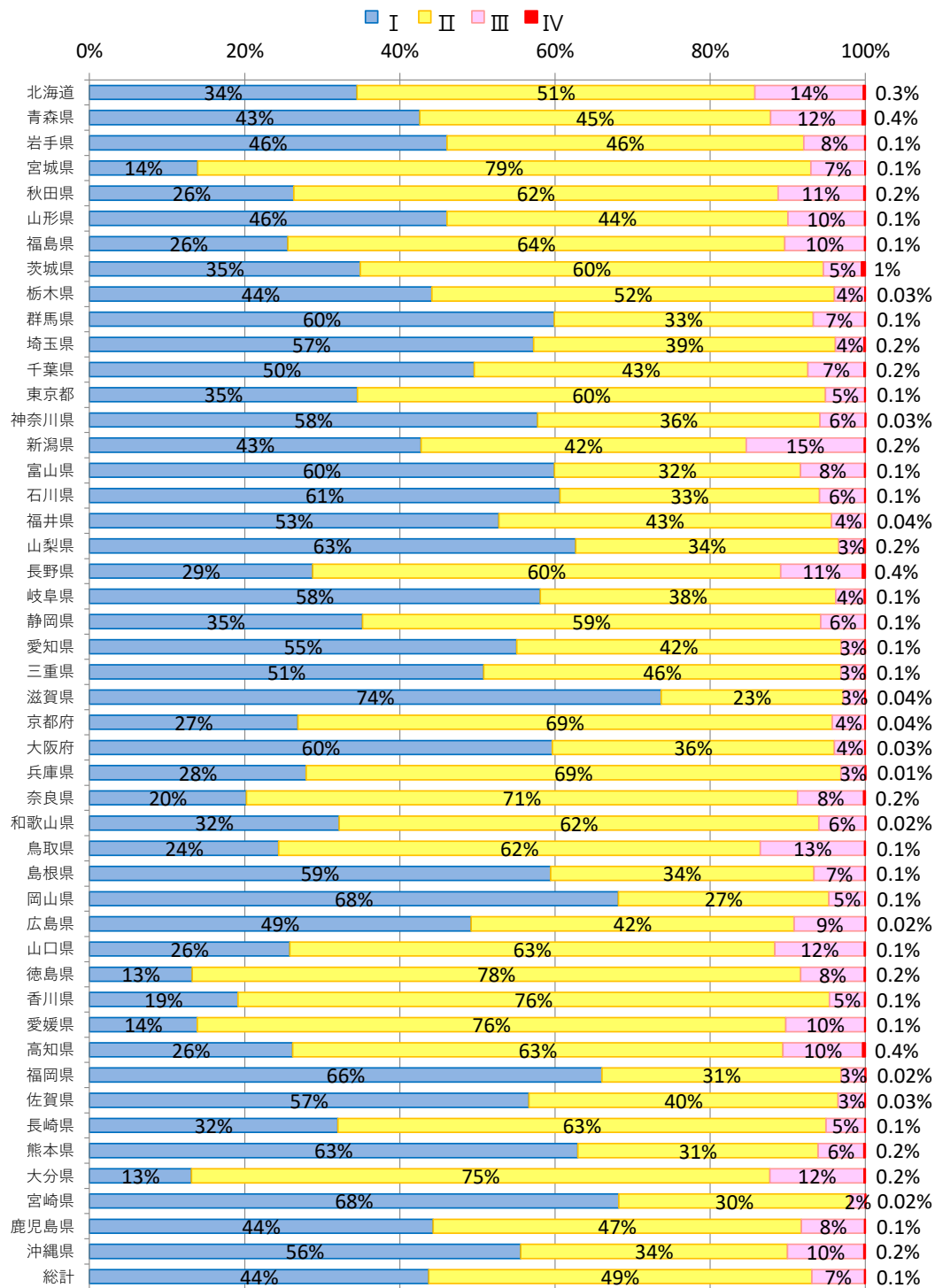
- 過年度の点検(2014～2025 年度)で市区町村が管理する橋梁の判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村全体の判定区分の割合は、Ⅰ 47%、Ⅱ 47%、Ⅲ 6%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理橋梁)



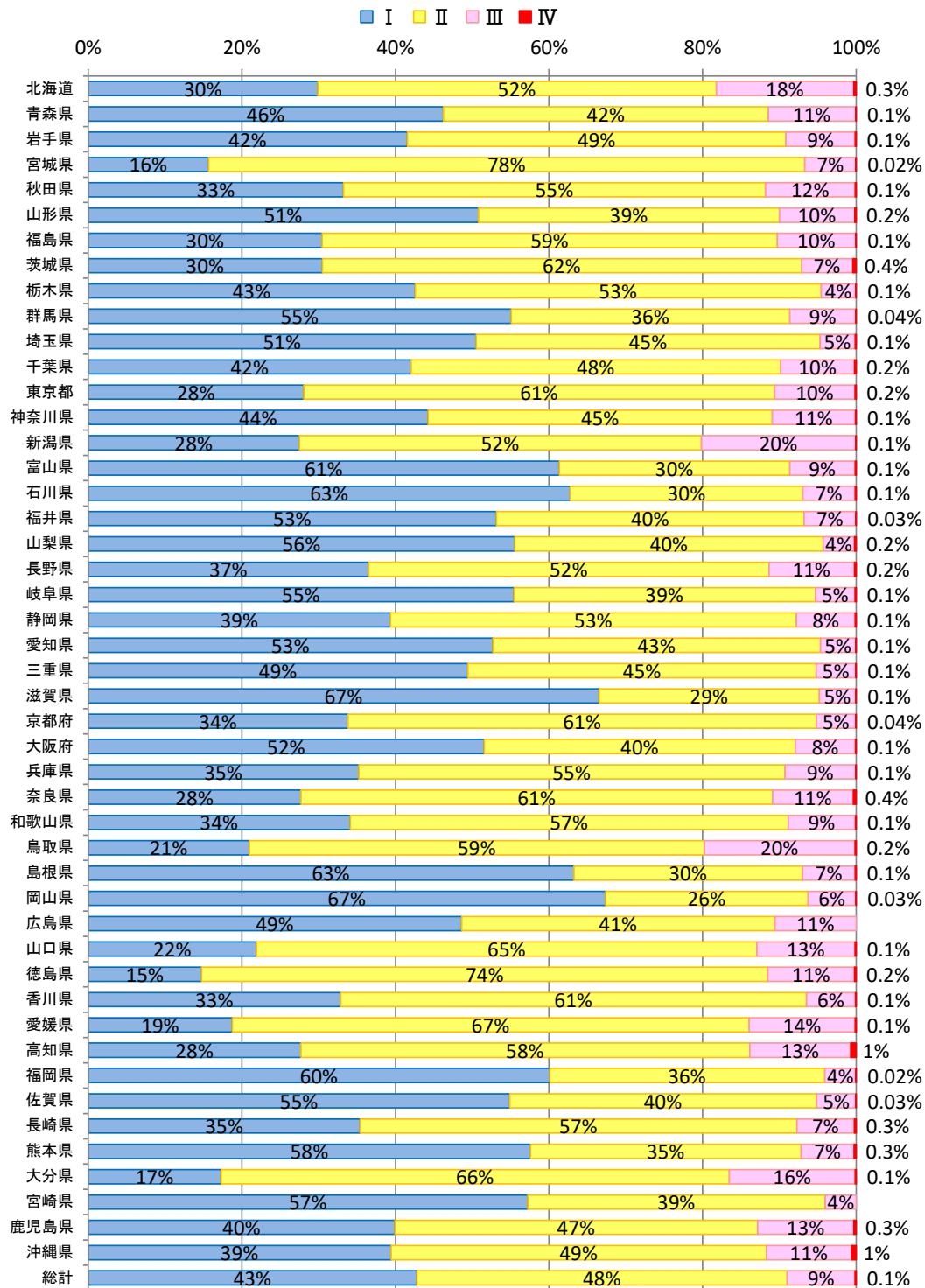
※2026 年 3 月末時点の 2014～2025 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理橋梁)



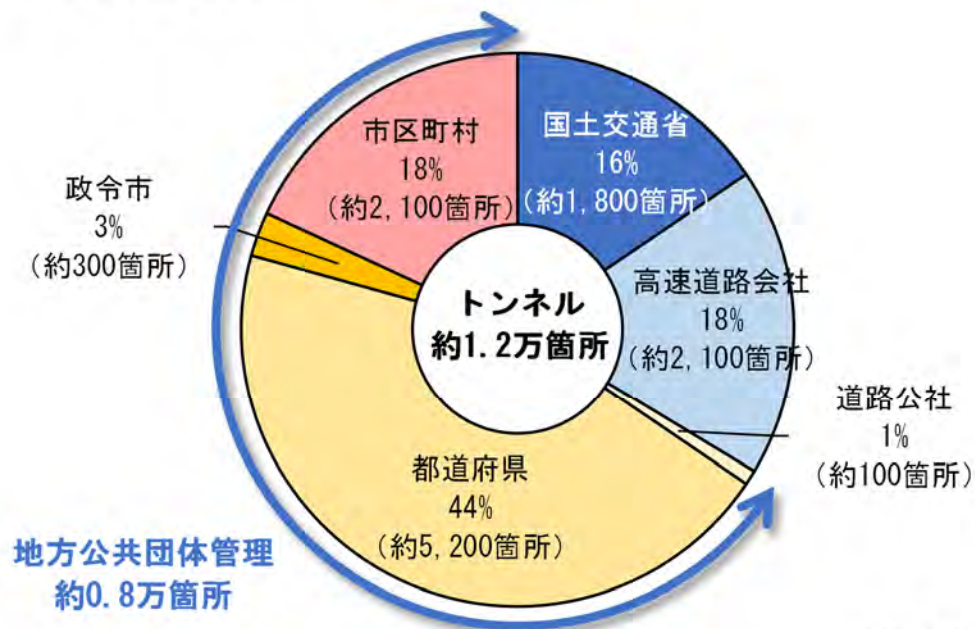
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(2)トンネルの現状

1) 管理者別の箇所数

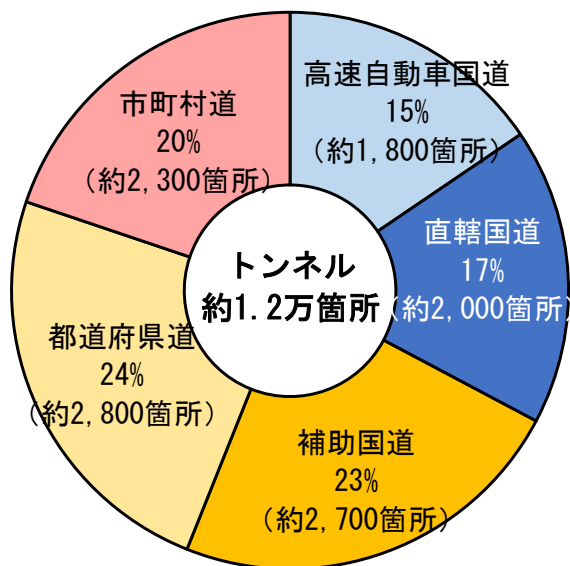
- 我が国にはトンネルが約1.2万箇所あり、このうち、地方公共団体が管理するトンネルは約0.8万箇所と、約7割を占めています。

○ 道路管理者別



(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

○ 道路種別



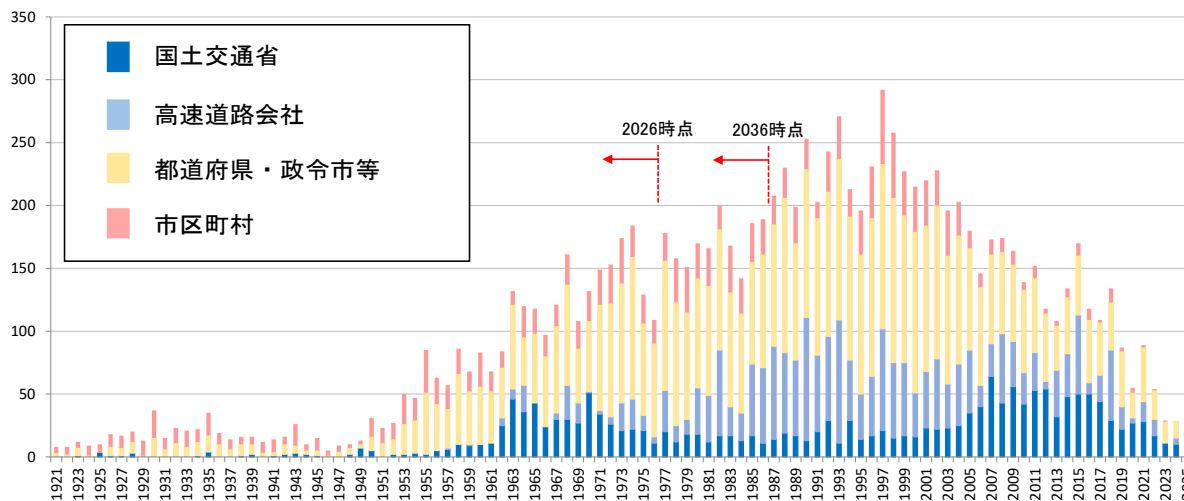
(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

2)建設年度別のトンネル数

- 建設後 50 年を経過したトンネルの割合は、現在は約 29%であるのに対し、10 年後には約 44%に増加します。建設後 50 年を経過し延長 100m 未満のトンネルの割合は、10 年後に約 79%となります。

※橋梁・トンネルの建設年度別施設数は巻末資料(4)を参照。

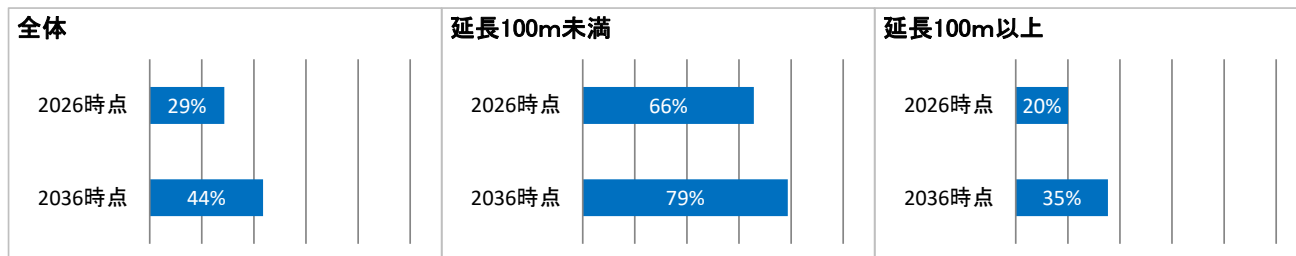
○ 建設年度別トンネル数



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 220 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

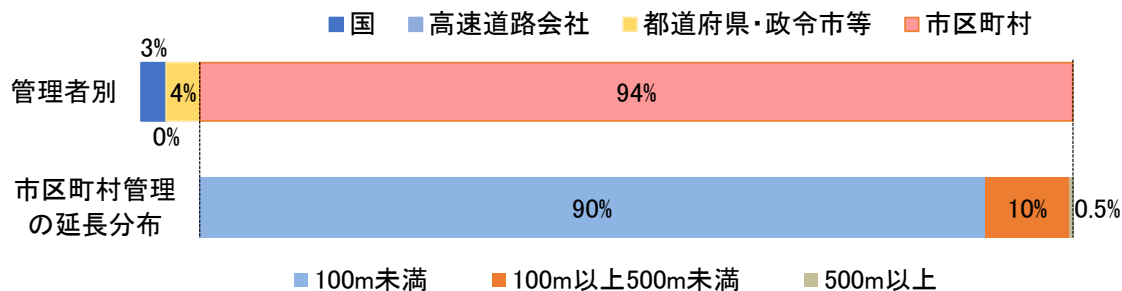
○ 建設後 50 年を経過したトンネルの割合



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが約 220 箇所ある。

(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

○ 建設年度不明トンネル(約 220 箇所)の内訳

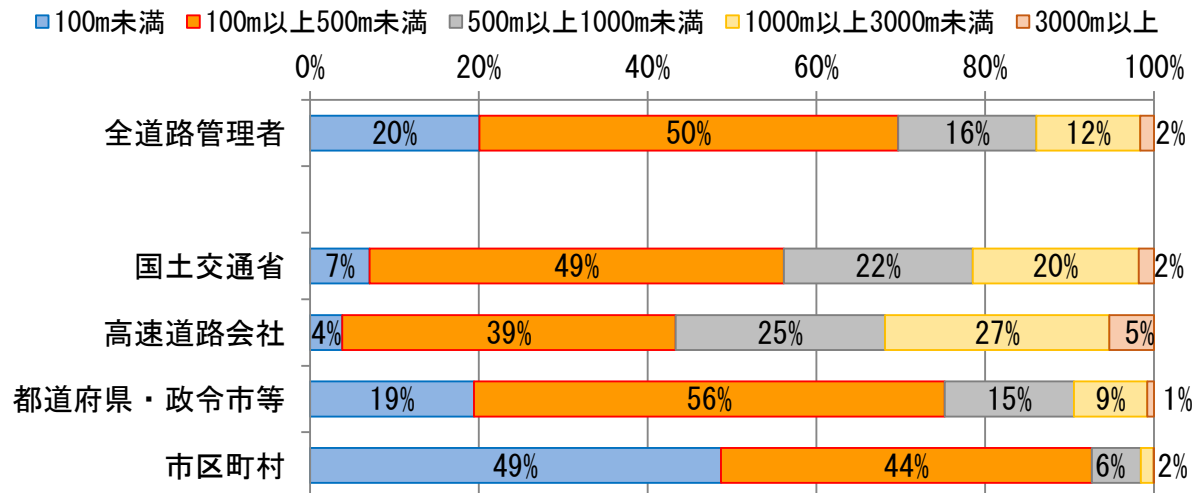


(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

3) 管理者別の延長分布

- 延長 1000m 以上のトンネルは国土交通省、高速道路会社に多くなっています。
- 市区町村は管理するトンネルの約 50%が延長 100m 未満です。

○ 管理者別の延長分布



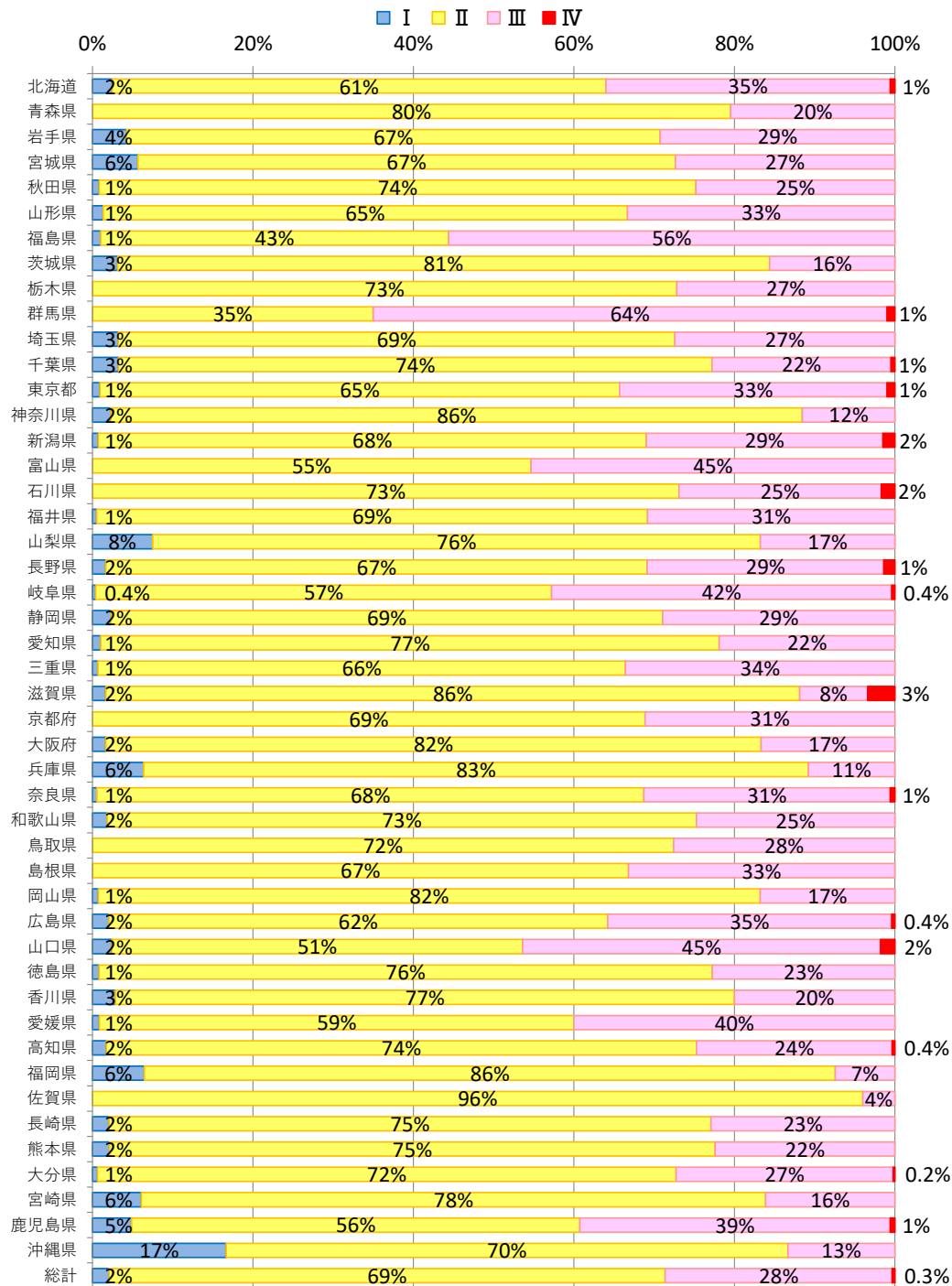
(出典)道路局調べ(2026.3 末時点)

※延長に関して情報がなかった施設を除く

4) 地方公共団体の過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分の分布

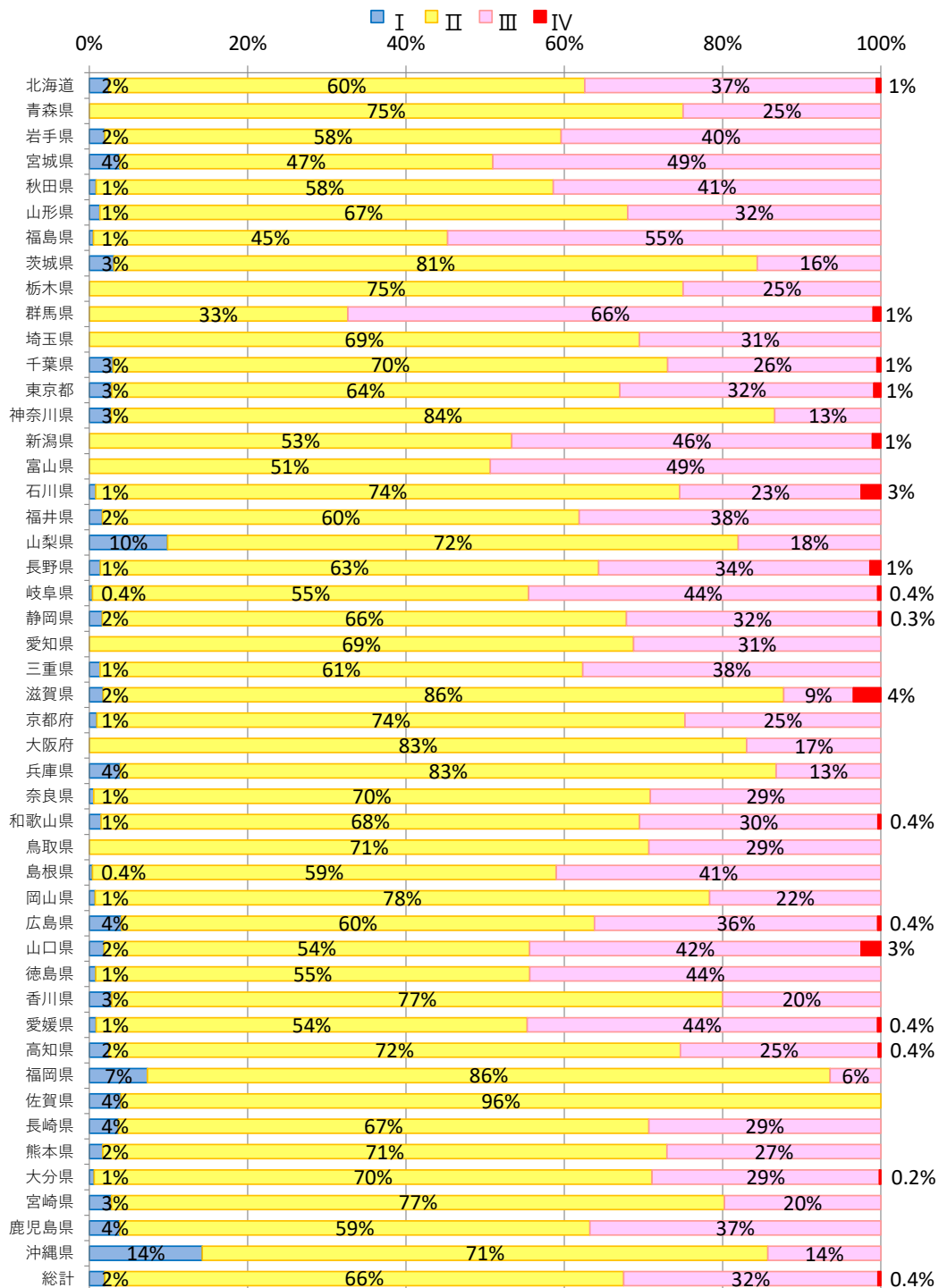
- 過年度の点検(2014～2025 年度)で地方公共団体(都道府県・政令市等及び市区町村)が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 地方公共団体全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 69%、Ⅲ 28%、Ⅳ 0.3%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(地方公共団体管理トンネル)



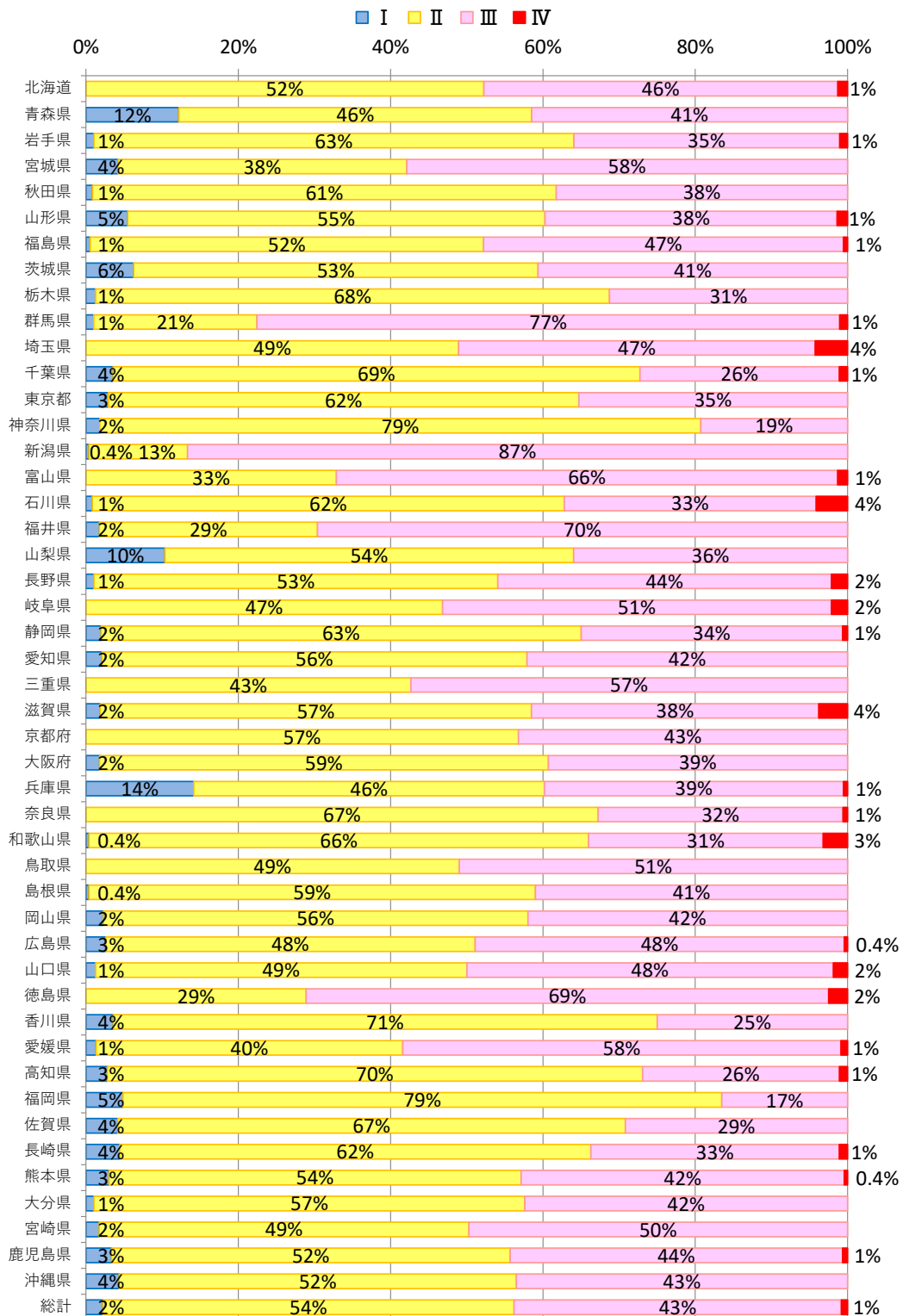
※2026 年 3 月末時点の 2014～2025 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(地方公共団体管理トンネル)



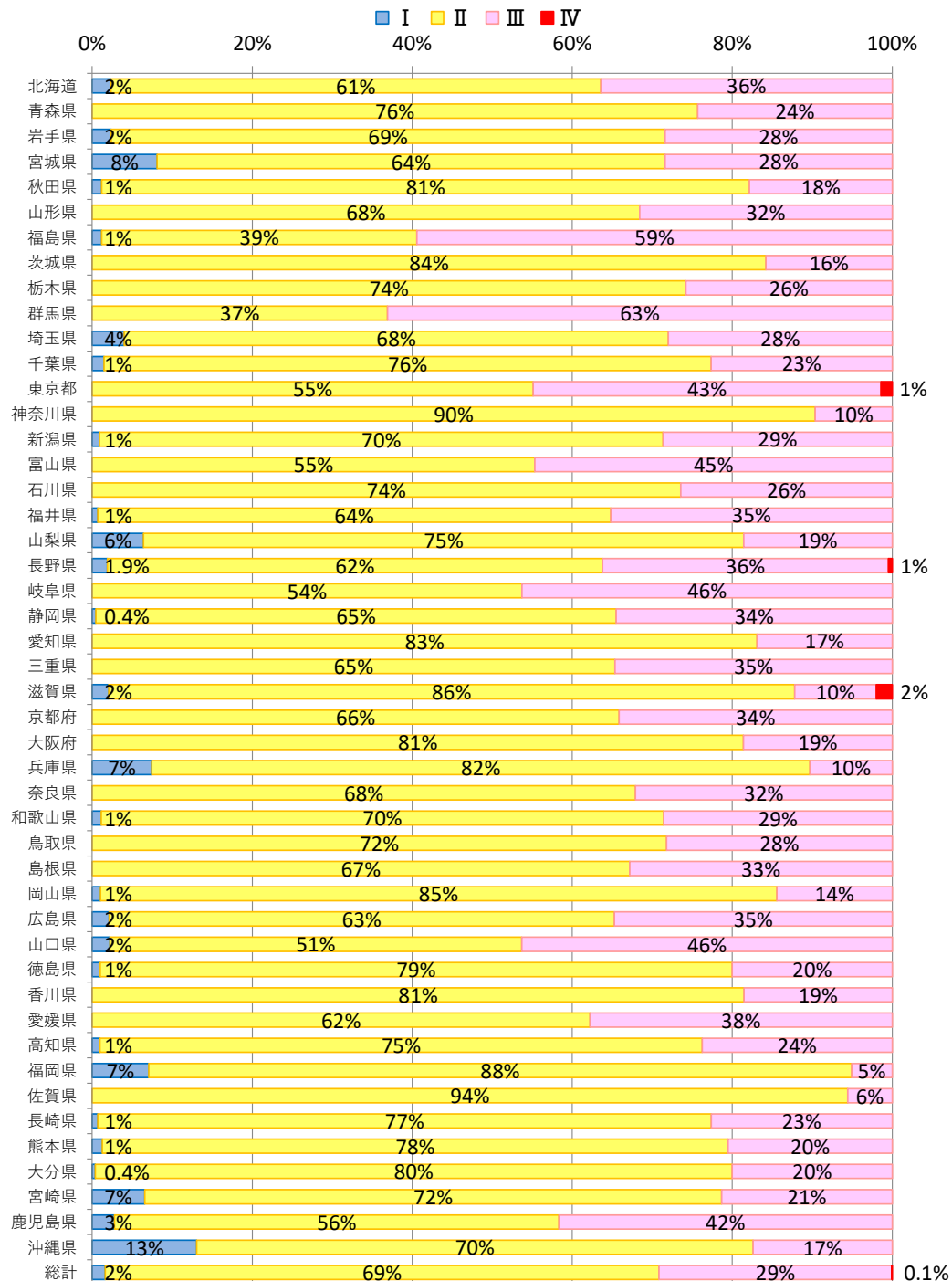
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。

また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

5) 都道府県・政令市等の過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分の分布

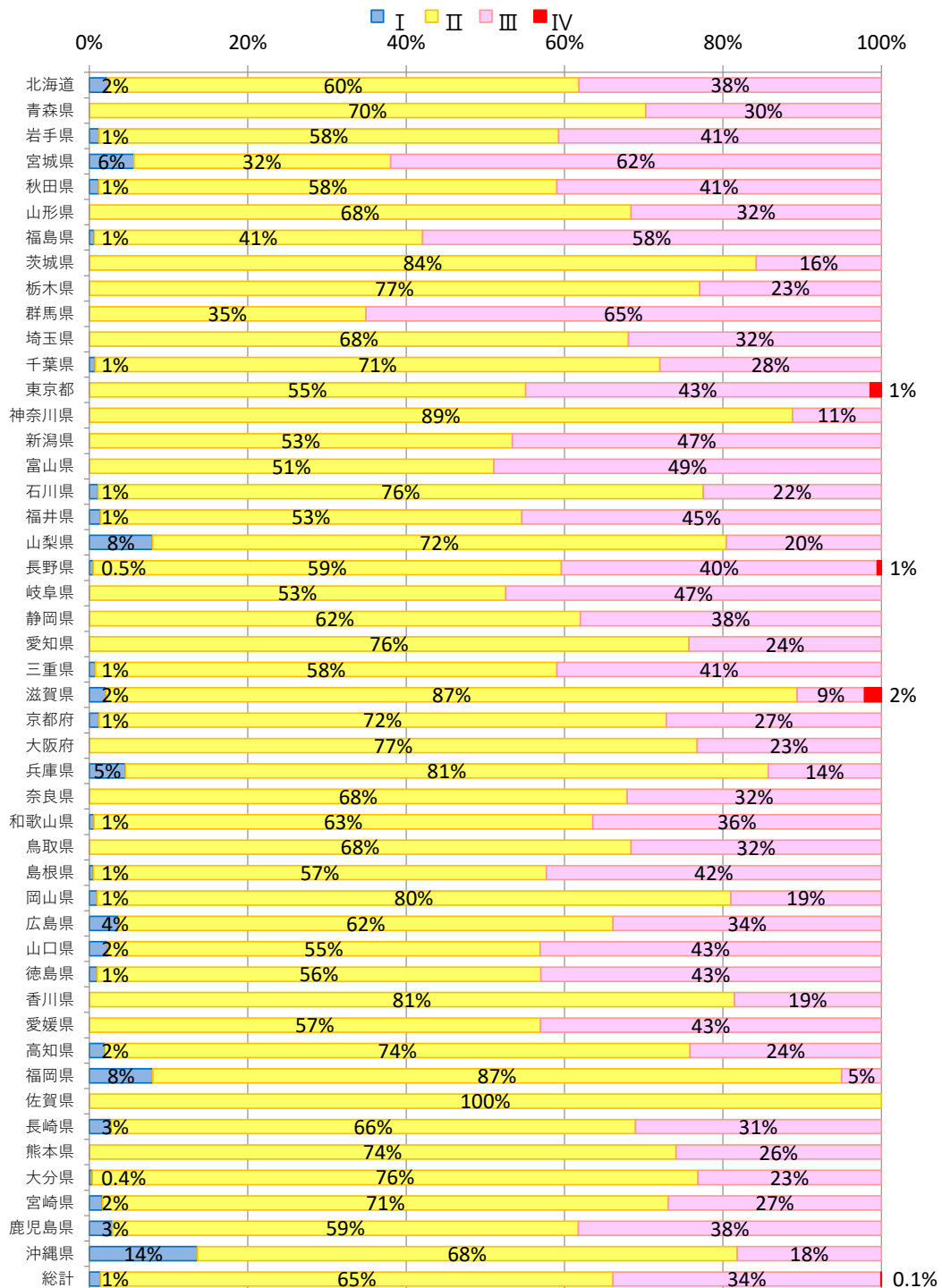
- 過年度の点検(2014～2025 年度)で都道府県・政令市等が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 都道府県・政令市等の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 2%、Ⅱ 69%、Ⅲ 29%、Ⅳ 0.1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(都道府県・政令市等管理トンネル)



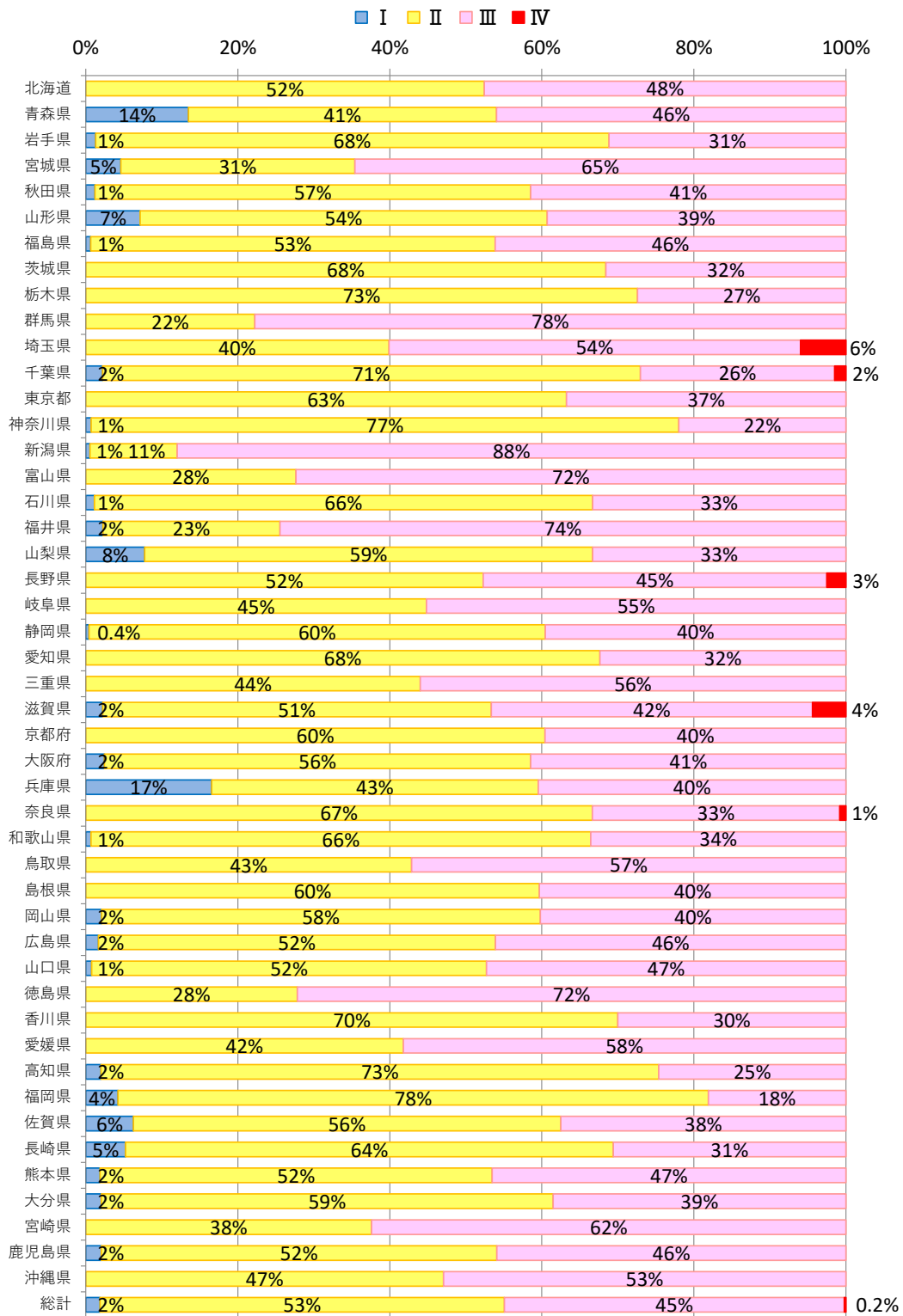
※2026 年 3 月末時点の 2014～2025 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(都道府県・政令市等管理トンネル)



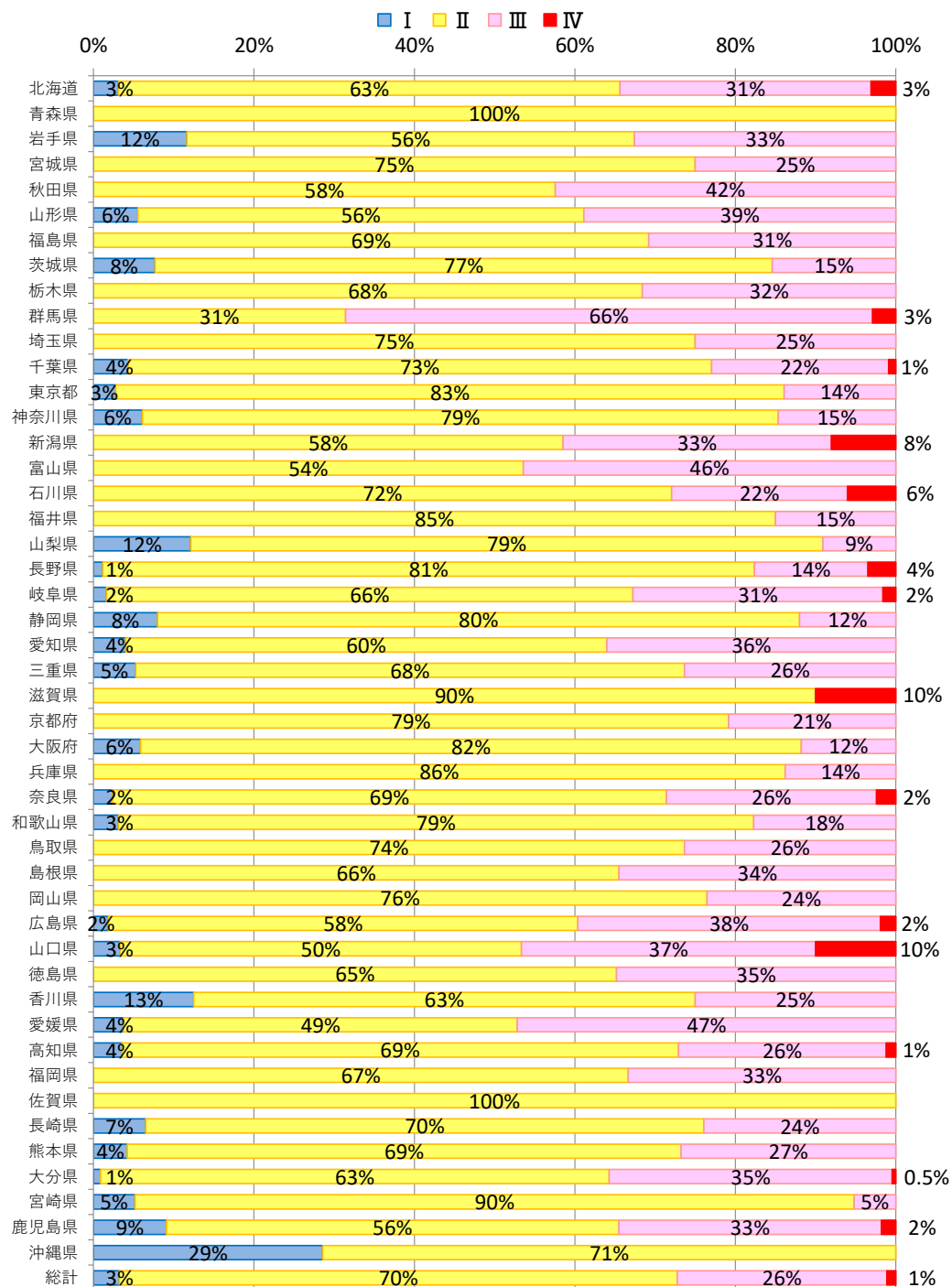
※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。

また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

6) 市区町村の過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分の分布

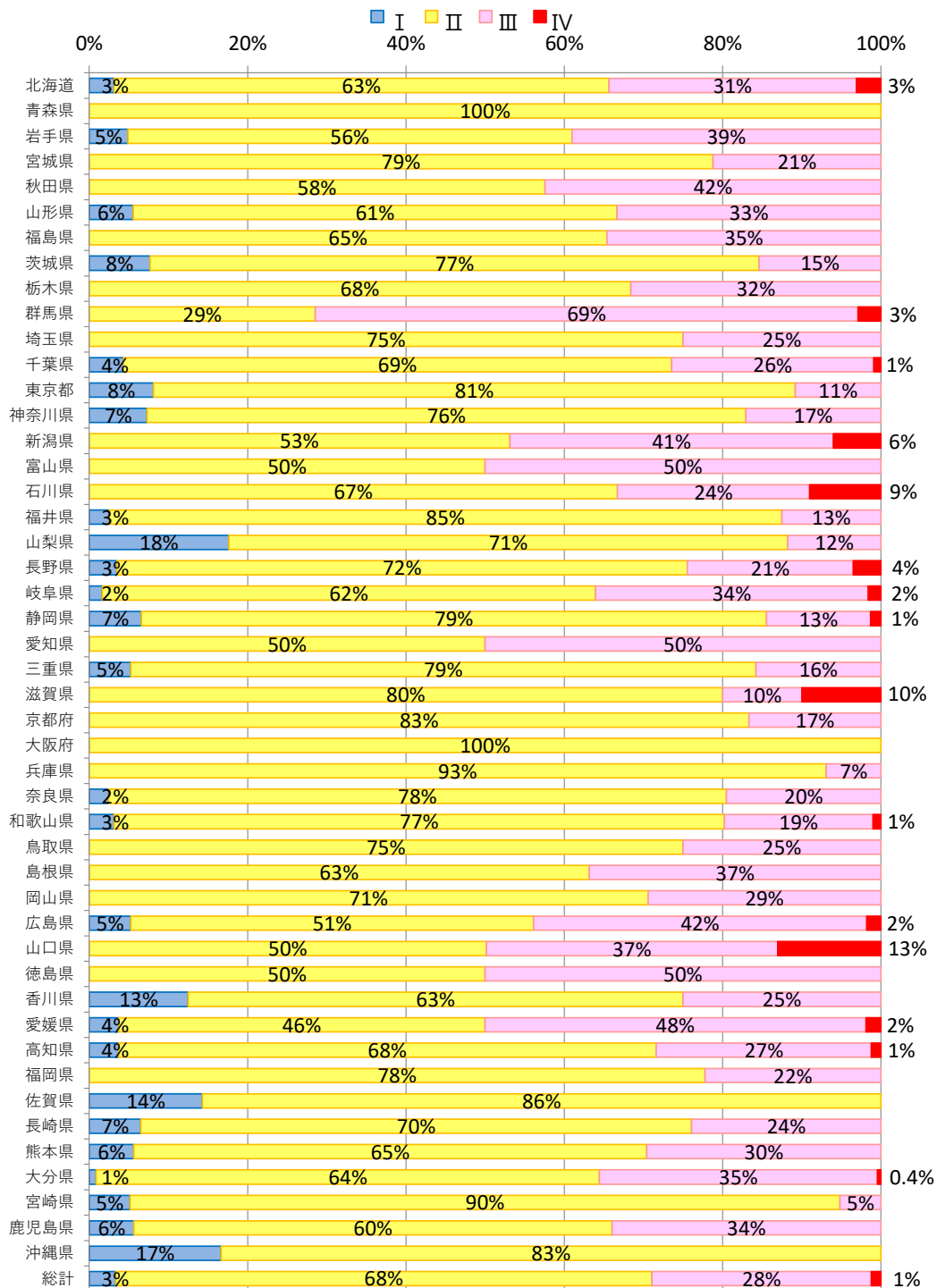
- 過年度の点検(2014～2025 年度)で市区町村が管理するトンネルの判定区分の割合は地域によって異なります。
- 市区町村の全体の判定区分の割合は、Ⅰ 3%、Ⅱ 70%、Ⅲ 26%、Ⅳ 1%です。

○ 都道府県別判定区分の割合(市区町村管理トンネル)



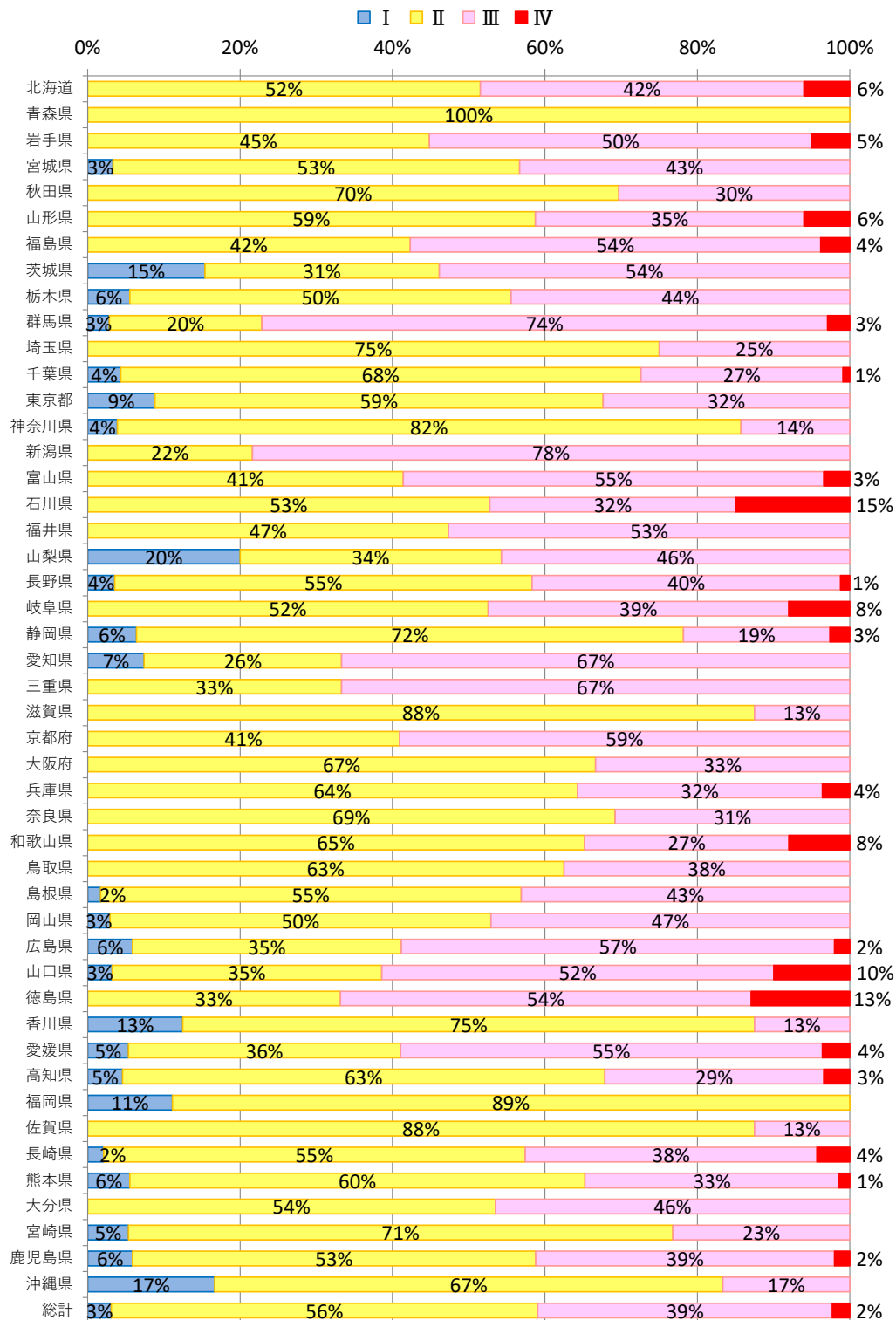
※2026 年 3 月末時点の 2014～2025 年度の最新の点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100%とならない場合がある。

(参考) 2巡目点検(2019～2023 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理トンネル)



※2024 年 3 月末時点の 2 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

(参考) 1巡目点検(2014～2018 年度)における都道府県別判定区分の割合
(市区町村管理トンネル)



※2019 年 3 月末時点の 1 巡目点検結果をもとに作成したものである。
また、四捨五入の関係で合計が 100% とならない場合がある。

8. 路面下空洞・地下占用物の調査結果等及び修繕等措置の実施状況

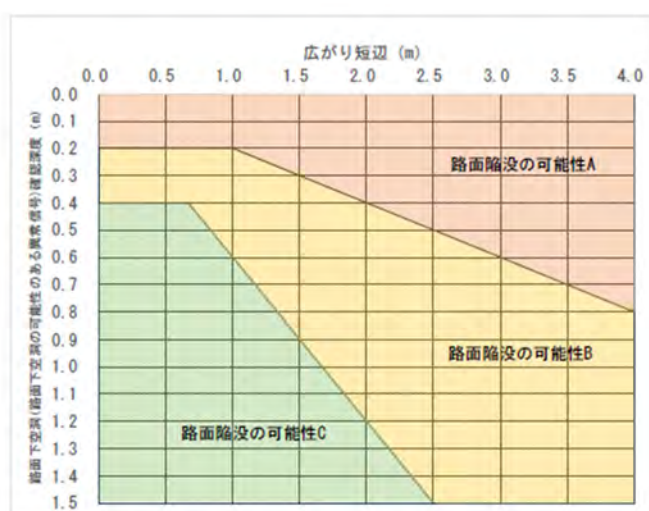
(1) 路面下空洞

1) 概要

道路陥没に繋がる路面の異常については、各道路管理者が道路巡視や路面下空洞調査などにより把握を行っています。

国土交通省の管理する道路については、道路巡視による路面異常の把握の他、路面下空洞調査要領(2025 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課)に基づき、5年に1回は調査を実施する事を基本(周辺施設や地下構造物の種類等に応じて調査頻度を短縮)として、空洞探査車両等により調査を実施しています。

確認された空洞による路面陥没の可能性の高さを以下により判定した上で、埋設物の設置状況や沿道状況などを踏まえて修繕等の措置の優先度を判断しています。



※路面下空洞(路面下空洞の可能性のある異常信号)確認深度の0.0mは路面の位置とする。

図 4.3 路面陥没の可能性判定表(例)

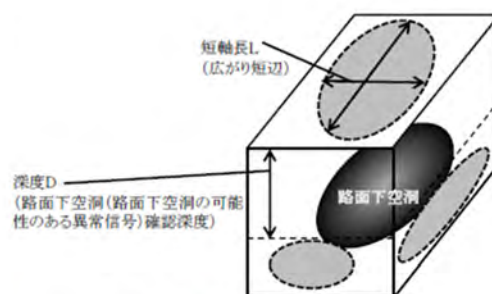


図 4.4 路面下空洞の広がりイメージ図

国土交通省以外の道路管理者は、道路巡視による路面異常の把握の他、路面下空洞調査要領(2025 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課)等を参考に、適切に管理を行っています。

2) 調査・修繕の実施状況(国土交通省)

- 国土交通省が 2025 年度に実施した路面下空洞調査の調査延長は 2,788km で、路面陥没の可能性の判定区分の割合は、A 2%、B 46%、C 52%です。
- 路面陥没の可能性が高いと判定 (A) された全ての箇所で修繕等に着手済みです。

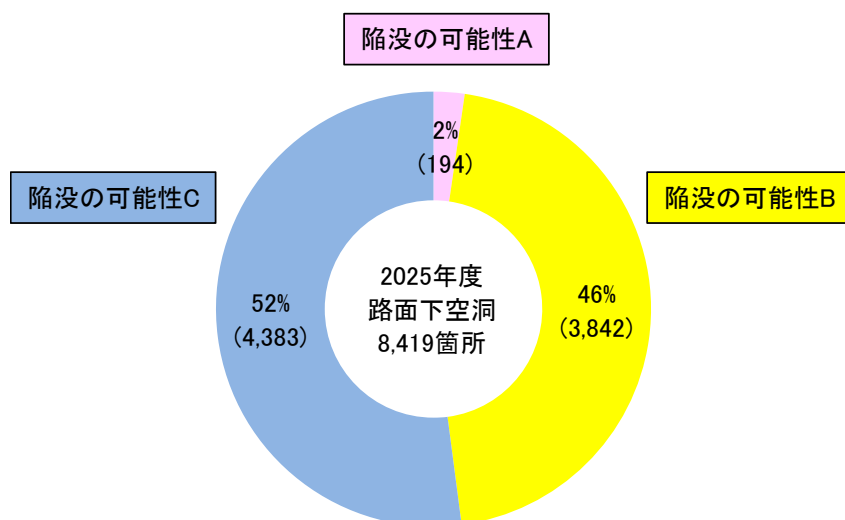
○ 路面下空洞調査による路面陥没の可能性判定区分の割合

道路管理者	管理延長※ ¹ (道路延長)	2025 年度				
		調査延長 (道路延長)	空洞確認 箇所数	路面陥没の可能性		
				A(高い)	B(中程度)	C(低い)
国土交通省	20,810km	2,788km	8,419 箇所	194 箇所 (194 箇所)※ ²	3,842 箇所 (169 箇所)※ ²	4,383 箇所 (33 箇所)※ ²

※¹ 橋梁、トンネル部は除く

※² うち、修繕等の優先度が高い箇所

2026.3 末時点



○ 修繕等の優先度が高い箇所の修繕実施の割合

路面陥没の 可能性	修繕等の 優先度が高い箇所	修繕等に 着手済みの箇所	うち、完了
A(高い)	194 箇所	194 箇所 (100%)	194 箇所 (100%)
B(中程度)	169 箇所	131 箇所 (78%)	131 箇所 (78%)
C(低い)	33 箇所	31 箇所 (94%)	31 箇所 (94%)

(2) 地下占用物

1) 概要

道路下に埋設されている洞道や道路上に設置されている電柱等の占用物件は、関係法令や施設特性等に応じた管理者毎の考え方にに基づき点検・調査を実施しています。

2) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(電力事業者※)

- 道路下に埋設されている電力関係施設について、電力事業者が 2025 年度に調査した施設数は洞道 831 区間、マンホール 18,882 箇所です。このうち、不具合が確認された箇所はマンホールの 19 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 15 箇所です。

※(一社)送配電網協議会参画企業

道路管理者	対象施設数		2025 年度					
	洞道	マンホール	洞道			マンホール		
			実施区間	不具合箇所	措置済箇所	実施箇所	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	4,297 区間	119,683 箇所	831 区間	0 箇所	0 箇所	18,882 箇所	19 箇所	15 箇所

2026.3 末時点

3) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(通信事業者※)

- 道路下に埋設されている通信関係施設について、通信事業者が 2025 年度に調査した施設数は洞道 204km、マンホール 80,815 箇所です。このうち、不具合が確認された箇所はマンホールの 51 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 5 箇所です。

※NTT 東日本(株)、NTT 西日本(株)、NTT インフラネット(株)、NTT ドコモ(株)

道路管理者	対象施設数		2025 年度					
	洞道	マンホール	洞道			マンホール		
			実施延長	不具合箇所	措置済箇所	実施箇所	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	618km	813,055 箇所	204km	0 箇所	0 箇所	80,815 箇所	51 箇所	5 箇所

2026.3 末時点

4) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(ガス事業者※)

- 道路下に埋設されているガス関係施設について、ガス事業者が 2025 年度に調査した施設延長は 55,936km です。このうち、不具合が確認された箇所は 3,004 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 2,937 箇所です。

※(一社)日本ガス協会参画企業

道路管理者	対象施設延長	2025 年度		
		調査実施延長	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	255,459km	55,936km	3,004 箇所	2,937 箇所

2026.3 末時点

5) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(水道事業者)

- 道路下に埋設されている水道関係施設について、水道事業者が 2025 年度に調査した延長は約 39 万 km です。このうち、不具合が確認された箇所は 27,850 箇所、修繕等措置を実施した箇所は 26,113 箇所です。

道路管理者	対象管路延長※	2025 年度		
		調査実施延長	不具合箇所	措置済箇所
全管理者	約 80 万 km	約 39 万 km	27,850 箇所	26,113 箇所

※令和 5 年度水道統計及び令和 5 年度簡易水道統計の延長計
2026.3 末時点

6) 主な地下占用物の調査・修繕の実施状況(下水道事業者)

- 道路下に埋設されている下水道関係施設について、下水道事業者が 2025 年度に調査した延長は約 2.8 万 km です。このうち、不具合が確認された箇所は 465km で、修繕等措置を実施した箇所は 45km です。

道路管理者	対象管路延長	2025 年度		
		調査実施延長	不具合箇所※ ¹	措置済箇所※ ²
全管理者	約 50 万 km	約 2.8 万 km	465km	45km

※ 1 緊急度 I と判定された延長

※ 2 措置未了の箇所については、速やかな措置の実施を要請中
2026.3 末時点

7) 電柱の調査・修繕の実施状況(電力事業者※)

- 電柱について、電力事業者が 2025 年度に調査した本数は約 240 万本です。このうち、不具合が確認されたのは 289 本で、修繕等措置を実施したのは 203 本です。

※(一社)送配電網協議会参画企業

道路管理者	電柱本数	2025 年度		
		調査実施本数	不具合本数※	措置済本数
全管理者	約 813 万本	約 240 万本	289 本	203 本

※ 点検の結果、2025 年度に更新を実施した本数及び今後更新を予定している本数計
2026.3 末時点

8) 電柱の調査・修繕の実施状況(通信事業者※)

- 電柱について、通信事業者が 2025 年度に調査した本数は約 82 万本です。このうち、不具合が確認されたのは 671 本で、修繕等措置を実施したのは 444 本です。

※NTT 東日本(株)、NTT 西日本(株)、NTT インフラネット(株)、NTT ドコモ(株)

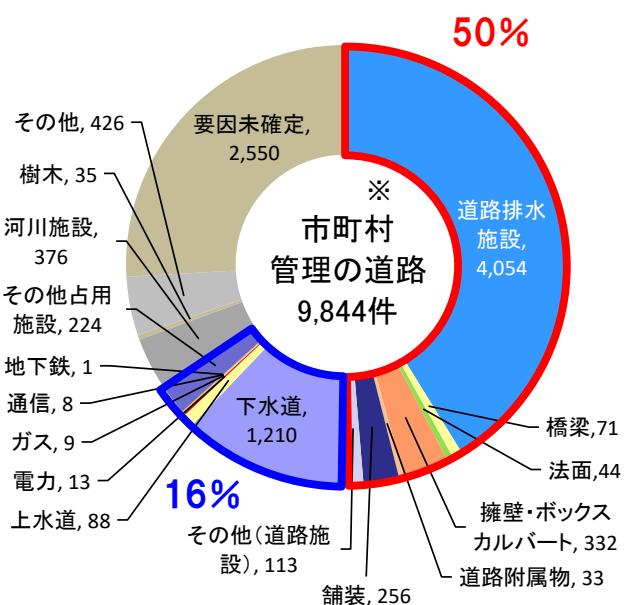
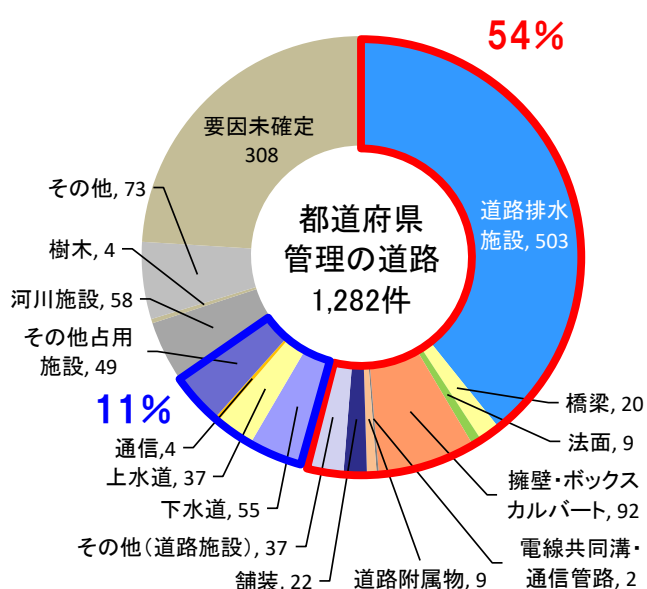
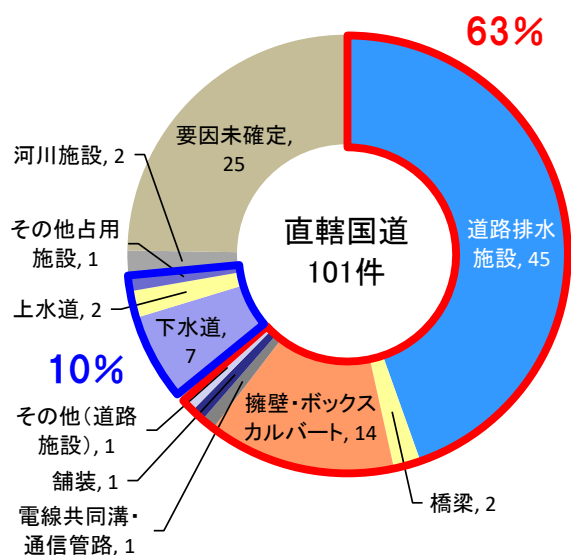
道路管理者	電柱本数	2025 年度		
		調査実施本数	不具合本数※	措置済本数
全管理者	約 442 万本	約 82 万本	671 本	444 本

※ 点検の結果、2025 年度に更新を実施した本数及び今後更新を予定している本数計
2026.3 末時点

(3) 道路陥没の発生件数とその要因(2025 年度)

1) 道路陥没発生件数の内訳(全道路)

- 2025 年度に発生した道路陥没件数は直轄国道で 101 件、都道府県管理の道路で 1,282 件、市町村管理の道路で 9,844 件です。
- 陥没の要因は様々ありますが、水が流れる施設（道路排水施設、下水道、上水道）の件数が多く、その中でも、道路排水施設の割合が高くなっています。



※政令市、特別区含む



道路施設が要因の陥没

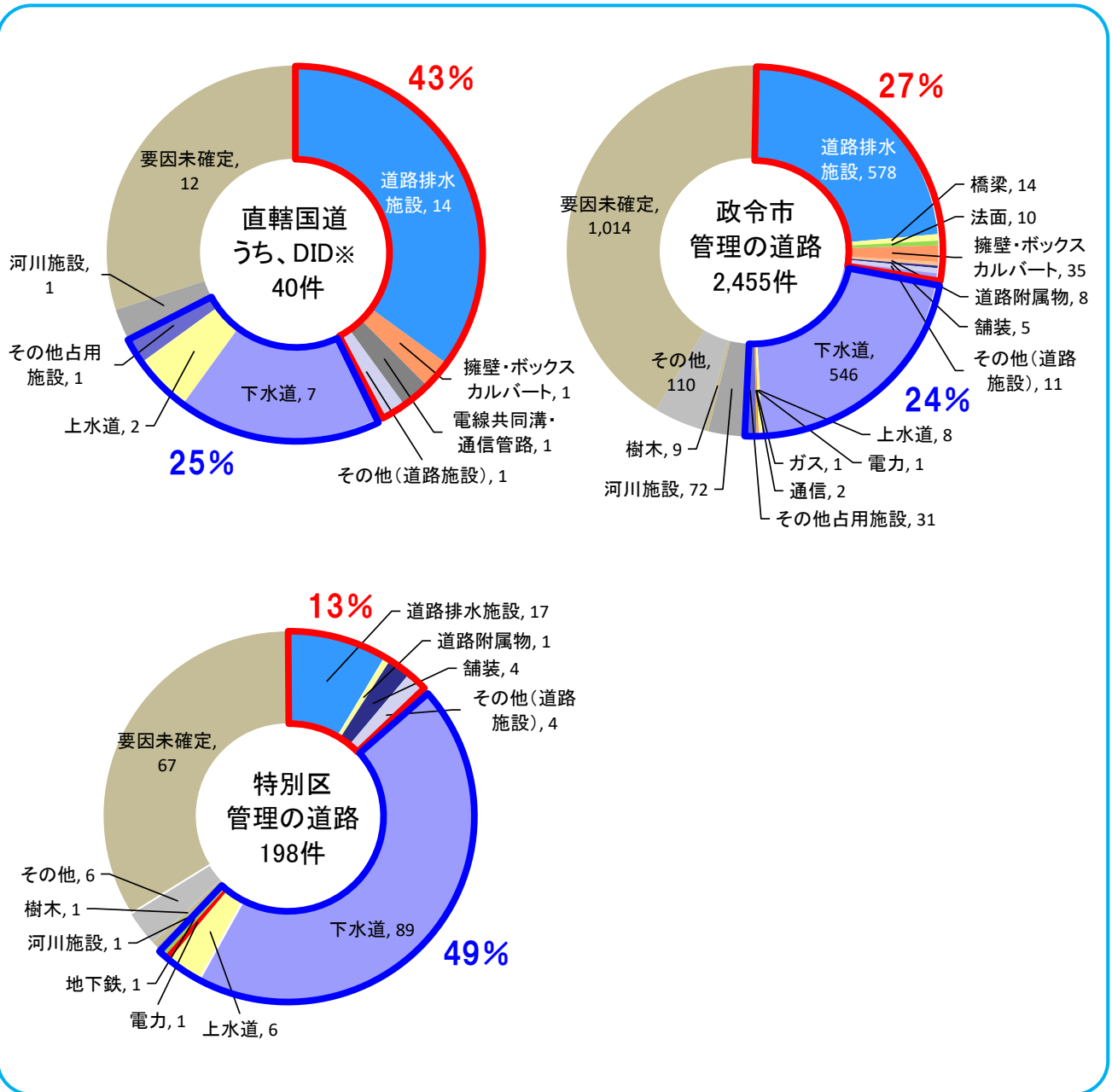


道路占用物件が要因の陥没

(道路局調べ)

2)道路陥没発生件数の内訳(都市部)

- 都市部では、全道路と比較し占用物件の割合が大きく、特に下水道の割合が大きくなっています。



※DID：人口集中地区



道路施設が要因の陥没



道路占用物件が要因の陥没

(道路局調べ)

9. 地方公共団体におけるメンテナンスに向けた取り組み

(1) 道路メンテナンス会議の開催

- 関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「道路メンテナンス会議」を設置しました。（2014年7月7日に全都道府県で設置済）

体制

- ・ 地方整備局（直轄事務所）
- ・ 地方公共団体（都道府県、市町村）
- ・ 高速道路会社（NEXCO・首都高速道路・阪神高速道路・本州四国連絡高速道路）
- ・ 道路公社

役割

1. 維持管理等に関する情報共有
 2. 点検、修繕等の状況把握及び対策の推進
 3. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
 4. 技術的な相談対応
- 等

地方公共団体の取り組み事例の共有

- 道路メンテナンス会議を通じて、地方公共団体における老朽化対策の取り組み事例を共有

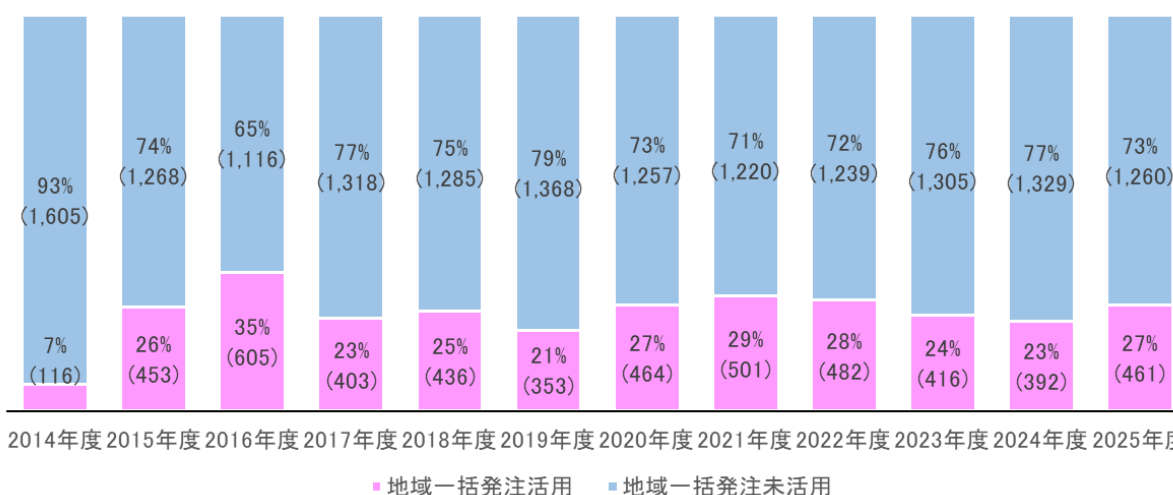
<取り組み事例>

- ・ 点検・診断の高度化・効率化、補修計画の適正化等のため、産学官の連携により、点検・診断・措置情報を効率的に記録することが出来るデータベースシステムの開発・導入
- ・ 技術力の向上、点検費用の削減のため、道路メンテナンス会議と市による合同点検（直営点検）の実施
- ・ 県による市町村への橋梁補修工法等に関する技術的助言を行う相談窓口の設置

(2) 地域一括発注の状況

- 市区町村の人不足・技術力不足を補うため、市区町村の点検・診断の発注事務を都道府県が一括して実施しています。
- 2025年度は461市区町村（30道府県）が地域一括発注を活用しています。

市区町村における地域一括発注の活用状況



※点検対象となる橋梁やトンネル等がない自治体については、未活用として整理している。

(3)直轄診断・修繕代行

- 地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について、「直轄診断※」を実施しました。
- 直轄診断を実施した橋梁については、各道路管理者からの要請を踏まえ、修繕代行事業や補助事業に着手しています。

○ 直轄診断実施箇所と診断結果概要

実施年度	施設名	道路管理者名	延長(m)
2014	みしまおおはし 三島大橋	三島町(福島県)	131
2014	おおまえはし 大前橋	孺恋村(群馬県)	73
2014	おおど おおはし 大渡ダム大橋	仁淀川町(高知県)	444
2015	ぬまお 沼尾シェッド	下郷町(福島県)	189
2015	さるかいはし 猿飼橋	十津川村(奈良県)	139
2015	よぶこおおはし 呼子大橋	唐津市(佐賀県)	728
2016	まんこくはし 万石橋	湯沢市(秋田県)	171
2016	みほこはし 御鉾橋	神流町(群馬県)	46
2017	おとざわはし 音沢橋	黒部市(富山県)	110
2017	おとひめおおはし 乙姫大橋	中津川市(岐阜県)	317
2018	にがたずいどう 仁方隧道	呉市(広島県)	260
2018	てんたいはし 天大橋	薩摩川内市(鹿児島県)	329
2019	ちちぶはし 秩父橋	秩父市(埼玉県)	135
2019	ふるかわはし 古川橋	吉田町(静岡県)	54
2020	しらおいはし 白老橋	白老町(北海道)	148
2020～2021	つるまいはし 鶴舞橋	奈良市(奈良県)	97
2022	だんざきはし 伊達崎橋	福島県(福島県)	288
2024	ひのしまおおはし 樋島大橋	上天草市(熊本県)	291

緊急性・難易度を踏まえて対応

○ 直轄修繕代行等実施状況

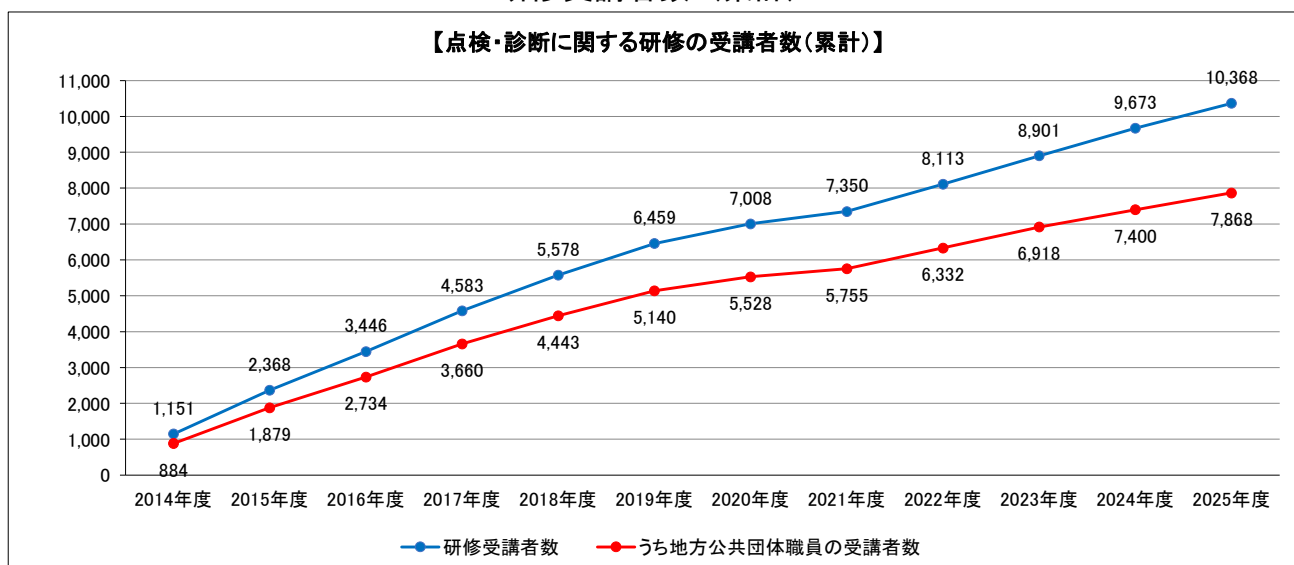
2015 年度	○ 三島大橋、大渡ダム大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
	○ 大前橋 <u>大規模修繕・更新補助事業</u> に着手
2016 年度	○ 沼尾シェッド、猿飼橋、呼子大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2017 年度	○ 万石橋、御鉾橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2018 年度	○ 音沢橋、乙姫大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2019 年度	○ 仁方隧道、天大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2020 年度	○ 秩父橋、古川橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2021 年度	○ 白老橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2022 年度	○ 鶴舞橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2023 年度	○ 伊達崎橋 <u>修繕代行事業</u> に着手
2024 年度	○ 樋島大橋 <u>修繕代行事業</u> に着手

※直轄診断:「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立開発研究法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

(4) 研修の実施状況

- 2014 年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しています。
- 2025 年度までの受講者数は 10,368 人（地方公共団体：7,868 人）です。

研修受講者数（累計）

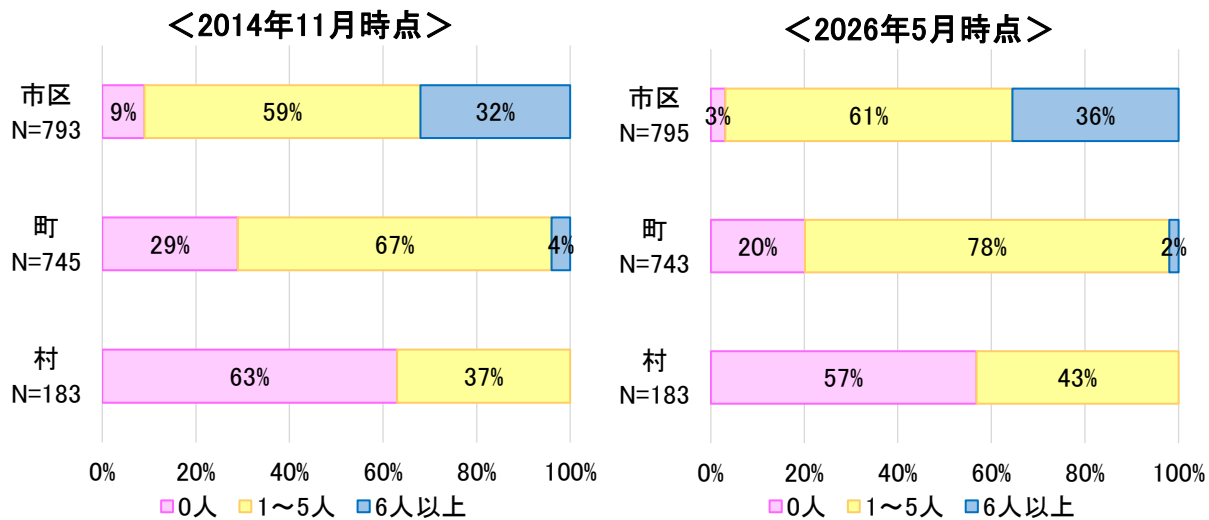


※2026 年 3 月末時点

(5) 橋梁管理に携わる土木技術者数

○ 橋梁管理に携わる土木技術者が存在しない市区町村の割合は、2014 年度と 2026 年度を比較するといずれも減少しています。

市区町村における橋梁管理に携わる土木技術者の人数

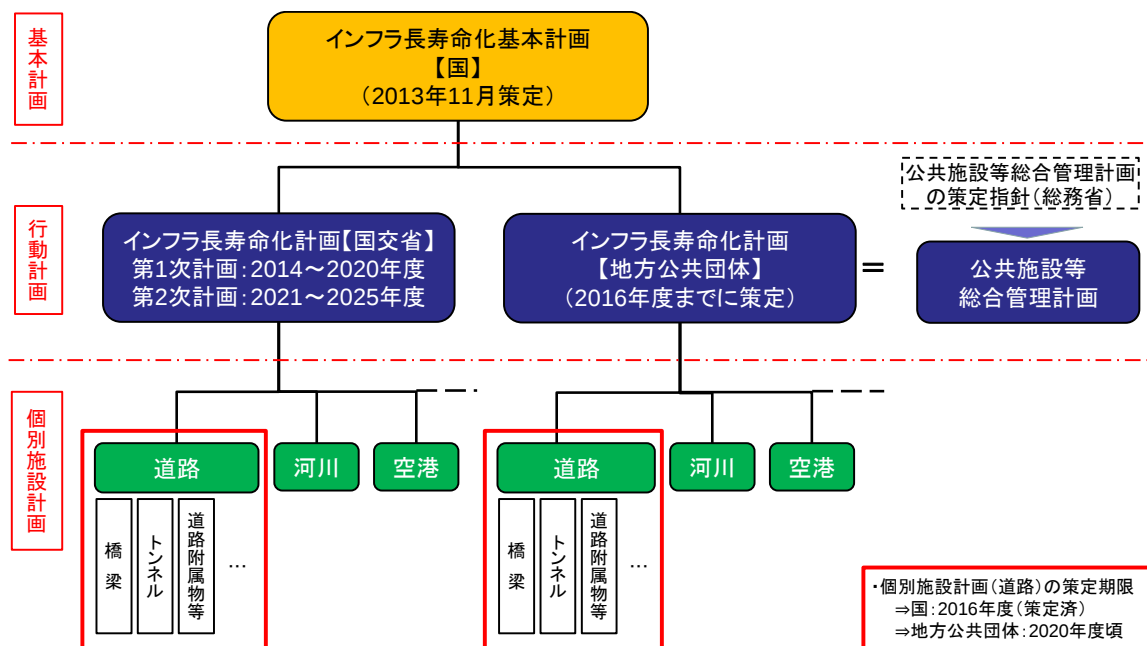


(6)個別施設計画の策定状況(2025 年度末時点)

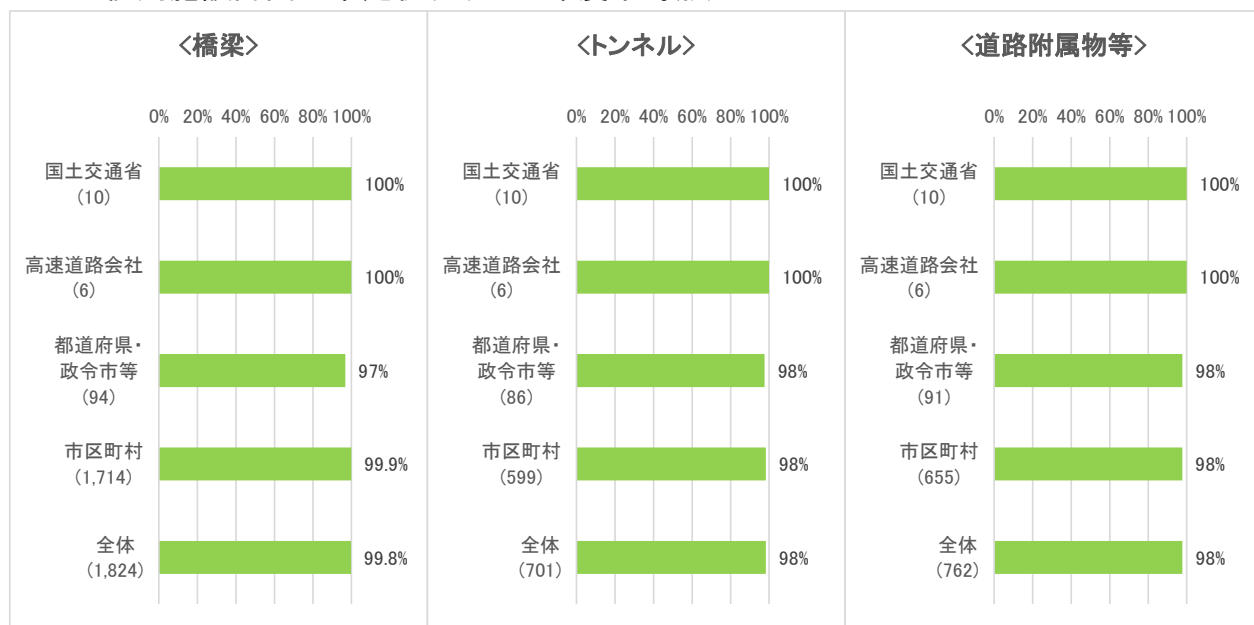
- 各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき個別施設計画※を策定しています。
- 2025 年度末時点における橋梁の個別施設計画策定率は、橋梁で 99.8%、管理者別では、都道府県・政令市等 97%、市区町村 99.9%となっています。
- トンネル及び道路附属物等の計画策定率は、それぞれ 98%となっています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

○ インフラ長寿命化計画の体系



○ 個別施設計画の策定状況(2025 年度末時点)



※()は団体数

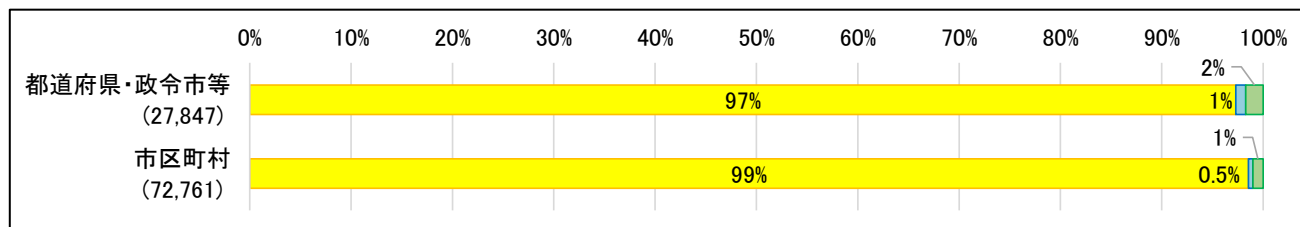
※割合は個別施設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設計画が策定されていれば策定済みとしている

(7)道路メンテナンス事業補助の活用状況

- 地方公共団体が実施した橋梁の定期点検費用について、2020 年度に創設された道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 97%、市区町村では 99%です。
- 修繕費用に道路メンテナンス事業補助制度を活用した割合は、都道府県・政令市等で 90%、市区町村では 88%です。

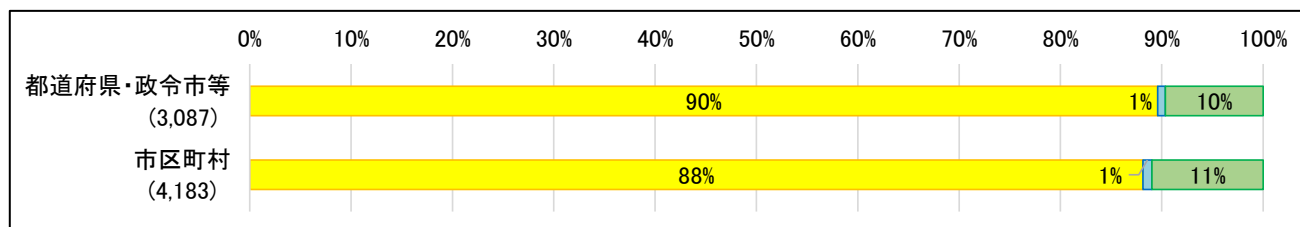
○ 地方公共団体が 2025 年度に実施した橋梁の定期点検における充当予算の状況



※2025 年度に委託点検を実施した橋梁のうち、報告があった 100,608 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

: 個別補助事業を充当
 : 交付金を充当
 : 地方単独費で実施

○ 地方公共団体が 2025 年度に実施した橋梁の修繕における充当予算の状況



※2025 年度に修繕を実施した橋梁のうち、報告があった 7,270 橋を対象に橋梁数ベースで算出。

: 個別補助事業を充当
 : 交付金を充当
 : 地方単独費で実施

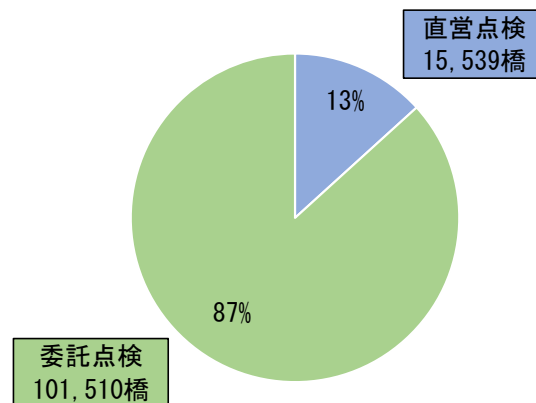
(8) 点検実施者の保有資格等

- 2025 年度に地方公共団体が実施した橋梁点検のうち、職員自らが点検（直営点検）を実施した割合は 13%となっています。
- 直営点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修※¹を受講又は資格※²を保有している割合は 54%、研修・資格ともになしは 46%となっています。
- 委託点検による点検実施者のうち、国土交通省の実施する研修を受講又は資格を保有している割合は 95%、研修・資格ともになしは 5%となっています。
- 点検の精度向上するためには研修受講、資格の活用など点検技術の向上を図る必要があります。

※1 研修：国土交通省が実施する道路管理実務者研修又は道路橋メンテナンス技術講習

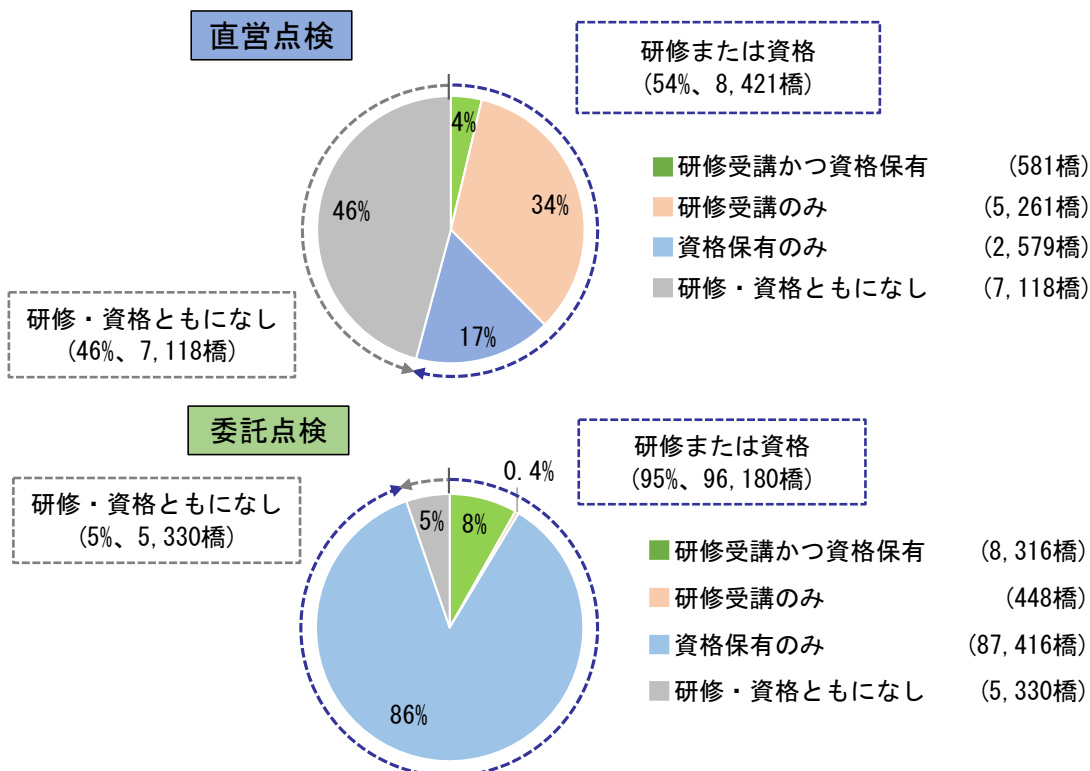
※2 資格：技術士または国土交通省登録技術資格（公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規定に基づく国土交通省登録資格）

○ 2025 点検実施橋梁の直営点検と委託点検の割合



※2025 年度に点検を実施した施設のうち、報告があった 117,049 橋を対象に橋梁数ベースで算出。（下図も同様）

○ 点検実施者の保有資格や研修受講歴

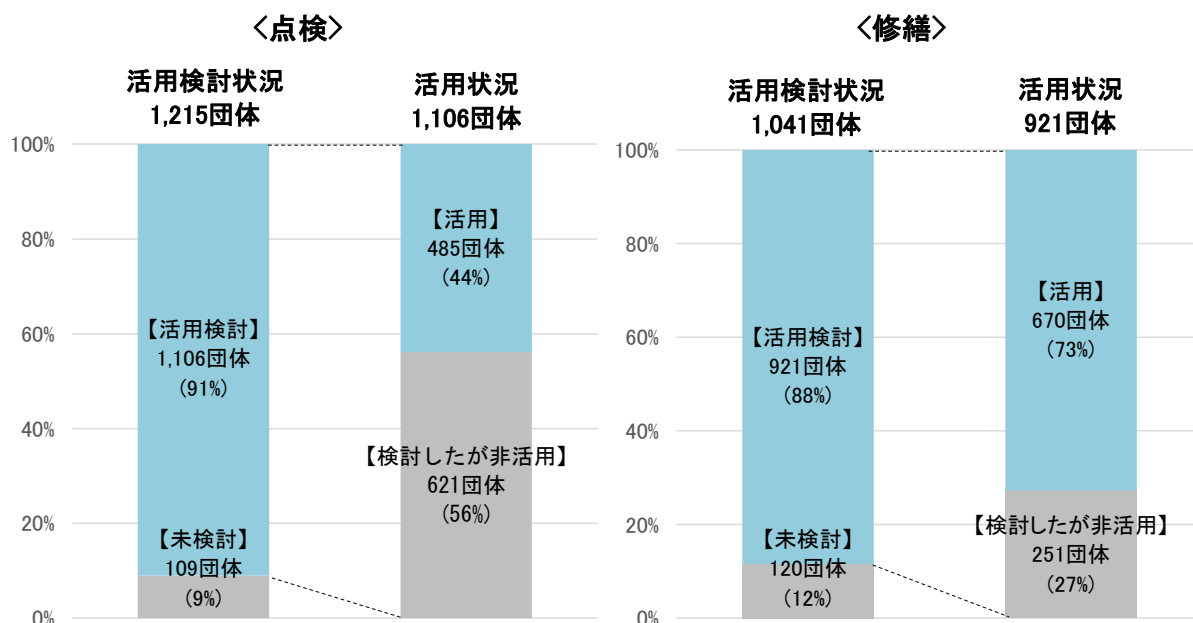


(9) 点検・修繕における新技術の活用検討・活用の状況

1) 橋梁

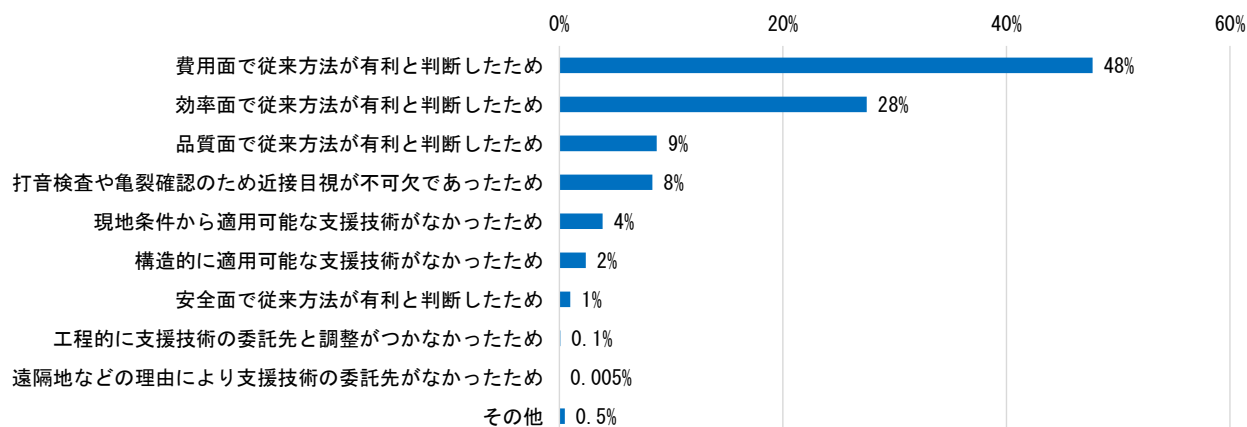
- 2025 年度の橋梁点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 91%、そのうち活用した団体は 44%です。
- 2025 年度の橋梁修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 88%、そのうち活用した団体は 73%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況（橋梁）

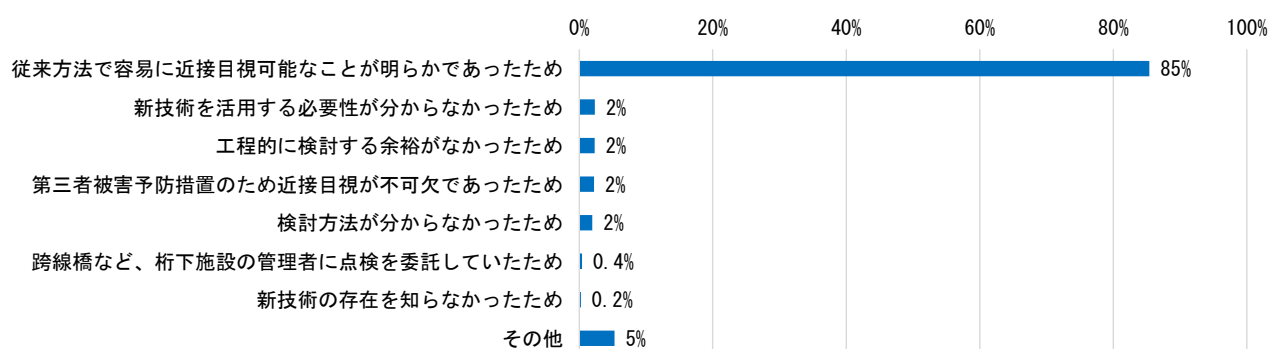


※2025 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,215 団体と、2025 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 1,041 団体を対象に算出。

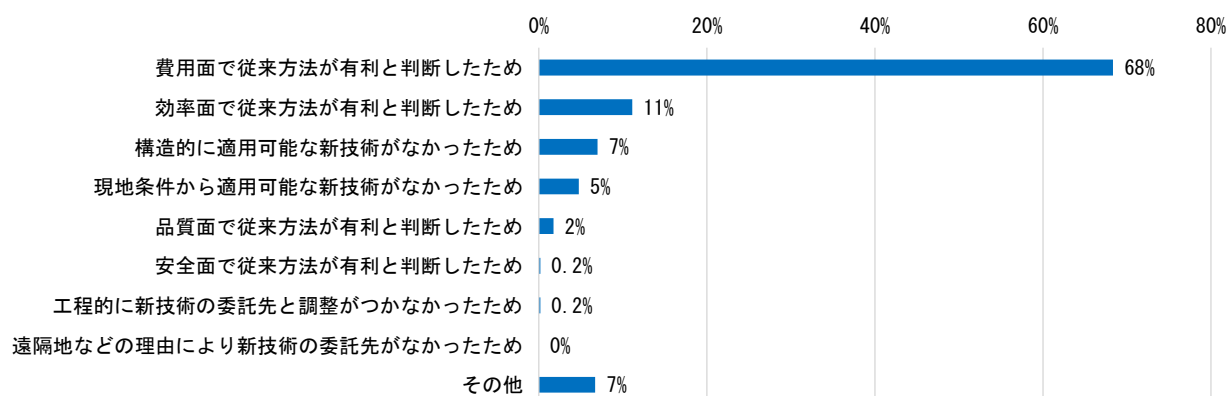
○ 新技術を活用しなかった理由（橋梁点検）



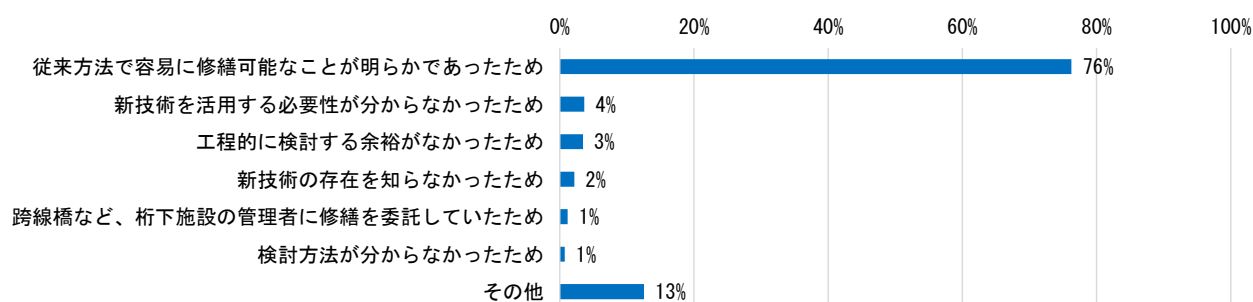
○ 新技術を検討しなかった理由（橋梁点検）



○ 新技術を活用しなかった理由（橋梁修繕）



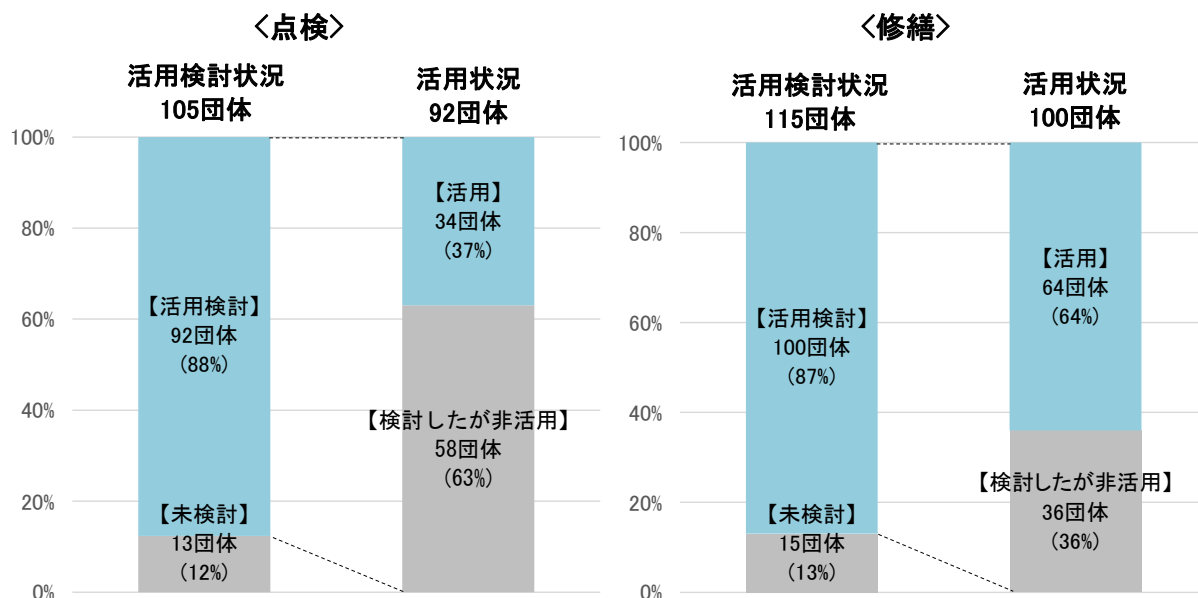
○ 新技術を検討しなかった理由（橋梁修繕）



2)トンネル

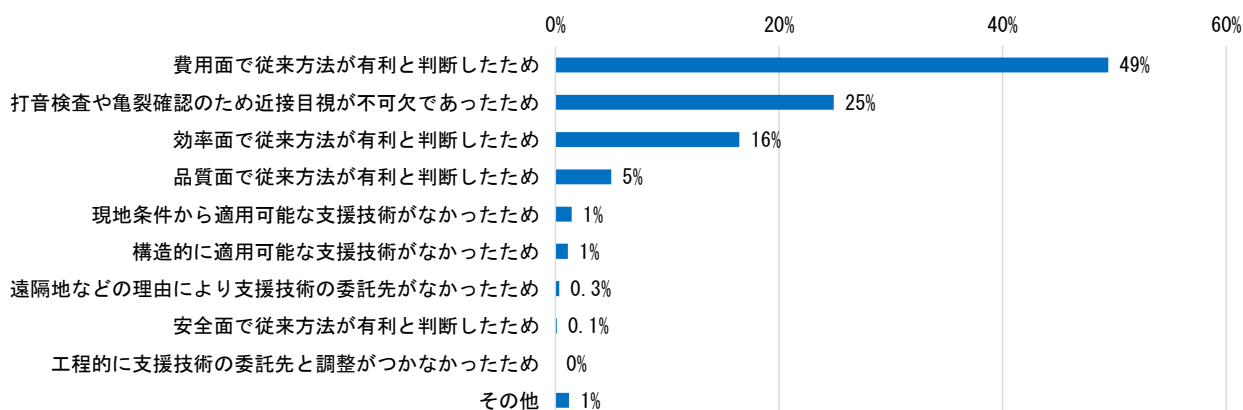
- 2025 年度のトンネル点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 88%、そのうち活用した団体は 37%です。
- 2025 年度のトンネル修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 87%、そのうち活用した団体は 64%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(トンネル)

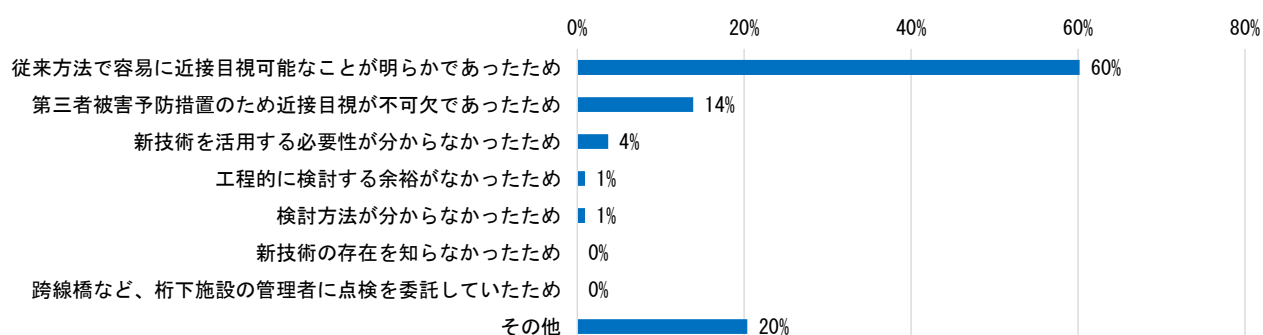


※2025 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 105 団体と、2025 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 115 団体を対象に算出。

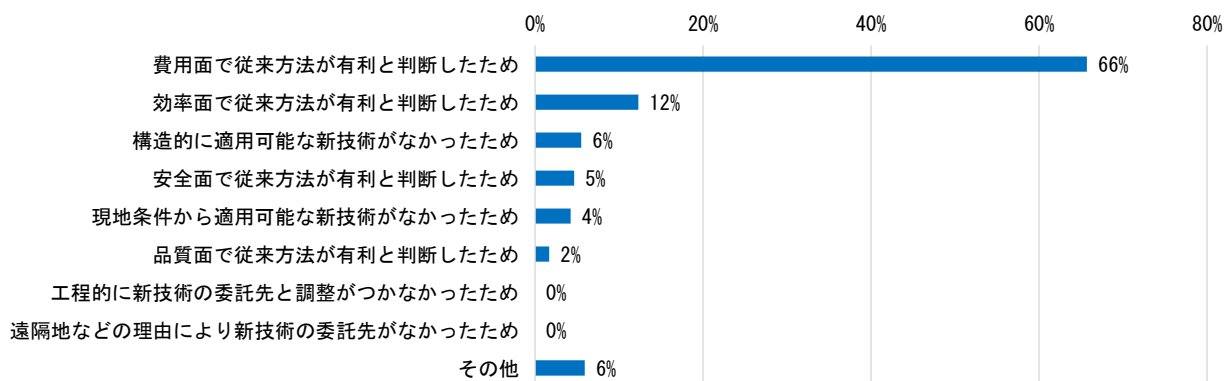
○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル点検)



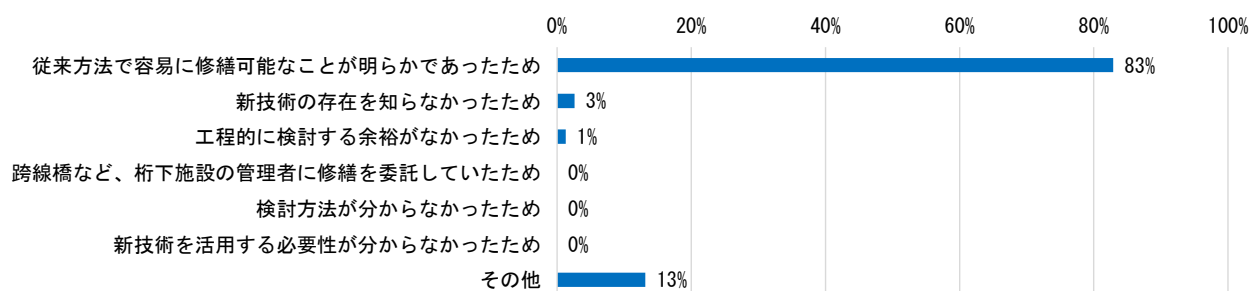
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル点検)



○ 新技術を活用しなかった理由(トンネル修繕)



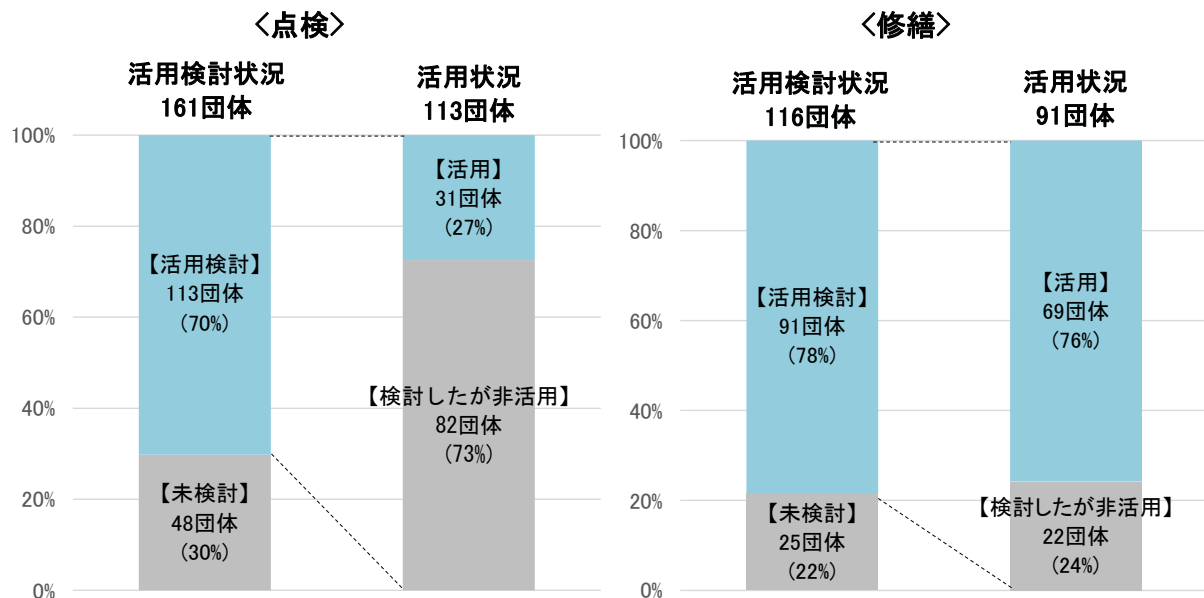
○ 新技術を検討しなかった理由(トンネル修繕)



3)道路附属物等

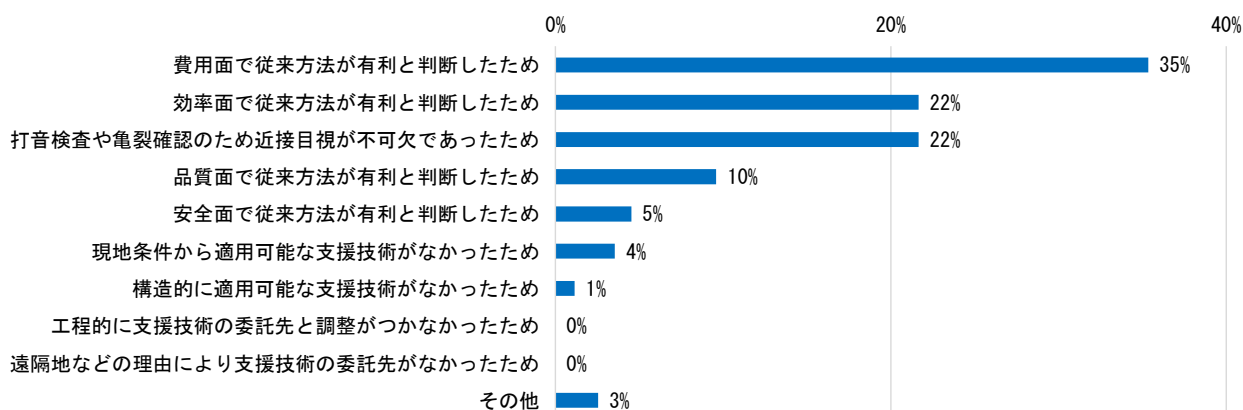
- 2025 年度の道路附属物等点検において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 70%、そのうち活用した団体は 27%です。
- 2025 年度の道路附属物等修繕において、新技術の活用を検討した地方公共団体は 78%、そのうち活用した団体は 76%です。

○ 点検・修繕における新技術の活用状況(道路附属物等)

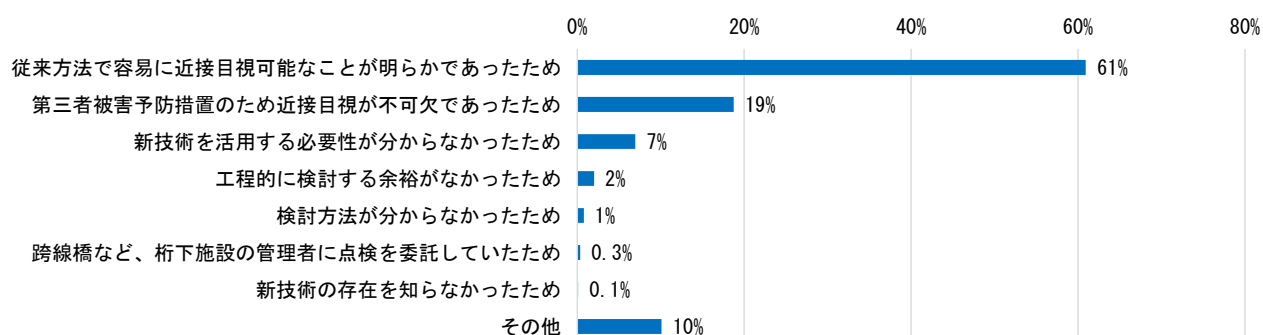


※2025 年度に点検を実施した地方公共団体のうち、報告があった 161 団体と、2025 年度に修繕を実施した地方公共団体のうち、報告があった 116 団体を対象に算出。

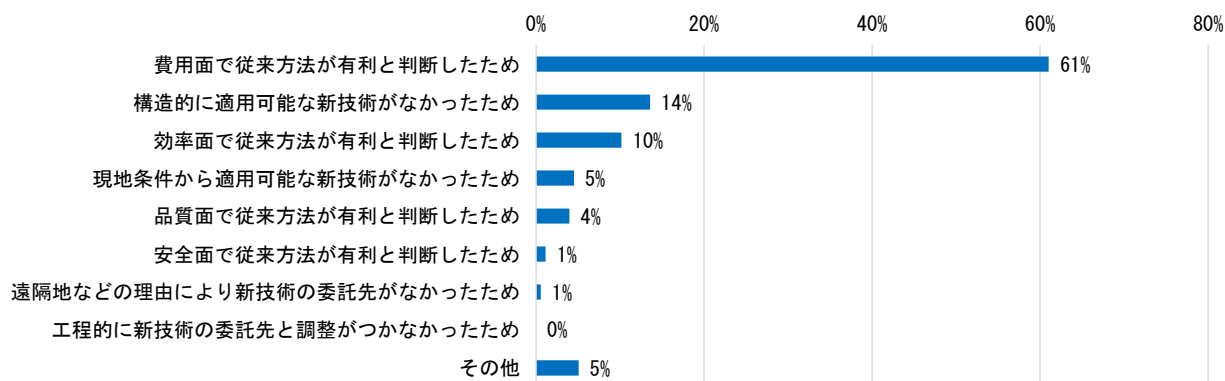
○ 新技術の活用をしなかった理由（道路附属物等点検）



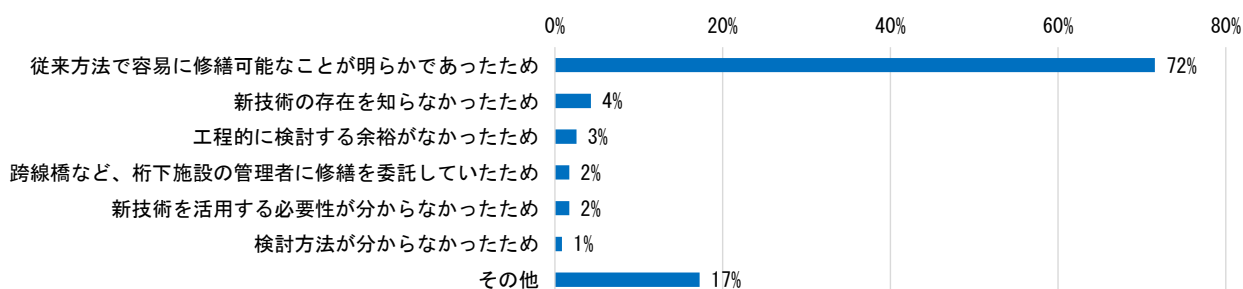
○ 新技術の検討をしなかった理由（道路附属物等点検）



○ 新技術の活用をしなかった理由（道路附属物等修繕）



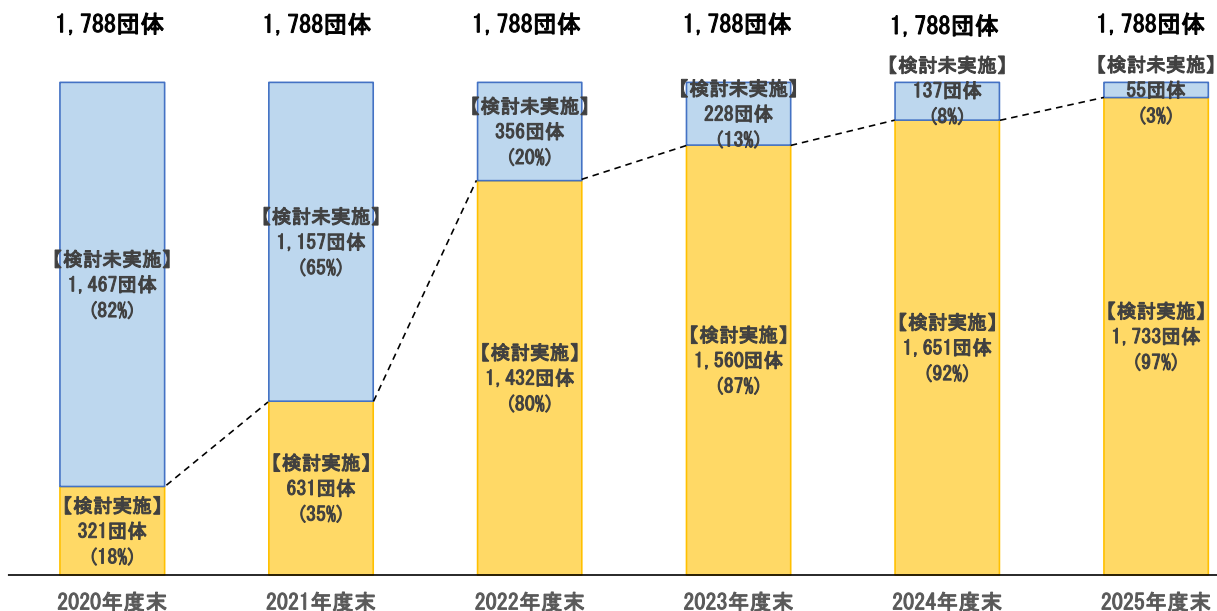
○ 新技術の検討をしなかった理由（道路附属物等修繕）



(10) 集約・撤去・機能縮小等の検討状況

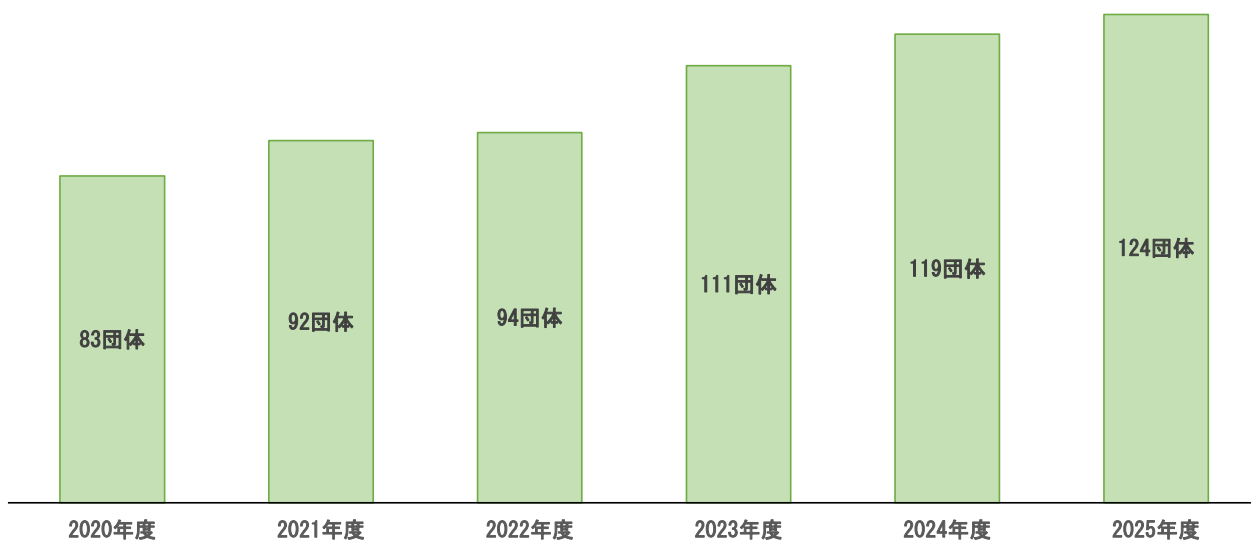
- 施設の集約・撤去等を検討した地方公共団体の割合は、2020 年度末時点から増加し、2025 年度末時点で 97%となっています。
- 道路メンテナンス事業補助制度により集約・撤去等を支援した地方公共団体数は、当該補助制度が創設された 2020 年度から増加し、2025 年度においては 124 団体となっています。

○ 地方公共団体における施設の集約・撤去等の検討状況



※道路局調べ

○ 道路メンテナンス事業補助制度により集約・撤去等を支援した地方公共団体数



※道路局調べ

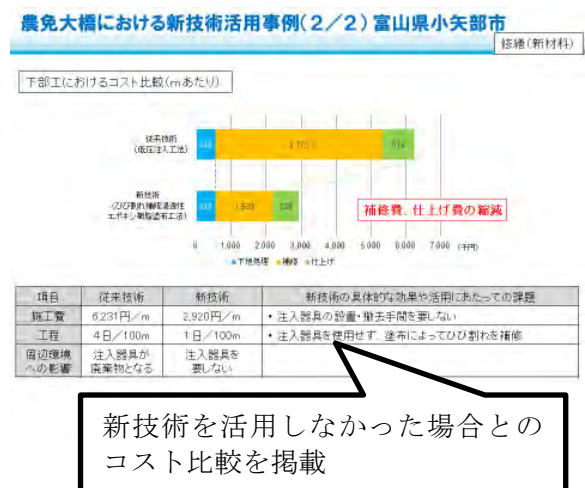
(11) 新技術活用事例及び道路施設の集約・撤去ガイドライン

- 地方公共団体における取組の一助となることを目的に、新技術活用事例や道路施設の集約・撤去ガイドラインについて道路局 HP にて公開中。

○ 地方公共団体における新技術活用事例

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/chiho-katsuyo-jirei.pdf>)

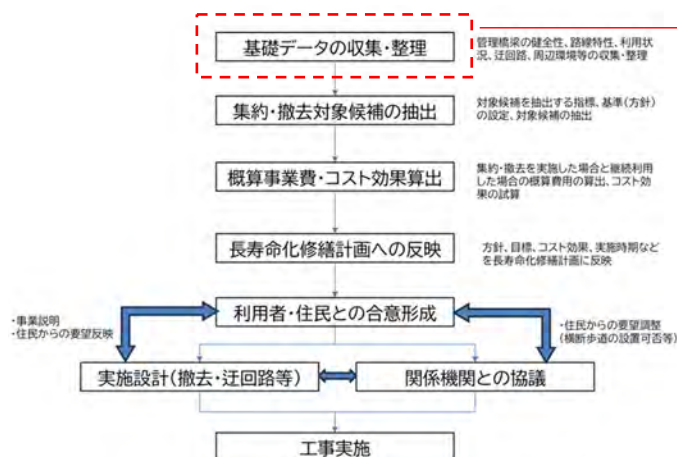
(以下抜粋)



○ 道路施設の集約・撤去ガイドライン

(<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/pdf/tekkyo-jirei.pdf>)

(以下抜粋)



フローで示した検討項目ごとに、検討する上でのポイントや参考事例を掲載

4.2 基礎データの収集・整理

4.2.1 ポイント

- ・ 集約・撤去の検討のために必要な基礎データとして、管理橋梁の健全性(点検結果)、路線特性、利用状況、迂回路、周辺環境等の情報を収集・整理する。
- ・ 利用状況の整理にあたっては、全管理橋梁に対して定量的に把握することが可能であることが想定されることから、路線の位置づけ等を踏まえて、定量的な評価を実施したうえで、対象を限定して把握することも有効である。
- ・ 橋歩道の利用状況の把握にあたっては、利用者数と人と車に区分して評価することや、見視距離も併せて評価することも有効である。
- ・ 迂回路(隣接橋梁との距離等)の把握にあたっては、GIS 機能を利用して詳細な状況把握を行う対象を選別して実施することも考えられる。

4.2.2 参考事例

(1) 基礎データの収集・整理事例(道路橋における利用状況の評価・整理事例)

- ・ 管理橋梁の利用状況について、全管理橋梁に対して定量的な交通量を把握することは困難であるため、下表に示すように路線の位置づけ等を踏まえ「多い」、「比較的多い」、「比較的少ない」、「少ない」等、定量的な評価を実施している。

表 4-1 利用状況の評価・整理事例

交通量区分	実態内容	観測方法
交通量が多い	・ 利用者が非常に多い道路 (商業用道路等)	・ 〇〇市内の市街地エリアに該当する1橋・2橋市道の橋梁
交通量が比較的多い	・ 生活道路および物流道路上として利用が比較的多い道路	・ 〇〇市の各集落間の市街地エリアに該当する1橋・2橋市道の橋梁 ・ 市街地内(市街地)上の橋梁 ・ 〇〇市街地内(市街地)上の橋梁 ・ 〇〇市街地内(市街地)上の橋梁
交通量がある程度見られる もしくは地域上の重要橋梁	・ 地域住民のための生活道路 ・ 地域連絡または交通上の重要道路	・ 市街地内(市街地)上の橋梁 ・ 市街地内(市街地)上の橋梁 ・ 〇〇市街地内(市街地)上の橋梁
交通量が比較的少ない	・ 市街地以外で生活道路として使われている道路	・ 1・2 橋市道以外で生活道路として使われている道路上の橋梁
交通量が少ない (林業用・農業用道路)	・ 農林業もしくは森林林に行き ための道路	・ 農林業もしくは森林林に行きための道路上の橋梁

※巻末資料

(1)道路附属物等の点検実施状況と点検結果の内訳

1)3巡目(2024～2025 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

		点検対象 施設数 ※	点検実施状況 上段:点検実施数、下段:点検実施率				
			2024	2025	2026	2027	2028
道路附属物等		41,942	7,703	8,317			
			18%	20%			
	シェッド	3,614	635	801			
			18%	22%			
	大型カルバート	9,715	1,827	2,064			
			19%	21%			
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,235	2,420	1,892			
			22%	17%			
	横断歩道橋_跨線橋	525	70	68			
			13%	13%			
	門型標識等	16,853	2,751	3,492			
			16%	21%			

2026.3 末時点

※2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2)3巡目(2024～2025 年度)の点検結果
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		16,020	6,414	8,079	1,524	3
			40%	50%	10%	0.02%
	シェッド	1,436	156	952	327	1
			11%	66%	23%	0.1%
	大型カルバート	3,891	1,830	1,943	118	0
			47%	50%	3%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	4,312	1,126	2,426	758	2
			26%	56%	18%	0.05%
	横断歩道橋_跨線橋	138	37	73	28	0
			27%	53%	20%	—
	門型標識等	6,243	3,265	2,685	293	0
			52%	43%	5%	—

2026.3 末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		4,401	1,120	2,621	659	1
			25%	60%	15%	0.02%
	シェッド	278	38	157	83	0
			14%	56%	30%	—
	大型カルバート	1,197	397	744	56	0
			33%	62%	5%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,175	179	608	387	1
			15%	52%	33%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	12	5	5	2	0
			42%	42%	17%	—
	門型標識等	1,739	501	1,107	131	0
			29%	64%	8%	—

2026.3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		5,196	3,415	1,660	121	0
			66%	32%	2%	—
	シェッド	36	2	24	10	0
			6%	67%	28%	—
	大型カルバート	1,961	1,317	634	10	0
			67%	32%	1%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	32	6	23	3	0
			19%	72%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0
			—	—	—	—
	門型標識等	3,167	2,090	979	98	0
			66%	31%	3%	—

2026.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		6,423	1,879	3,798	744	2
			29%	59%	12%	0.03%
	シェッド	1,122	116	771	234	1
			10%	69%	21%	0.1%
	大型カルバート	733	116	565	52	0
			16%	77%	7%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	3,105	941	1,795	368	1
			30%	58%	12%	0.03%
	横断歩道橋_跨線橋	126	32	68	26	0
			25%	54%	21%	—
	門型標識等	1,337	674	599	64	0
			50%	45%	5%	—

2026.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分			
			上段:実数、下段:割合			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
道路附属物等		5,349	1,552	3,167	629	1
			29%	59%	12%	0.02%
	シェッド	1,071	115	739	217	0
			11%	69%	20%	—
	大型カルバート	572	81	445	46	0
			14%	78%	8%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	2,471	737	1,440	293	1
			30%	58%	12%	0.04%
	横断歩道橋_跨線橋	59	16	27	16	0
			27%	46%	27%	—
	門型標識等	1,176	603	516	57	0
			51%	44%	5%	—

2026.3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分			
			上段:実数、下段:割合			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
道路附属物等		1,074	327	631	115	1
			30%	59%	11%	0.1%
	シェッド	51	1	32	17	1
			2%	63%	33%	2%
	大型カルバート	161	35	120	6	0
			22%	75%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	634	204	355	75	0
			32%	56%	12%	—
	横断歩道橋_跨線橋	67	16	41	10	0
			24%	61%	15%	—
	門型標識等	161	71	83	7	0
			44%	52%	4%	—

2026.3 末時点

3) 過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分
(全道路管理者)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		41,914	15,368	21,756	4,771	19
			37%	52%	11%	0.05%
	シェッド	3,608	368	2,223	1,016	1
			10%	62%	28%	0.03%
	大型カルバート	9,715	4,414	4,963	338	0
			45%	51%	3%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	11,226	2,695	6,243	2,279	9
			24%	56%	20%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	523	138	261	122	2
			26%	50%	23%	0.4%
	門型標識等	16,842	7,753	8,066	1,016	7
			46%	48%	6%	0.04%

2026. 3 末時点

(国)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12,321	3,036	7,323	1,959	3
			25%	59%	16%	0.02%
	シェッド	741	79	426	236	0
			11%	57%	32%	—
	大型カルバート	3,093	951	2,006	136	0
			31%	65%	4%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	3,456	645	1,704	1,105	2
			19%	49%	32%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	47	15	22	10	0
			32%	47%	21%	—
	門型標識等	4,984	1,346	3,165	472	1
			27%	64%	9%	0.02%

2026. 3 末時点

(高速道路会社)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		12,236	7,810	4,148	278	0
			64%	34%	2%	—
	シェッド	97	30	47	20	0
			31%	48%	21%	—
	大型カルバート	4,564	3,092	1,444	28	0
			68%	32%	1%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	49	8	38	3	0
			16%	78%	6%	—
	横断歩道橋_跨線橋	0	0	0	0	0
			—	—	—	—
	門型標識等	7,526	4,680	2,619	227	0
			62%	35%	3%	—

2026.3 末時点

(地方公共団体)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		17,357	4,522	10,285	2,534	16
			26%	59%	15%	0.1%
	シェッド	2,770	259	1,750	760	1
			9%	63%	27%	0.04%
	大型カルバート	2,058	371	1,513	174	0
			18%	74%	8%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	7,721	2,042	4,501	1,171	7
			26%	58%	15%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	476	123	239	112	2
			26%	50%	24%	0.4%
	門型標識等	4,332	1,727	2,282	317	6
			40%	53%	7%	0.1%

2026.3 末時点

(都道府県・政令市等)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		14,155	3,654	8,405	2,084	12
			26%	59%	15%	0.1%
	シェッド	2,547	249	1,615	683	0
			10%	63%	27%	—
	大型カルバート	1,479	244	1,101	134	0
			16%	74%	9%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	5,983	1,523	3,522	933	5
			25%	59%	16%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	165	44	75	45	1
			27%	45%	27%	1%
	門型標識等	3,981	1,594	2,092	289	6
			40%	53%	7%	0.2%

2026. 3 末時点

(市区町村)

		点検実施数	判定区分 上段:実数、下段:割合			
			I	II	III	IV
道路附属物等		3,202	868	1,880	450	4
			27%	59%	14%	0.1%
	シェッド	223	10	135	77	1
			4%	61%	35%	0.4%
	大型カルバート	579	127	412	40	0
			22%	71%	7%	—
	横断歩道橋_跨線橋以外	1,738	519	979	238	2
			30%	56%	14%	0.1%
	横断歩道橋_跨線橋	311	79	164	67	1
			25%	53%	22%	0.3%
	門型標識等	351	133	190	28	0
			38%	54%	8%	—

2026. 3 末時点

(2) 緊急輸送道路及び跨線橋等の点検結果の内訳

1) 3巡目(2024～2025 年度)の点検実施状況(全道路管理者)

	管理施設数	点検対象 施設数 ※	点検実施状況 上段: 点検実施数、下段: 点検実施率				
			2024	2025	2026	2027	2028
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	16,319	16,079	3,468	3,401			
			22%	21%			
跨線橋	9,833	9,733	1,902	2,002			
			20%	21%			
緊急輸送道路を 構成する橋梁	130,363	128,991	29,163	29,790			
			23%	23%			
(参考)全橋梁	730,788	726,245	132,098	153,326			
			18%	21%			

2026. 3 末時点

※2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

2) 3巡目(2024～2025 年度)の点検結果
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	6,869	2,022	4,104	743	0
		29%	60%	11%	—
跨線橋	3,904	822	2,242	839	1
		21%	57%	21%	0.03%
緊急輸送道路を構成する橋梁	58,953	22,292	31,191	5,466	4
		38%	53%	9%	0.01%
(参考)全橋梁	285,424	128,962	137,586	18,698	178
		45%	48%	7%	0.1%

2026. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	1,058	458	483	117	0
		43%	46%	11%	—
跨線橋	858	230	384	244	0
		27%	45%	28%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	14,069	7,954	4,927	1,188	0
		57%	35%	8%	—
(参考)全橋梁	16,565	9,548	5,611	1,406	0
		58%	34%	8%	—

2026. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,253	369	1,593	291	0
		16%	71%	13%	—
跨線橋	487	40	355	92	0
		8%	73%	19%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	9,575	2,434	6,095	1,046	0
		25%	64%	11%	—
(参考)全橋梁	10,040	2,535	6,406	1,099	0
		25%	64%	11%	—

2026. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,558	1,195	2,028	335	0
		34%	57%	9%	—
跨線橋	2,559	552	1,503	503	1
		22%	59%	20%	0.04%
緊急輸送道路を構成する橋梁	35,309	11,904	20,169	3,232	4
		34%	57%	9%	0.01%
(参考)全橋梁	258,819	116,879	125,569	16,193	178
		45%	49%	6%	0.1%

2026.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	1,434	413	868	153	0
		29%	61%	11%	—
跨線橋	1,544	326	889	329	0
		21%	58%	21%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	32,744	10,822	18,882	3,039	1
		33%	58%	9%	0.003%
(参考)全橋梁	76,950	29,626	41,211	6,107	6
		39%	54%	8%	0.01%

2026.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,124	782	1,160	182	0
		37%	55%	9%	—
跨線橋	1,015	226	614	174	1
		22%	60%	17%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	2,565	1,082	1,287	193	3
		42%	50%	8%	0.1%
(参考)全橋梁	181,869	87,253	84,358	10,086	172
		48%	46%	6%	0.1%

2026.3 末時点

※2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

3) 過年度の点検(2014～2025 年度)の判定区分
(全道路管理者)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	16,075	4,352	9,865	1,855	3
		27%	61%	12%	0.02%
跨線橋	9,721	1,910	5,613	2,186	12
		20%	58%	22%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	128,925	47,995	68,230	12,680	20
		37%	53%	10%	0.02%
(参考)全橋梁	725,525	319,979	354,500	50,434	612
		44%	49%	7%	0.1%

2026. 3 末時点

(国)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	2,432	1,057	1,106	267	2
		43%	45%	11%	0.1%
跨線橋	1,719	489	767	461	2
		28%	45%	27%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	33,161	18,836	11,274	3,038	13
		57%	34%	9%	0.04%
(参考)全橋梁	39,174	22,597	12,986	3,576	15
		58%	33%	9%	0.04%

2026. 3 末時点

(高速道路会社)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	5,513	866	3,908	739	0
		16%	71%	13%	—
跨線橋	1,106	84	781	241	0
		8%	71%	22%	—
緊急輸送道路を構成する橋梁	23,830	5,693	15,428	2,709	0
		24%	65%	11%	—
(参考)全橋梁	24,420	5,828	15,806	2,786	0
		24%	65%	11%	—

2026. 3 末時点

(地方公共団体)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	8,130	2,429	4,851	849	1
		30%	60%	10%	0.01%
跨線橋	6,896	1,337	4,065	1,484	10
		19%	59%	22%	0.1%
緊急輸送道路を構成する橋梁	71,934	23,466	41,528	6,933	7
		33%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	661,931	291,554	325,708	44,072	597
		44%	49%	7%	0.1%

2026.3 末時点

(都道府県・政令市等)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	3,390	845	2,160	385	0
		25%	64%	11%	—
跨線橋	3,651	679	2,151	820	1
		19%	59%	22%	0.03%
緊急輸送道路を構成する橋梁	66,828	21,304	38,935	6,585	4
		32%	58%	10%	0.01%
(参考)全橋梁	187,737	70,525	101,146	16,036	30
		38%	54%	9%	0.02%

2026.3 末時点

(市区町村)

	点検実施数 ※	判定区分 上段:実数、下段:割合			
		I	II	III	IV
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋	4,740	1,584	2,691	464	1
		33%	57%	10%	0.02%
跨線橋	3,245	658	1,914	664	9
		20%	59%	20%	0.3%
緊急輸送道路を構成する橋梁	5,106	2,162	2,593	348	3
		42%	51%	7%	0.1%
(参考)全橋梁	474,194	221,029	224,562	28,036	567
		47%	47%	6%	0.1%

2026.3 末時点

※2026 年 3 月末時点での施設数のうち、供用後 5 年以内などを除いた施設数の合計

(3) 橋梁・トンネル・道路附属物等の判定区分Ⅳの施設リスト(2014～2025 年度)
【橋梁】

○ 判定区分Ⅳの橋梁の措置内容（完了済・予定のものを含む）

管理者	管理中					撤去・ 廃止済 ※2	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕・ 架替	機能 転換 ※1	対応 未定	撤去・ 廃止			
国土交通省	41	40	0	0	1	3	44	4
都道府県・ 政令市等	56	47	0	3	6	18	74	14
市区町村	935	562	5	101	267	295	1,230	466
合計	1,032 (77%)	649 (48%)	5 (0.4%)	104 (8%)	274 (20%)	316 (23%)	1,348	484 (36%)

※1:機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2:判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(4 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
関東地方 整備局	すなだばしそくほどうきょう 砂田橋側歩道橋 くだり	国道 127 号	1970	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②支承本体、ア ンカーボルトの腐 食、支承部の機 能障害	歩行者通行 止(反対側車 線の歩道に迂 回)	撤去中
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(1)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止 (迂回路有)	修繕中
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(2)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁、横桁の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止 (迂回路有)	修繕中
関東地方 整備局	やつみぞばし やまがわ 谷津溝橋(3)山側	国道 357 号	1977	2023	①主桁の腐食、 防食機能の劣 化、変形・欠損 ②橋台その他の 腐食、防食機能 の劣化、変形・欠 損	歩道部通行 止 (迂回路有)	修繕中

○ 都道府県・政令市等(14 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
仙台市	なかしばし 仲芝橋	市道サイカ チ沼線	1988	2019 2024	橋台のひびわれ 、変形・欠損、洗 堀など	全面通行止	架替予定
栃木県	じゃっこうのたき ごうきょう 寂光滝1号橋	県道 194 号 線	1963	2025	鋼床版、主構とも に断面欠損を伴 う腐食	車両通行止	未定
長野県	ならいしんはし 奈良井新橋	県道姥神奈 良井線	1977	2020	張出床版、横桁 の損傷	全面通行止	撤去中
長野県	しおばし 塩橋	県道戸隠篠 ノ井線	1974	2023	主桁の著しい腐 食	仮設を設置し 交通開放	架替中
浜松市	えんがくざわばし エンガク沢橋	市道水窪向 島第2号線	不明	2015	床板の腐食及び 断面欠損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田7号橋	市道水窪小 和田引の田 線	不明	2015	主桁・防護柵の 腐食及び断面欠 損	全面通行止	撤去予定
浜松市	ひき た ごうきょう 引の田11号橋	市道水窪小 和田引の田 線	不明	2015	横桁の変形	全面通行止	撤去予定
和歌山県	きゅう ひおきがわおおはし (旧)日置川大橋	日置川すさ み線	不明	2016	主桁鉄筋の露出 、ゲルバー部の 遊間の異常、橋 脚の変形	全面通行止	撤去中
岡山市	おぐらはし 小倉橋	市道建部町 小倉3号線	1964	2021	主桁のひびわれ	仮受材設置 (通行可能)	架替中
北九州市	ときわばし 常盤橋	市道室町 2 号線	1995	2024	主桁の損傷(腐 朽)及び沈下	全面通行止	未定
福岡市	むめいきょう 無名橋50200	県道飯場金 武線	1987	2023	橋台の洗堀、沈 下等の損傷	車両通行止	修繕中
宮崎県	とがんのはし 鋒野橋	県道 33 号 線	1998	2023	地すべりによる上 部工の変状あり	全面通行止	未定
鹿児島県	みなとばし 湊橋	伊関国上西 之表港線	1976	2019 2024	主桁 PC 鋼線及 び鉄筋の破断	通行規制 (片側規制)	架替中
沖縄県	うらうちばし 浦内橋	県道215号 線(白浜南 風見線)	1969	2025	床板の損傷	床版の補修	架替中

○ 市区町村(466 橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
函館市 (北海道)	ひうらがわほどうきょう 日浦川歩道橋	市道日浦3 号線	1985	2023	主桁、支承等の 腐食など	単管等の設置 (全面通行止)	撤去予定
函館市 (北海道)	サイロ橋	市道尾札部 中央1号線	1938	2023	主桁ひびわれ、 洗堀など	侵入防止柵の 設置 (全面通行止)	撤去予定
函館市 (北海道)	とどめき橋	市道尾札部 中央1号線	1970	2023	下部ひびわれ、 支承破断など	侵入防止柵の 設置 (全面通行止)	撤去予定
釧路市 (北海道)	ポンチノミ橋	市道風連別 馬主来線	1980	2014 2019 2024	主桁の破断・腐 食、床版の抜け 落ち、橋台の変 形・腐食	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	ちのみばし 乳呑橋	市道風連別 馬主来線	1958	2014 2019 2024	防護柵の破断、 橋台の鉄筋露出	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
釧路市 (北海道)	しじみばし 蜆 橋	市道風連別 馬主来線	1980	2015 2020 2025	主桁の断面欠損 、下部工の腐食・ 広範囲な板厚減 少	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	さくらばし 桜 橋	知茶布道路	1964	2025	床版の抜け落ち 、支承本体の著し い移動	全面通行止	修繕予定
釧路市 (北海道)	ふうれんべつはし 風連別橋	市道風連別 馬主来線	1988	2025	床版及び橋脚の 断面欠損	全面通行止	廃止予定
釧路市 (北海道)	なみわかはし 波若橋	市道風連別 馬主来線	1980	2025	主桁及び橋台の 腐食・広範囲な板 厚減少	全面通行止	廃止予定
夕張市 (北海道)	だいこくばし 大黒橋	市道登川住 宅線	1960	2014 2023	主桁・下部構造・ 地覆 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
留萌市 (北海道)	おおわだ ごうどお 大和田6号通り ごうばし 1号橋	市道大和田 6号通り	1968	2022	下部工の洗堀	通行止による 通行規制を実施	未定
苫小牧市 (北海道)	みそのほどうきょう 美園歩道橋	市道美園4 丁目自歩道	1980	2024	床版の腐食	全面通行止	撤去中
稚内市 (北海道)	みなとほどうきょう 港歩道橋	市道港歩道 橋通	1978	2021	防護柵基部の腐 食(断面欠損)	全面通行止	修繕中
稚内市 (北海道)	みなとこせんきょう 港跨線橋	市道港3条 通	1964	2021	支承の沓座面の 損傷による落橋 の危険性	支承部の緊急 補修 2024年通行規 制解除済	修繕中
紋別市 (北海道)	たからばし 宝 橋	市道中立牛 上古丹線	1965	2018 2023	橋台の洗堀	全面通行止	未定
紋別市 (北海道)	せんばし 4線橋	市道渚滑 4 線	1978	2023	主桁等の腐食	全面通行止	未定
士別市 (北海道)	めぐみばし 恵 橋	市道学田不 動公園線	1980	2017 2022	床板(木材)の抜 け落ち	全面通行止	撤去中
三笠市 (北海道)	きゅうかつらばし 旧桂橋	市道桂沢6 号線	1952	2017 2022	主桁(鋼材)腐 食、床板の抜け 落ち、鉄筋露出、 支承腐食	全面通行止	撤去予定
砂川市 (北海道)	やまもとばし 山本橋	市道川沿通 り	1968	2022	主桁腐食、横桁 腐食、床板変形・ 欠損、支承腐食	通行止	撤去中
富良野市 (北海道)	ひさかりばし 日盛橋	市道山部西 1号線	1983	2022	下部構造の洗堀	上部工仮受材 の設置 2023 年 10 月 から交通解放	架替予定
北斗市 (北海道)	だい しんかわばし 第4新川橋	市道千代田 第2号線	1966	2025	主桁腐食	3t 以上の車両 に通行規制	架替予定
当別町 (北海道)	たんこう さわばし 炭鉱の沢橋	町道炭鉱の 沢線	1976	2017 2022	杭基礎の折損	全面通行止	廃止予定
上川町 (北海道)	メノコ橋 ばし	町道清川陸 万2号線	1981	2022	主桁が経年劣化 により脱落し、路 面の一部が抜け 落ち	全面通行止	撤去予定
上川町 (北海道)	やまきばし 八巻橋	町道東雲朝 日線	1965	2022	下部工前面護岸 部の洗堀による 損傷、護岸背面 の土砂の吸出し	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
南富良野町 (北海道)	とうえいばし 東栄橋	町道下金山 東栄線	1981	2022	木部材の床板、 縦、横桁、横構は 老朽化が著しく、 一部床板の抜け 落ち、横構の断 面破断、主塔、柱 部のひび割れ、 門柱部のうき等の 損傷が著しい。吊 り材の主索ケー ブルが腐食	全面通行止	撤去中
中川町 (北海道)	はしもとばし 橋本橋	町道中川5 号線	1979	2017 2022	橋台洗堀による 傾斜	チェーンゲー トによる通行止 措置	撤去予定
小平町 (北海道)	うんせいばし 運生橋	町道親和線	1972	2018 2023	床版の腐食	全面通行止	修繕中
小平町 (北海道)	かねじりばし 金尻橋	町道川上本 流線	1967	2018 2023	下部工基礎の洗 堀	全面通行止	修繕中
小平町 (北海道)	せんすいばし 潜水橋	町道川上本 流線	1962	2018 2023	下部工基礎の洗 堀	全面通行止	修繕中
初山別村 (北海道)	くれないばし 紅 橋	村道風連別 南線	1974	2017 2023	橋台基礎の洗堀	全面通行止	撤去予定
初山別村 (北海道)	うたこしべつばし 歌越別橋	村道共成線	1963	2017 2023	主桁(木材)の腐 食	全面通行止	撤去予定
浜頓別町 (北海道)	クッチャロ ^{おおはし} 大橋	町道浜頓別 自転車道1 号線	1917	2017 2022	主桁・横桁・支承 (鋼材)の腐食、 橋脚の洗堀	短管パイプに よる出入り口 封鎖	未定
遠軽町 (北海道)	だいこくさわ ごうきよう 大黒沢6号橋	町道大黒沢 線	1964	2021 2025	主桁の顕著なひ びわれ、下部工 (堅壁)の構造ひ びわれや洗堀、 主桁支承部の欠 損等	全面通行止	撤去中
西興部村 (北海道)	ちゆうこうはし 中興橋	村道中興部 六興線道路	1935	2019	橋脚底板下面の 露出、横桁のひ び割れ、橋台ウイ ングの断裂、防護 柵の著しい欠損・ 破断	全面通行止	撤去中
厚真町 (北海道)	おくたかりはし 奥高橋	町道高丘本 線	1967	2021	桁端部の欠損、 橋台下部の洗堀	全面通行止	架替予定
新冠町 (北海道)	こうようばし 紅葉橋	町道東川2 号線	1965	2017 2022	橋台の傾斜	全面通行止	廃止予定
新ひだか町 (北海道)	くどう ごうきよう 久遠3号橋	町道歌笛久 遠沢線	1978	2021	主桁の腐食、床 版に破断・変形・ 抜落ち、舗装の わだち掘れ	全面通行止	廃止予定
鹿追町 (北海道)	はちごうばし 八号橋	奥然別峡線	1965	2017 2022	橋座の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	未定
鹿追町 (北海道)	ねむのきばし 合歓木橋	奥然別峡線	1973	2022	橋台背面の洗堀	全面通行止	未定
新得町 (北海道)	たけうちはし 竹内橋	町道北新得 東線	1990	2018 2021 2024	落橋	全面通行止	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
浦幌町 (北海道)	あつないばし 厚内橋	厚内幹線	1966	2025	異常出水等の影響による橋脚の沈下、上部工の沈下、傾斜	通行止	撤去中
弟子屈町 (北海道)	みのりばし 美農里橋	町道美農里橋線	1962	2022	床版の腐食、橋面木材の腐朽	2011 年度より通行止	撤去予定
八戸市 (青森県)	かねはまこせんきょう 金浜跨線橋	大渡金浜線	1968	2020 2025	主桁下面のはく離鉄筋露出	仮設材を設置し車線規制	架替中
十和田市 (青森県)	さるくらばし 猿倉橋	猿倉線	不明	2018 2023	主桁、床版の剥離や鉄筋露出、下部工のひび割れ、断面欠損	通行止、仮橋設置	架替中
三沢市 (青森県)	あまがもり ごうばし 天ヶ森1号橋	市道天ヶ森1号線	1977	2021	コンクリート部材にはく離・鉄筋露出、支承に変形・欠損	車両通行止（歩行者通行可）	撤去中
むつ市 (青森県)	かりだんちばし 仮団地橋	鳥谷場線	1987	2025	主桁、床版、下部構造などの腐食、防食機能の劣化	歩行者・車両ともに全面通行止	架替中
つがる市 (青森県)	れんげだばし 蓮花田橋	丸山蓮花田線	1978	2021	鋼管杭の腐食による落橋	バリケード及びガードマン配置	架替中
今別町 (青森県)	ほりかえばし 堀替橋	堀替線	1970	2022	主桁及び支柱の腐食、橋脚のはく離・ひび割れ	全面通行止	未定
今別町 (青森県)	おおかわだいゆしらかわばし 大川平由四良橋	由四良川線	1970	2022	主桁及び支柱の腐食、床版のはく離・鉄筋露出	全面通行止	未定
大鰐町 (青森県)	くまざわばし 熊沢橋	虹貝清川線	1963	2021	床板の鉄筋破断、損傷	通行止	撤去予定
大鰐町 (青森県)	もりやまおほし 森山大橋	鯖石森山線	1974	2021	支承サイドブロックの損傷	サイドブロック機能を補完するため、仮設材の設置	修繕中
東北町 (青森県)	こがわらどおりこせんきょう 小川原通跨線橋	町道 535 号線	1967	2020	主桁の腐食、板厚減少、断面欠損	バリケード等の設置	架替中
大船渡市 (岩手県)	しろきさわばし 白木沢橋	市道白木沢橋線	1960	2021	橋台背面が陥没	全面通行止	未定
久慈市 (岩手県)	とめたきばし 止滝橋	市道沼袋線	1969	2020	床版に剥離・鉄筋露出、格子状ひびわれ、下部工の断面欠損	全面通行止	撤去中
一関市 (岩手県)	しもなかやま ごうきょう 下中山1号橋	市道下曲田16号線	不明	2022	主桁の欠損、床板の流出、舗装の抜け落ち	全面通行止	未定
一関市 (岩手県)	にほんまつばし 二本松橋	市道島越二本松線	1943	2024	石積護岸の豪雨出水の影響による洗掘・欠損	規制看板等設置による全面通行止	架替中
二戸市 (岩手県)	せいがんばし 青岩橋	市道青岩線	1935	2018	主桁支点部・鋼製橋脚基部の断面欠損	仮設材を設置（通行止）	撤去予定
奥州市 (岩手県)	あまつちばし 天土橋	市道天土線	1954	2014 2019 2024	基礎の洗掘	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
奥州市 (岩手県)	しもがもがさきはし 下鴨ヶ崎橋	市道梨ノ木 線	1976	2014 2019 2024	床版のひびわれ 、剥離、鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
一戸町 (岩手県)	そでこだばし 袖子田橋	袖子田線	1960	2025	床版経年劣化	未対応	撤去予定
気仙沼市 (宮城県)	なつやきはし 夏焼橋	市道上東側 根上西側線	不明	2020	木橋上部の腐朽	全面通行止	撤去予定
名取市 (宮城県)	ごしやばし 五社橋	市道笠島川 内線	1971	2021	主桁の剥離・鉄 筋露出	仮設迂回路を 設け全面通行 止	廃止予定
湯沢市 (秋田県)	かわいばし 川井橋	市道中山・ 小淵ヶ沢線	1966	2014 2019 2023	主桁、横桁、支承 の腐食、床版下 面、橋台、橋脚の ひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	おやすばし 小安橋	市道寒沢線	1962	2014 2019 2023	主桁、横桁、支承 の腐食、床版、橋 台のひびわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	たきのはらばし 滝ノ原橋	市道小安沢 滝ノ原線	1963	2023	主桁の剥離、橋 脚の剥離・鉄筋 露出、支承の腐 食	全面通行止	修繕予定
湯沢市 (秋田県)	たかまえばし 高前橋	市道高屋敷 平館線	1963	2023	橋台、橋脚のひ びわれ	全面通行止	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	おやすさわばし 小安沢橋	市道小安沢 線	不明	2024	主桁の剥離・鉄 筋露出、支承の 板厚減少を伴う 著しい腐食と傾 斜、アンカーボルトのゆるみ	全面通行止	撤去予定
鹿角市 (秋田県)	うしみちしたばし 丑道下夕橋	長野大湯線	不明	2022	橋脚基礎の洗堀	全面通行止	架替中
鹿角市 (秋田県)	ぬまたいばし 沼平橋	高崩2号線	1980	2023	橋脚の傾き	全面通行止及 び仮設橋設置	架替中
鹿角市 (秋田県)	きへいたいばし 喜兵平橋	喜兵平線	2004	2023	橋台の損傷	全面通行止	修繕中
鹿角市 (秋田県)	どうじばし 桃枝橋	桃枝線	1961	2024	河川の増水によ る橋台の変形	全面通行止	架替中
由利本荘市 (秋田県)	あらまち ごうきょう 荒町2号橋	市道荒町 4 号線	1941	2020 2025	床版の剥離、下 部工のひびわれ 、鉄筋露出、剥 離、損傷	全面通行止	撤去予定
由利本荘市 (秋田県)	ふじくらばし 藤倉橋	市道藤倉線	1994	2024	豪雨災害による 木床版の脱落、 防護柵の脱落、 横桁の欠損	未対応	廃止予定
由利本荘市 (秋田県)	はんべえばし 半兵ヱ橋	市道雪川井 戸ノ沢線	1968	2024	路面の隙間、下 部工のひびわれ、 漏水、洗堀、PC パイルの倒壊	全面通行止	未定
由利本荘市 (秋田県)	くろもりばし 黒森橋	市道雪川井 戸ノ沢線	1968	2024	床版の変形(たわ み)、下部工の岩 盤崩壊(洗堀)、下 部工のひびわれ 、遊離石灰、漏水	全面通行止	未定
由利本荘市 (秋田県)	ひやみずさわばし 冷水沢橋	市道南沢 1 号線	1965	2024	2024 年 7 月の豪 雨災害による落 橋	未対応	修繕予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
由利本荘市 (秋田県)	おおだいばし 大台橋	市道焼山線	1985	2024	豪雨災害による 落橋	全面通行止	未定
由利本荘市 (秋田県)	ふじたばし 藤田橋	市道藤田線	1971	2025	鋼部材の腐食及 び断面減少、支 承の著しい腐食	全面通行止	未定
大仙市 (秋田県)	たのさわはし 田ノ沢橋	芦沢通家ノ 前線	1972	2024	主桁上の床版の 支点部で鋼材が 消失し、床版落 下の危険性あり	全面通行止	未定
大仙市 (秋田県)	やまべざわ ごうばし 山辺沢1号橋	山辺沢線	1980	2024	下部工の基礎地 盤が消失しており、落橋の危険性 あり	全面通行止	未定
にかほ市 (秋田県)	ごうばし 903号橋	背 中 当・前 田表線	1987	2023	鋼橋全体の腐食	全面通行止	架替中
小坂町 (秋田県)	かくらばし 鹿倉橋	鹿倉線	1968	2023	主桁鋼材の露出 、側面の剥離損 傷	代替路線完成 により廃止 予 定	廃止予定
上小阿仁村 (秋田県)	なかやまはしほどうきょう 中山橋歩道橋	福館五反沢 線	1979	2021	道路橋の機能に 支障、橋台に広 範囲の洗掘	全面通行止	修繕予定
三種町 (秋田県)	たきのさわ ごうきょう 滝ノ沢2号橋	猿田増浦線	不明	2023	背面土砂の崩落 により落橋	全面通行止	未定
八峰町 (秋田県)	みずさわばし 水沢橋	目名潟大沢 線	1961	2024	橋脚の洗掘	全面通行止	廃止予定
五城目町 (秋田県)	おおだいばし 大台橋	町道大台線	1969	2018 2023	主桁の著しい鉄 筋露出	全面通行止	廃止予定
五城目町 (秋田県)	こいじばし 恋地橋	町道恋地線	1958	2022	主桁・横桁の腐 食、防食機能の 劣化、橋台の剥 離・欠損	全面通行止	未定
五城目町 (秋田県)	こいじおおはし 恋地大橋	町道入通線	1987	2023	主桁の異常なた わみ	片側交互通行	未定
尾花沢市 (山形県)	3-278-1 号橋 ごうきょう	市道Ⅲ-278 号線	1976	2021	主桁のたわみ	全面通行止	撤去中
鮭川村 (山形県)	ふかさわ ごうきょう 深沢1号橋	木の根坂・ 深沢線	1964	2021	主桁の変形、床 版の変形移動	全面通行止	未定
川西町 (山形県)	さかみずばし 坂水橋	道祖神坂水 橋線	1968	2016 2021	支承本体の傾斜 橋脚の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	撤去中
遊佐町 (山形県)	さかいばし 栄橋	(他)白木宮 海線	1956	2016 2021	主桁の腐食、欠 損、ハイルベント橋 脚の損傷	全面通行止	撤去中
いわき市 (福島県)	ずきんだいらはし 頭巾平橋	市 道 頭 巾 平・長沢	不明	2017 2022	橋脚柱部に根本 接合部の剥離に よる 10° 程度の 傾き	通行規制 (車両)	未定
相馬市 (福島県)	2593-1	市 道 中 部 593 号線	不明	2023 2025	下部工のひびわ れ	全面通行止	修繕中
川俣町 (福島県)	とんやまえはし 問屋前橋	町道問屋・ 津間線	1970	2016 2020 2024	主桁の腐食、変 形・欠損、板厚減 少	全面通行止	架替予定
金山町 (福島県)	おきたはし 沖田橋	町道湯ノ上 線	1935	2016 2021	床版の断面欠 損、鉄筋露出	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
双葉町 (福島県)	の だけうち ごうばし 野竹内3号橋	町道野竹内 2 号線	1965	2018	橋台の移動・傾 斜、背面の土砂 の沈下洗掘、ひ びわれ	仮設材を設置 し通行止	未定
浪江町 (福島県)	5084-1号橋	持平小和田 線	不明	2020	床版の抜け落ち	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	6241-1号橋	近江前大高 倉線	不明	2021	橋台の洗掘及び 沈下・移動・傾斜	全面通行止	修繕予定
浪江町 (福島県)	7017-1号橋	重作下亀下 線	不明	2021	主桁木材の落下	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-1号橋	西小萱線	不明	2022	変形崩落	全面通行止	未定
浪江町 (福島県)	7173-2号橋	西小萱線	不明	2022	崩壊欠損	全面通行止	未定
土浦市 (茨城県)	はすかわらしんまち ごうばし 蓮河原新町2号橋	市道蓮河原 新町 16 号 線	不明	2025	主桁の腐食、変 形・欠損	全面通行止	修繕中
石岡市 (茨城県)	18050	市道 A 6747 号線	不明	2020 2025	主桁の腐食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
石岡市 (茨城県)	4323-1号橋	市道 B4323 号線	不明	2021	主桁端部にひび われ	仮設材を設置 し全面通行止	未定
結城市 (茨城県)	かみわだばし 上和田橋	市 道 5075 号線	不明	2016 2023	主桁、横桁の剥 離、腐食による断 面欠損・鉄筋露 出、下部構造の ひびわれ	バリケード及 び通行止看板 を設置し通行 規制	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	5-44号橋	市 道 第 5- 292 号線	不明	2021	基礎の沈下、路 面の傾斜	全面通行止	未定
龍ヶ崎市 (茨城県)	4-25号橋	市道第 4-96 号線	不明	2022	主桁の引張荷重 を担う鉄筋の破 断	全面通行止	架替予定
龍ヶ崎市 (茨城県)	4-33号橋	市 道 第 4- 106 号線	不明	2022	上部構造の孔食 、板厚減少を伴う 腐食	全面通行止	撤去予定
常陸太田市 (茨城県)	しんかわどばし 新川戸橋	市 道 2213 号線	1974	2023	上部工、下部工 の著しい腐朽	全面通行止	修繕中
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋5	市 道 1320 号線	不明	2018 2023	主桁及び支承の 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋59	市 道 2051 号線	不明	2018 2023	下部工のひび割 れ、傾斜、洗掘	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋142	市 道 6039 号線	不明	2018 2023	主桁、床版及び 地覆の木材部の 腐朽による断面 欠損	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋147	市 道 6054 号線	不明	2018 2023	床版の欠損	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋149	市 道 6082 号線	不明	2018 2023	主桁の腐食、床 版の著しい腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋155	市 道 6093 号線	不明	2018 2023	主桁と床版の著 しい腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋172	市 道 7001 号線	不明	2018 2023	主桁の腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋173	市 道 7002 号線	不明	2018 2023	主桁と床版の著 しい腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
北茨城市 (茨城県)	むめいきょう 無名橋60	市 道 2052 号線	不明	2023	床版に腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
取手市 (茨城県)	216号橋 ごうきょう	市道 2-5273 号線	不明	2017 2025	A2 橋台の下部工 の傾斜、主桁の 傾斜	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	吾妻橋 あずまばし	4-2231号 線	1976	2015 2020 2025	橋台の ASR と考 えられる亀甲状の ひびわれ	全面通行止	撤去予定
つくば市 (茨城県)	15620-1号橋 ごうばし	1-5620号 線	1968	2017 2019 2024	主桁、横桁、デッ キプレート床版の 腐食による欠損	敷鉄板の設置 (通行可能)	修繕中
つくば市 (茨城県)	32262-1号橋 ごうばし	3-2262号 線	1964	2018 2022	P1 橋脚の腐食・ 断面欠損	仮設材を設置 し全面通行止	架替中
つくば市 (茨城県)	53032-1号橋 ごうばし	5-3032号 線	1962	2018 2023	橋台に杭の欠損 及び沈下	全面通行止	架替予定
常陸大宮市 (茨城県)	10695-1号橋 ごうばし	市道 10695 号線	不明	2021	主桁・床板の腐 食により破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	辰目沢橋 たつめさわばし	市道 30011 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(単 純鋼 H 型橋・床 板は木材)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	五目板橋 ごもくいたばし	市道 30363 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	山ノ神橋 やまのかみはし	市道 30102 号線	不明	2022	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
常陸大宮市 (茨城県)	谷熊向橋 やぐまむかいりばし	市道 40061 号線	1985	2024	主桁・床板の腐 食による破損(木 橋)	全面通行止	撤去予定
稲敷市 (茨城県)	104号橋 ごうきょう	市道(新) 1223 号線	不明	2016	下部工、支承の 腐食	全面通行止	撤去予定
城里町 (茨城県)	1-3号橋 ごうきょう	町 道 1222 号線	1985	2018 2023	床版の抜け落ち	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1-26	町 道 1462 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	3-18	町 道 3239 号線	不明	2018 2023	橋全体の著しい 腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1068	町 道 8-09 99号線	不明	2018 2023	主桁、床版の著 しい腐朽	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1066	町 道 8-11 00号線	不明	2018 2023	主桁全体の腐朽 、一部崩落	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
城里町 (茨城県)	1-6号橋 ごうきょう	町 道 1185 号線	不明	2022	下部工の移動	全面通行止看 板設置及び防 護ロープ設置	撤去中
大子町 (茨城県)	5021号橋 ごうきょう (後沢橋) うしろさわばし	町 道 5010 号線	不明	2019 2024	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
大子町 (茨城県)	5043号橋 ごうきょう	町 道 5177 号線	不明	2024	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
大子町 (茨城県)	5044号橋 ごうきょう	町 道 5177 号線	不明	2024	主桁・床版の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	未定
阿見町 (茨城県)	6006橋 はし	町 道 6056 号線	1970	2023	橋台の沈下によ る桁の遊間異常	全面通行止	撤去予定
栃木市 (栃木県)	番場橋 ばんばはし	市道 61104 号線	1925	2025	主桁、床版、支 承の腐朽	全面通行止	撤去予定
茂木町 (栃木県)	とこ 床の沢橋 さわばし	町 道 床の沢 放線	1969	2020 2025	橋脚に洗堀、剝 離・鉄筋露出	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
茂木町 (栃木県)	おおはし 大橋	町道山崎元 古沢線	1963	2020 2025	A1 橋台の胸壁と 堅壁の分離、胸 壁の移動	全面通行止	撤去予定
前橋市 (群馬県)	えだはし 江田橋	市道 16-017 号	不明	2019 2024	主桁の歪み、橋 脚の減肉	全面通行止	撤去予定
富岡市 (群馬県)	しんこうじはし 新光寺橋	市道 11157 号線	1975	2025	橋台の洗堀	車両通行止	修繕予定
中之条町 (群馬県)	あづまばし 吾嬭橋	町道小雨生 須線	1962	2020 2025	縦桁の著しい腐 朽	バリケードによ る完全封鎖	未定
東吾妻町 (群馬県)	3-12号橋 ごうきょう なるせはし (鳴瀬橋)	町 道 3006 号線	1935	2020 2024	垂直材のひび割 れ	全面通行止	撤去予定
みなかみ町 (群馬県)	たからがわはし 宝川橋	町 道 藤 原 102 号線	1958	2018	橋脚、橋台の剥 離・鉄筋露出によ る断面減少、支 承の機能障害	全面通行止	撤去中
川越市 (埼玉県)	だい 25号橋 ごうきょう	市 道 3035 号線	不明	2019	主桁、床版、路面 の腐食、橋台下 部工の傾斜	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去予定
川口市 (埼玉県)	おにざわはし 鬼澤橋	市道幹線第 28 号線	1958	2022 2023	橋台の傾斜	根固め工等を 施工	架替予定
行田市 (埼玉県)	9-27号橋 ごうきょう	市道第 9.3- 89 号線	1933	2020 2025	橋脚の沈下・移 動・傾斜	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
行田市 (埼玉県)	3-9号橋 ごうきょう	市道第 3.3- 193 号線	不明	2021	橋脚の鉄筋腐食 及び破断	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
行田市 (埼玉県)	5-21号橋 ごうきょう	市道第 5.3- 330 号線	不明	2021	主桁・支承部の 腐食、破断	仮設材を設置 し全面通行止	廃止予定
行田市 (埼玉県)	7-30号橋 ごうきょう	市道第 7.3- 49 号線	不明	2021	床版の剥離・鉄筋 露出・ひびわれ、 鉄筋の腐食・破 断認	仮設材を設置 し全面通行止	修繕予定
加須市 (埼玉県)	か 加 4018号橋 ごうきょう	市 道 4009 号線	1940	2016 2020 2025	主桁の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
加須市 (埼玉県)	だい 大 130号橋 ごうきょう	市道大 2117 号線	不明	2016 2020	床版の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
加須市 (埼玉県)	か 加 6048号橋 ごうきょう	市 道 6313 号線	不明	2016 2022	橋台の欠損	全面通行止	撤去予定
加須市 (埼玉県)	お お と ね 大 利根 112号橋 ごうきょう	市道大 2040 号線	不明	2018 2023	橋台の傾斜	全面通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	ひかげ 日影 3号橋 ごうきょう	市道 4-117 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえ こう ち 前 耕地 1号橋 ごうきょう	市道 4-177 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	うねすぎ 敵 杉 1号橋 ごうきょう	市道 4-335 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	さわむこうはし 沢向橋	市道 4-431 号線	1969	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	もり まえ 森 の 前 2号橋 ごうきょう	市道 4-434 号線	不明	2022	主桁のひびわれ	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	まえ こう ち 前 耕地 2号橋 ごうきょう	市道 4-174 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
本庄市 (埼玉県)	かわむこう 川 向 1号橋 ごうきょう	市道 4-202 号線	不明	2022	主桁の腐食	バリケードにて 通行止	撤去予定
鴻巣市 (埼玉県)	2249号線 1号橋 ごうせん 橋	市道川 2249 号線	不明	2022	ひびわれ、舗装 の異常	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
鴻巣市 (埼玉県)	2272号線 ^{ごうせん} 1号橋 ^{ごうきょう}	市道川 2272 号線	不明	2022	ひびわれ、剥離・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
草加市 (埼玉県)	無名橋 ^{むめいきょう} 171	市道 20197 号線	2000	2025	主桁、支承の腐 食、蟻害、床板の 割れ、高欄のボ ルト緩み、脱落、 傾き	橋梁破損箇所 を通行できな いように規制	架替予定
川島町 (埼玉県)	1-28号橋 ^{ごうはし}	町 道 1479 号線	不明	2025	床版の破損（ひ び割れ）	カラーコーン 及びバリケー ドを設置し車 両通行止	修繕予定
神川町 (埼玉県)	12154-1号橋 ^{ごうはし}	町道 12154 号線	不明	2017	主桁、横桁の腐 朽	全面通行止	撤去中
市原市 (千葉県)	かんたくはし 干拓橋	市道イ-220 号線	1957	2020	橋脚の剥離・鉄 筋露出、基礎の 沈下・移動、傾斜 など	全面通行止	撤去中
市原市 (千葉県)	かわはたはし 川端橋	市 道 6178 号線	1957	2023	下部工洗堀によ る橋台の滑動、 変形欠損	通行止規制	架替中
君津市 (千葉県)	おつばらばし 追原橋	市道黄和田 畑、追原線	1971	2018 2023	歩行者用の木橋 の吊橋で塔柱の 腐食による機能 不全	バリケードを設 置し全面通行 止	廃止予定
君津市 (千葉県)	いずみばし 泉 橋	市道六手、 玄蕃松線	1970	2018 2023	鋼桁の著しい腐 食による断面欠 損・変形、上部工 の沈降	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
君津市 (千葉県)	ながうらばし 長浦橋	市道奥米、 大鹿倉線	1955	2018 2023	歩行者用の吊橋 で鋼桁の腐食に よる機能不全	バリケードを設 置し全面通行 止	廃止予定
君津市 (千葉県)	まさき 1号橋 ^{ごうはし} 正木1号橋	市道正木・ 奥米線	1932	2018 2023	RC床版や下部 構造に損傷	バリケードを設 置し全面通行 止	廃止予定
君津市 (千葉県)	などのこせんきょう 名殿跨線橋	市道名殿、 音坊谷線	1936	2022	主桁の腐食、横 桁の破断等	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
南房総市 (千葉県)	おおはんつはし 大半津橋	市道深名 1 8号線	2001	2023	主桁、床板、橋脚 、支承部の腐朽	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
酒々井町 (千葉県)	いはいづみばし 飯積橋	町道 3B-162 号線	不明	2021	主桁の腐食支承 の腐食、支承の 機能障害	バリケード設 置（全面通行 止） 看板等による 迂回路誘導	撤去予定
あきる野市 (東京都)	あじろはし 網代橋	市 道 I -11 号線	1933	2021	P2 橋脚の洗掘、 沈下・移動・傾斜 、主桁の浮上	全面通行止	架替予定
檜原村 (東京都)	したなかさとばし 下中里橋	村道第 53-1 号中里線	不明	2022	橋台のひびわれ 、遊離石灰、崩落	仮橋の設置	未定
大島町 (東京都)	ふくじゅうばし 福重橋	福重1号線	1939	2024	主桁の剥離・鉄 筋露出およびう き、露出した主鉄 筋の破断・断面 減少	看板表示によ る通行禁止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
大島町 (東京都)	まんたてばし 万立橋 (場所打ち部)	長根野田浜 自転車歩行 者線	不明	2024	頂版、側壁の剥 離・鉄筋露出・う き	看板等による 迂回路誘導	架替予定
長岡市 (新潟県)	すずばし 涼橋(C0015)	市道越路 110号線	1933	2023	床版のひび割れ	仮設材を設置 し全面通行止	撤去中
長岡市 (新潟県)	F0042-0 かちどきばし 勝関橋	市道小国 160号線	不明	2025	主桁・床板の腐 食	仮設材を設置 し全面通行止	撤去予定
長岡市 (新潟県)	C0019-0 むめいきょう 無名橋 ごうきょう 1号橋(C01115)	市道越路 115号線	1958	2025	上部工の断面欠 損	仮設材を設置 し全面通行止	架替中
小千谷市 (新潟県)	わかみやばし 若宮橋	市区町村道 (その他)岩 間木1号線	1998	2022	主桁及び床版の 腐朽	バリケードを設 置し全面通行 止	廃止予定
村上市 (新潟県)	かわしもこばし 川下小橋	市区町村道 (2級)中小 屋線	不明	2019 2024	主桁の腐食	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
村上市 (新潟県)	かわいり ごうきょう 川入1号橋	市区町村道 (その他)河 内14号線	不明	2019 2024	床版の腐食	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
村上市 (新潟県)	みやのこしばし 宮ノ越橋	市区町村道 (その他)新 飯田20号 線	不明	2024	主桁の腐食	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
村上市 (新潟県)	どばし 土橋	市区町村道 (2級)府屋 勝木線	不明	2024	主桁の腐食	バリケードを設 置し全面通行 止	修繕中
村上市 (新潟県)	ちようせい ごうきょう 調整2号橋	その他市町 村道牛屋21 号線	不明	2024	主桁の腐食	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
村上市 (新潟県)	おちあいはし 落合橋	市道大栗田 8号線	1998	2025	橋台の洗堀	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	おおたにがわだいいちばし 大谷川第一橋	市道上角間 線	不明	2019 2023	床版の腐食	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	あらさわばし 荒沢橋	市道荒沢線	1966	2019 2023	床版の腐食	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
糸魚川市 (新潟県)	かざなみばし 風波橋	市道風波2 号線	1941	2024	アーチリブの腐食	仮設材を設置 し通行止	撤去予定
妙高市 (新潟県)	すぶんどうばし 寸分道橋	市区町村道 (その他)大 濁寸分道線	不明	2021	機能支障	全面通行止	廃止予定
阿賀町 (新潟県)	こあらいはし 小荒井橋	町道向小荒 線	1968	2020 2025	床版の腐食	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
阿賀町 (新潟県)	まえかわばし 前川橋	町道荒沢実 川線	1972	2025	床版の欠損	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
弥彦村 (新潟県)	きょうえいはし 共栄橋	村道共栄橋 線	1958	2025	橋台の損傷、取 付護岸の沈下	全面通行止	修繕予定
関川村 (新潟県)	あらたにざわばし 荒谷沢橋	村道九ヶ谷 郷57号線	1938	2020 2025	主桁の腐食、防 食機能の劣化、 変形・欠損	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去予定
富山市 (富山県)	すなくらだにばし 砂蔵谷橋	蟹寺加賀沢 線	1972	2017 2021	主桁・対傾構の 変形	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	かめいわばし 瓶岩橋	松ノ木横江 線	1972	2018 2023	支承の破損、橋 台のひび割れ	バリケードを設 置し全面通行 止(2015より)	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
富山市 (富山県)	くりすばし 栗須橋	栗須中山線	1958	2021	橋脚の洗堀、支 承部の剥落・鉄 筋露出	全面通行止	未定
富山市 (富山県)	きりたに ごうばし 桐谷3号橋	市道桐谷西 村線	不明	2025	橋台背面アプロ ーチ部の土砂流 出	全面通行止	未定
魚津市 (富山県)	つきがたばし 月形橋	有山2号線	1966	2017 2022	支承部の腐食、 沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
滑川市 (富山県)	つきがたばし 月形橋	旧県道栗山 月形橋線	1966	2017	支承部の腐食、 沈下、移動、傾斜	全面通行止	未定
上市町 (富山県)	はっさんばし 白金橋	折戸・下田 線	1950	2021	ケーブルの腐 食、変形、破損	全面通行止	撤去予定
七尾市 (石川県)	しょうわばし 昭和橋	市道河崎下 線	1993	2024	主桁の腐朽	通行止看板設 置	架替中
七尾市 (石川県)	でぐちばし 出口橋	市道河崎川 淵線	1960	2024	主桁の腐朽	通行止看板設 置	撤去予定
小松市 (石川県)	さかい ばし 橋	市道江指町 勘定線	1926	2018	主桁の腐食・欠 損	バリケードを設 置し全面通行 止	架替中
白山市 (石川県)	おぞうおおはし 尾添大橋	中宮尾添線	1973	2017 2023	橋台基礎部の地 盤崩落	バリケードを設 置し全面通行 止(2018 年度 より)	撤去予定
白山市 (石川県)	ごみじまばし 五味島橋	ダム1号線	1979	2018 2021	主桁の座屈	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去中
志賀町 (石川県)	おおはしづめはし 大橋詰橋	町道第6017 号大坪線	1948	2025	主桁の水平移動	全面通行止	架替予定
山梨市 (山梨県)	ほそいりさわはし 細入沢橋	円川線	1973	2021	木床版に腐朽、 横桁に孔食を伴 う腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	えんがわばし ごう 円川橋3号	31044 号	1967	2021	縦桁の干割れや 腐朽、木床版の 腐 朽 や 抜 け 落 ち、主ケーブルや ケーブルアンカ ーに腐食	全面通行止	撤去予定
山梨市 (山梨県)	あおざきはし 青笹橋	31052 号線	1969	2021	縦桁・木床版の 腐朽・抜け落ち、 主塔にひびわれ・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
大月市 (山梨県)	あらぐらはし 新倉橋	市道新倉橋 線	1971	2019	主要部材の断面 欠損	全面通行止	撤去中
大月市 (山梨県)	なかいはし 中橋	市道新田線	1940	2025	橋脚の断面欠 損、鉄筋露出	全面通行止	未定
笛吹市 (山梨県)	しもおおくぼばし 下大窪橋	市 道 5149 号線	1967	2023	支承が腐食により 破断しており反力 の支持が不明瞭	巡回による監 視を実施して 段差変状が生 じた場合、通 行規制	修繕中
笛吹市 (山梨県)	ごうはし 3号橋	市 道 6331 号線	1961	2023	上部・下部が老 朽化して歩行者 が通行できない 状況	通行止看板を 設置して通行 規制	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
甲州市 (山梨県)	ゆのきばし 柚木橋	下柚木 1 号 線	1982	2022	木製の床版と床 組の一部が腐 朽、主塔や主ケ ーブルの吊り材 に点錆	全面通行止	撤去予定
長野市 (長野県)	50085号橋 ^{ごうきよう}	市道若穂東 458号線	1970	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	さわじりばし 沢尻橋	市道中条3 6号線	1978	2017 2022	床板の抜け落ち	全面通行止	未定
長野市 (長野県)	たのいりばし 田ノ入橋	市道中条7 0号線	1980	2017 2022	木橋全体が腐食	全面通行止	未定
長野市 (長野県)	うめきあらい ^{ごうきよう} 梅木新井1号橋	市道中条2 96号線	1975	2017 2022	木橋全体の腐食	全面通行止	未定
長野市 (長野県)	しののいきた ^{ごうきよう} 篠ノ井北47号橋	市道篠ノ井 北215号線	不明	2020	橋脚の腐朽	全面通行止	修繕中
長野市 (長野県)	まごめばし 孫女橋	市道信州新 町127号線	1975	2020	橋台転倒および 床版崩落の恐れ あり	全面通行止	修繕予定
長野市 (長野県)	おおかわばし 大川橋1	市道戸隠北 67号線	2000	2020	木床版に腐朽・ 抜け落ち	全面通行止	廃止予定
長野市 (長野県)	おかだかわしもはし 岡田川下橋	市道東田沢 通明小線	1930	2021	木床版の抜け落 ち	全面通行止	修繕中
長野市 (長野県)	かみくすがわ ^{ごうきよう} 上楠川4号橋	市道戸隠北 95号線	1981	2023	下部工洗堀によ る倒壊	全面通行止	廃止予定
松本市 (長野県)	やくばし 矢久橋 (20052)	市道召田旧 道 1 号線	1950	2014 2019 2024	主桁・横桁の剥 離、鉄筋露出、床 版の変色、劣化	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	しまじまだに ^{ごうきよう} 島々谷5号橋 (30005)	市道島々 5 号線	1965	2014 2019 2024	上部構造の腐食 、下部構造の変 形、欠損、支承の 機能障害	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	ゆかわ ^{ごうばし} 湯川1号橋 (30023)	市道沢渡 2 号線	1935	2014 2019 2024	上部構造の腐食 、支承の機能障 害	荷重制限	架替中
松本市 (長野県)	ひのきとうげばし 桧峠橋 (30028)	市道大野川 1号線	不明	2018 2023	木部材の腐朽、 一部崩落	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	まぶねかみばし 馬船上橋 (20014)	市道馬船線	1971	2021	空石積み橋台、 支承部が一部崩 壊、床版、舗装に たわみ	車両通行止	未定
松本市 (長野県)	むめいばし 無名橋 (14134)	市道5533 号線	不明	2022	上部工の広範囲 に鉄筋露出膨張 を伴う剥離・鉄筋 露出	全面通行止	機能変更中
松本市 (長野県)	はないけばし 花池橋 (20061)	市道花池取 出線	1966	2022	下部構造の洗堀 、主桁、床版の傾 斜	全面通行止	未定
松本市 (長野県)	よどがさわばし 淀ヶ沢橋 (20113)	市道淀ヶ沢 支線	1973	2022	主桁の断面欠損 を伴う著しい腐食	車両通行止	架替中
松本市 (長野県)	さわむらばし 沢村橋 (20001)	市道尾ノ入 線	1977	2023	主桁、床版に断 面欠損を伴う著 しい腐食、橋台の 洗堀	車両通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
飯田市 (長野県)	にしじまはし 西島橋	市道南信濃 77 号線	1962	2025	上部構造の傾倒、木製床板の腐食、変形、断面減少、抜け落ち、耐風支索のゆるみ、破断、腐食、橋台の剥離	橋梁への出入口を物理的に閉鎖し、施設の利用を停止	未定
中野市 (長野県)	はし 518橋	市道壁田 18 号線	1980	2025	重力式 A1、A2橋台の大洗堀、両橋台と基礎の半分程度が宙に浮いている	バリケードを設置し全面通行止	未定
中野市 (長野県)	もぎたうえはし 茂木田上橋	市道茂木田 線	1962	2025	5本の木製主桁の内2本が腐朽・消失。同時に舗装下の間詰土砂流出により舗装版が空中に浮いている	地元周知し看板を設置	架替予定
大町市 (長野県)	いちろうだ ごうばし 一字田1号橋	市道一字田 1号線	1995	2022	主桁の腐食、断面欠損	応急修繕工事実施、徐行、関係者のみ通行可、定期的な外観変状監視	修繕中
飯山市 (長野県)	2-30号橋 ごうきょう	市道2-39 2号線	1962	2021 2025	橋脚支柱基礎(コンクリート)の洗堀	バリケードによる通行止	未定
飯山市 (長野県)	8-10号橋 まつくらはし (松倉橋)	市道 6-379 号線	1975	2025	主構(脚)と主構(桁)の接合部のボルト脱落	バリケードによる通行止	未定
茅野市 (長野県)	ゆみふりはし 弓振橋	市道4-2185 号線	1955	2025	高欄の破損、地覆のひび割れ破損	通行止看板の設置、バリケードによる全面通行止	未定
千曲市 (長野県)	みち ごうせん ごうきょう 道1号線1号橋	市道7-C -041号線	1998	2022	主桁、床版の腐朽による欠損、橋梁のたわみ	全面通行止	廃止予定
安曇野市 (長野県)	きしたせん ごうきょう 木下線1号橋	市道明科5 085号線	1970	2016 2021	主桁の腐食、破断	全面通行止	廃止予定
安曇野市 (長野県)	やしたさわ ごうはし 矢下沢5号橋	市道明科5 143号線	1975	2016 2021	木製床版の抜け落ち	全面通行止	廃止予定
立科町 (長野県)	かにはらにごうばし 蟹原二号橋	町道梨ノ木 旧道線	1961	2020 2025	主桁の剥離・鉄筋露出、下部構造及び地覆のひびわれ、支間中央部のたわみ	全面通行止	撤去予定
長和町 (長野県)	いなりばし 稻荷橋	町道稻荷線	1989	2023	大雨による橋脚の流出	全面通行止	撤去予定
下諏訪町 (長野県)	うちやましご ぐうばし 内山洪の湯橋	町道内山洪 の湯線	2002	2022	橋台(蛇籠)の傾斜	ロープ等で通行止、山奥に存在する橋梁のため2か月に1度パトロール	廃止予定
原村 (長野県)	ゆみふり ごうきょう 弓振7号橋	村道5020 号線	1976	2025	主桁の著しい腐朽	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
辰野町 (長野県)	0135号橋 ^{ごうばし}	町道1413 号線	1999	2021	落橋	全面通行止	架替予定
松川町 (長野県)	3-9橋 ^{はし} (120)	町道91号 線	不明	2017 2022	橋台の崩落	バリケードによ る通行止	未定
根羽村 (長野県)	明神橋 ^{みょうじんばし}	村道(1級) 幹I-5号 線	1954	2016 2022	主桁・下部工の ひびわれ、鉄筋 露出、うき、漏水 遊離石灰	全面通行止	撤去予定
泰阜村 (長野県)	天満宮橋 ^{てんまんぐうばし}	村道132号 栃城御棚線	不明	2022	木橋吊り橋の床 版の落下	チェーンにて 全面通行止	廃止予定
上松町 (長野県)	小野ヶ谷橋 ^{おのがやばし}	町道肥沢線	1954	2022	床版に腐朽、抜 け落ちが発生	全面通行止	未定
木曽町 (長野県)	大沢橋 ^{おおさわばし} (福島)	町道大沢線	1972	2017	木橋全体が腐食	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	役場南橋 ^{やくばみなみばし}	町道旧役場 横線	不明	2017	床板の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
木曽町 (長野県)	近道沢橋 ^{こんどうざわばし}	町道黒川線	不明	2021	下部構造が欠損 し、洗掘拡大	車輛通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	中平橋 ^{なかだいらばし}	町道中平線	不明	2022	落橋	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	赤塩橋 ^{あかしおばし}	町道赤シ尾 線	不明	2022	床版の腐朽、下 部工の沈下	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	永鳥橋 ^{ながとりばし} (原野2)	町道永鳥線	1989	2022	主桁・床版の変 形・欠損	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	小沢3号橋 ^{おざわ ごうきよう}	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁・下部工の 腐食、床版の腐 朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	尾羽林3号橋 ^{おぼやし ごうきよう}	町道尾羽林 2号線	不明	2022	主桁の腐食、床 版・下部工の腐 朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	小沢2号橋 ^{おざわ ごうきよう}	町道小沢線 (三岳)	不明	2022	主桁の腐食、床 版の腐朽	全面通行止	廃止予定
木曽町 (長野県)	猿橋 ^{さるはし}	町道(1級) 西野川線	1958	2022	主桁の鉄筋露 出、床版の土砂 化	全面通行止	未定
白馬村 (長野県)	真畔小橋 ^{まがらこばし}	村道3134 号線	不明	2025	木主桁の破断	全面通行止	修繕予定
小谷村 (長野県)	国境橋 ^{こつかいばし}	村道湯原北 線	1937	2017 2023 2025	主桁破断、床板、 地覆、防護柵の 一部変形・欠損	全面通行止	未定
小川村 (長野県)	上之平橋 ^{うえのたいらばし}	村道12-9 号線	不明	2021	木床版の欠損や 踏み抜き	バリケード及 び通行止看板 を設置し進入 規制	廃止予定
飯綱町 (長野県)	釜淵橋 ^{かまぶちはし}	町道釜淵線	1953	2018 2022	床版の腐食	全面通行止	未定
岐阜市 (岐阜県)	(5304)無名橋 ^{むめいきよう}	市道桐谷線	不明	2023	木橋上部部材の 腐朽	全面通行止、 腐朽した部材 の撤去	未定
高山市 (岐阜県)	徳河橋 ^{とくごうはし}	市道德河線	不明	2015 2020 2025	主桁の腐食、橋 台の変状	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	船渡橋 ^{ふなとはし}	市道中洞2 号線	1952	2015 2020 2025	伸縮装置の脱落 、橋台の変状	全面通行止	撤去予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
高山市 (岐阜県)	てんぐはし 天狗橋	市道平湯天 狗橋線	1956	2015 2020 2025	床板、橋脚の鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
高山市 (岐阜県)	むかいはし 向橋	市道中之宿 向線	1952	2017 2022	吊桁の腐朽、床 版の崩落	全面通行止	未定
関市 (岐阜県)	ほとじまはし 保戸島橋	市道6-28 2号線	1937	2018	ゲルバー桁ヒンジ 部における吊桁 の破断及び受桁 の破断	全面通行止	撤去予定
関市 (岐阜県)	さかしたはし 坂下橋	市道12-101 号線	1966	2024	橋台のひび割れ 、護岸の石積み の崩落	全面通行止	修繕中
関市 (岐阜県)	きどはし 木戸橋	市道12-210 号線	1967	2024	橋台の下面の露 出、護岸の石積 みの崩落	全面通行止	撤去予定
中津川市 (岐阜県)	ほんさわはし 本沢橋	市道山口 5 号線	不明	2021	丸太の腐食、床 版及び舗装の抜 け落ち	全面通行止	廃止予定
中津川市 (岐阜県)	ふどうはし 不動橋	市道宮の上 下浦線	1958	2022	下部工の洗堀	全面通行止	廃止予定
中津川市 (岐阜県)	ほそがやはし 細ヶ谷橋	市道福岡 377号線	1956	2023	下部工の洗堀	全面通行止	廃止予定
各務原市 (岐阜県)	いわちがわ ごうきよう 岩地川3号橋	市道那 97 号線	不明	2025	下部工の洗堀	全面通行止	撤去予定
山県市 (岐阜県)	あなほらばし 穴洞橋	市道 51010 号線	1965	2021	下弦材の塗装塗 替え、橋脚の詳細 調査が必要	全面通行止	修繕予定
山県市 (岐阜県)	むめいはし 無名橋	市道 53018 号線	不明	2021	鋼床版の部分取 替え、橋台の石積 みの補修、鋼部材 の塗装塗替え、防 護柵の部分取替 えが必要	全面通行止	撤去中
海津市 (岐阜県)	しずはし 志津橋	海津33169 号線	1968	2022	床版のひび割れ 、桁かかり長の不 足、橋台(石積 み)のゆるみ	全面通行止	修繕中
安八町 (岐阜県)	しんさいがわ ごうきよう 新犀川2号橋	新犀川2号 線	不明	2021	橋脚のパイルベ ント破断	全面通行止	撤去予定
安八町 (岐阜県)	しんさいがわ ごうきよう 新犀川3号橋	新犀川3号 線	不明	2021	主桁の沈下・傾 斜、基礎の洗堀	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	うじたにばし 宇治谷橋	町道久瀬宇 治谷線	不明	2021	橋台背面の土砂 流出、主桁及び 床版の剥離・鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
揖斐川町 (岐阜県)	コウピヒラ ^{ばし} 橋	町道坂内八 草峠線	不明	2021	橋台背面の崩落	全面通行止	撤去予定
富加町 (岐阜県)	かたまちばし 片町橋	町道加治田 17号線	1969	2022	下部構造の洗堀	全面通行止	修繕中
白川町 (岐阜県)	おぐらばし 小倉橋	町道小倉線	1983	2020	床版、主桁、横桁 の腐食、橋台の ひびわれ、橋脚 基礎の洗堀	全面通行止	架替中
島田市 (静岡県)	むめいきよう 無名橋583	市道青木田 2号線	1992	2022	主桁の破損脱 落、床版の腐朽、 橋脚のひびわれ	全面通行止	撤去中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
島田市 (静岡県)	おもとざわしもばし 御源沢下橋	市道御源沢 線	1959	2022	主桁の異常なた わみ	全面通行止	架替予定
焼津市 (静岡県)	しんかわばし 新川橋(00533)	市道水産試 験場新川橋 線	1954	2018 2023	経年劣化による 損傷	全面通行止	廃止予定
袋井市 (静岡県)	きたあけばし 北明橋	市道彦島 2 号線	1955	2016	主桁、床版、支承 の腐食	全面通行止	架替予定
東伊豆町 (静岡県)	しらだがわばし 白田川橋	町道稲取片 瀬線	1950	2021	機能支障	全面通行止	撤去中
松崎町 (静岡県)	おおひらばし 大平橋	町道大平線	不明	2023	主桁・横桁・床版 の腐食、床版の ひびわれ	全面通行止	未定
西伊豆町 (静岡県)	うぐすばし 宇久須橋	町道柴松ヶ 坂線	1932	2016	主桁の鉄筋露 出、うき	全面通行止	修繕中
瀬戸市 (愛知県)	あさひばし 旭橋	市道北戸越 線	不明	2024	剥離・鉄筋露出 による断面減少	全面通行止	廃止予定
瀬戸市 (愛知県)	とごえばし 戸越橋	市道北戸越 線	不明	2024	剥離・鉄筋露出 による断面減少	全面通行止	廃止予定
豊川市 (愛知県)	かねいばし 鐘鑄場橋	為當場正免 下御津佐脇 広野線	2000	2025	主桁及び床版の 腐朽・変形・欠損	全面通行止	修繕予定
豊田市 (愛知県)	ウルシゼ橋	市道稲武ウ ルシゼ橋線	1918	2016 2021	床版の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
豊田市 (愛知県)	ぐんかいばし 郡界橋2	市道稲武郡 界線	1917	2016 2021	主桁、床版の鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
新城市 (愛知県)	ながしのばし 長篠橋	市道長篠大 海線	1934	2023	主桁の変形	全面通行止	撤去予定
田原市 (愛知県)	かわきたひとごうばし 川北一号橋	市道川向尾 崎線	1979	2022	腐朽により主桁、 床版の抜け落ち	全面通行止	撤去予定
北名古屋 市(愛知県)	むつしばし 六ツ師橋	市道 E-629 号線	1983	2025	床板(木材)腐朽	全面通行止	未定
弥富市 (愛知県)	なべた ごうきよう 鍋田9号橋	鍋田 17 号 線	不明	2016 2020	主桁、下部工の 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
弥富市 (愛知県)	すえひろばし 末広橋	東末広107 号線	1972	2016 2021	主桁の腐食、変 形欠損、下部工 の鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
蟹江町 (愛知県)	すなりひがし ごうきよう 須成東1号橋	町道須成東 26号線	1950	2025	橋台背面から土 砂の流出	全面通行止	廃止予定
美浜町 (愛知県)	ふぐさき 富具崎(5)橋	町道 5328 号線	不明	2023	主桁の腐食、紡 織機能の劣化、 変形・欠損	全面通行止	撤去予定
東栄町 (愛知県)	ときわばし 常盤橋	町道(154)ア セモ立渡瀬 線	1932	2019 2024	主桁の格点一腐 食、欠損	全面通行止	撤去中
東栄町 (愛知県)	むめいばし 無名橋13	町道(162)吐 原線	1981	2019 2023	主桁の腐食、欠 損、床版の腐食、 防食機能の劣化	全面通行止	修繕中
津市 (三重県)	3068-1号橋	市道西蔵王 馬藪線	1963	2021	主桁の腐食、床 版(路面)の腐 食・抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	204-3号橋	市道大野矢 持線	1965	2022	主桁の腐食	全面通行止	未定
津市 (三重県)	くちきえだはし 口前田橋	市道小杉城 立溪流線	1979	2022	床版部の腐食・ 抜け落ち	全面通行止	未定
津市 (三重県)	おおたにはし 大谷橋	市道野登瀬 井出添線	1958	2024	橋梁床版部の腐 食	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
津市 (三重県)	ふくだやままえだはし 福田山前田橋	市道前田東 山線	1965	2024	下部工背後の洗 掘、下部工の傾 き	全面通行止	未定
津市 (三重県)	2067-3号橋 ごうはし	市道奥ノ小 谷線	1961	2025	橋台基礎の崩落	全面通行止	未定
熊野市 (三重県)	ほそおはし 細尾橋	市道大馬細 尾線	不明	2022	床版、横桁に著し い損傷	全面通行止	架替中
いなべ市 (三重県)	のじりはし 野尻橋	下野尻瀬木 線	1934	2025	橋脚基礎沈下	全面通行止	未定
伊賀市 (三重県)	やがみはし 山神橋	市道印代山 神線	1953	2019	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
度会町 (三重県)	ごろがせはし 五郎ヶ瀬橋	町道和井野 権田線	1925	2017 2021	地覆、高欄の欠 損、主桁の鉄筋 露出、基礎の洗 掘	全面通行止	未定
御浜町 (三重県)	こまつはし 小松橋	町道引作線	1970	2020	橋脚の沈下	全面通行止	架替中
長浜市 (滋賀県)	にごうはし 二号橋	早崎干拓線	1970	2023	橋脚の鋼管柱に 顕著な板厚減少 、孔食および破 断	全面通行止	未定
長浜市 (滋賀県)	いぬいやはし 乾橋	留目3号線	1935	2023	鋼I桁の腐食の進 展による明らかな 板厚減少、孔食、 欠損	全面通行止	架替中
舞鶴市 (京都府)	なにわばし ほどろ 浪速橋(歩道)	市道八島通 線	1972	2024	主桁、床版、支承 、橋脚の腐食によ る板厚減少・孔食	全面通行止	修繕中
綾部市 (京都府)	ものべおおはし 物部大橋	市道宮川線	1999	2023	橋脚及び床版の 沈下	全面通行止	撤去中
四條畷市 (大阪府)	きよたきがわ ごうきよう 清滝川11号橋	市道南野中 野1号線	1973	2025	主桁部(石構造) の破断(3箇所)	敷鉄板設置	未定
奈良市 (奈良県)	とうしょうだいじはし 唐招提寺橋	中部第500 号線	1965	2025	主桁・横桁の腐 食、断面欠損、下 部工洗端部終点 側の遊間異常、 橋脚支承部直下 の剥離	バリケードを設 置し通行止	修繕予定
五條市 (奈良県)	しもだばし 下田橋	霊安寺8号 線	1945	2016 2019 2024	橋台の沈下・移 動・傾斜	通行止(車両)	廃止予定
五條市 (奈良県)	ふじたにばし 藤谷橋	滝生子線	不明	2025	下部工の沈下・ 基礎不安定	通行規制 (車両)	未定
葛城市 (奈良県)	たいこばし 太鼓橋	新庄・秋吉 線	1920	2025	橋脚支柱のひび 割れ、かたむき	2022年に通行 止	廃止予定
宇陀市 (奈良県)	おくのたに、ごうきよう 奥ノ谷3号橋	市道宮奥針 道線	1955	2018	桁に用いている 丸太材が腐朽	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
宇陀市 (奈良県)	いた橋 イタ橋	市道菟田野 124号線	不明	2018	床版の木材が朽 ちて一部抜け落 ち	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
宇陀市 (奈良県)	カマクラ橋 ばし	市道下笠間 茶臼山線	不明	2018	主桁の破損、及 び下部工の洗掘	バリケードを設 置し全面通行 止	未定
平群町 (奈良県)	いちばら ごうきよう 櫟原1号橋	北槻原・西 向196号線	不明	2016 2020 2025	橋床の腐食	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
十津川村 (奈良県)	きゅうかわつおおはし 旧川津大橋	村道川津線	1960	2015 2020 2025	床版の腐食	全面通行止	撤去予定
十津川村 (奈良県)	いけあなはし 池穴橋	村道池穴中 原橋	1931	2015 2020 2025	主桁、床版の腐 食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	なかはらばし 中原橋	村道池穴中 原橋	1945	2015 2020 2025	主桁、床版の腐 食	全面通行止	未定
十津川村 (奈良県)	おおのであいばし 大野出合橋	村道高滝小 川線	不明	2015 2020 2025	主桁の腐食	全面通行止	修繕予定
十津川村 (奈良県)	ゆのはらばし 湯之原橋	村道湯之原 舟谷線	1934	2015 2020 2025	主桁の腐食	全面通行止	修繕中
十津川村 (奈良県)	おおびそばし 大檜曽橋	村道大檜曾 線	不明	2015 2020 2025	主桁、横桁の腐 食	全面通行止	修繕予定
新宮市 (和歌山県)	ひのうばし 日能橋	市道日足山 本線	1964	2024	橋脚の腐食	全面通行止	未定
新宮市 (和歌山県)	おおくいたにばし 大杭谷橋	市道高田那 智線	不明	2025	橋梁の流失	通行止	廃止中
新宮市 (和歌山県)	あかぎがわばし 赤木川橋	市道赤木線	1931	2025	上部構造(木材 部)の腐朽および 吊材の欠損	全面通行止	未定
米子市 (鳥取県)	あんようじはしほどうきよう 安養寺橋歩道橋	日原兼久線	1975	2023	主桁の孔食や減 肉を伴う腐食、ボ ルトの脱落、支承 アンカーボルト破 断など	全面通行止	撤去中
倉吉市 (鳥取県)	たきざかいばし 滝坂橋	滝坂線	1971	2025	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
日南町 (鳥取県)	つうてんばし 通天橋	石霞溪線	1929	2015 2025	主桁の腐食	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	おにがたきはし 鬼ヶ滝橋	堂谷線	1954	2023	主桁、横桁、床版 覆工板の腐食と 版厚減少、橋面 鋼板の孔食、左 岸側石積護岸の 流出	全面通行止	未定
松江市 (島根県)	しんきようせいはいし 新共栄橋	下佐陀古志 線	1968	2023	6 本すべてのパイ ルベントの板厚減 少を伴う腐食、P3 橋脚の中央鋼管 杭の孔食	全面通行止	修繕中
松江市 (島根県)	ながいおり ごうせん ごうきよう 長通2号線1号橋	長通2号線	不明	2025	橋脚(H 鋼)の減 肉による強度不 足、床版(覆工 板)の腐食による 一部損失	全面通行止 (橋の前後の 通行止看板設 置)	修繕予定
浜田市 (島根県)	はまだばし 浜田橋	浜田 181 号 線	1936	2025	基礎部が洗堀さ れ、橋台のひび 割れ、ズレ、沈下 が進行	2025.3 に全面 通行止	架替中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
出雲市 (島根県)	しょうろだに ごうばし 松露谷1号橋	鰐淵寺松露 谷線	1985	2023	木橋橋台の洗堀 、支持杭の傾斜・ 露出、橋面のた わみ	全面通行止	架替予定
大田市 (島根県)	の だ ば し 野田橋(木橋)	中組野田線	1996	2023	主桁木材の腐食 進行・高欄防護 柵の損失	全面通行止	未定
雲南市 (島根県)	た くの ば し 多久戸橋	多久戸線	不明	2022	流出	全面通行止	架替予定
雲南市 (島根県)	こ ば ら ごうきよう 小原1号橋	里熊小原線	1959	2024	R3 年豪雨による 橋梁の流出	全面通行止	架替予定
隠岐の島町 (島根県)	あい は し 愛の橋	西郷145号 線	1956	2017 2022	主桁剥離・鉄筋 露出、橋脚剥離・ 鉄筋露出	前面通行止	架替中
玉野市 (岡山県)	に し た い じ 西田井地 1 1 - 1 ごうきよう 号橋	浜屋北浜線	不明	2025	橋脚の転倒	全面通行止	架替予定
真庭市 (岡山県)	け さ ば し 毛佐橋	毛佐中線	1978	2025	木主桁・木支承 の著しい腐食、主 桁の支承からの 脱落、路面陥没 による道路橋機 能の喪失	歩行者専用の 仮設橋の設置	修繕予定
矢掛町 (岡山県)	に い や は し 仁井屋橋	町道辻堂線	1964	2021	主桁の腐食、路 面の陥没	通行止	架替中
美咲町 (岡山県)	か み あ い ば し 上阿井橋	町道谷川線	不明	2023	床版の腐朽	全面通行止	廃止予定
美咲町 (岡山県)	こ え だ ば し 小枝橋	町道小枝線	不明	2023	主桁・床版端部 の腐朽	全面通行止	廃止予定
呉市 (広島県)	か も め 歩 道 橋 かもめ歩道橋	市道幸町海 岸線	1953	2022	横桁の腐食、床 版の剥離・鉄筋 露出	バリケードによ る通行止	撤去中
府中市 (広島県)	し ぎ た に は し 鳴谷橋1	市道鳴谷広 谷線	1955	2019 2024	上部構造床版の 損傷(流失)	仮設材の設置 (全面通行止)	撤去中
東広島市 (広島県)	ぞう か ひ が し ごうせん 造賀東12号線 ごうきよう 1号橋	市道造賀東 12 号線	1950	2024	橋台基礎の沈下 、傾斜、洗堀	全面通行止	撤去予定
下関市 (山口県)	きの し た は し 木下橋	市道坂ノ上 ～保木線	1974	2023	下部工損傷	全面通行止	撤去中
下関市 (山口県)	に し し た ば し 西の下橋	堀越西の下 線	1965	2023	上部工損傷	全面通行止	修繕中
山口市 (山口県)	ひ が し お お き だ ば し 東扇田橋	小森和西線	不明	2023	主桁・床版の腐 食	圃場整備工事 のため仮設橋 梁を別途架橋 し全面通行止	架替中
萩市 (山口県)	よ こ や は し 横屋橋	横屋線	1958	2024	主桁支点上の腐 食による孔食、横 桁のボルトのゆる み	全面通行止	修繕予定
岩国市 (山口県)	み し ょう ば し 御庄橋	御庄1号線	1953	2016 2021	主桁ゲルバー部 のひびわれ	全面通行止	撤去中
長門市 (山口県)	か み い で ば し 神出橋	市道神出線	1963	2016 2021	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
柳井市 (山口県)	か ま と ぎ ごうきよう 鎌磨1号橋	河原鎌磨線	1976	2015 2020 2025	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
山陽小野田 市 (山口県)	いしまるはし 石丸橋	市道桜川石 丸線	1964	2022	下部構造の沈下	路肩規制(張 出部の通行制 限)	修繕中
山陽小野田 市 (山口県)	まつがせはし 松ヶ瀬橋	市道松ヶ瀬 線	1954	2015 2020	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	未定
周防大島町 (山口県)	よこたにしはし 横田西橋	横田西・鹿 田線	1963	2024	橋台の損傷	バリケードを設 置し通行止	未定
徳島市 (徳島県)	しょうひがしはし 庄東橋	市道庄・中 島田東線	1965	2019 2022	主桁の腐食、鉄 筋露出および鉄 筋の破断	車両通行止	架替予定
三好市 (徳島県)	のろうちばし 野呂内橋	坪尻野呂内 線	1959	2017 2021	下部構造物の剥 離、洗掘、腐食	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	どうとこばし 堂床橋	境谷大谷線	1959	2015	主桁の腐食	全面通行止	撤去予定
三好市 (徳島県)	たにおちあいせん ツフ谷落合線 3号橋	ツフ谷落合 線	1972	2021	主桁に鉄筋露 出・欠損、舗装の 異常(土砂化)	全面通行止	廃止予定
三好市 (徳島県)	きかせばし 坂瀬橋	窓小祖谷線	1970	2017 2021 2025	主桁等の腐食、 橋台コンクリート の経年劣化(土 砂化)	全面通行止	廃止予定
上勝町 (徳島県)	なかすはし 中須橋	町道神明葛 又線	不明	2016	木床版の腐朽、 橋台の崩壊	全面通行止	撤去予定
上勝町 (徳島県)	しもめきはし 下梅木橋	町道下梅木 線	不明	2016	木床版の腐朽	全面通行止	撤去予定
つるぎ町 (徳島県)	きたたにばし 吉良谷橋	町道吉良谷 線	1957	2017 2022	鉄筋露出・橋台 下部洗掘	全面通行止	撤去予定
高松市 (香川県)	よせじばし 寄地橋	市道東谷 1 号線	1965	2019	下部構造の洗掘	全面通行止	撤去中
高松市 (香川県)	よしだばし 吉田橋	吉田川北堤 防線	1971	2025	下部構造の洗掘	車両通行止 (歩行者通行 可)	修繕予定
観音寺市 (香川県)	かんおんじごくらくばし 観音寺極楽橋	市道上若南 線	1933	2015 2021	上下部工の剥 離、鉄筋露出	通行規制 (二輪・歩行者 以外)	架替予定
まんのう町 (香川県)	つねかねばし 常包橋	町道常包橋 線	1933	2016 2020 2025	主桁ゲルバー部 のひびわれ、床 版の鉄筋露出、 支承部の腐食	通行規制 (車両)	撤去予定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋3号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋5号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い剥離、遊離石 灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋6号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出、遊 離石灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	かしまばし ぎょうきょう 鹿島橋7号橋	市道鹿島公 園線	不明	2018 2023	主桁全面に著し い鉄筋露出、遊 離石灰等	全面通行止	未定
松山市 (愛媛県)	いわげきばし 岩堰橋	市道桑原 129 号線	1924	2024	主ケーブルの腐 食の進行による 破断	全面通行止	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
室戸市 (高知県)	さきはまばし 佐喜浜橋	市道佐喜浜 本線	1929	2017	主桁、下部工に 腐食、剥離・鉄筋 露出、床版に剥 離・鉄筋露出、支 承の機能障害	車両通行止	架替中
室戸市 (高知県)	みなとばし 港橋	市道湊橋線	1971	2015	主桁、横桁、支承 の腐食	全面通行止	撤去予定
室戸市 (高知県)	きらがわおおはし 吉良川大橋	市道本町西 ノ宮線	1936	2017	主桁に腐食、うき 、剥離・鉄筋露出 、下部工に腐食、 剥離・鉄筋露出、 沈下	車両通行止	撤去予定
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 13号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	落橋および橋台 の崩落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 7号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 8号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕中
安芸市 (高知県)	なびかこいせん 奈比賀古井線 12号橋	市道奈比賀 古井線	不明	2018 2022	床版の木材に著 しい腐朽、脱落	全面通行止	修繕中
宿毛市 (高知県)	かいそ ぐうばし 貝礎1号橋	市道山田貝 礎線	1979	2018 2023	主桁、床版の腐 食、洗堀	全面通行止	撤去中
土佐清水市 (高知県)	かみなぎき ぐうばし 叶崎2号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
土佐清水市 (高知県)	かみなぎき ぐうばし 叶崎1号橋	市道大津南 線	1969	2018	主桁の剥離・鉄 筋露出、横桁の 剥離・鉄筋露出	全面通行止	撤去中
四万十市 (高知県)	みきとはし 三里橋	市道具同三 里線	1963	2017	パイルベント橋脚 (鋼管)の腐食	応急処置を行 い通行開放	修繕中
香南市 (高知県)	ユノウラ橋	大谷野田線	不明	2025	木製床版の腐朽 による断面欠損 や踏歩載荷時の 顕著な変異	バリケードを設 置し全面通行 止	架替予定
馬路村 (高知県)	のぐちばし 野口橋	村道野口橋 線	1953	2017	全耐風索の破断 によるハンガーロ ープのゆるみ	全面通行止	廃止予定
大豊町 (高知県)	きゅうよしのがわばし 旧吉野川橋	町道穴内尾 生線	1911	2017 2021	変形・欠損・異状 なたわみ	全面通行止	撤去予定
津野町 (高知県)	むめいきょう 無名橋12	町道茶屋ヶ 駄場線	1951	2021	主桁及び横桁に 腐食	通行規制(損 傷の著しい個 所を封鎖)	撤去予定
四万十町 (高知県)	しもどうしもつい ぐうきょう 下道下津井1号橋	町道下道下 津井線	1940	2016 2021	橋台のひびわれ	全面通行止	修繕中
四万十町 (高知県)	たいしょうばし 大正橋	町道吾川線	1928	2016 2023	主桁・縦桁・横 桁・ボルトの腐食	全面通行止	未定
四万十町 (高知県)	せりばし 瀬里橋	町道田野々 瀬里線	不明	2018 2023	主桁に開口幅の 大きなひびわれ	全面通行止	廃止予定
四万十町 (高知県)	つが かわはし 津賀の川橋	町道津賀の 鼻線	1961	2018 2023	主桁、床版の腐 食、橋台の洗堀	全面通行止	廃止予定
三原村 (高知県)	ハセガダバ橋	下切線(本 線)	1969	2025	主桁の腐食	全面通行止	未定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
黒潮町 (高知県)	こぶしのかわばし 拳ノ川橋	町道拳ノ川 北線	1935	2015 2020 2023	主桁の鉄筋露出 、断面欠損	全面通行止	未定
久留米市 (福岡県)	すえ もとばし 末の本橋	梅満B206 号線	1979	2025	横桁 PC 鋼棒の 破断	車両通行止	修繕予定
久留米市 (福岡県)	ながくろばし 中黒橋	朝森豊城T 361号線	1965	2025	橋脚の変状	全面通行止	撤去予定
宮若市 (福岡県)	いとだばし 糸田橋	市道 糸田・ 相手無線	1963	2020	橋脚傾き	バリケードを設 置し全面通行 止	撤去中
唐津市 (佐賀県)	はなみねばし 花峰橋	市道座主～ 峰門線	1955	2025	P1橋脚の沈下 に伴う上部工の亀 裂	全面通行止	修繕予定
みやき町 (佐賀県)	いしいばし 石井橋	町道石井区 内線	1969	2023	橋脚の沈下によ る主桁の浮き	全面通行止	架替中
対馬市 (長崎県)	しんばし 新橋	市道尾崎郷 崎線	不明	2015 2020 2025	橋台のひび割れ 、下部工の石積 み崩壊	通行規制(2t)	架替中
対馬市 (長崎県)	いななかやません ぐうきよう 伊奈中山線13号橋	市道伊奈中 山線	不明	2022	下部工の沈下、 傾斜	通行規制(2t)	架替中
八代市 (熊本県)	よしはら ぐうせん ぐうきよう 葭原3号線1号橋	市道葭原 3 号線	1964	2025	橋脚の沈下	バリケードにて 通行止 (迂回路あり)	撤去予定
水俣市 (熊本県)	さいせみりばし 幸 橋	市道幸町・ 牧ノ内線	1965	2020	ラーメン橋脚(無 筋構造)の梁下面 及び柱に大きな 損傷(ひび割れ、 断面欠損)	重量規制(5t)	架替中
宇土市 (熊本県)	くろはし 黒橋	市道(9-182) 川越・宮の 後線	不明	2015 2019 2024	主桁、床版の腐 食、下部工のひ びわれ	全面通行止	撤去中
宇土市 (熊本県)	がた ぐうきよう 潟1号橋	笹原 20 号 線	不明	2025	主桁の腐食、高 欄・防護柵の腐 食	2025 年 12 月 通行止	架替予定
天草市 (熊本県)	だい え うらばし 第1江の浦橋	米山線	1994	2025	本橋の下部工の 石積み橋台に両 基礎の洗掘	全面通行止	架替予定
天草市 (熊本県)	はぎ ひらばし 萩の平橋	萩の平平線	1982	2025	本橋の下部工の 石積み橋台に両 基礎の洗掘	全面通行止	架替予定
天草市 (熊本県)	はじうとばし 戸宇土橋	市道西・田 代線	1921	2024	床版、主構両径 間のうき、剥離・ 鉄筋露出、局部 的なコンクリート の剥離	全面通行止	廃止予定
美里町 (熊本県)	さかいりばし 境 橋	町道目磨坂 貫線	1973	2025	2025 年 8 月豪雨 による A1 橋台背 面土砂の流出に 伴う橋台の変異	未対応	未定
大津町 (熊本県)	いけづるばし 池鶴橋	町道八迫線	1970	2021 2022	橋台の欠損	全面通行止	修繕中
小国町 (熊本県)	やまつのばし 山角橋	町道山角古 屋線	1965	2022	橋台の洗掘、舗 装の陥没	全面通行止	架替中
水上村 (熊本県)	ゆやまばし 湯山橋	村道汗の原 下馬場線	1958	2021 2024	P1 橋脚の剥離・ 鉄筋露出	全面通行止	撤去予定
球磨村 (熊本県)	まるいおばし 丸岩橋	村道神瀬大 岩線	1971	2022	下部構造の洗堀	4t 車以上 通行止	修繕中

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
球磨村 (熊本県)	71-1無名橋 むめいきょう	村道浦野線	1965	2024	下部構造の洗堀	2t車以上 通行止	修繕中
球磨村 (熊本県)	ももはらばし 桃原橋	村道神瀬大 岩線	1968	2021	RC床版の鉄筋露 出・うき、橋台の 洗堀	全面通行止 (仮設道路設 置)	架替中
球磨村 (熊本県)	しらはまばし 白濱橋	村道田野線	1954	2022	支承の機能障害	4t車以上 通行止	未定
あさぎり町 (熊本県)	いしだばし 石田橋	石田橋線	1991	2025	木材材(床版、高 欄)の腐食	柵の設置によ る進入禁止措 置	未定
日田市 (大分県)	うめきはし 梅木橋	伏木梅木線	1975	2025	主桁の破断・腐 食	全面通行止	架替予定
佐伯市 (大分県)	きよたきはし 清滝橋	市道河内清 滝橋線	1958	2017 2023	防食機能の劣化 、各桁の板厚減 少	全面通行止	廃止中
津久見市 (大分県)	ふくやまばし 福山橋	市道岩屋線	1936	2014 2019 2024	床版の剥離、鉄 筋露出、うき	全面通行止	未定
津久見市 (大分県)	ひじろばし 日代橋	市道福良網 代1号線	1962	2014 2019 2024	床版の鉄筋露出 、主桁の腐食	全面通行止	廃止予定
津久見市 (大分県)	ひじろほどうきょう 日代歩道橋	市道福良網 代1号線	1962	2014 2019 2024	床版、主桁の腐 食	全面通行止	廃止予定
豊後大野市 (大分県)	なかつむれはし 中津無礼橋	市道中津無 礼合川線	1965	2019	橋脚が無筋の為	通行制限 (4t車以上)	架替中
由布市 (大分県)	さかいやばし 堺橋	市道仁瀬小 袋線	不明	2015 2020 2025	主桁端部の断面 減少、腐食膨張、 支承の腐食	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	しばはらばし 芝原橋	市道中恵宮 田線	不明	2015 2020 2025	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	かんぶちばし 上刈橋	市道下柿木 線	不明	2015 2020 2025	主桁の剥離、鉄 筋露出、うき	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	はねつばし 埴坪橋	市道東行埴 坪岡線	1929	2015 2021	主桁の剥離、鉄 筋露出	全面通行止	撤去予定
由布市 (大分県)	かすかけばし 粕掛橋	市道梶屋挾 間線	1951	2019 2024	主桁、横桁、床版 の剥離、鉄筋露 出	全面通行止	撤去予定
国東市 (大分県)	もとみやばし 元宮橋	市道元宮線	1950	2021	支承の防食機能 の劣化・腐食	全面通行止	架替中
国東市 (大分県)	もろたばし 諸田橋	市道諸田旧 道線	1995	2024	橋脚の洗堀の進 行による沈下、傾 斜、主桁の剥離・ 鉄筋露出、うき	全面通行止	架替予定
九重町 (大分県)	へいけだにばし 平家谷橋	町道平家山 線	不明	2020 2025	袖擁壁の変形・ 欠損	全面通行止	廃止予定
九重町 (大分県)	みょうけんばし 妙見橋	町道三ツ群 尾本線	1898	2020 2025	袖擁壁の欠損	全面通行止	廃止予定
延岡市 (宮崎県)	ふかたにかわはし 深谷川橋	市道城打扇 線	1971	2019 2023	床版の腐食	仮設材を設置 して通行止	廃止予定
鹿児島市 (鹿児島県)	ひがしぐんばし 東軍馬橋	東軍馬橋線	不明	2025	橋脚の流出	全面通行止	撤去予定
日置市 (鹿児島県)	あいらばし あいら橋	市道向湯田 湯田原線	1924	2016 2021	石桁のひびわれ 、鋼部材の腐食	車両通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
いちき串木 野市 (鹿児島県)	しまづぼどうきょう 島津歩道橋	島津線	1991	2025	主桁の腐食	通行止	撤去中
姶良市 (鹿児島県)	いわせとばし 岩瀬戸橋	市道酒屋段 線	1961	2017 2022	アーチ石の崩落	全面通行止	撤去予定
屋久島町 (鹿児島県)	みやのうらかわはし 宮之浦川橋	町道宮之浦 中通線	1930	2023	主桁の欠損、橋 脚の傾きの異常	フェンスによる 歩行者及び車 両の立入禁止 措置	撤去予定
宇検村 (鹿児島県)	なんごうばし 南郷橋	宇検3号線	1973	2025	鉄筋断裂を伴う 損傷	全面通行止	架替中
徳之島町 (鹿児島県)	おおせはし 大瀬橋	亀津中央線	1955	2025	内部鋼材の腐食	モニタリング	架替中
伊仙町 (鹿児島県)	かねくはし 兼久橋	町道カネク 線	1977	2023	主材部の激しい 損傷	全面通行止 (看板設置)	架替予定
沖縄市 (沖縄県)	うちきなばし 内喜納橋	市道東南植 物楽園線	1976	2017 2020	床板の剥離・鉄 筋露出	仮受け材を設 置し通行規制 (車両)	架替中
宜野座村 (沖縄県)	ごう 1号ボックスカルバ ート3	村道潟原旧 国道線	1967	2017 2022	頂版全体の鉄筋 露出	全面通行止	撤去中
与那国町 (沖縄県)	しまなかはし 島仲橋	町道ティン ダバナ線	1963	2018	頂版全体の鉄筋 露出	ガードレール を設置し全面 通行止	未定

※判定区分Ⅳの施設リストは、2026.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【トンネル】

○ 判定区分Ⅳのトンネルの措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	3	3	0	0	0	3	0
都道府県・ 政令市等	14	13	0	1	0	14	2
市区町村	37	20	10	7	26	63	21
合計	54 (68%)	36 (45%)	10 (13%)	8 (10%)	26 (33%)	80	23 (29%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理のトンネルは健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(0箇所)

○ 都道府県・政令市等(2箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3月末時点)
東京都	ふきあげ 吹上トンネル	青梅秩父線	1953	2023	うき・剥離	剥落防止ネットの設置(変状部直下の通行規制)	修繕中
滋賀県	よこやまざいどう 横山隧道	一般県道大 野木志賀谷 長浜線	1923	2022	覆工の漏水、うき・はく離	侵入できないよう門扉設置済み	未定

○ 市区町村(21箇所)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3月末時点)
上士幌町 (北海道)	ふじかわ 不二川トンネル	町道糠平線	1955	2018 2021	剥落・漏水・ひびわれ	全面通行止	廃止予定
みなかみ町 (群馬県)	たからがわざいどう 宝川隧道	町道藤原 119号線	1960	2018 2023	坑門、覆工アーチ・側壁の剥離	全面通行止	修繕中
君津市 (千葉県)	おくごめ ございどう 奥米3号隧道	市道奥米・ 廻田線	不明	2014	激しい崩落、崩落した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
君津市 (千葉県)	いわ うえざいどう 岩の上隧道	市道坂畑・草 川原線	不明	2014	激しい崩落、崩落した岩の堆積	全面通行止	廃止予定
見附市 (新潟県)	とちくぼざいどう 栃窪隧道	椿沢・栃窪線	1956	2019	坑口の崩壊	全面通行止	未定
村上市 (新潟県)	おおさきやま 大崎山トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019 2024	本体工の材質劣化	バリケード設置による全面通行止	廃止予定
村上市 (新潟県)	まの うち 間ノ内トンネル	市道府屋基 石線	1955	2019 2024	本体工の材質劣化	バリケード設置による全面通行止	廃止予定

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
阿賀町 (新潟県)	いがしまずいどう 五十島隧道	町道五十島 向山戸線	1958	2024	側壁部に著しい 巻厚減少及び覆 工背面の空洞	ゲートを設置 し全面通行止 (継続)	未定
白山市 (石川県)	しらおさかいずいどう 白尾境隧道	市道ダム1号 線	1979	2018 2023	アーチ部の漏水 、空洞	全面通行止 (2014 より)	修繕中
伊那市 (長野県)	みわ 美和ダム1号トンネ ル	市道勝間赤 の入線	1958	2018 2023	材料劣化	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	あおぬき 青抜トンネル	村道下寺湯 原線	1962	2022	豆板・漏水	全面通行止	未定
小谷村 (長野県)	ゆばら とう 湯原2号トンネル	村道下寺湯 原線	1958	2022	豆板・ひび割れ	全面通行止	未定
高山市 (岐阜県)	ひわだ とう 日和田1号トンネル	市道近城線	不明	2018	坑門工左肩部に ブロック化した浮 き	全面通行止	廃止予定
長浜市 (滋賀県)	こほくずいどう 湖北隧道	市道八田部 岩熊線	1934	2020	覆工・坑門の材 質劣化(浮き、剥 離、ひび割れ)、 漏水多数	全面通行止	未定
五條市 (奈良県)	コダイシタ1ゴウ	小代下線	1956	2024	覆工アーチ部の コンクリートの剥 離、ひび割れ	通行止(車両)	未定
北広島町 (広島県)	しもやま 下山トンネル	町道下山橋 山線	1935	2019	覆工コンクリート、 岩盤の剥落、漏 水	仮設材の設置 (全面通行止)	修繕予定
下関市 (山口県)	みずたれ 水垂トンネル	市道附野水 垂線	1930	2018 2023	本体の一部が崩 落	全面通行止	廃止予定
萩市 (山口県)	えふねずいどう 江舟隋道	市道江舟尻 線	不明	2018 2023	覆工に、うき・剥 離・剥落	全面通行止	廃止予定
萩市 (山口県)	ごんにゆうどう ごんどう隧道	市道田代渦 ヶ原線	1973	2023	覆工に、うき・剥 離・背面空洞	全面通行止	廃止予定
宿毛市 (高知県)	すくも 宿毛トンネル	市道与市明 野地線	1929	2017 2022	うき、ひび割れか らの漏水	全面通行止	廃止中
奄美市 (鹿児島県)	わせ 和瀬トンネル	市道朝戸・和 瀬線	1959	2024	せん断ひび割れ ・段差	全面通行止	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2026.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

【道路附属物等】

○ 判定区分Ⅳの道路附属物等の措置内容(完了済・予定のものを含む)

管理者	管理中				撤去・ 廃止済 ※1	計	うち措置未完了 (下記リスト参照)
	計	修繕	廃止	対応 未定			
国土交通省	7	6	0	1	3	10	2
都道府県・ 政令市等	26	26	0	0	8	34	2
市区町村	8	6	0	2	7	15	3
合計	41 (69%)	38 (64%)	0 (0%)	3 (5%)	18 (31%)	59	7 (12%)

※1: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※高速道路会社管理の道路附属物等は健全度Ⅳの施設なし。

○ 国土交通省(2 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
中国地方 整備局	よろずほどうきょう 万歩道橋	一般国道 53 号 現道	1972	2025	主桁の欠損及び 階段部の欠損等	全面通行止	未定
沖縄総合 事務局	案内標識	一般国道 58 号	1978	2023	支柱の蓋と横梁 の腐食・断面貫 通	横梁の撤去	修繕中

○ 都道府県・政令市等(2 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
群馬県	いわじゅくかみほどうきょう 岩宿上歩道橋	(主) 太田大 間々線	1978	2025	車両衝突による 主桁の変形	塗膜除去	修繕予定
沖縄県	さきやまおうだんほどうきょう 崎山横断歩道橋	県道那覇糸 満線	1980	2023	橋台のひび割れ 及びスロープの 傾き	全面通行止	修繕中

○ 市区町村(3 施設)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の 具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2026.3 月末時点)
四街道市 (千葉県)	みそらほどうきょう みそら歩道橋	みそら 78 号 線	不明	2022	主桁と横桁の取 付部の損傷	上部工撤去 (車道通行可)	未定
阿賀町 (新潟県)	いがしま 五十島スノーシェ ッド	町道五十島 向山戸線	不明	2019 2024	山側受台の背面 にポケット状の窪 地がある	ゲートを設置 し全面通行止	未定
上田市 (長野県)	あおくぼほどうきょう 蒼久保歩道橋	市道(1 級) 久保林大屋 線	1977	2022	鋼材の腐食によ る縦桁、床版の 劣化	頻繁な監視及 び一部通行 制限	修繕中

※判定区分Ⅳの施設リストは、2026.7 に各道路管理者に確認した内容を記載。

※緊急措置後の恒久的な措置が完了済の施設は除く。

(4) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

① 橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	16	0	193	659	868
1921	1	0	51	87	139
1922	9	0	61	55	125
1923	3	0	84	92	179
1924	5	0	106	81	192
1925	9	0	131	113	253
1926	45	0	238	202	485
1927	27	0	315	222	564
1928	18	0	351	266	635
1929	16	0	342	255	613
1930	16	0	413	397	826
1931	26	0	459	346	831
1932	72	0	513	323	908
1933	70	0	650	483	1,203
1934	55	0	580	384	1,019
1935	45	0	639	739	1,423
1936	55	0	456	377	888
1937	44	0	547	323	914
1938	49	0	394	284	727
1939	57	0	257	190	504
1940	28	0	207	466	701
1941	71	0	139	237	447
1942	27	0	106	95	228
1943	22	0	107	165	294
1944	9	0	64	87	160
1945	15	0	140	330	485
1946	12	0	83	201	296
1947	36	0	144	276	456
1948	25	0	154	274	453
1949	54	0	206	251	511
1950	65	0	442	1,165	1,672
1951	122	0	578	886	1,586
1952	149	0	623	805	1,577
1953	124	0	915	1,052	2,091
1954	134	0	1,031	1,512	2,677
1955	186	0	1,421	2,544	4,151
1956	213	0	1,325	1,246	2,784
1957	280	0	1,409	1,576	3,265
1958	393	3	1,888	1,918	4,202
1959	512	22	2,062	2,291	4,887
1960	545	12	2,791	5,415	8,763
1961	606	10	2,862	4,297	7,775
1962	811	15	2,719	4,017	7,562
1963	844	371	2,836	4,131	8,182
1964	906	371	2,856	4,251	8,384
1965	858	141	3,543	8,342	12,884
1966	702	7	2,994	4,763	8,466
1967	713	226	3,401	5,456	9,796
1968	667	1,022	3,501	5,480	10,670
1969	809	229	3,306	5,430	9,774
1970	869	201	3,891	11,165	16,126
1971	908	362	3,891	7,707	12,868
1972	964	658	4,559	8,884	15,065
1973	984	859	3,936	9,123	14,902

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1974	739	1,094	3,304	7,319	12,456
1975	657	798	3,024	11,457	15,936
1976	481	530	2,609	7,744	11,364
1977	571	581	2,721	7,572	11,445
1978	709	632	3,643	8,170	13,154
1979	736	568	3,168	7,886	12,358
1980	710	616	3,668	10,978	15,972
1981	612	360	3,241	8,758	12,971
1982	568	717	2,727	8,194	12,206
1983	614	604	3,008	7,496	11,722
1984	652	427	2,361	6,446	9,886
1985	522	583	2,839	8,122	12,066
1986	668	417	2,939	6,317	10,341
1987	732	860	2,700	6,125	10,417
1988	665	637	3,059	6,031	10,392
1989	600	483	2,703	5,709	9,495
1990	469	528	2,542	6,633	10,172
1991	432	606	2,607	5,089	8,734
1992	439	641	2,391	4,578	8,049
1993	504	429	2,779	4,847	8,559
1994	486	478	2,413	4,116	7,493
1995	376	422	2,213	4,084	7,095
1996	526	572	2,196	4,002	7,296
1997	390	593	2,095	3,564	6,642
1998	451	395	2,123	3,810	6,779
1999	507	417	2,100	3,378	6,402
2000	549	453	1,987	3,990	6,979
2001	575	352	1,731	3,210	5,868
2002	583	515	1,721	2,922	5,741
2003	487	497	1,640	2,551	5,175
2004	484	261	1,453	2,180	4,378
2005	468	153	1,209	1,858	3,688
2006	452	161	1,199	1,638	3,450
2007	463	194	1,428	1,682	3,767
2008	461	210	1,165	1,386	3,222
2009	490	297	904	1,196	2,887
2010	479	154	1,014	1,365	3,012
2011	449	170	899	1,160	2,678
2012	407	138	776	985	2,306
2013	479	179	677	927	2,262
2014	416	242	678	969	2,305
2015	331	195	555	909	1,990
2016	225	66	437	820	1,548
2017	255	230	449	805	1,739
2018	247	229	401	768	1,645
2019	205	181	389	656	1,431
2020	206	51	414	703	1,374
2021	136	143	373	633	1,285
2022	123	24	359	522	1,028
2023	79	7	213	336	635
2024	22	27	125	252	426
2025	24	37	60	134	255
不明	1,655	0	29,043	162,178	192,876
総計	39,867	24,663	189,382	476,876	730,788

②トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1920 以前	0	0	56	103	159
1921	0	0	3	5	8
1922	0	0	2	6	8
1923	1	0	6	5	12
1924	0	0	1	8	9
1925	3	0	0	7	10
1926	1	0	7	10	18
1927	1	0	6	10	17
1928	3	0	9	8	20
1929	0	0	1	12	13
1930	0	0	15	22	37
1931	0	0	6	9	15
1932	0	0	11	12	23
1933	0	0	8	13	21
1934	1	0	11	10	22
1935	4	0	13	18	35
1936	0	0	10	9	19
1937	0	0	6	8	14
1938	1	0	9	6	16
1939	2	0	8	6	16
1940	0	0	3	9	12
1941	1	0	3	10	14
1942	2	0	8	6	16
1943	3	0	6	17	26
1944	2	0	3	5	10
1945	1	0	4	10	15
1946	0	0	1	4	5
1947	0	0	4	5	9
1948	2	0	5	3	10
1949	7	0	3	3	13
1950	5	0	11	15	31
1951	0	0	11	12	23
1952	2	0	12	13	27
1953	2	0	24	24	50
1954	3	0	26	18	47
1955	2	0	49	34	85
1956	5	0	37	21	63
1957	6	1	31	19	57
1958	10	0	56	20	86
1959	9	1	42	16	68
1960	10	0	46	27	83
1961	11	0	41	16	68
1962	25	6	40	13	84
1963	46	8	67	11	132
1964	36	21	38	25	120
1965	43	0	55	20	118
1966	24	0	56	17	97
1967	30	5	69	17	121
1968	30	27	80	24	161
1969	27	16	43	22	108
1970	51	1	56	24	132
1971	34	3	84	28	149
1972	26	6	90	31	153
1973	21	22	95	36	174

建設年度	国土 交通省	高速 道路 会社	都道府県 ・政令市 等	市区 町村	合計
1974	22	24	113	25	184
1975	21	12	73	23	129
1976	11	5	74	19	109
1977	20	33	103	22	178
1978	12	13	98	35	158
1979	18	12	85	36	151
1980	18	37	87	28	170
1981	12	37	87	30	166
1982	17	68	96	19	200
1983	17	23	91	37	168
1984	13	22	79	28	142
1985	17	57	81	31	186
1986	11	60	90	28	189
1987	14	74	97	23	208
1988	19	64	123	24	230
1989	17	60	93	29	199
1990	13	98	118	24	253
1991	20	61	109	13	203
1992	29	67	115	32	243
1993	11	98	128	34	271
1994	29	48	114	22	213
1995	14	36	111	35	196
1996	17	47	126	41	231
1997	21	81	131	59	292
1998	15	60	131	52	258
1999	17	58	117	35	227
2000	16	35	128	36	215
2001	23	45	116	36	220
2002	22	56	122	28	228
2003	23	35	102	36	196
2004	25	49	102	27	203
2005	35	50	81	14	180
2006	40	17	78	11	146
2007	64	26	71	12	173
2008	43	55	65	11	174
2009	56	36	61	11	164
2010	42	25	66	6	139
2011	53	30	59	10	152
2012	54	6	54	4	118
2013	32	37	35	4	108
2014	48	34	45	7	134
2015	50	63	47	10	170
2016	50	9	50	9	118
2017	44	21	42	2	109
2018	29	56	38	11	134
2019	22	18	44	3	87
2020	27	4	20	4	55
2021	28	16	43	2	89
2022	17	13	23	1	54
2023	11	0	17	1	29
2024	10	5	13	0	28
2025	2	0	3	0	5
不明	6	0	8	207	221
総計	1,810	2,113	5,590	2,149	11,662

道路メンテナンス年報データ集目録（HP）

- ・ 全国道路施設点検データベース（損傷マップ）
<https://road-structures-map.mlit.go.jp/>
- ・ 全国道路施設点検データベース
<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>
- ・ 管理施設数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検実施数（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 点検結果（全道路管理者、国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）
- ・ 施設名（国土交通省、高速道路会社、地方公共団体）